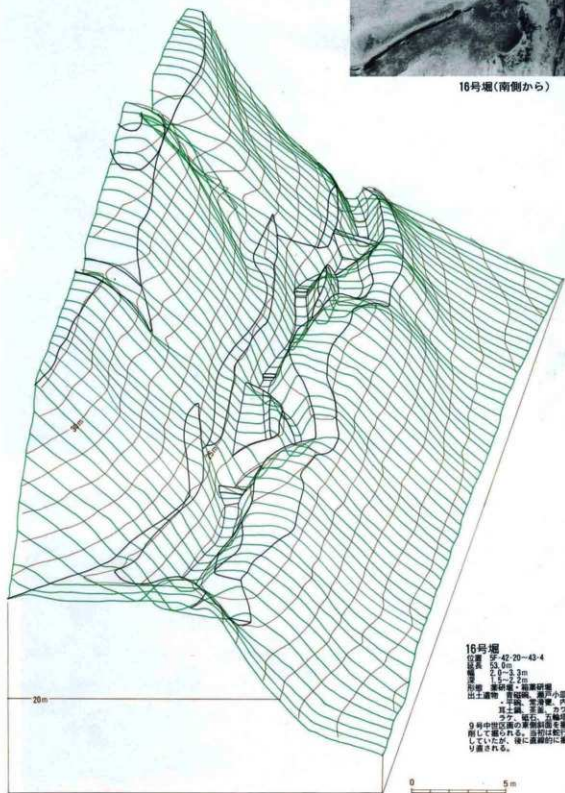




16号堀(南側から)



16号堀
 位置 宇42-20-43-4
 延長 53.0m
 幅 7.0-2.3m
 深 1.0-2.7m
 形相 礎石堀・積層研壁
 出土遺物 土師器、土師小皿、
 瓦、土師、土師、内
 瓦土師、土師、カワ
 土、磁石、石輪
 9号中世区画の基礎部を覆
 りながら掘られる。当初は掘
 り進められ、後に直線的に掘
 り直される。

図234 16号堀鳥瞰図



10・11号中世区画周辺立体視写真



53号建物跡(西側から)

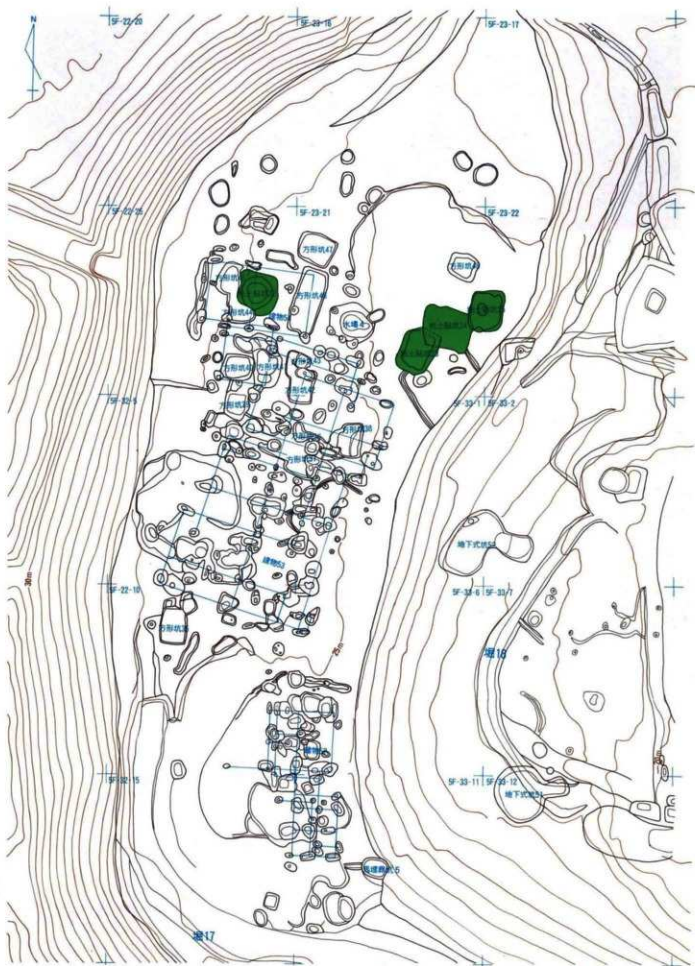


图235 10号中世区画平面图

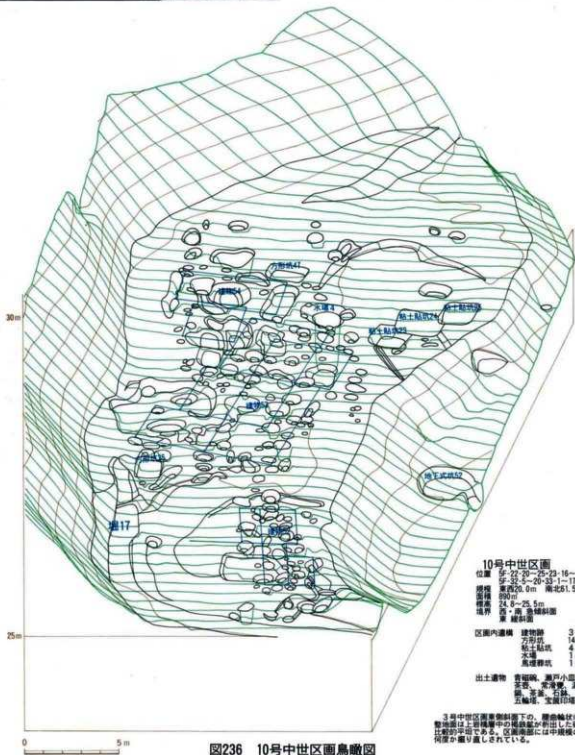
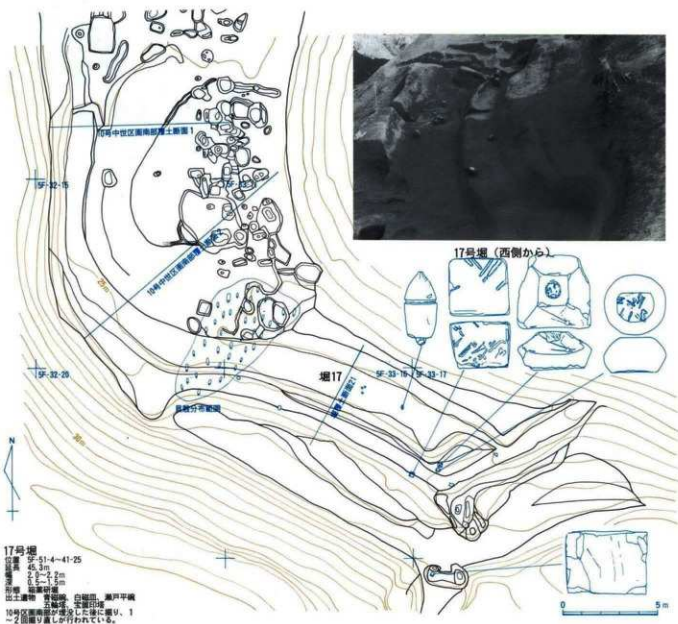


図236 10号中世区画鳥瞰図



貝殻出土状態 (5F-33-11)

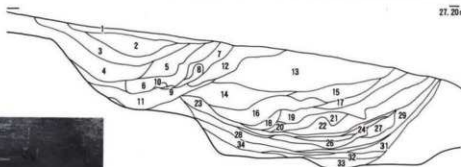


17号堀 (東側から)

図237 10号中世区南南部、17号堀平面図

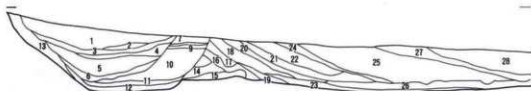


27.20m



17号堀覆土断面図21

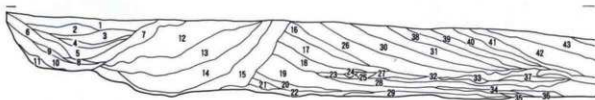
- 層序 1-5-6-12 灰-暗褐色砂層群 (暗褐色土が混じる)
 6 暗褐色土 (砂・ロームが多く混じり、少し締まる)
 7 黒褐色土 (砂・黒土が混じり、少し締まる)
 8 暗褐色粘土
 13-16-20-23-31-33-34 暗褐色砂層群 (暗褐色土が混じる)
 14-17-21-22-24-27-30-32 暗褐色土層群 (ロームが混じり、少し締まる)
 19-22 灰褐色砂層群 (暗褐色土が少し混じる)
 20 灰茶色粘土



25.90m

10号中世区画南部覆土断面図1

- 層序 1-3-7-9-16-20-23-25-27-28 灰-暗褐色砂層群
 2-6-11-15 暗褐色土層群 (砂が混じる)
 24-26-30 暗褐色-黒色土層群 (砂・黒土・焼土が混じる)



25.90m

10号中世区画南部覆土断面図2

- 層序 1-3-6-10-12-15-24-29-49-54 灰色砂層群
 5-11 灰-暗褐色砂層群
 4-8-23-25-28-30-40-50-53-55 黒色土層群
 24 O-A

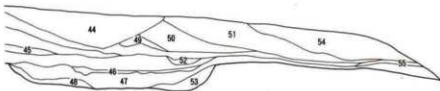
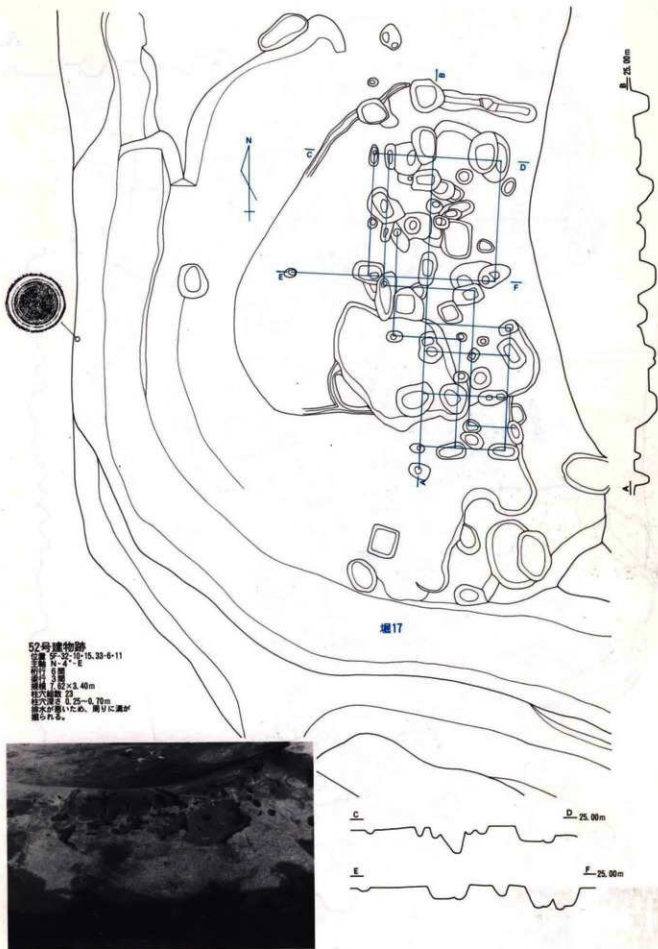


図238 17号堀、10号中世区画南部覆土断面図

0 1m



52号建物跡(西側から)

図239 52号建物跡拡大図

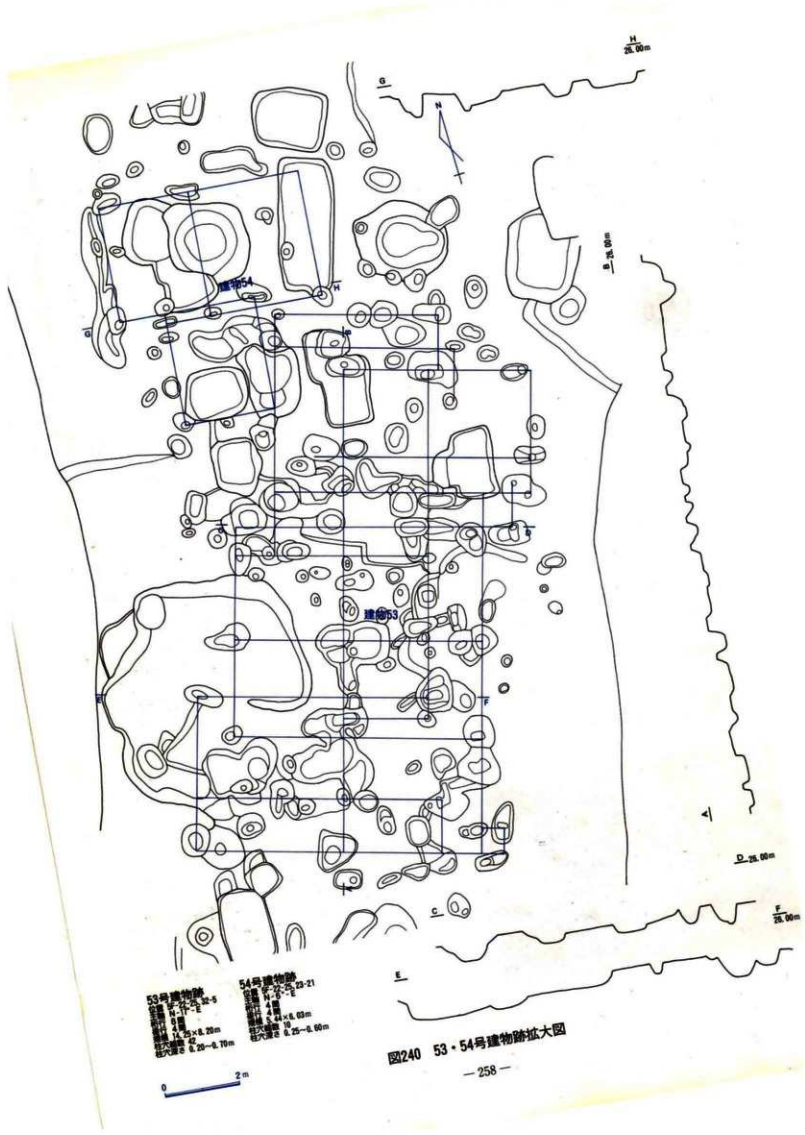


图240 53·54号建筑物放大图

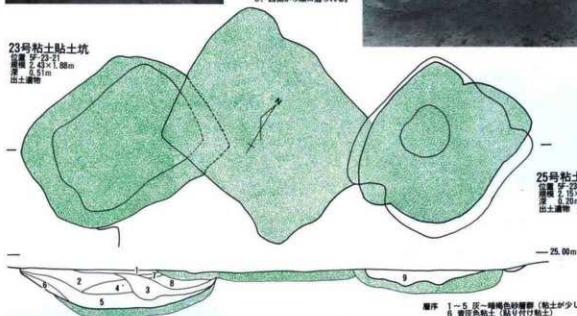


24号粘土貼土坑
 位置 宇-23-21
 規模 2.66×2.15m
 深 0.90m
 出土遺物 瀬戸瓦子
 23号より新しく、外周に先行し、内周から掘り進められた。



23号粘土貼土坑
 位置 宇-23-21
 規模 2.43×1.98m
 深 0.81m
 出土遺物

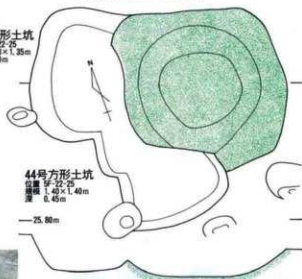
25号粘土貼土坑
 位置 宇-23-22
 規模 2.18×1.90m
 深 0.20m
 出土遺物 白磁器



層序 1-5 灰〜暗褐色砂層序（粘土が少し混じる）
 6 黄褐色粘土（粘土がやや混じる）
 7-8 赤褐色〜暗褐色砂層序
 9 暗褐色粘土（粘土・砂が混じる）



45号方形土坑
 位置 宇-25-26
 規模 1.78×1.35m
 深 0.50m



44号方形土坑
 位置 宇-22-25
 規模 1.48×1.48m
 深 0.45m



22号粘土貼土坑
 位置 宇-25-25
 規模 2.25×2.15m
 深 0.35m

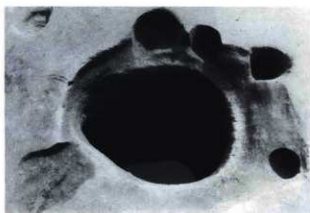


35号方形土坑
 位置 宇-25-25
 規模 1.95×1.37m
 深 0.42m



45号方形土坑

図241 粘土貼土坑・方形土坑拡大図



4号水場 (井戸)

位置 宇22-1
 縦横 1.41×2.00m
 深 1.15m
 出土遺物 白磁器、定規型、
 瓦臼、五輪埴、銅牌

—25.40m

0 1m



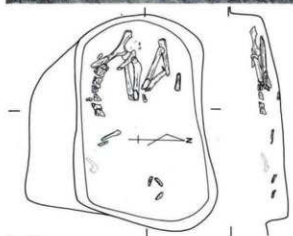
5号馬埋葬坑

位置 宇33-11
 縦横 1.41×2.95m
 深 0.22m
 埋葬 背裡、下腿が埋め



38号方形土坑

位置 宇33-1
 縦横 1.85×1.66m
 深 0.22m



—24.90m

0 50cm

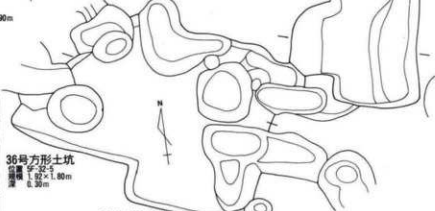


36号方形土坑

位置 宇35-5
 縦横 1.92×1.00m
 深 0.30m

37号方形土坑

位置 宇32-1
 縦横 2.38×1.70m
 深 0.30m



—25.40m

—25.10m

0 1m

37号方形土坑

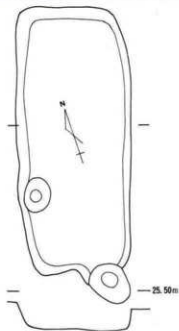
图242 水場・馬埋葬坑・方形土坑拡大図



40号方形土坑



41号方形土坑



46号方形土坑
位置 9°-23-21
规格 1.53×1.42m
深 0.33m



43号方形土坑
位置 9°-23-21
规格 1.45×1.06m
深 0.20m



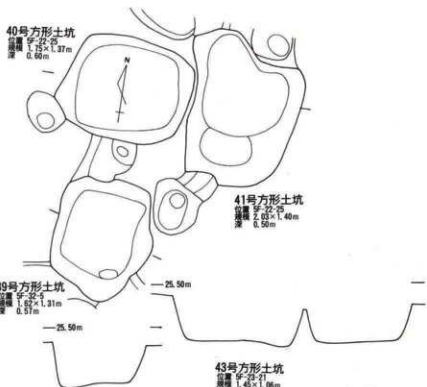
42号方形土坑
位置 9°-23-21
规格 1.53×1.22m
深 0.30m



47号方形土坑
位置 9°-23-21
规格 2.05×1.62m
深 0.33m



48号方形土坑
位置 9°-23-21
规格 1.46×1.42m
深 0.24m



40号方形土坑
位置 9°-23-21
规格 1.53×1.37m
深 0.60m

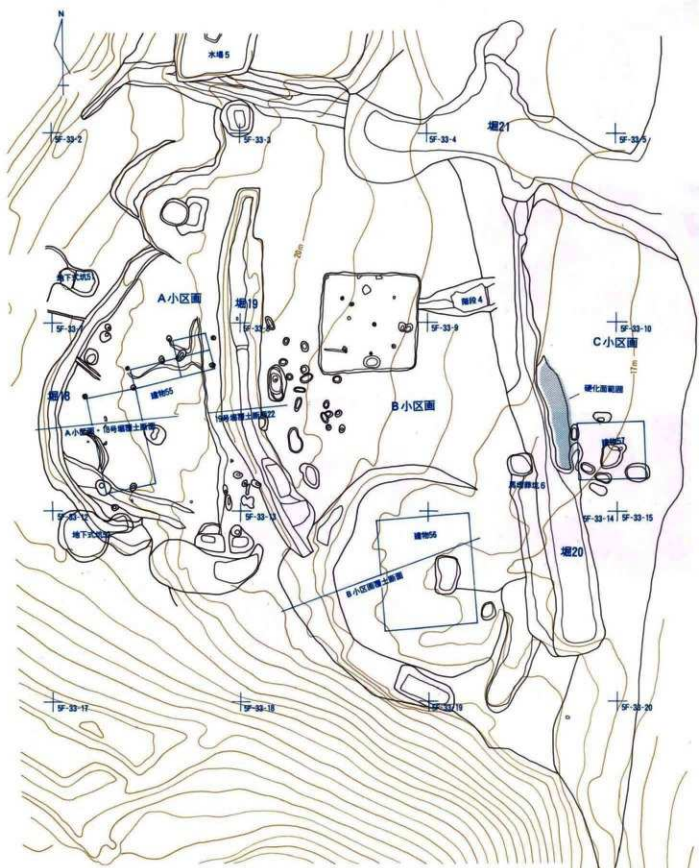
41号方形土坑
位置 9°-23-21
规格 2.03×1.40m
深 0.50m

39号方形土坑
位置 9°-23-21
规格 1.62×1.31m
深 0.57m



图243 方形土坑扩大图

0 1m



20号堀
 位置 SF-33-4~33-14
 長さ 26.8m
 幅 1.8~2.5m
 深さ 0.5~1.7m
 形状 矩形
 出土遺物 土師土器・須賀、菅原
 内瓦土器、茶臼、石臼
 標高18m台に築られ、21号堀に接続する。

21号堀
 位置 SF-33-22~33-5
 長さ 32.5m
 幅 0.5~3.8m
 深さ 0.5~0.8m
 形状 南縁式
 出土遺物 菅原型、内瓦土器、磁石、
 土師土器、土師土器
 19号区画24号土師土器遺下より出土。5号水堀を
 横切って、谷底に注ぐ排水目的の堀である。

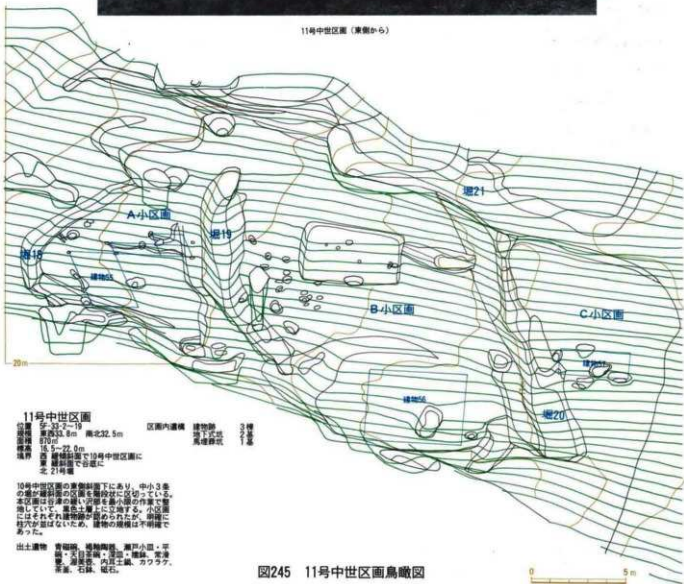
57号建物跡
 位置 SF-33-9-10
 主軸 N-S-W
 幅 2m
 長さ 2m
 深さ 0.00~3.00m
 柱穴間隔 2.30~3.40m
 柱穴径 0.20~0.30m
 建物跡の西端、25号堀沿いに、
 竪断面のため、段は明確でない。

4号階段跡
 位置 SF-33-4
 主軸 N-21°-E
 長さ 4.10m
 幅 0.3~1.2m
 高さ (土層) 0~1.8m
 竪断面のため、段は明確でない。

図244 11号中世区画平面図



11号中世区画（東側から）



11号中世区画

位置 59-32-70
 東西長 8m 南北長 5m
 面積 40㎡
 遺構 15、17-22、0m
 調査 発掘調査で11号中世区画に
 関する調査で発見
 年 北、21号層

区画内遺構 建物跡
 地下瓦器
 瓦葺き跡
 3棟
 17号層

10号中世区画の敷居跡の下にあり、中3号の堀が掘削後の区画を覆っている。この区画は谷津の緩い河原を最小限の作業で整備している。遺構はほとんど消失する。小区画にはそれぞれ建物跡が認められたが、単独に埋没が認められないため、建物の規模は不明確であった。

出土遺物 青磁碗、埴輪筒形、瀬戸小皿、土器・灰土器類・土師、雑鉢、完形壺、湯瓶、内土鍋、方ワラフ、瓦釜、石皿、瓦片

図245 11号中世区画鳥瞰図

0 5m



—21.50m 55号建物跡(南側から)

55号建物跡

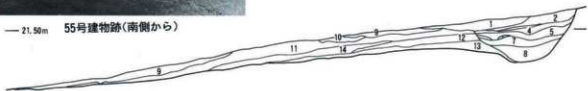
位置 伊-33-7
主軸 N-10°-W
形状 不明
幅 約 1.00m
柱穴数 9
柱穴深さ 0.2-0.30m
掘出した部分はいずれも浅く、すべてではないため、配列不明。

18号堀

位置 伊-33-2-33-12
幅 20.0m
延長 0.2-1.2m
深さ 0.7-0.8m
形状 両端柱
出土遺物 瀬戸小皿、常滑甕
内耳土層、灰土
11号地下式部の上に落ち、覆り直し
が認められる。55号建物跡に対する溝
水溝か。

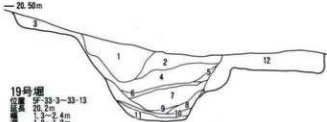
A・18号堀覆土断面図

- 1 暗灰褐色土(砂が多く、ロームが少し混じり、締まる)
- 2-5・7-8 灰-暗灰褐色砂層群(黒色土が混じり、締まる)
- 6 灰褐色粘土
- 9 暗褐色土(砂が混じり、締まる)
- 10 褐色土(砂が混じり、締まる)
- 11-14 黄-灰褐色土層群(砂が混じり、締まる)



—20.50m

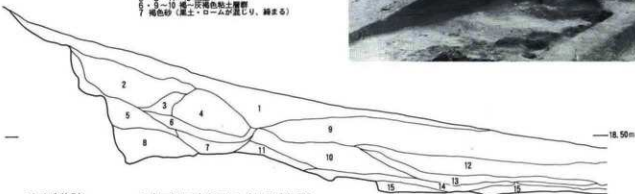
56号建物跡(南側から)



19号堀
位置 伊-33-3-33-13
幅 20.2m
延長 1.3-2.4m
深さ 1.0-1.2m
形状 両端柱
出土遺物 瀬戸深皿、内耳土層

19号堀覆土断面図22

- 1-4 黄褐色土層群(砂・黒土が混じり、締まる)
- 5・8・11-12 灰土
- 6・9-10 黄-灰褐色土層群
- 7 褐色砂(黒土・ロームが混じり、締まる)



56号建物跡

位置 伊-33-13-14
主軸 略N-4°-W
形状 不明
幅 約 5.00m
柱穴数 0
柱穴深さ 不明
内側に濠掘り地盤して、建物を建てたと考えられる。地盤が敷のかい砂地であるため、柱穴は検出して不明。

B 小区画覆土断面図(56号建物跡)

- 1・3・7・9・11-14 暗褐色砂(暗褐色土が混じり、締まる)
- 2 褐色砂
- 4 黄褐色土(褐色砂が混じり、締まる)
- 5 暗褐色土(褐色砂が混じり、締まる)
- 6・15 赤褐色砂
- 8 灰色砂(堆山)

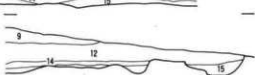


図246 11号区画・堀覆土断面図

0 1m

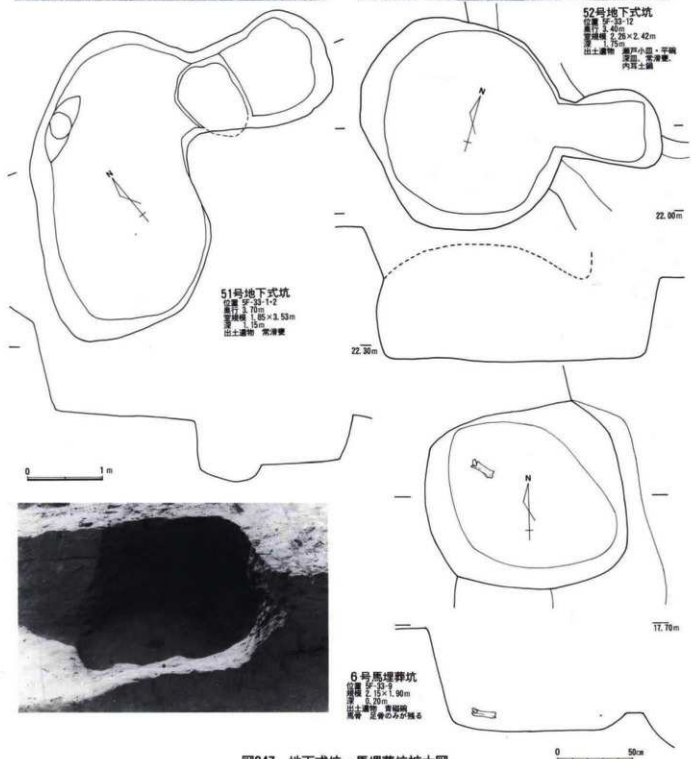


圖247 地下式坑・馬埋葬坑拡大圖

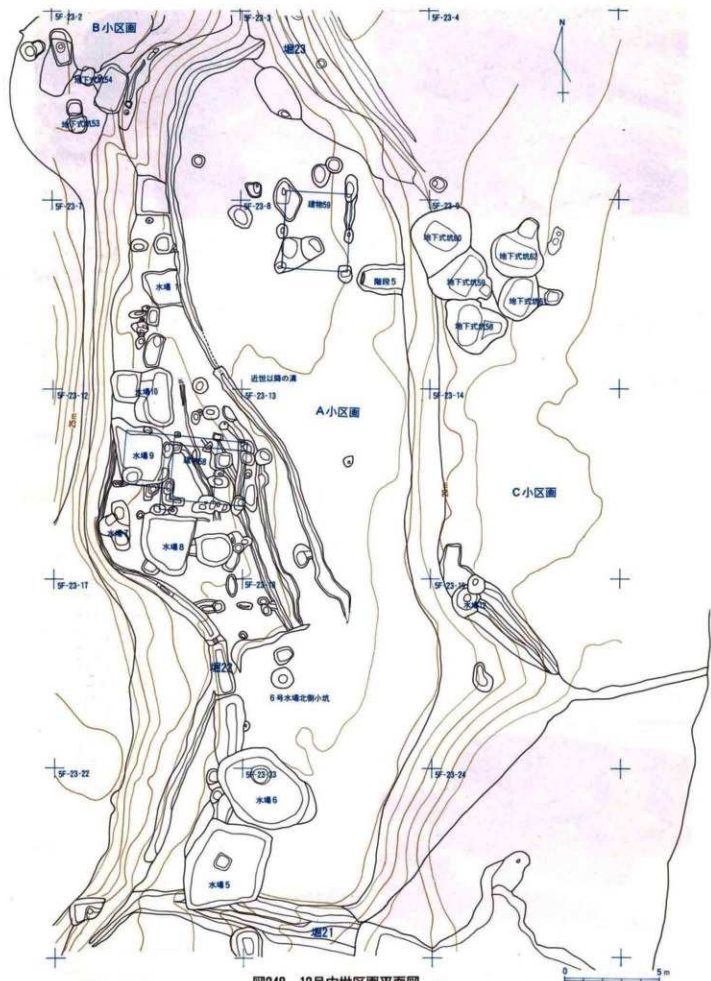
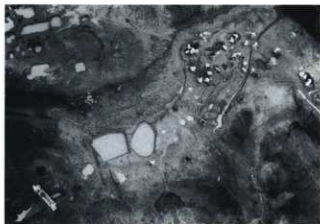


图248 12号中世区画平面图



12号中世区画（上空から）



12号中世区画（北側から）

12号中世区画
 位置 9-13-29-23-1~25
 面積 33.9m² 幅 23.5m
 高さ 1.310m
 11.0~23.0m
 境界 西 角部部の埋戻し
 埋戻しで区画に
 属 21号車 北 23号車

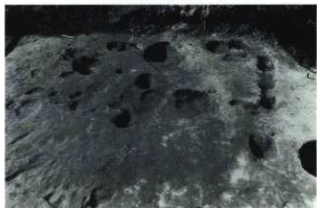
区画内遺構
 建物跡 2棟
 地下式坑 16基
 水堀 8基
 階段 1基

出土遺物 青磁餅、褐釉陶器、瀬戸天目茶
 筒・茶碗、常滑壺、須恵器、内
 土器、カクツ、石鉢、磁石、
 瓦片、宝鏡印等。

11号中世区画と13号中世区画との間にあり、
 斜面を補助的に築いた区画で、段差を有して
 3つの小区画に分けられる。中央のA小区
 画は地下式坑にあたり、井戸を含む水堀が
 多くあり、他の区画とは趣向を異にする。

5号階段跡

位置 9-23-8
 方向 N-30°-W
 高さ 2.50m
 幅 1.0~1.1m
 (上部) 3~1.6m
 1段のみの覆り込みである



5号階段跡

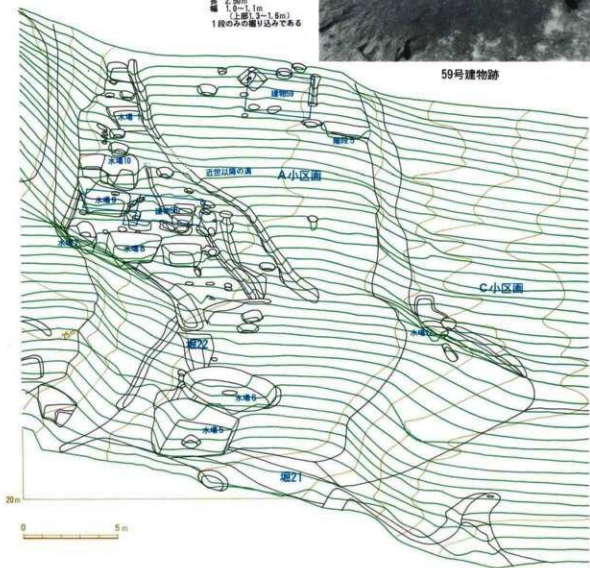
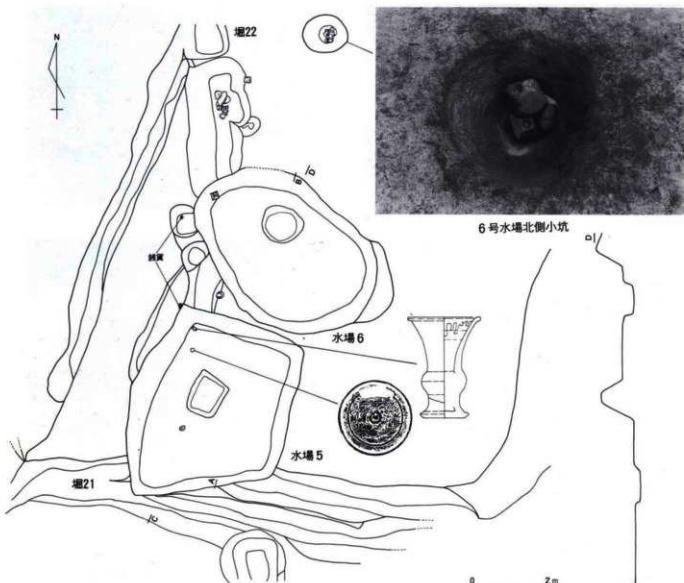


図249 12号中世区画鳥瞰図



6号水場北側小坑



5・6号水場 (南側から)

5号水場

位置 字-22-22
 経度 14°4.28'N
 緯度 0.85m
 出土遺物 黒戸瓦、和紙に
 方角の痕跡を認める。よく落
 水するところから、浴槽など
 の低い土台での水場を想定
 する。黒戸瓦片と和紙は埋納
 状態で出土。

6号水場

位置 字-22-23
 経度 14°4.56'N
 緯度 0.90m
 出土遺物 瓦輪埴
 5号水場と同様の用途であつた
 と推定する。

22号壇

位置 字-22-12-23-22
 経度 29.5m
 緯度 0.4~1.8m
 幅 0.7~8m
 形状 円錐形

出土遺物 瓦輪埴
 2号水場から6号水場までつながり、
 排水溝とつながり、排水路であるか。
 途中に2号水場がある(2号水場、水止
 めは切りがあり、6号水場の手前
 で蓋が設けられる。

6号水場北側小坑

位置 字-22-23
 経度 23°×1.00m
 幅 1.7m
 出土遺物 瓦輪埴

- 層序 1・7・10 区一地区褐色砂層群
 2~3 褐色粘土 (粘土・砂が混じり、締まる)
 4~5・8・11・13-16 褐色粘土層群 (砂・木炭が混じり、締まる)
 6 褐色砂 (粘土・木炭が少し混じり、締まる)
 9 褐色粘土
 12 地区褐色粘土 (砂が混じり、締まる)

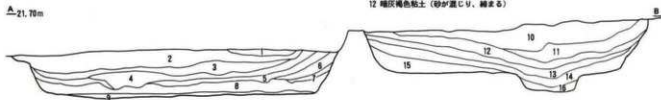


図250 5・6号水場拡大図



6号水場（西側から）



5号水場（西側から）



6号水場（西隅の花瓶と五輪塔）



5号水場（北西隅の花瓶と和鐘）

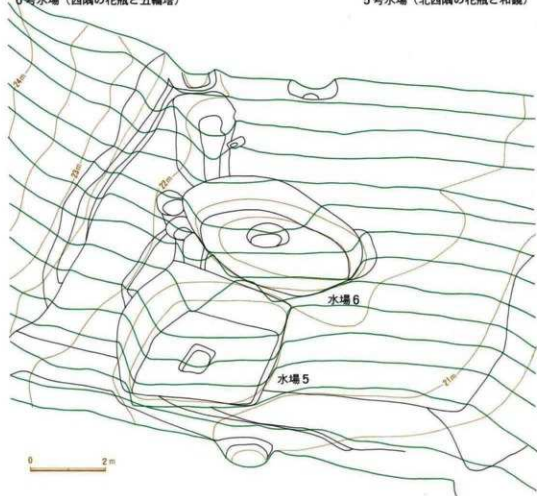


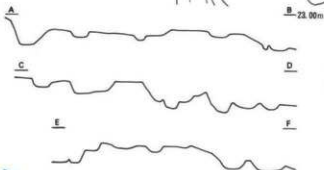
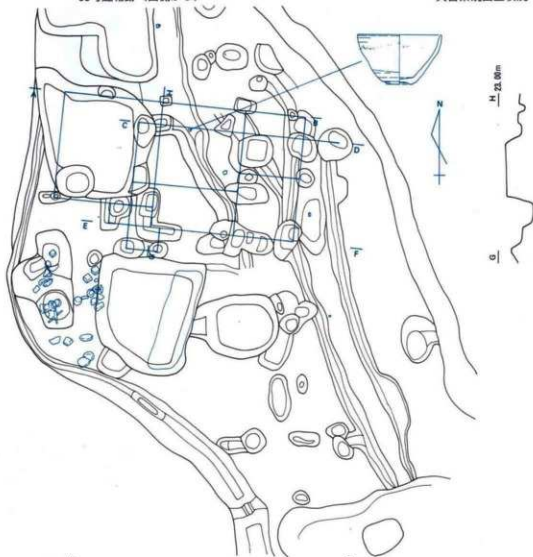
図251 5・6号水場鳥瞰図



58号建物跡（西側から）



天目茶碗出土状況



58号建物跡
 位置 SF-23-12
 平面 9.3×9.1-E
 軒行 4間
 梁行 4間
 梁幅 0.43×3.95m
 柱穴総数 23
 柱穴径φ 0.15~0.65m
 出土遺物 瀬戸天目茶碗

59号建物跡
 位置 SF-23-3-8
 平面 約14.1×1-E
 軒行 5間
 梁行 1間
 梁幅 1.10×3.50m
 柱穴総数 8
 柱穴径φ 0.3~0.5m

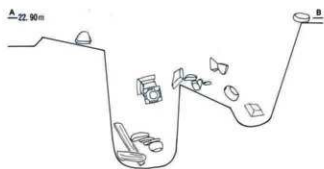
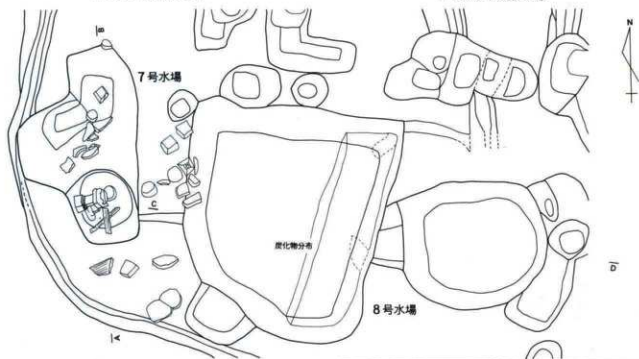
図252 58号建物跡拡大図



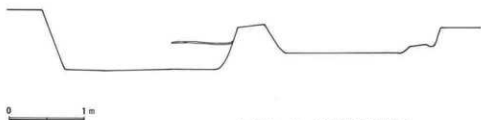
7号水場 (南側から)



7号水場 (北側から)



C 22.90m



0 1m

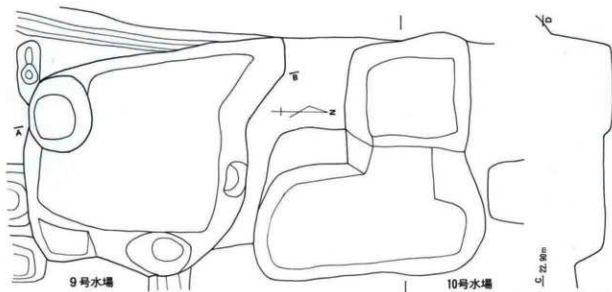


8号水場 (西側から) D

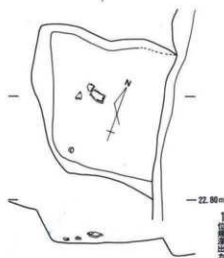
7号水場
 位置 9・23-12
 規模 長 10×1.56m
 深 1.36-1.91m
 出土遺物 石輪、文様印埴、木札
 3基の井戸穴からなり、井戸内及び石輪水場との間から、多数の石輪跡が出土。

8号水場
 位置 9・23-12
 規模 長 6.5×3.96m
 深 0.39-0.59m
 出土遺物 石輪埴
 大小2基の井戸からなり、7号水場に隣接して、水を溜め、5号水場と同様の用途であったろう。高野遺跡土中位の東3分の1の範囲に炭化物分布が見られた。

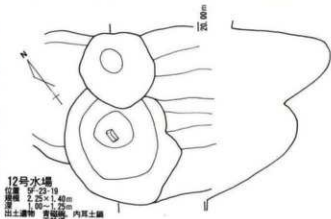
図253 7・8号水場拡大図



9・10号水場（東側から）



11号水場
 位置 5F-23-1
 規模 1.85×1.73m
 深 0.43m
 出土遺物 内瓦土鍋、カワラケ
 カワラケが認められる程に出
 土したことから、水場機能が
 行われなかったであろう。



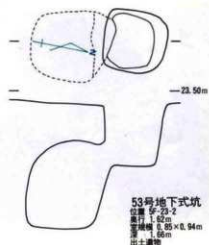
12号水場
 位置 5F-23-19
 規模 2.25×1.48m
 深 0.92~1.75m
 出土遺物 五輪埴、内瓦土鍋

図254 9～12号水場拡大図

0 1m



0 5m 12号中世区画内B小区画



54号地下式坑
位置 5F-23-2
通行 1.40m
室幅横 西壁1.78×2.96m
東壁1.23×2.14m
深 西壁0.92m 東壁0.8m
2室式

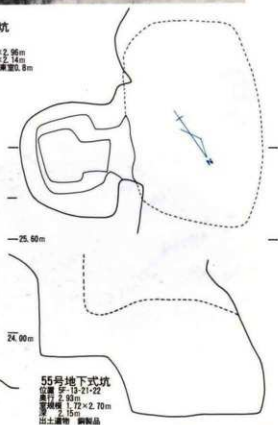
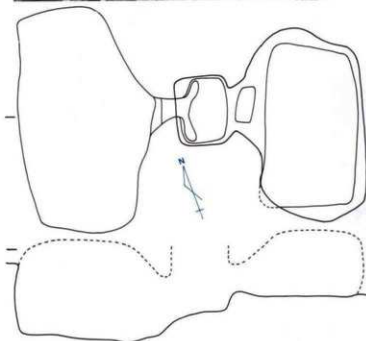
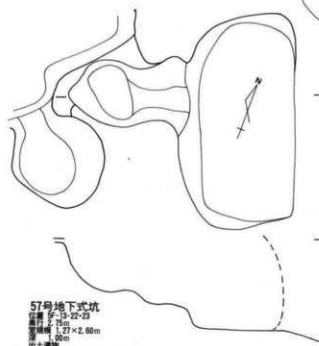


图255 12号中世区画内B小区画·地下式坑拡大図

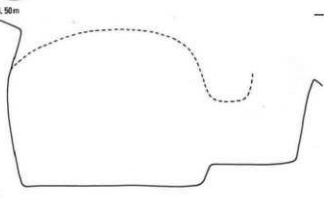
0 1m



56号地下式坑
 位置 号-13-22
 形状 長方形
 深さ 2.30m
 幅 1.00m
 高さ 1.55m
 注 2.10m
 字の右側にさらに副室がある



57号地下式坑
 位置 号-13-22-23
 形状 長方形
 深さ 2.27m
 幅 2.60m
 高さ 1.00m
 出土遺物 土師器
 遺物は13号中世区画に附る



58号地下式坑
 位置 号-13-23
 形状 長方形
 深さ 2.30m
 幅 1.22m
 高さ 2.16m
 注 1.70m
 出土遺物 土師器
 遺物は砂層のため、崩落が顕著

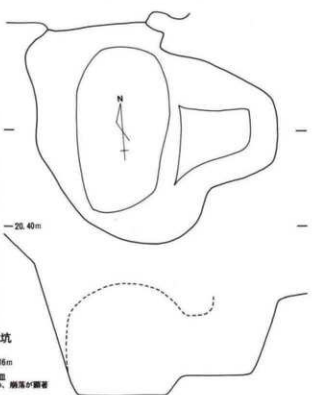
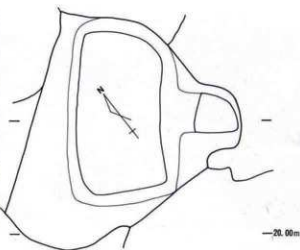
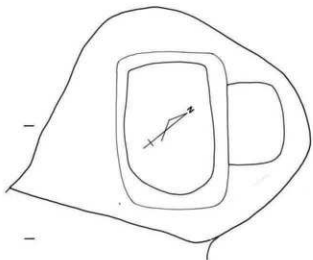


図256 56～58号地下式坑拡大図

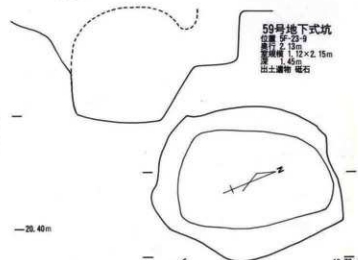




-20.00m



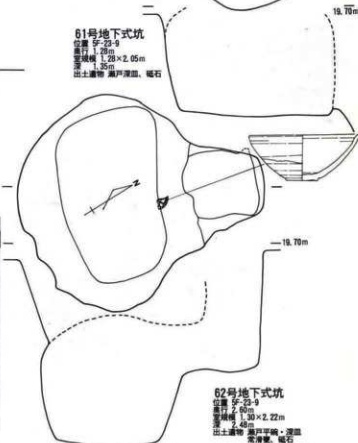
-20.40m



19.70m

60号地下式坑
位置 9-23-9
面积 7.13m²
室规模 1.20×1.74m
深 1.50m
出土遗物 磁石、玉轴等

61号地下式坑
位置 9-23-9
面积 1.28m²
室规模 1.28×2.05m
深 1.25m
出土遗物 鹿角漆器、磁石



-19.70m

62号地下式坑
位置 9-23-9
面积 7.60m²
室规模 1.33×2.22m
深 2.48m
出土遗物 鹿角漆器、漆器、常滑磁、磁石

0 1m

图257 59~62号地下式坑扩大图



13号中世区画
(上空から)



13号中世区画
(北側から)



65号建物跡と
16号水場 (西側から)

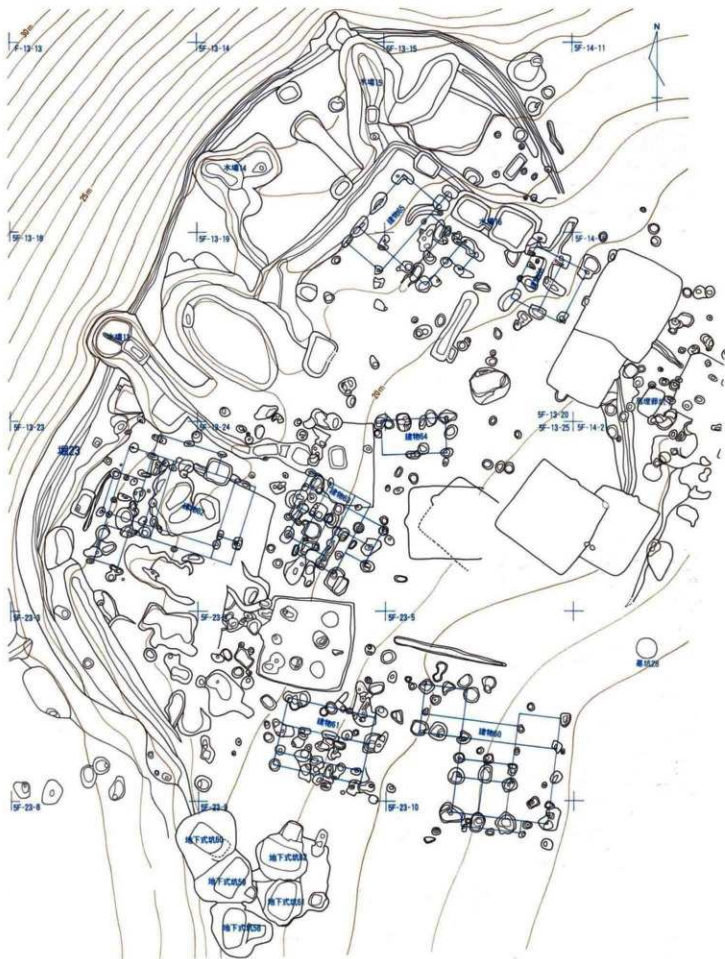


图258 13号中世区画平面图



13号中世区画南部（上空から）



13号中世区画北部（上空から）

13号中世区画

位置 宇-13-14-25-23-3-5
 東西33.5m 南北42.8m
 面積 1,433㎡
 高さ 13.3-22.5m
 境界 西 地蔵堂の遺蹟
 東 跡地まで延び、南北、23号線

13号中世区画の北部にあり、城山へ通じる尾形路の東側崖下に展開する。その跡地を掘削したことで、遺構が明らか。山脚から南北に23号線が区画を縦むように走る。地下水位に当たり、湧水を利用した水堀もあり、その南北方向上流に、崖面へ1基樋出した。また北西隅現状に小規模な中世遺構を抽出した。

出土遺物 青磁碗、瀬戸小皿、平碗、銅皿・空皿、土器、瓦葺き、鉢、茶碗、内耳土鍋、茶釜、カワラ、テ、石灯籠、石臼、磁、瓦、打石、瓦葺き、土器瓦片、磁器。

13号中世区画北部（上空から）

区画内遺構 建物跡 7棟
 土溝 1基
 水堀跡 1基
 高壇跡 1基

62号建物跡

位置 宇-13-23-24
 面積 N 20°-E
 軒行 5間
 行 4間
 規模 7.40×1.40m
 柱穴幅数 25
 柱穴深さ 0.3-0.5m

64号建物跡

位置 宇-13-25
 面積 N 20°-E
 軒行 3間
 行 2間
 規模 1.45×1.83m
 柱穴幅数 15
 柱穴深さ 0.3-0.5m

63号建物跡

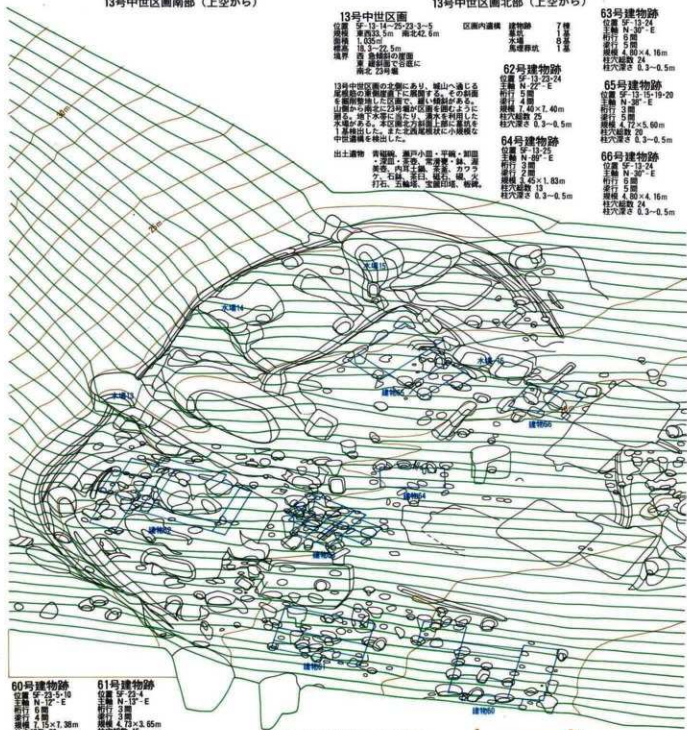
位置 宇-13-24
 面積 N 20°-E
 軒行 5間
 行 5間
 規模 4.00×4.16m
 柱穴幅数 24
 柱穴深さ 0.3-0.5m

65号建物跡

位置 宇-13-15-19-20
 面積 N 20°-E
 軒行 3間
 行 5間
 規模 4.12×5.60m
 柱穴幅数 20
 柱穴深さ 0.3-0.5m

66号建物跡

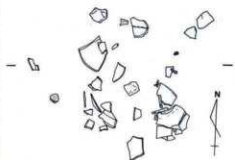
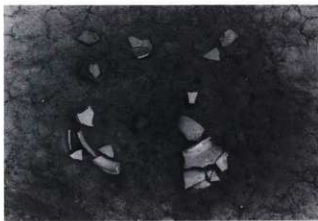
位置 宇-13-24
 面積 N 20°-E
 軒行 6間
 行 6間
 規模 4.00×4.16m
 柱穴幅数 24
 柱穴深さ 0.3-0.5m



60号建物跡
 位置 宇-23-5-10
 面積 N 12°-E
 軒行 6間
 行 4間
 規模 5.3×7.38m
 柱穴幅数 29
 柱穴深さ 0.3-0.5m

61号建物跡
 位置 宇-23-4
 面積 N 15°-E
 軒行 3間
 行 2間
 規模 1.7×3.05m
 柱穴幅数 15
 柱穴深さ 0.3-0.5m

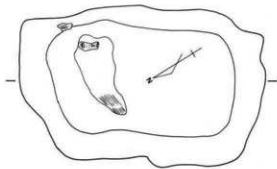
図259 13号中世区画鳥瞰図



28号墓坑
 位置 字-24-1
 位置 1.30×1.10m
 深 0.75m
 出土遺物 瓦片、土器、人骨、足骨が残っていた。常滑等は完全ではなく、各箇所の破片が散りまわったように見えたもので、骨は次第に散っていない。



29号墓坑
 位置 字-2-15
 位置 0.80×0.82m
 深 0.50m
 出土遺物 鉄剣等が残っており、麻布の付いた鉄剣7枚が出土した。

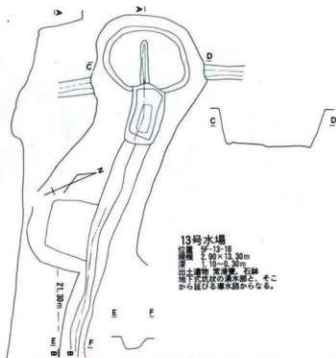


7号馬埋葬坑
 位置 字-13-2
 位置 1.05×1.09m
 深 0.43m
 出土遺物 馬七匹、馬骨は骨のみが残っていた。

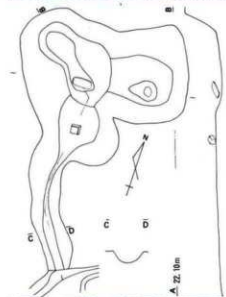


図260 28・29号墓坑・7号馬埋葬坑拡大図

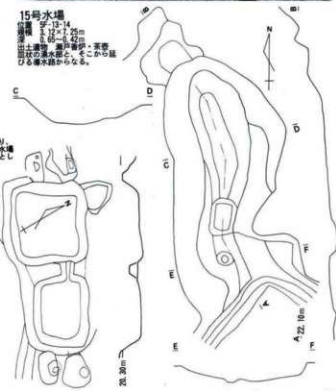
0 50cm



13号水場
 位置 宇-13-13
 面積 2.60×13.30m
 水深 1.10-1.30m
 土壌 土壌層 常陸砂、石礫
 地下水位の高低部と、そこ
 から流れる湧水路からなる。



14号水場
 位置 宇-13-14
 面積 4.40×6.80m
 水深 0.90-1.30m
 土壌 土壌層 常陸砂、石礫
 地下水位の高低部と、そこ
 から流れる湧水路からなる。



15号水場
 位置 宇-13-14
 面積 3.12×2.20m
 水深 0.40-0.43m
 土壌 土壌層 常陸砂、茶苔
 地下水位の高低部と、そこ
 から流れる湧水路からなる。

16号水場
 位置 宇-13-15
 面積 4.20×2.00m
 水深 0.45-1.05m
 土壌 土壌層 内瓦土層
 大小芝草の方形坑からなり、
 隙は溝でつながり、15号水場
 からの水を導き、洗い場とし
 て使われたか。

図261 13～16号水場拡大図



14号中世区画と
谷奥部（西側から）



14号中世区画と
谷奥部（東側から）



67号建物跡
（北東側から）

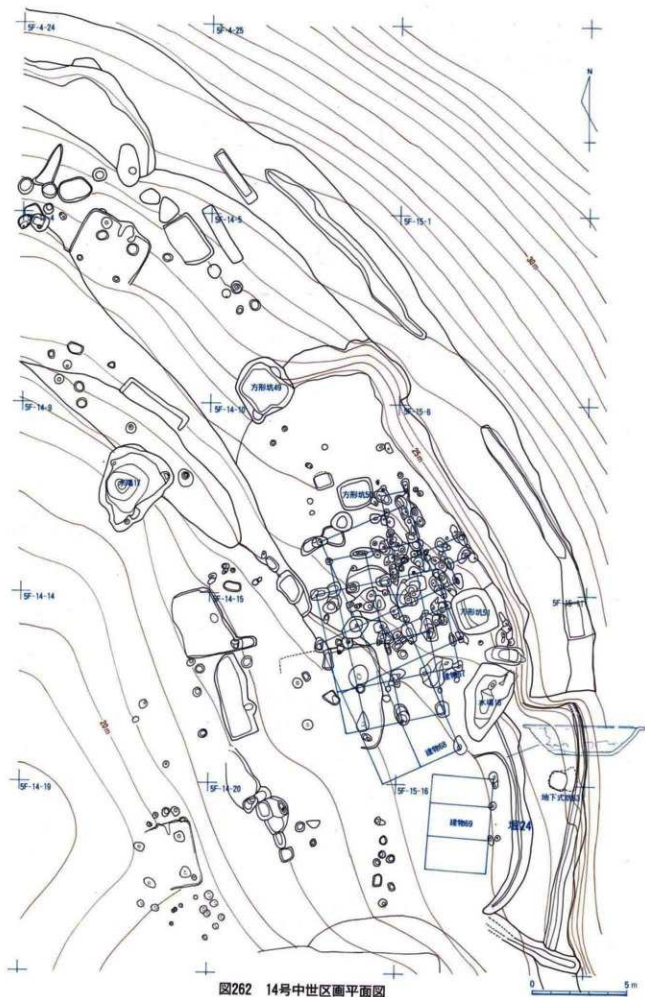


图262 14号中世区画平面图



14号中世区画（南側から）

14号中世区画

位置 57-14-5-20-15-5-16
 位置 東西20.0m 南北20.5m
 面積 510m²
 標高 21.2~25.5m
 境界 東 自然林の裾野
 南 道路跡で古堀に
 南定 段差

区画内遺構

建物跡 2棟
 地下式坑 1基
 水溝 3基
 方形坑 3基

出土遺物

瀬戸内器、不目黒器、渡田・菅
 澤器、赤土器、西耳土器、石鉢、
 磁石、火打石。

13号中世区画と道路を挟んだ南側にあり、神山古遺跡のある地域の西側下の跡地跡を掘発された区画である。区画は緩い勾配を地盤として、地下室がないため西側斜面と南側に水溝を設けている。区画南端は山崩れに基を付とした建物があるが、柱穴が明確でなく配列が不明であった。

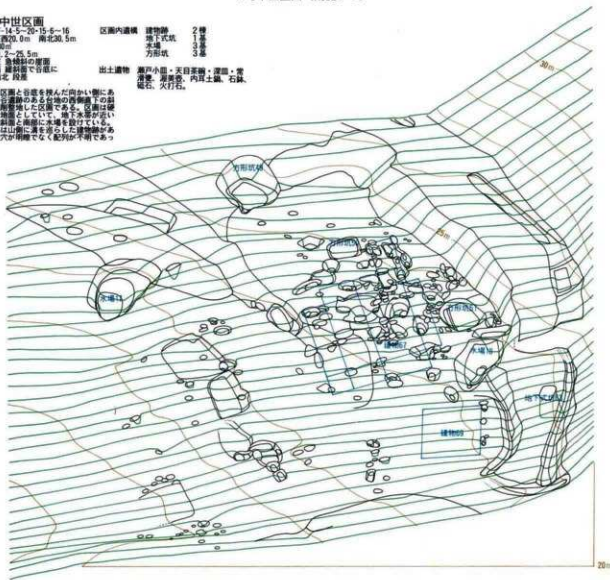


図263 14号中世区画鳥瞰図

0 5m

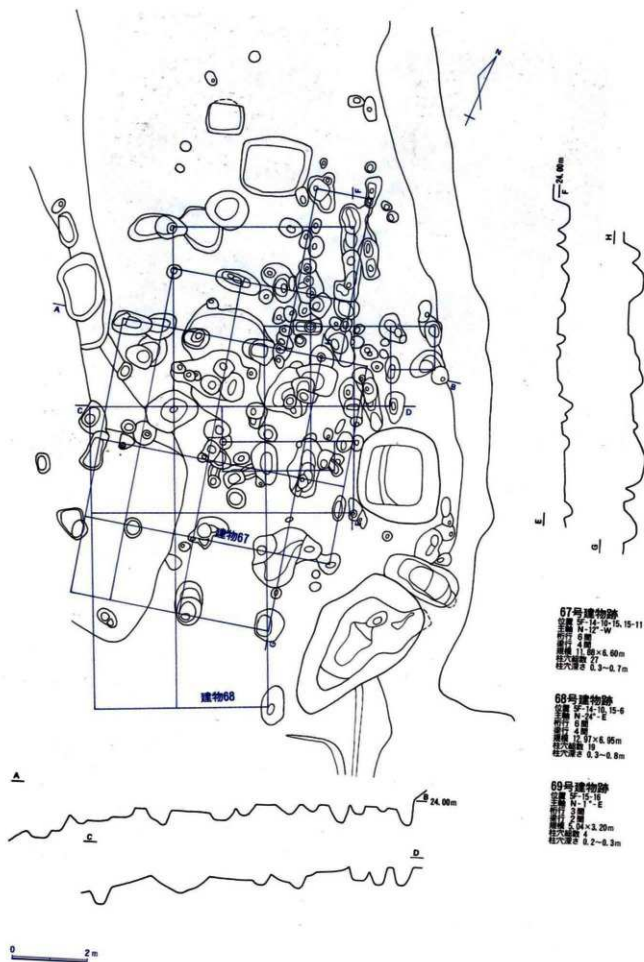
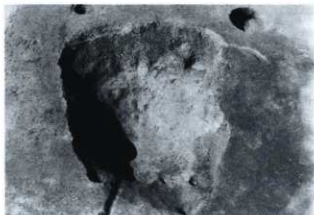
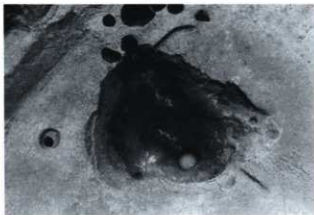


図264 67・68号建物跡拡大図



17号水場 (南側から)



17号水場 (上空から)



17号水場覆土断面



17号水場周囲圆柱材出土状態

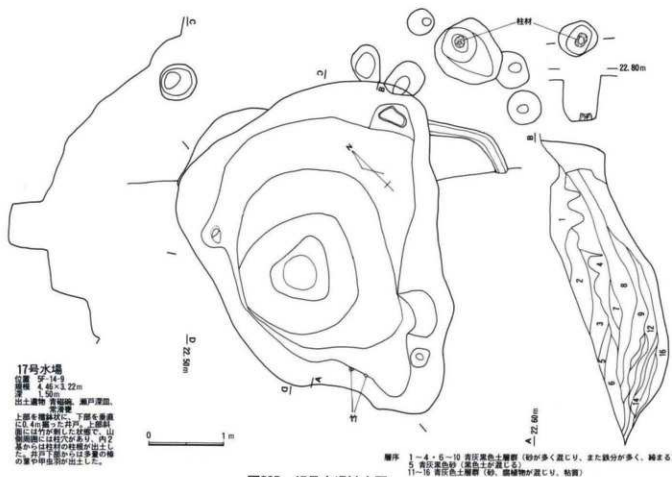
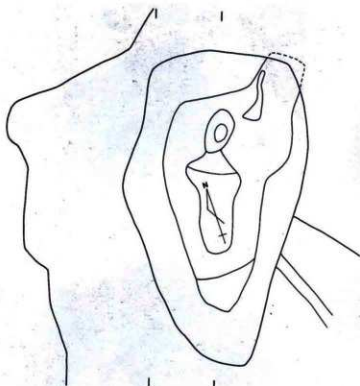
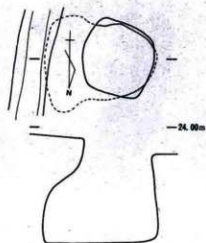


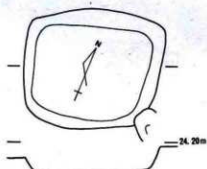
図265 17号水場拡大図



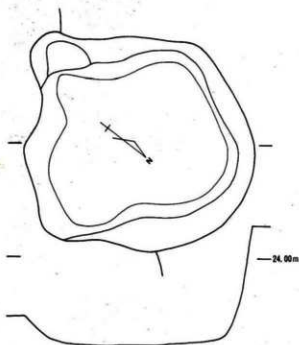
18号水場
位置 SF-11
面積 1.77×2.25m
深さ 0.40m
出土遺物 瓦葺
地下水管を備えて山腹に掘り込んだ瓦葺。



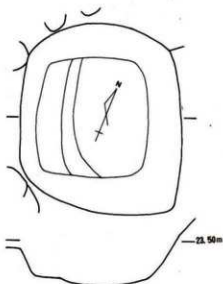
63号地下式坑
位置 SF-15-11
面積 1.42m²
深さ 1.80×1.25m
出土遺物 瓦葺・瓦葺



50号方形坑
位置 SF-14-10
面積 1.00×1.00m
深さ 0.30m
出土遺物



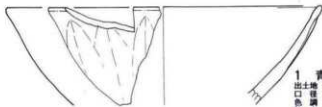
49号方形坑
位置 SF-14-5
面積 1.00×1.05m
深さ 0.40m
出土遺物 瓦葺



51号方形坑
位置 SF-15-11
面積 2.20×2.12m
深さ 0.50m
出土遺物

0 1m

図266 水場・地下式坑・方形坑拡大図



1 青磁蓮弁文碗
 出土地 SF-21-3
 口径 16.0cm
 色 靑
 胎 灰
 土 期 13c



2 青磁蓮弁文碗
 出土地 SF-21-3
 高 4.5cm
 口径 11.0cm
 底径 4.0cm
 色 靑
 胎 灰
 土 期 13c

3 青磁蓮弁文碗
 出土地 SF-22-16
 口径 11.0cm
 色 靑
 胎 灰
 土 期 13c



4 青磁蓮弁文碗
 出土地 SF-13-15
 口径 11.0cm
 色 靑
 胎 灰
 土 期 13c

5 青磁蓮弁文碗
 出土地 SF-13-13
 口径 11.0cm
 色 靑
 胎 灰
 土 期 13c



6 青磁蓮弁文碗
 出土地 SF-22-6
 口径 11.0cm
 色 靑
 胎 灰
 土 期 13c

7 青磁碗
 出土地 12号水堀
 口径 4.6cm
 色 靑
 胎 灰
 土 期 13c

8 青磁碗
 出土地 SF-43-12
 口径 11.0cm
 色 靑
 胎 灰
 土 期 13c



9 青磁碗
 出土地 12号水堀SF-42-7
 口径 8.0cm
 色 靑
 胎 灰
 土 期 14c



10 青磁碗
 出土地 SF-23-7
 口径 11.0cm
 色 靑
 胎 灰
 土 期 14c

11 青磁碗
 出土地 12号水堀SF-32-22
 口径 4.3cm
 色 靑
 胎 灰
 土 期 14c

図267 中世の陶磁器①青磁

0 5cm

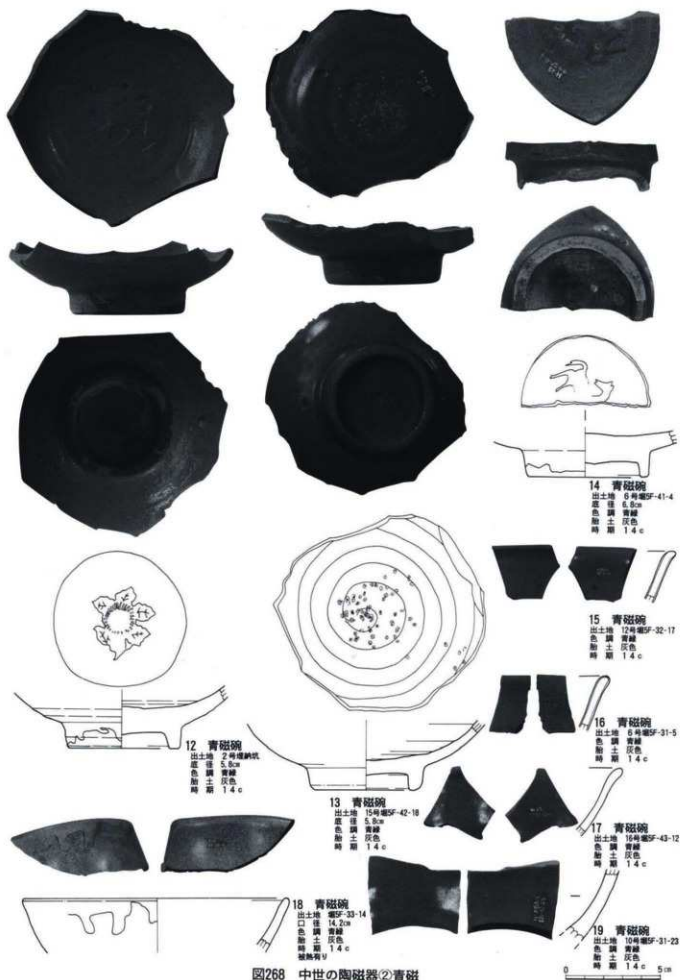


図268 中世の陶磁器②青磁

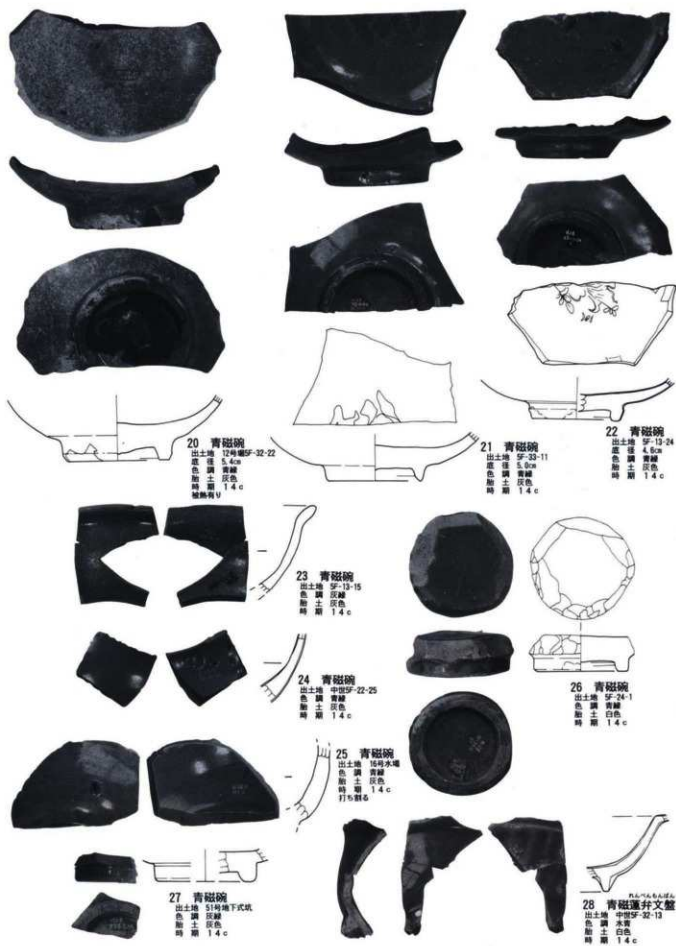


図269 中世の陶磁器③青磁

0 5cm



図270 中世の陶磁器④青磁

0 5cm

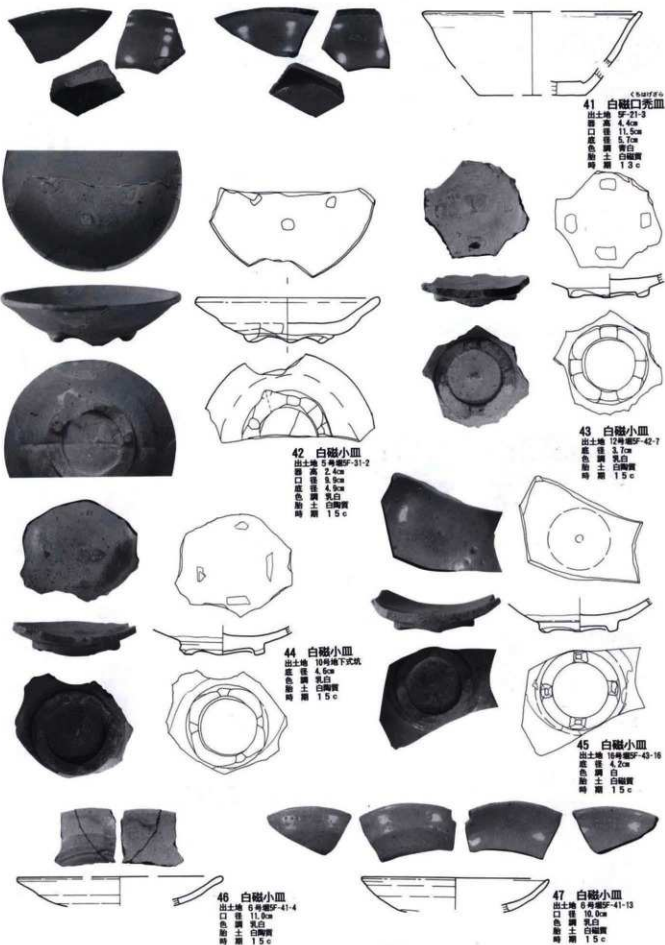


図271 中世の陶磁器⑤白磁

0 5cm



図272 中世の陶磁器⑥白磁

0 5cm

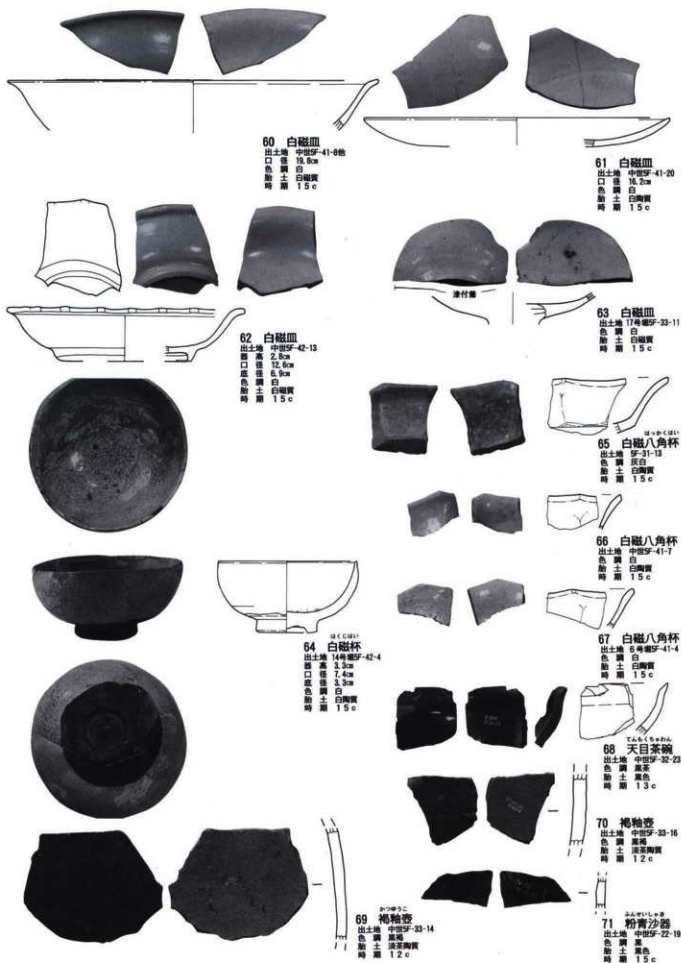
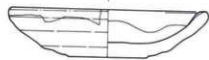
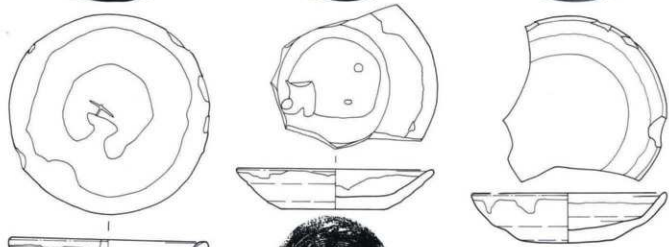


図273 中世の陶磁器の白磁・その他貿易陶磁

0 5cm



72 瀬戸緑軸小皿
 出土地 中世SF-32-19-1
 器 高 2.5cm
 口 径 10.0cm
 底 径 4.2cm
 底 反 軸 淡緑
 胎 土 乳白
 時 期 15c中(鎌IV古)
 観所有り

73 志戸呂緑軸小皿

出土地 5号窟SF-31-3
 器 高 2.1cm
 口 径 10.5cm
 底 径 5.5cm
 底 反 軸 淡緑
 胎 土 乳白
 時 期 15c中(鎌IV古)



74 瀬戸緑軸小皿

出土地 SF-32-3坑
 器 高 2.0cm
 口 径 10.5cm
 底 径 4.0cm
 底 反 軸 淡緑
 胎 土 乳白
 時 期 15c中(鎌IV古)

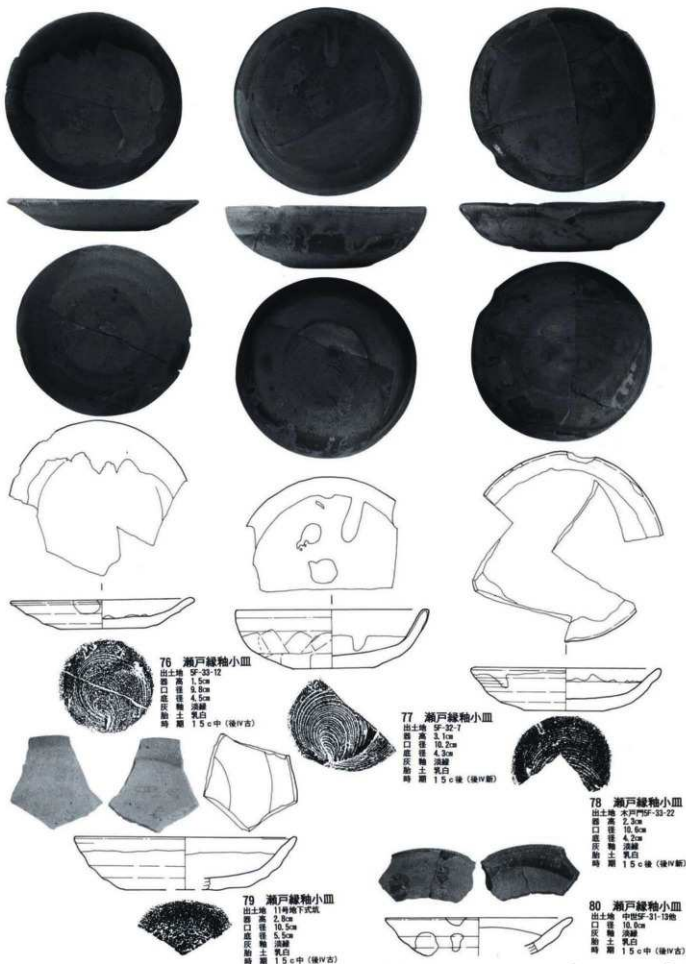


75 瀬戸緑軸小皿

出土地 SF-41-6
 口 径 10.0cm
 底 反 軸 乳白
 胎 土 乳白
 時 期 15c中(鎌IV新)

図274 中世の陶磁器⑧瀬戸緑軸小皿





76 瀬戸緑釉小皿

出土地 9F-33-12
 口径 1.5cm
 底径 0.8cm
 底厚 4.5cm
 胎土 淡緑
 釉土 乳白
 胎厚 1.5cm中 (後IV古)

77 瀬戸緑釉小皿

出土地 9F-32-7
 口径 3.1cm
 底径 2.2cm
 底厚 4.3cm
 胎土 淡緑
 釉土 乳白
 胎厚 1.5cm中 (後IV新)

78 瀬戸緑釉小皿

出土地 水戸門9F-33-22
 口径 2.5cm
 底径 1.6cm
 底厚 4.2cm
 胎土 淡緑
 釉土 乳白
 胎厚 1.5cm中 (後IV新)

79 瀬戸緑釉小皿

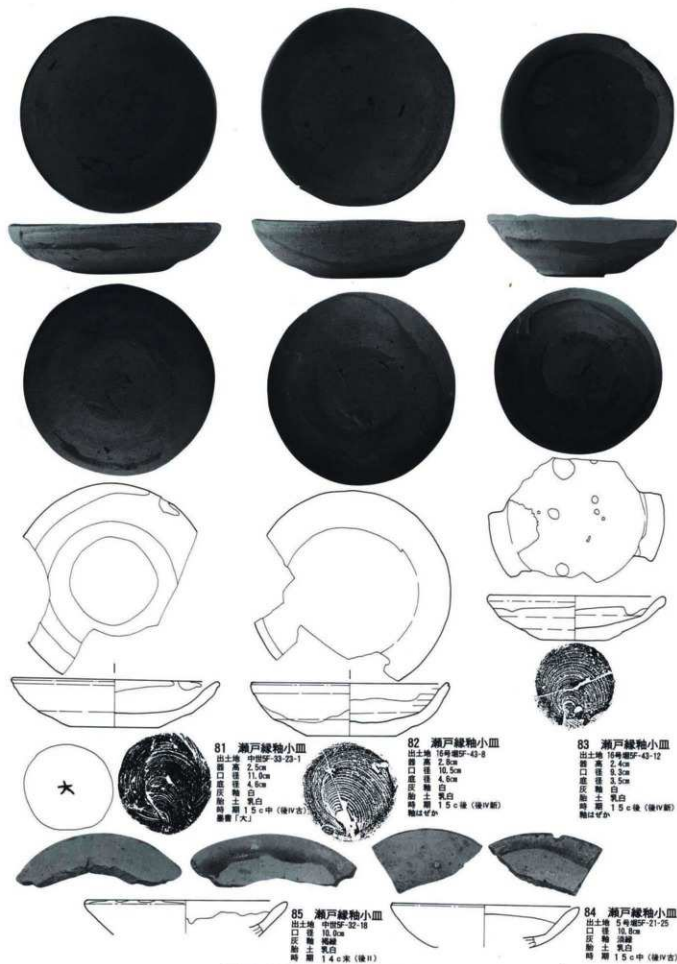
出土地 11号地下式坑
 口径 2.8cm
 底径 1.6cm
 底厚 5.5cm
 胎土 淡緑
 釉土 乳白
 胎厚 1.5cm中 (後IV古)

80 瀬戸緑釉小皿

出土地 中世9F-31-13地
 口径 3.6cm
 底径 2.6cm
 胎土 乳白
 胎厚 1.5cm中 (後IV古)

図275 中世の陶磁器⑨瀬戸緑釉小皿

0 5cm



81 瀬戸緑釉小皿

出土地 中世SF-33-23-1
 器 高 2.5cm
 口径 11.0cm
 口径 径 4.6cm
 底 径 4.6cm
 胎 土 乳白
 釉 土 乳白
 時期 1.5c中 (鎌IV古)
 備考「大」

82 瀬戸緑釉小皿

出土地 16号遺SF-43-8
 器 高 2.5cm
 口径 10.5cm
 口径 径 4.6cm
 底 径 4.6cm
 胎 土 乳白
 釉 土 乳白
 時期 1.5c後 (鎌IV新)
 軸径 4.6cm

83 瀬戸緑釉小皿

出土地 16号遺SF-43-12
 器 高 2.6cm
 口径 9.5cm
 口径 径 3.5cm
 底 径 3.5cm
 胎 土 乳白
 釉 土 乳白
 時期 1.5c後 (鎌IV新)
 軸径 4.6cm

85 瀬戸緑釉小皿

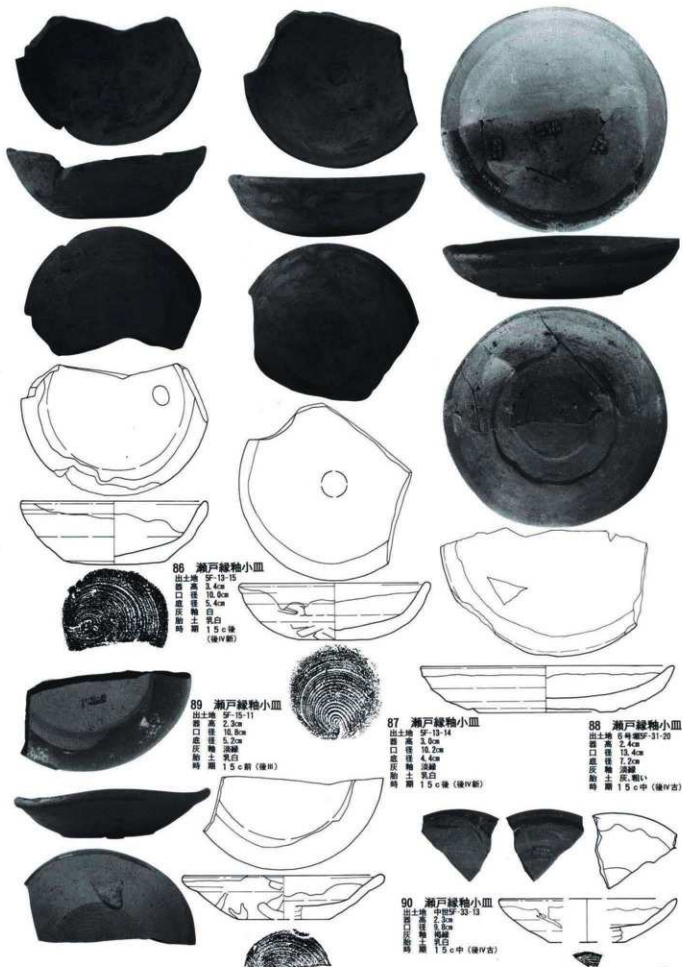
出土地 中世SF-32-10
 口径 10.0cm
 口径 径 4.6cm
 胎 土 乳白
 釉 土 乳白
 時期 1.4c末 (鎌II)

84 瀬戸緑釉小皿

出土地 5号遺SF-21-25
 口径 10.0cm
 口径 径 4.6cm
 胎 土 乳白
 釉 土 乳白
 時期 1.5c中 (鎌IV古)

図276 中世の陶磁器④瀬戸緑釉小皿

0 5cm



86 瀬戸緑釉小皿

出土地 5F-13-15
 口径 10.0cm
 高さ 3.4cm
 釉 淡緑
 土層 乳白
 時期 15c 後
 (後IV期)

89 瀬戸緑釉小皿

出土地 5F-15-11
 口径 5.2cm
 高さ 2.3cm
 釉 淡緑
 土層 乳白
 時期 15c 前 (後III)

87 瀬戸緑釉小皿

出土地 5F-13-14
 口径 10.2cm
 高さ 3.9cm
 釉 淡緑
 土層 乳白
 時期 15c 後 (後IV期)

88 瀬戸緑釉小皿

出土地 6号館5F-31-20
 口径 13.4cm
 高さ 2.4cm
 釉 淡緑
 土層 灰、靑い
 時期 15c 中 (後IV期)

90 瀬戸緑釉小皿

中野5F-33-13
 口径 5.2cm
 高さ 2.3cm
 釉 淡緑
 土層 乳白
 時期 15c 中 (後IV期)

図277 中世の陶磁器①瀬戸緑釉小皿

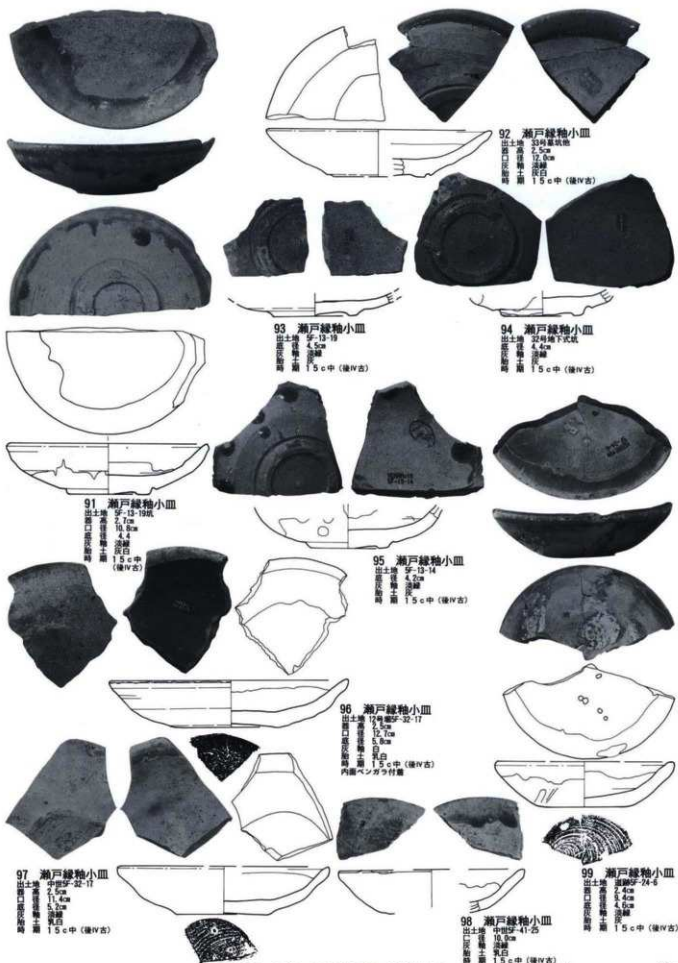


図278 中世の陶磁器⑫瀬戸緑釉小皿

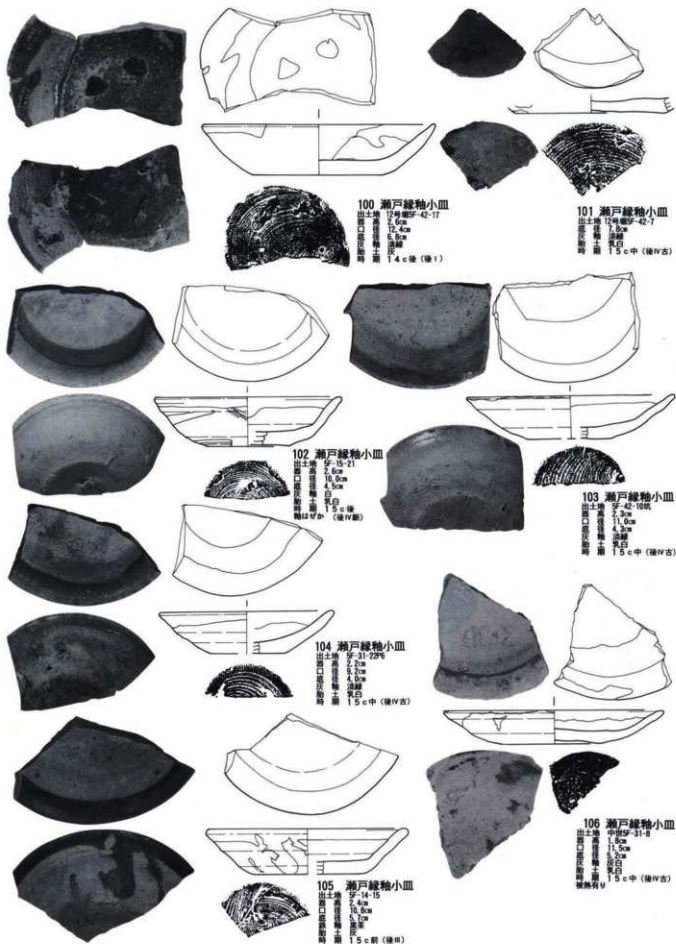
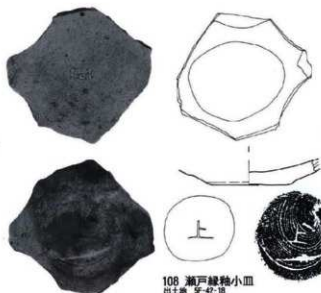


図279 中世の陶磁器⑬瀬戸線軸小皿

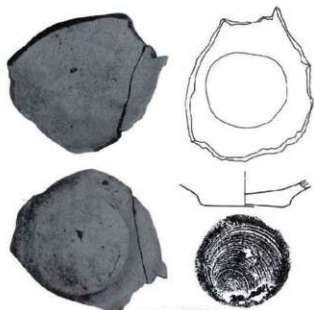
0 5cm



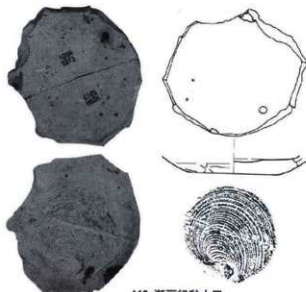
107 瀬戸緑釉小皿
出土地 中野 42-17
出土層 5層
直径 乳白
厚 1.4cm (後II)



108 瀬戸緑釉小皿
出土地 中野 42-18
出土層 5層
直径 乳白
厚 1.5cm (後IV期)
緑釉文字あり



109 瀬戸緑釉小皿
出土地 中野 42-5
出土層 4層
直径 乳白
厚 1.5cm (後IV期)



110 瀬戸緑釉小皿
出土地 中野 14-16
出土層 4層
直径 乳白
厚 1.5cm (後IV古)



111 瀬戸緑釉小皿
出土地 中野 42-2
出土層 4層
直径 乳白
厚 1.5cm (後IV古)



112 瀬戸緑釉小皿
出土地 中野 42-1
出土層 4層
直径 乳白
厚 1.5cm (後IV古)

図280 中世の陶磁器⑭瀬戸緑釉小皿



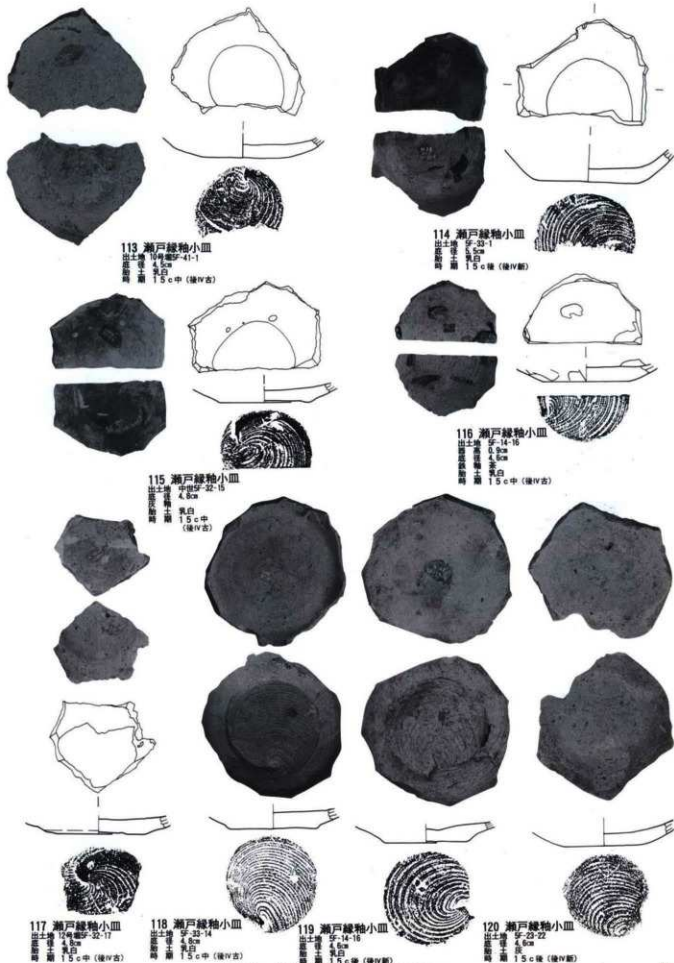


図281 中世の陶磁器⑬瀬戸緑釉小皿

0 5cm

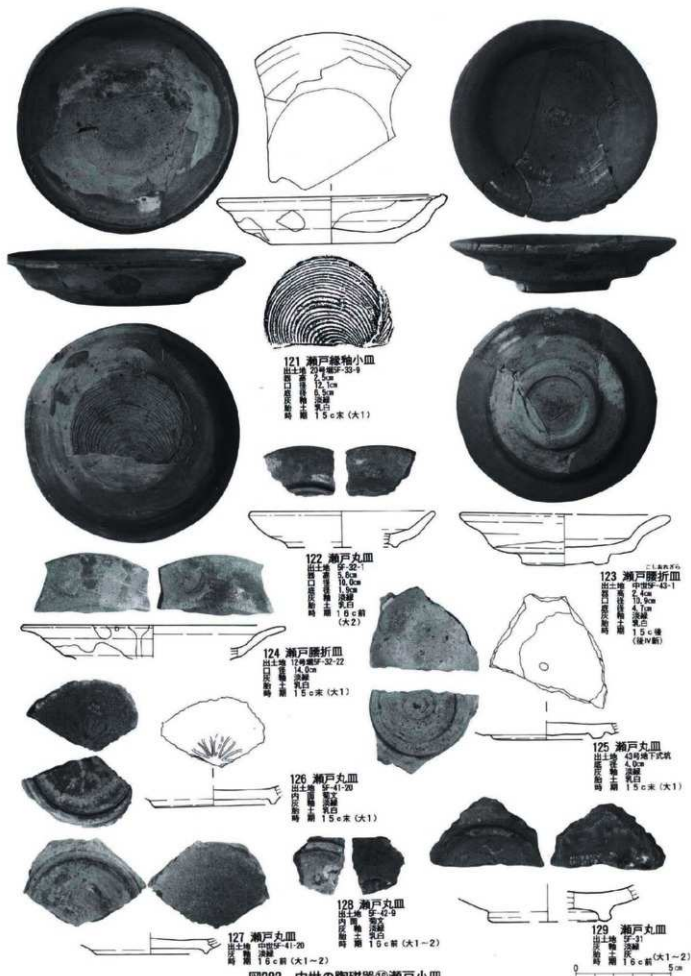


図282 中世の陶磁器⑨瀬戸小皿

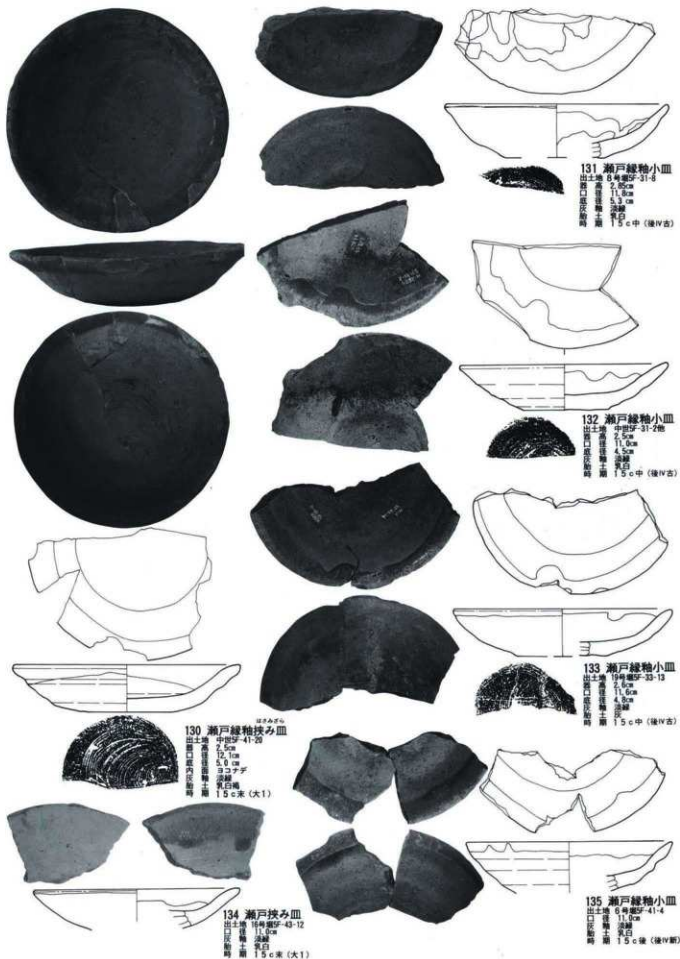


図283 中世の陶磁器①瀬戸緑釉小皿

0 5cm

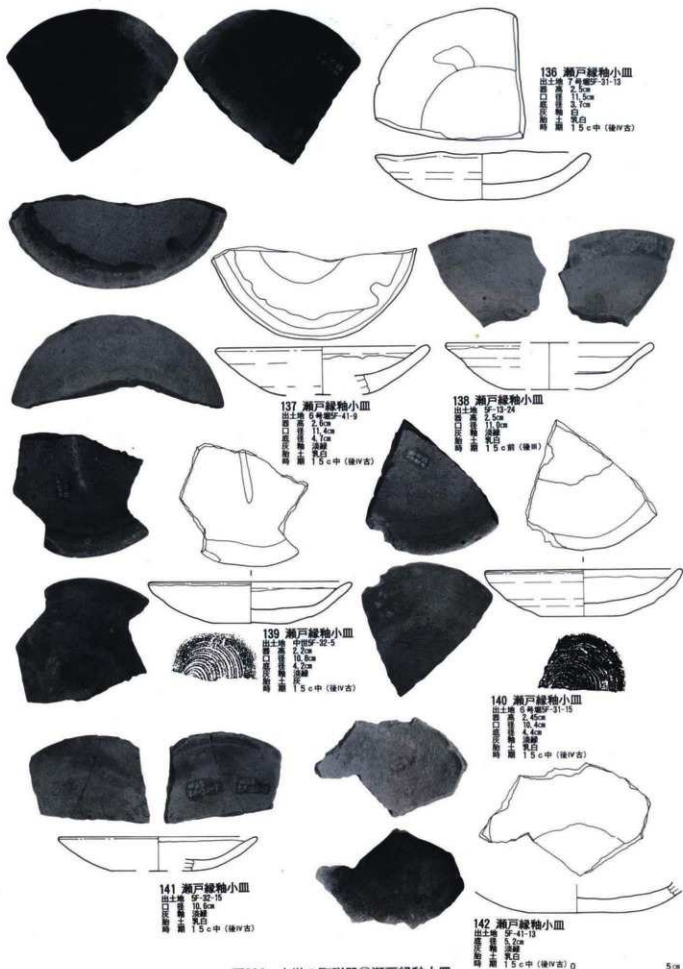
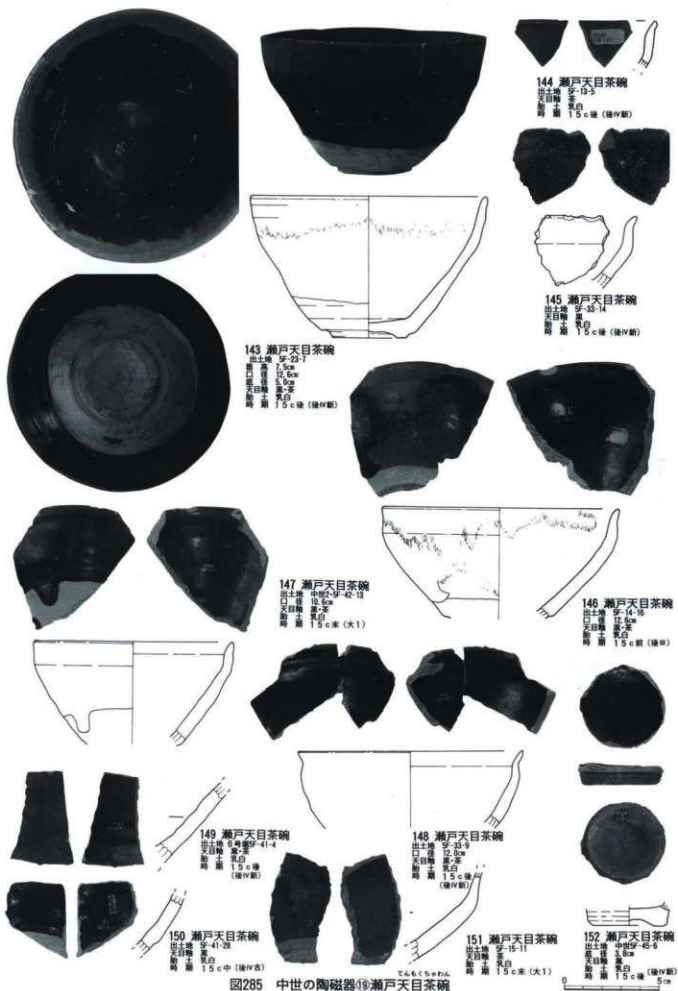


図284 中世の陶磁器⑨瀬戸緑釉小皿



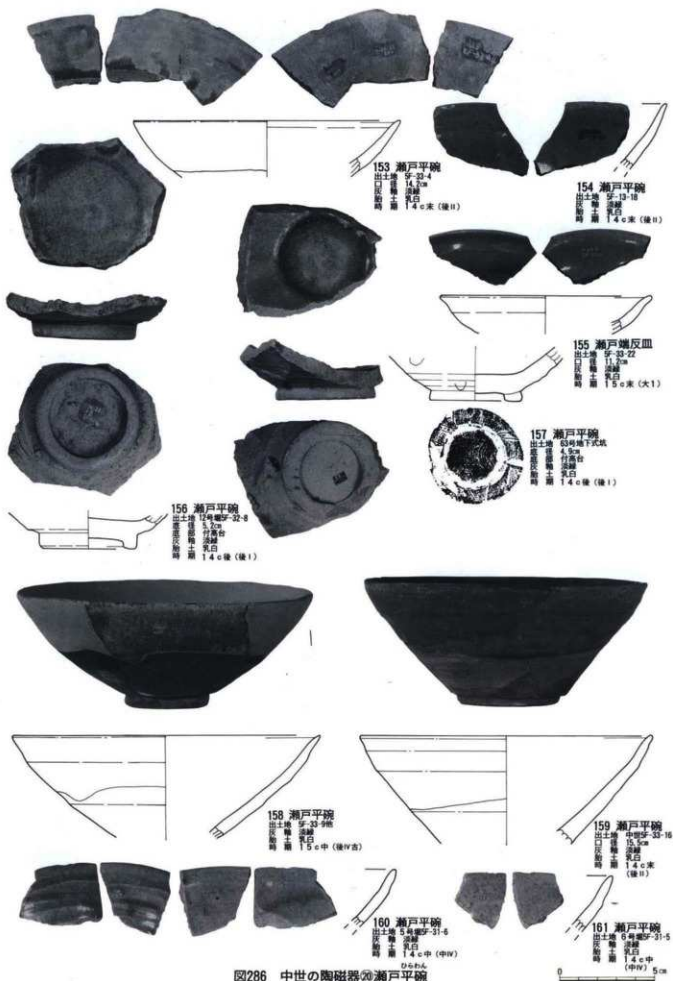


図286 中世の陶磁器②瀬戸平碗

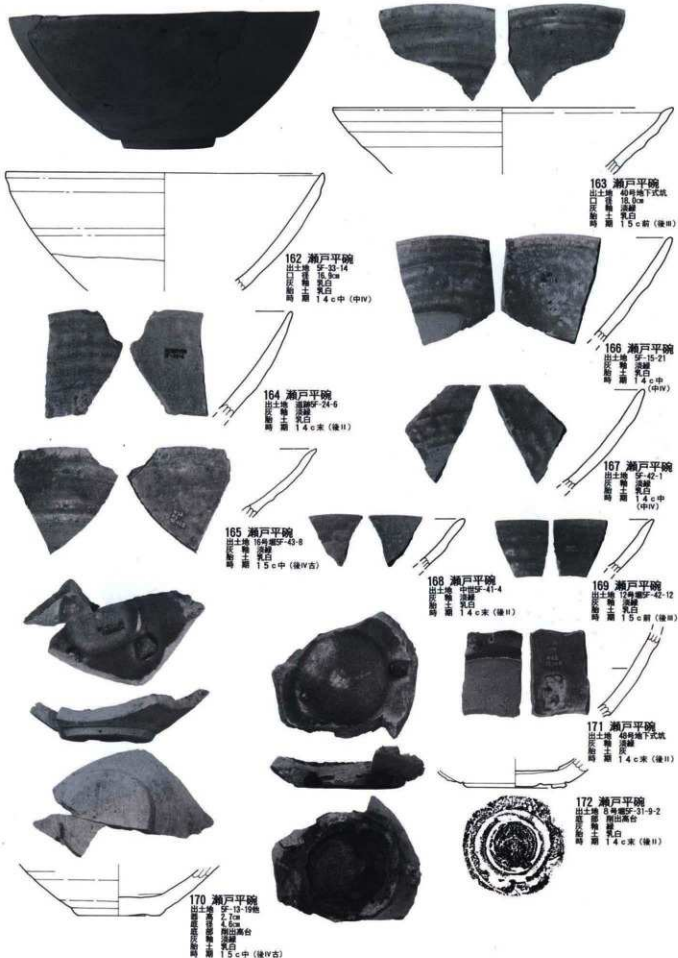
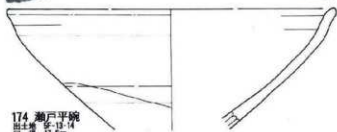
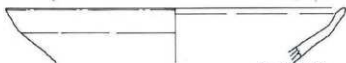


図267 中世の陶磁器② 瀬戸平碗

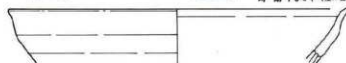




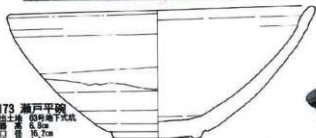
174 瀬戸平碗
 出土地 5-13-14
 出土層 深緑
 口徑 乳白
 底径 1.5cm (線中)



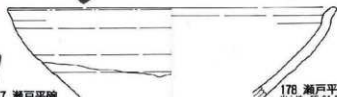
175 瀬戸平碗
 出土地 5-23-16他
 出土層 深緑
 口徑 乳白
 底径 1.5cm中 (線IV他)



176 瀬戸平碗
 出土地 5-23-8
 出土層 深緑
 口徑 乳白
 底径 1.5cm中 (線IV他)



179 瀬戸平碗
 60号地下乳乳
 出土地 5-13-14
 出土層 深緑
 口徑 乳白
 底径 1.5cm (線中)



177 瀬戸平碗
 出土地 5-13-14
 出土層 深緑
 口徑 乳白
 底径 1.5cm中 (線IV他)

178 瀬戸平碗
 出土地 5-24-1
 出土層 深緑
 口徑 乳白
 底径 1.5cm中 (線IV他)

図288 中世の陶磁器 ② 瀬戸平碗



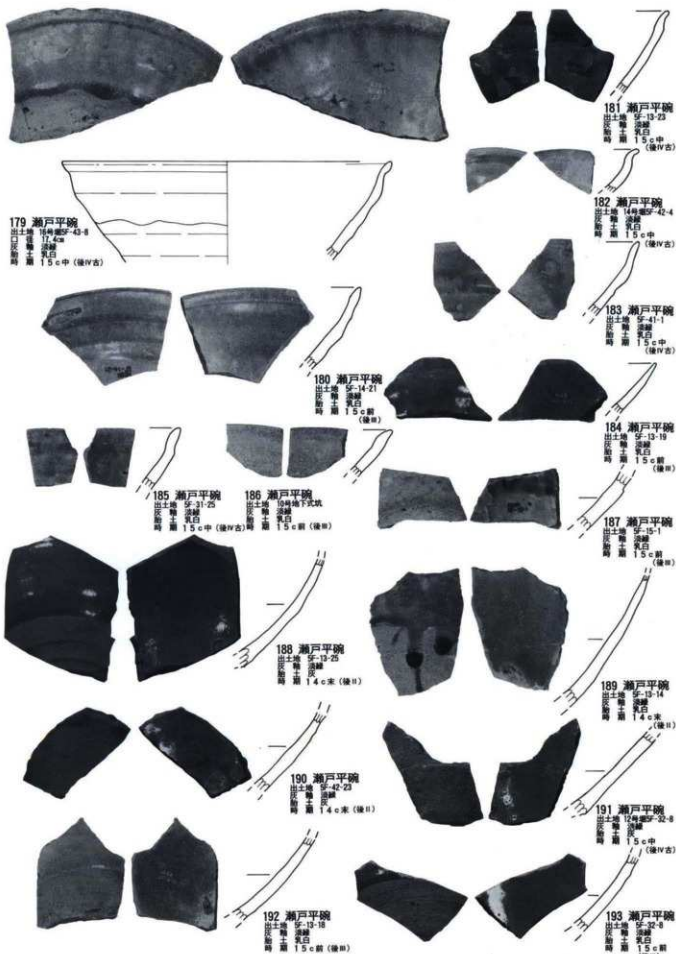


図289 中世の陶磁器 ② 瀬戸平碗

0 5cm

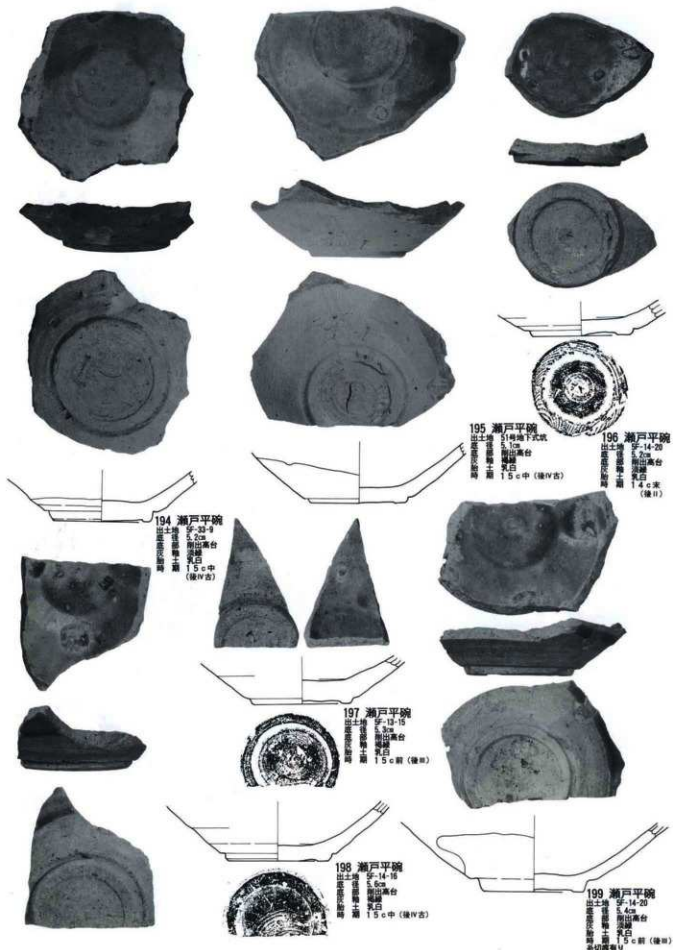


図290 中世の陶磁器④瀬戸平碗

0 5cm

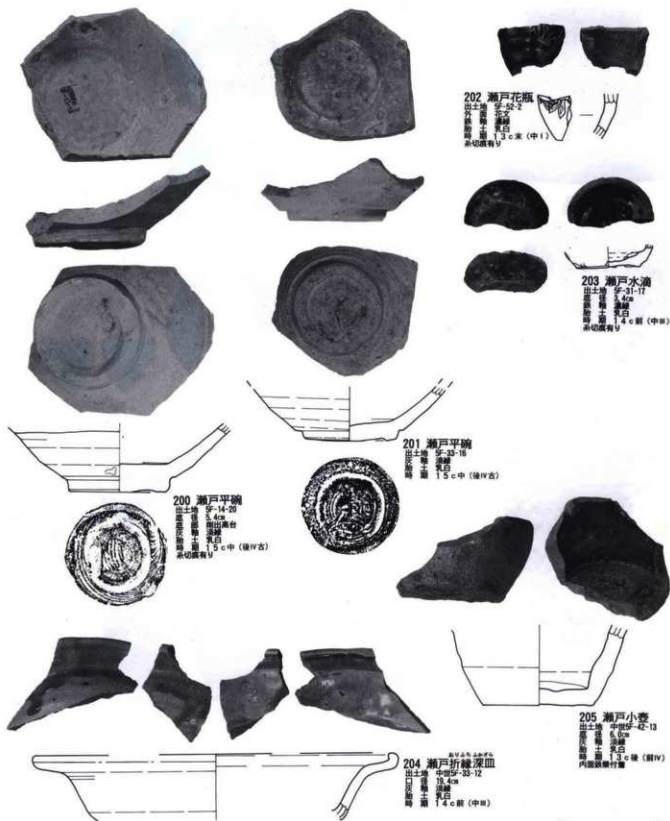
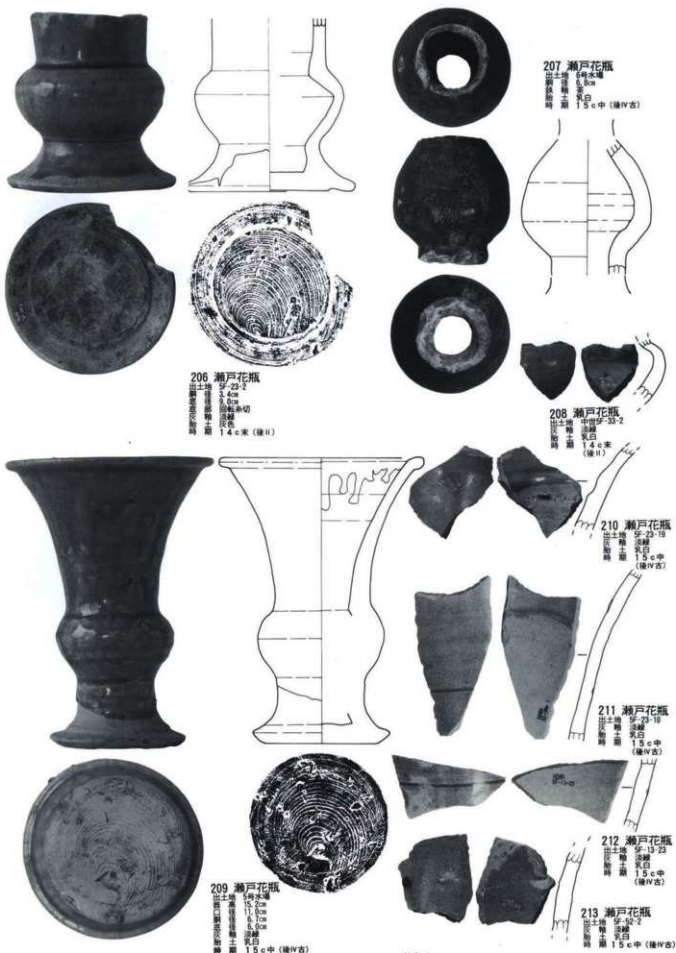


図291 中世の陶磁器㊦瀬戸平碗・水滴・深皿・小壺

0 5cm



206 瀬戸花瓶
 出土地 瀬戸
 番号 SF-23-2
 口径 1.4c
 高さ 3.0c
 土質 淡緑
 時期 中世IV古
 1.4c 径 (横H)

207 瀬戸花瓶
 出土地 瀬戸
 番号 SF-23-2
 口径 1.5c
 高さ 3.0c
 土質 乳白
 時期 中世IV古
 1.5c 中 (横IV古)

208 瀬戸花瓶
 出土地 瀬戸
 番号 SF-33-2
 口径 1.4c
 高さ 3.0c
 土質 淡緑
 時期 中世IV古
 1.4c 径 (横H)

210 瀬戸花瓶
 出土地 瀬戸
 番号 SF-23-10
 口径 1.5c
 高さ 3.0c
 土質 乳白
 時期 中世IV古
 1.5c 中 (横IV古)

211 瀬戸花瓶
 出土地 瀬戸
 番号 SF-13-23
 口径 1.5c
 高さ 3.0c
 土質 乳白
 時期 中世IV古
 1.5c 中 (横IV古)

212 瀬戸花瓶
 出土地 瀬戸
 番号 SF-13-23
 口径 1.5c
 高さ 3.0c
 土質 乳白
 時期 中世IV古
 1.5c 中 (横IV古)

209 瀬戸花瓶
 出土地 瀬戸
 番号 SF-23-2
 口径 1.5c
 高さ 3.0c
 土質 淡緑
 時期 中世IV古
 1.5c 中 (横IV古)

213 瀬戸花瓶
 出土地 瀬戸
 番号 SF-22-2
 口径 1.5c
 高さ 3.0c
 土質 乳白
 時期 中世IV古
 1.5c 中 (横IV古)

図292 中世の陶磁器 ⑥ 瀬戸花瓶

0 5cm

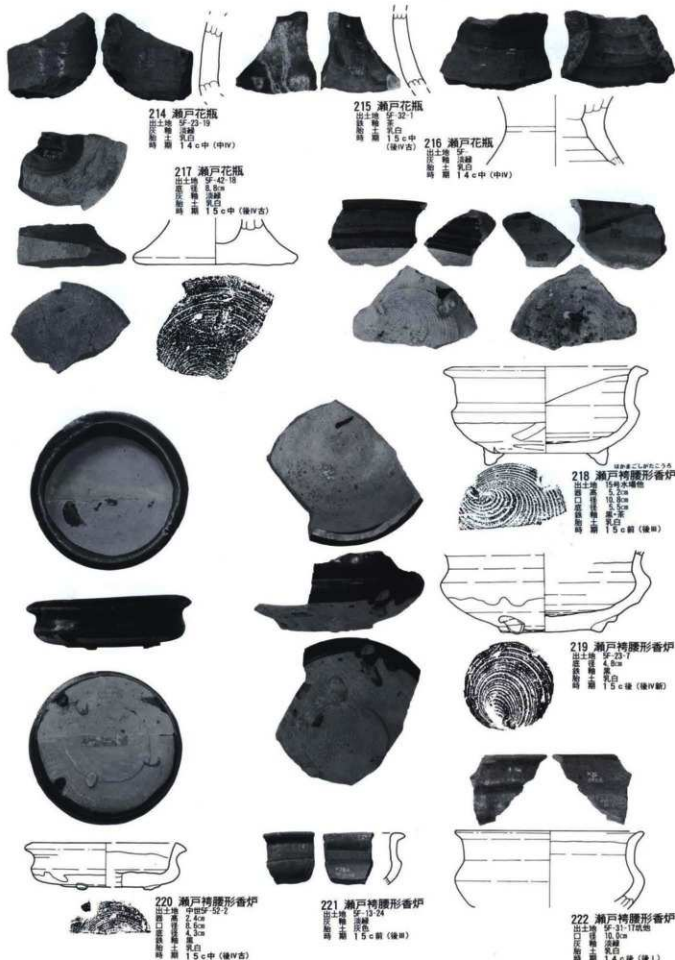
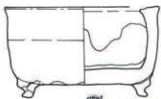


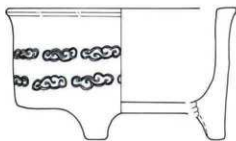
図293 中世の陶磁器②瀬戸花瓶・香炉



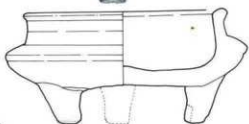
224 瀬戸袴腰形香炉
 出土地 茅-41-Ⅷ-20
 口径 5.2cm
 底径 3.8cm
 高さ 1.8cm
 土質 淡緑
 乳白
 1.5c類(備前)



223 瀬戸筒形香炉
 出土地 茅-42-19
 口径 4.1cm
 底径 3.1cm
 高さ 1.7cm
 土質 淡緑
 乳白
 1.4c類(備前)



225 瓦質香炉
 出土地 1号埋納坑
 口径 7.0cm
 底径 5.4cm
 高さ 2.4cm
 土質 灰質
 1.5c



226 土師質香炉
 出土地 11号埋納坑
 口径 5.0cm
 底径 3.5cm
 高さ 1.5cm
 土質 赤土
 1.5c



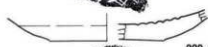
227 土師質袴腰形香炉
 出土地 茅-41-Ⅷ-20
 口径 5.9cm
 底径 4.5cm
 高さ 1.8cm
 土質 淡緑
 乳白
 1.5c類(備前)

図294 中世の陶磁器㊹瀬戸・その他の香炉





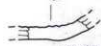
228 瀬戸卸皿
 出土地 中世宇-33-7
 出土層 5.0cm
 形状 口徑約15cm
 土質 淡緑
 時期 15c中(鎌IV古)



229 志戸呂卸皿
 出土地 中世宇-33-2
 出土層 7.0cm
 形状 口徑約15cm
 土質 乳白
 時期 15c中(鎌IV古)



230 瀬戸卸皿
 出土地 中世宇-33-2
 出土層 6.0cm
 形状 乳白
 土質 乳白
 時期 15c中(鎌IV古)



231 瀬戸卸皿
 出土地 中世宇-33-18
 出土層 7.0cm
 形状 口徑約15cm
 土質 淡緑
 時期 15c中(鎌IV古)

図295 中世の陶磁器 ⑨ 瀬戸卸皿



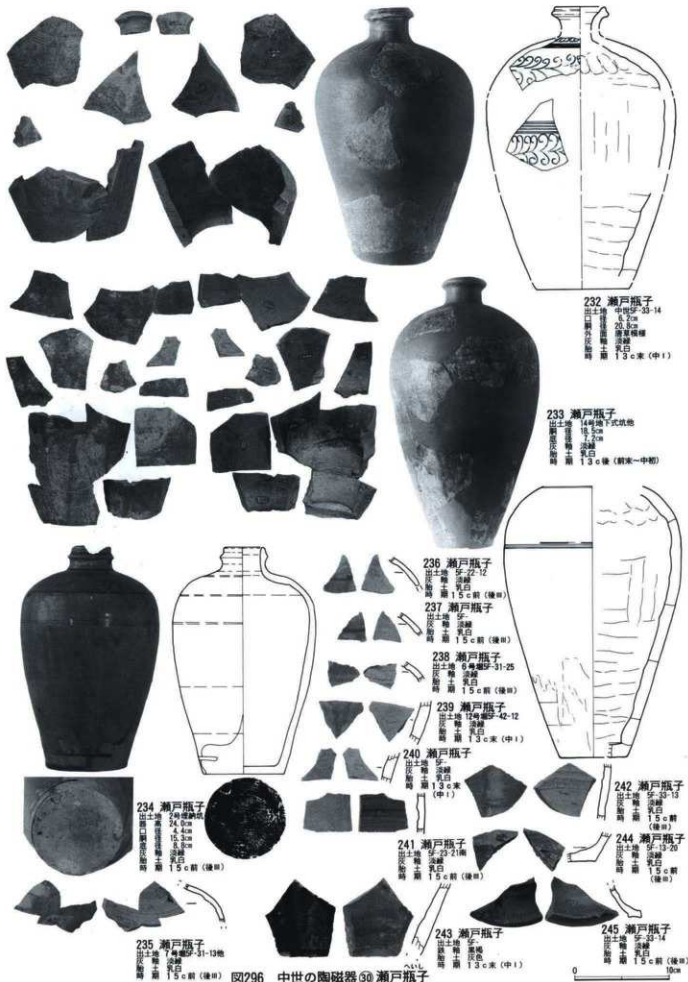
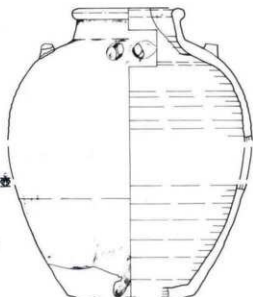


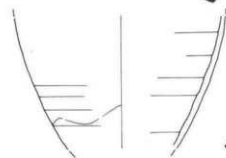
図296 中世の陶磁器⑩ 瀬戸瓶子



246 瀬戸広口有耳壺
 出土地 瀬戸 6号
 出土地 瀬戸 6号
 口径 15cm
 高さ 15cm
 底径 15cm
 15cm前 (後H)



247 瀬戸茶壺
 出土地 中野 53-2地
 口径 20.5cm
 高さ 11.7cm
 底径 11.7cm
 14cm前 (後H)



248 瀬戸茶壺
 出土地 5号
 口径 15cm
 高さ 15cm
 15cm中 (後IV古)



249 瀬戸茶壺
 出土地 6号 53-14
 口径 15cm
 高さ 15cm
 15cm中 (後IV古)

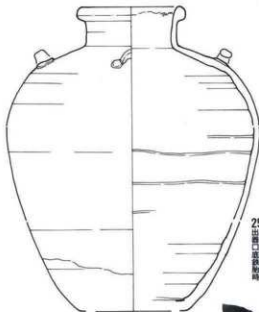
251 瀬戸茶壺
 出土地 5号 53-14
 口径 14cm
 高さ 14cm
 14cm前 (後H)

250 瀬戸茶壺
 出土地 5号 53-19
 口径 15cm
 高さ 15cm
 15cm中 (後IV古)

252 瀬戸茶壺
 出土地 5号 53-18
 口径 14cm
 高さ 14cm
 14cm前 (後H)

図297 中世の陶磁器 ④ 瀬戸茶壺

0 10cm



253 瀬戸茶壺
出土地 瀬戸市高島町
口径 22.2cm
高さ 11.4cm
底径 5.5cm
15c中
(備付否)



254 瀬戸茶壺
出土地 瀬戸市
口径 23.24
高さ 15c中
(備付否)



255 瀬戸茶壺
出土地 瀬戸市
口径 23.4
高さ 15c



256 瀬戸茶壺
出土地 瀬戸市
口径 18.5
高さ 15c



257 瀬戸茶壺
出土地 瀬戸市
口径 24.8
高さ 15c



258 瀬戸茶壺
出土地 瀬戸市
口径 23.9
高さ 15c



259 瀬戸茶壺
出土地 瀬戸市
口径 6.4
高さ 15c



260 瀬戸茶壺
出土地 瀬戸市
口径 24.8
高さ 15c



261 志戸呂茶壺
出土地 志戸市
口径 15c



262 志戸呂茶壺
出土地 志戸市
口径 15c



263 志戸呂茶壺
出土地 志戸市
口径 15c



264 志戸呂茶壺
出土地 瀬戸市
口径 15c



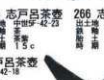
265 志戸呂茶壺
出土地 瀬戸市
口径 15c



267 志戸呂茶壺
出土地 瀬戸市
口径 15c



268 志戸呂茶壺
出土地 瀬戸市
口径 15c



266 志戸呂茶壺
出土地 瀬戸市
口径 15c



270 瀬戸茶壺
出土地 瀬戸市
口径 15c
高さ 15c



269 志戸呂茶壺
出土地 瀬戸市
口径 15c



268 志戸呂茶壺
出土地 瀬戸市
口径 15c



269 志戸呂茶壺
出土地 瀬戸市
口径 15c

図298 中世の陶磁器⑬ 瀬戸・志戸呂茶壺

0 10cm

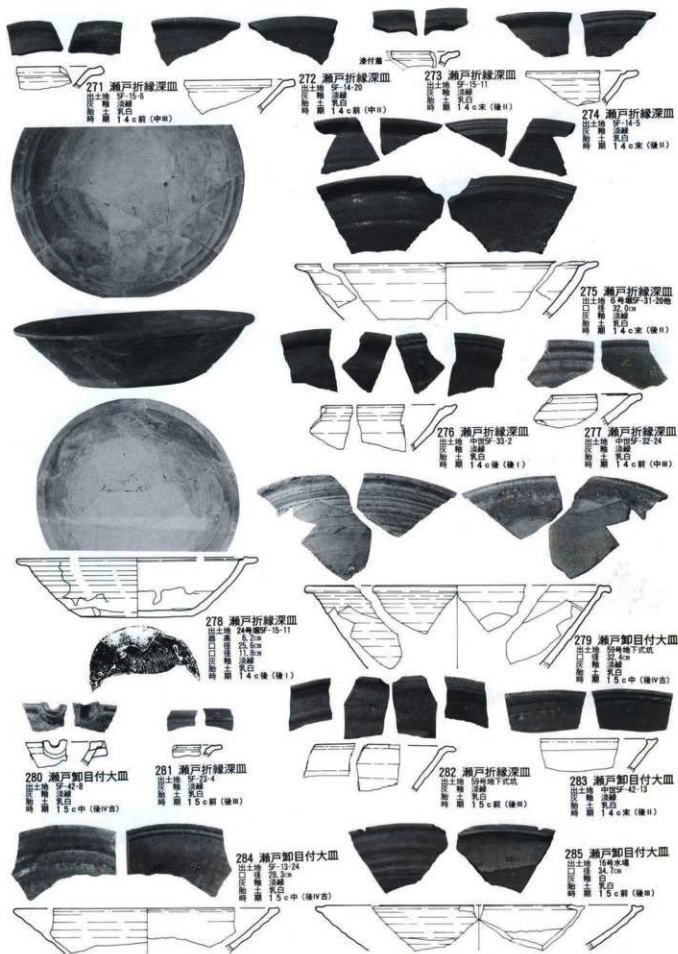


図299 中世の陶磁器⑤ 瀬戸盤類

0 10cm

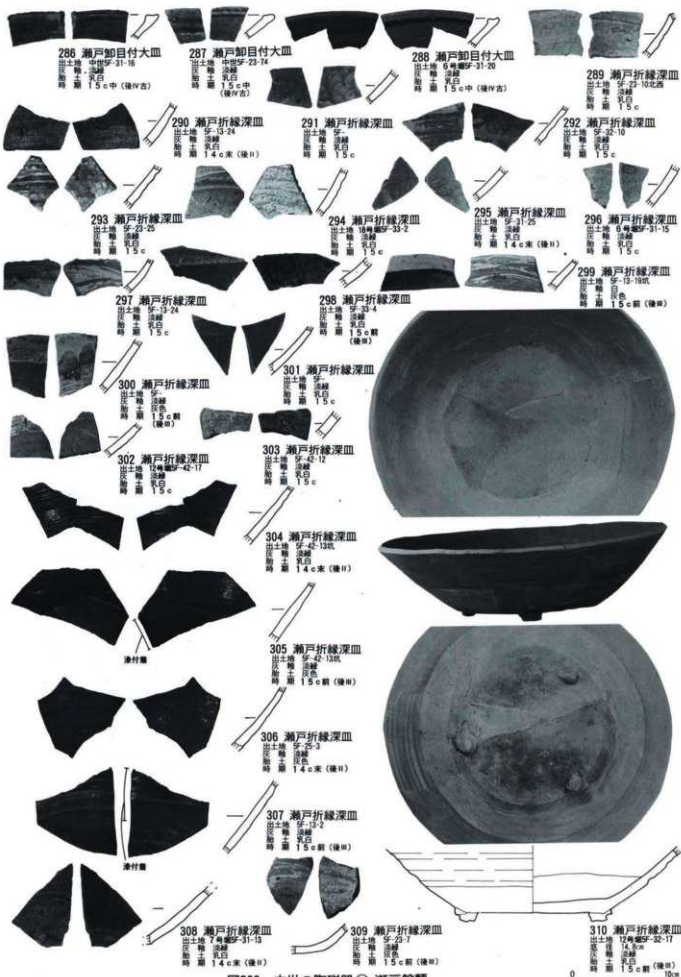


図300 中世の陶磁器④ 瀬戸盤類

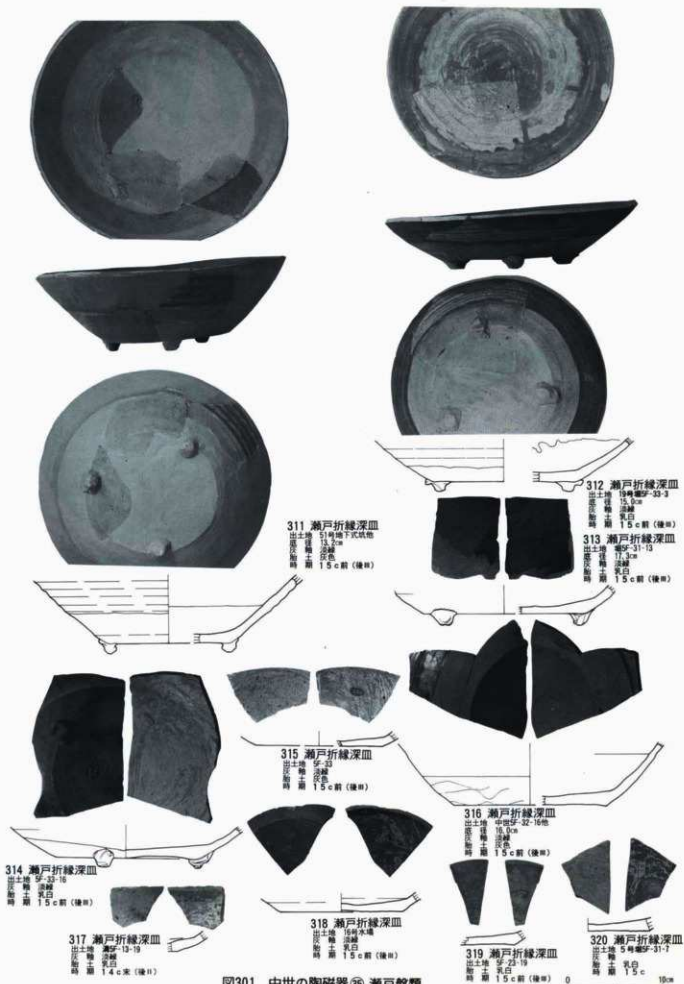


図301 中世の陶磁器㊦ 瀬戸盆類

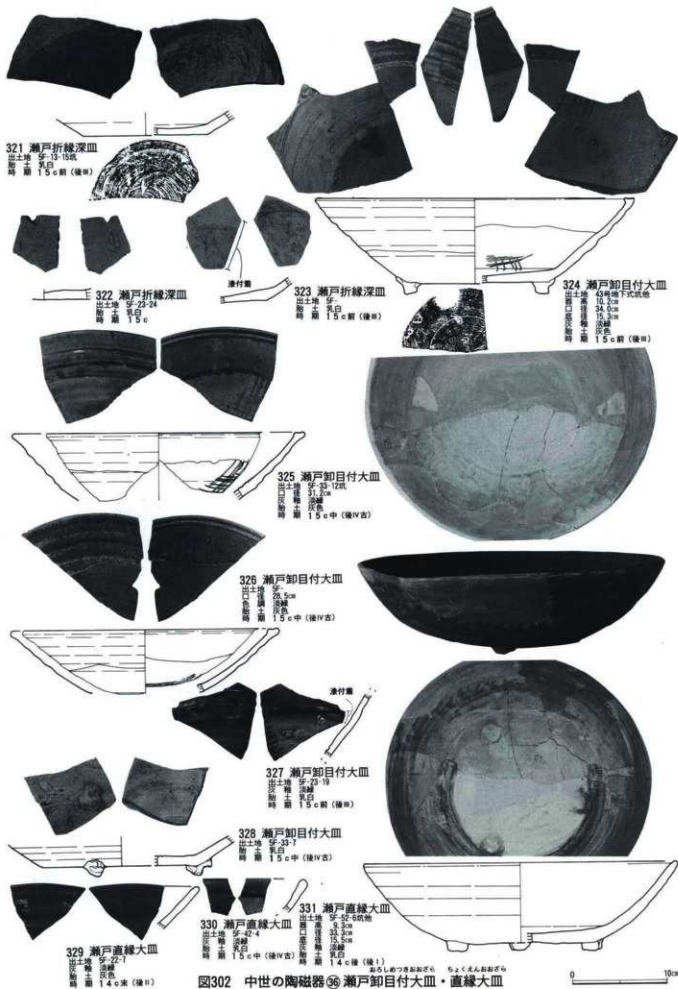


図302 中世の陶磁器 ③ 瀬戸卸目付大皿・直縁大皿

0 10cm

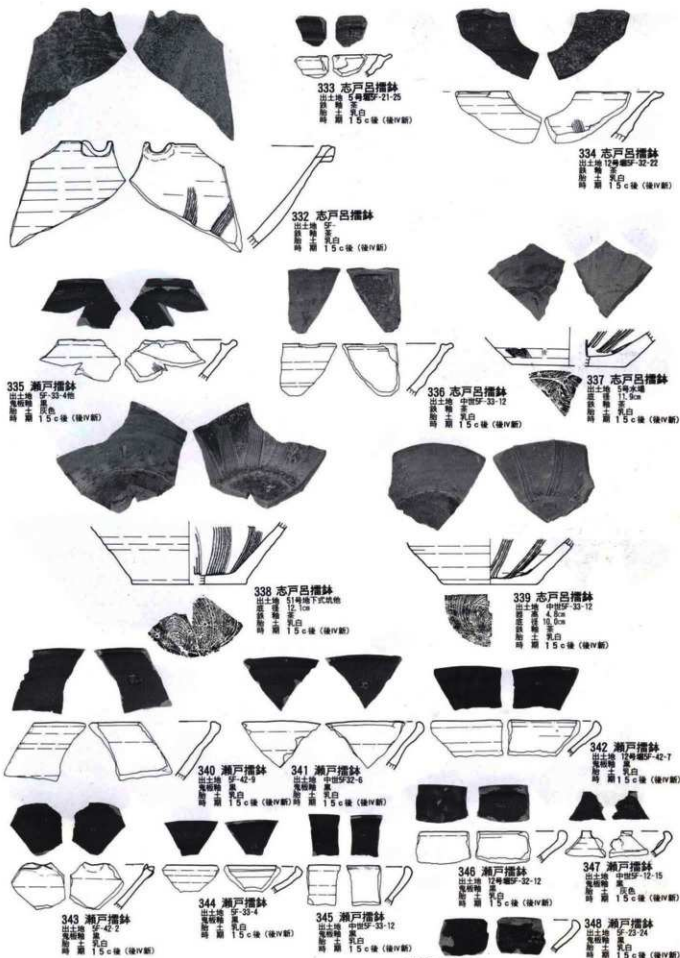


図303 中世の陶磁器 ㊦ 瀬戸槽鉢

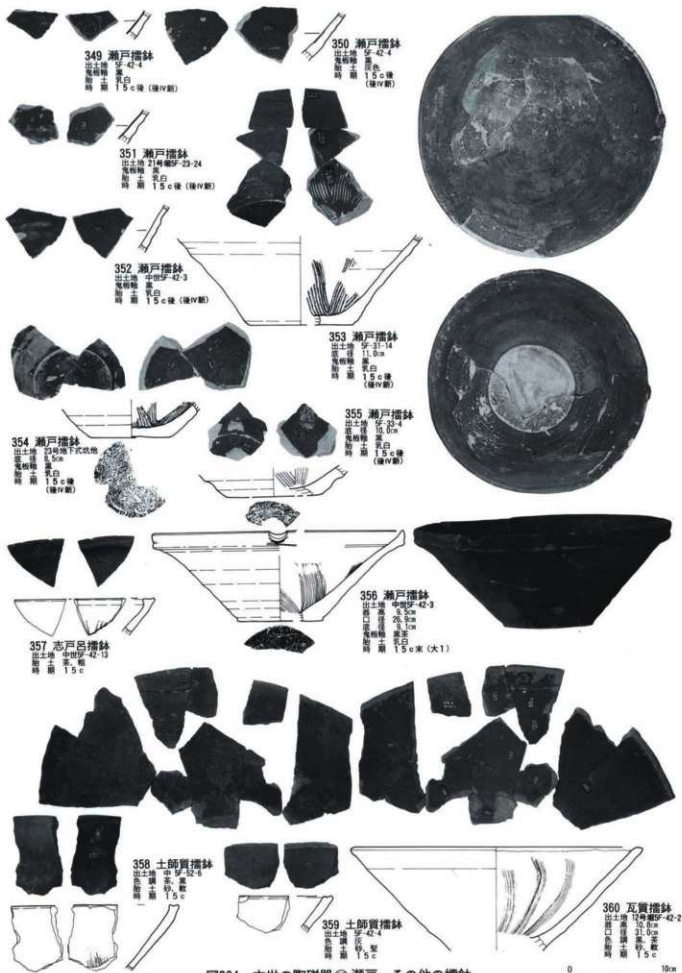


図304 中世の陶磁器⑧ 瀬戸・その他の襷鉢

0 10cm



図305 中世の陶磁器 ⑤ 常滑甕

0 10cm

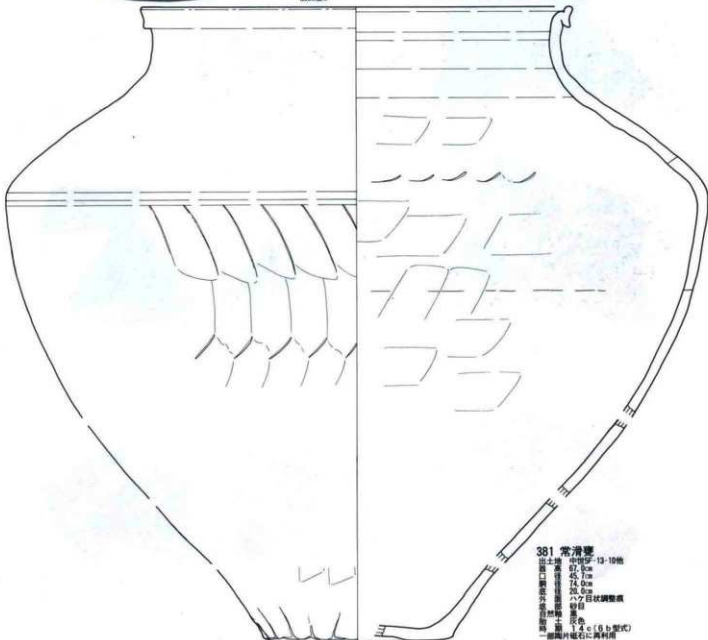
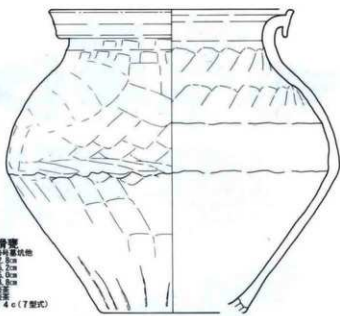


図306 中世の陶磁器④常滑甕

381 常滑甕



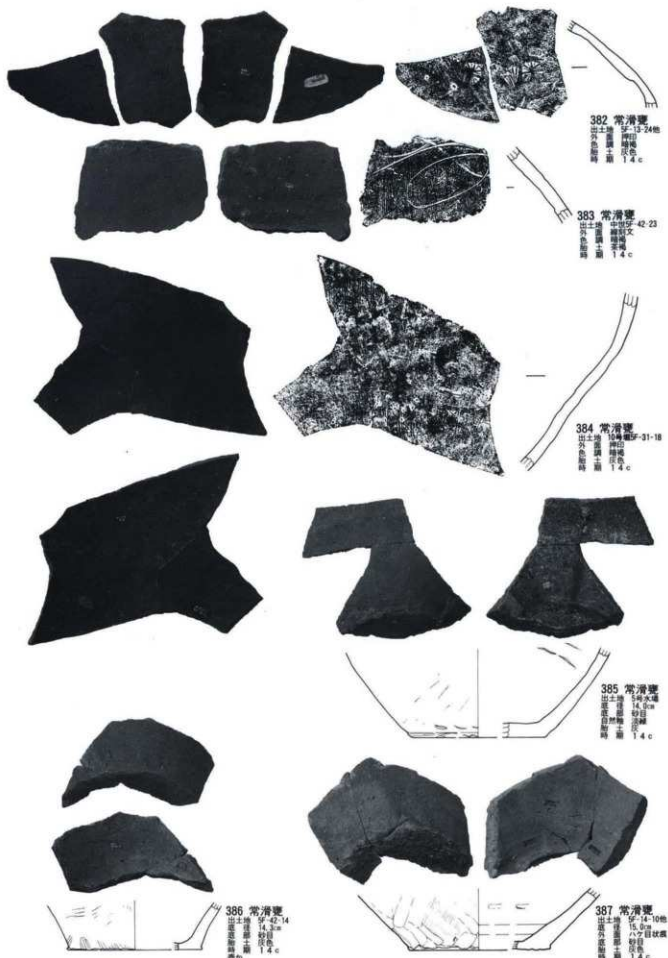
380 常滑甕
 出土地 中津市 13-10世
 口径 57.0cm
 底径 20.0cm
 高さ 14.0cm
 重量 1.4c (7型式)
 底口部



381 常滑甕
 出土地 中津市 13-10世
 口径 67.0cm
 底径 20.0cm
 高さ 14.0cm
 重量 1.4c (6型式)
 底口部
 一断面片磁石に再利用

図307 中世の陶磁器④ 常滑甕

0 10cm



382 常滑甕
出土地 伊豆半島 伊豆 3-24他
器形 野焼
口径 14c

383 常滑甕
出土地 伊豆半島 伊豆 42-23
器形 野焼
口径 14c

384 常滑甕
出土地 伊豆半島 伊豆 31-18
器形 野焼
口径 14c

385 常滑甕
出土地 伊豆半島 伊豆 5
器形 野焼
口径 14c

386 常滑甕
出土地 伊豆半島 伊豆 42-14
器形 野焼
口径 14c

387 常滑甕
出土地 伊豆半島 伊豆 5-14-10他
器形 野焼
口径 14c

図308 中世の陶磁器④ 常滑甕

0 10cm

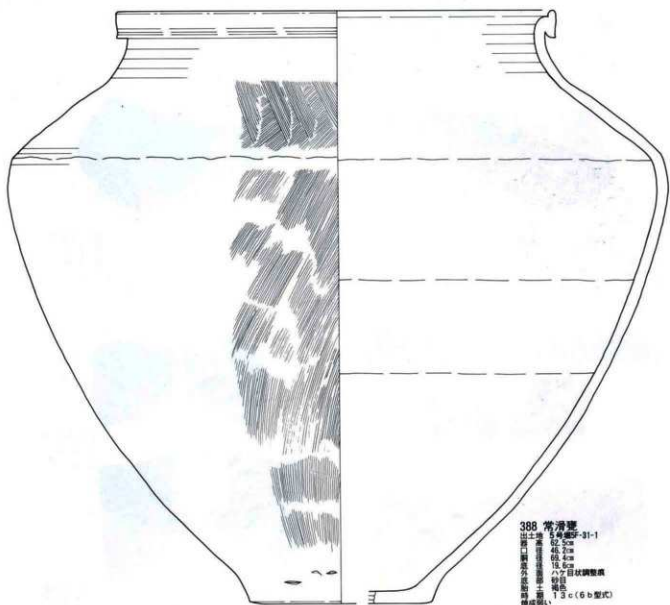
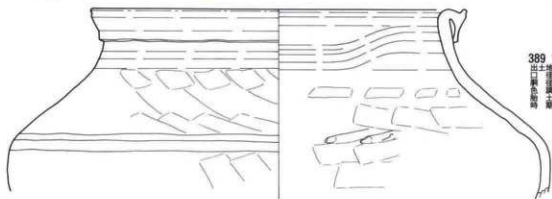
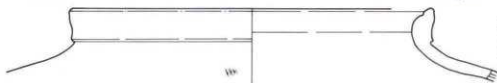


図309 中世の陶磁器④ 常滑甕

0 10cm



389 常滑甕
 出土地 宇治 21
 口径 40.0cm
 高さ 31.0cm
 底径 14.0cm
 土層 1.4c (B型式)



390 常滑甕
 出土地 宇治 19
 口径 38.8cm
 高さ 28.0cm
 底径 15.0cm
 土層 1.5c (9型式)



391 常滑甕
 出土地 宇治 22
 口径 32.2cm
 高さ 21.0cm
 底径 15.0cm
 土層 1.5c



392 常滑甕
 出土地 宇治 12
 口径 33.1cm
 高さ 28.0cm
 底径 15.0cm
 土層 1.5c



393 常滑甕
 出土地 宇治 13
 口径 33.1cm
 高さ 28.0cm
 底径 15.0cm
 土層 1.5c



394 常滑甕
 出土地 宇治 22
 口径 31.2cm
 高さ 28.0cm
 底径 15.0cm
 土層 1.5c

図310 中世の陶磁器④ 常滑甕



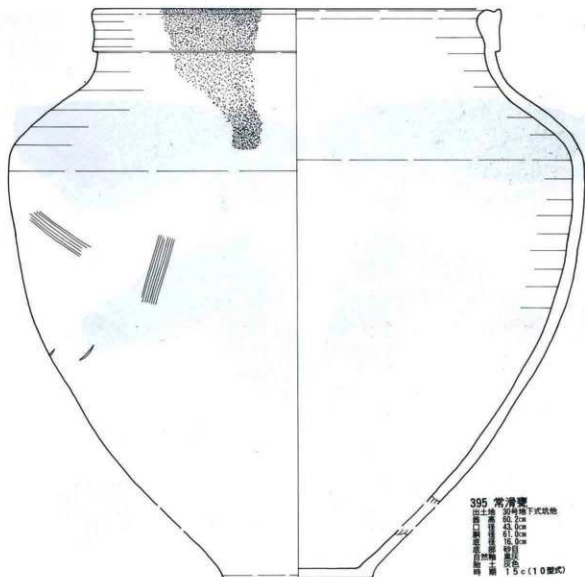
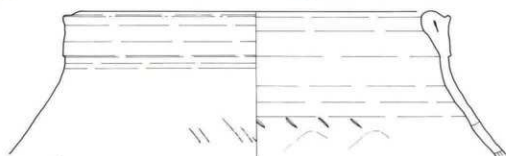
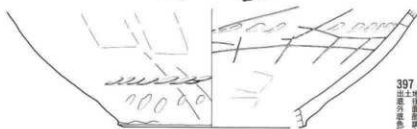


図311 中世の陶磁器㊤常滑甕

0 10cm



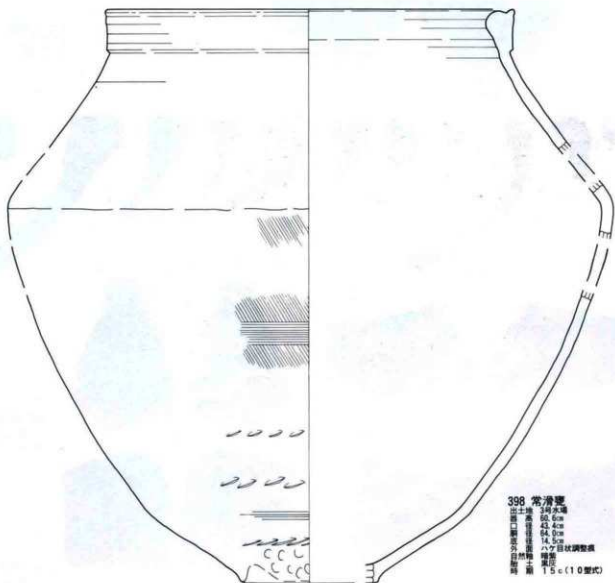
396 常滑甕
 出土地 5号水溝
 口径 41.0cm
 口縁高 15cm
 底径 15cm (10型式)



397 常滑甕
 出土地 5号水溝
 口径 20.0cm
 口縁高 15cm
 底径 15cm
 底面外周色剥落

図312 中世の陶磁器④常滑甕





398 常滑甕
 出土地 2海太通
 高さ 60.6cm
 口径 43.6cm
 胴径 64.0cm
 底径 14.5cm
 材質 日向調整土
 自然物 埋蔵
 時期 15c(10型式)

図313 中世の陶磁器⑦常滑甕

0 10cm

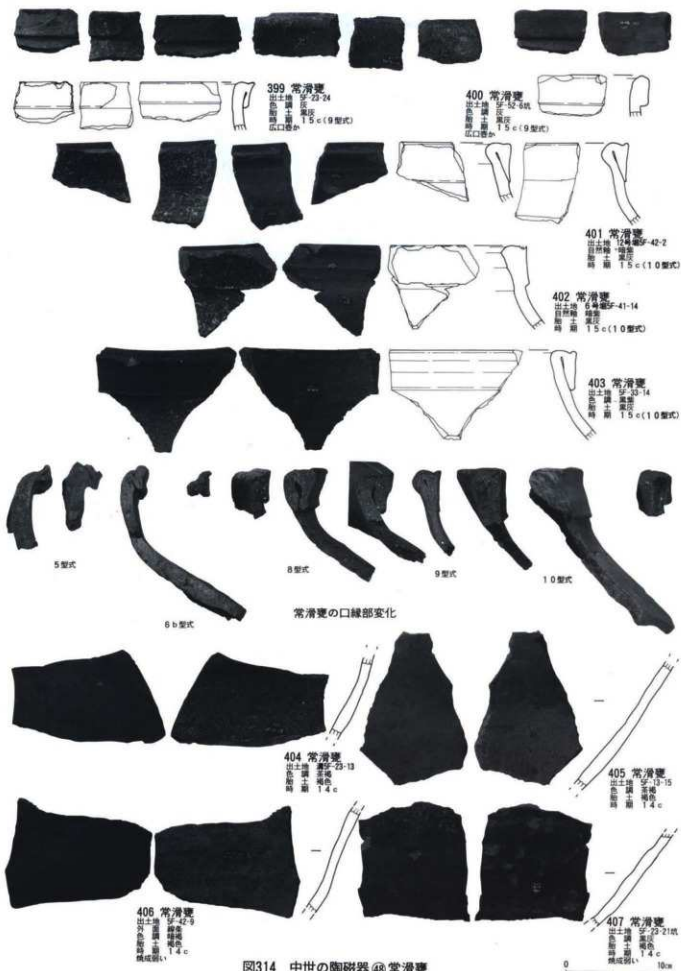


図314 中世の陶磁器 ④常滑甕

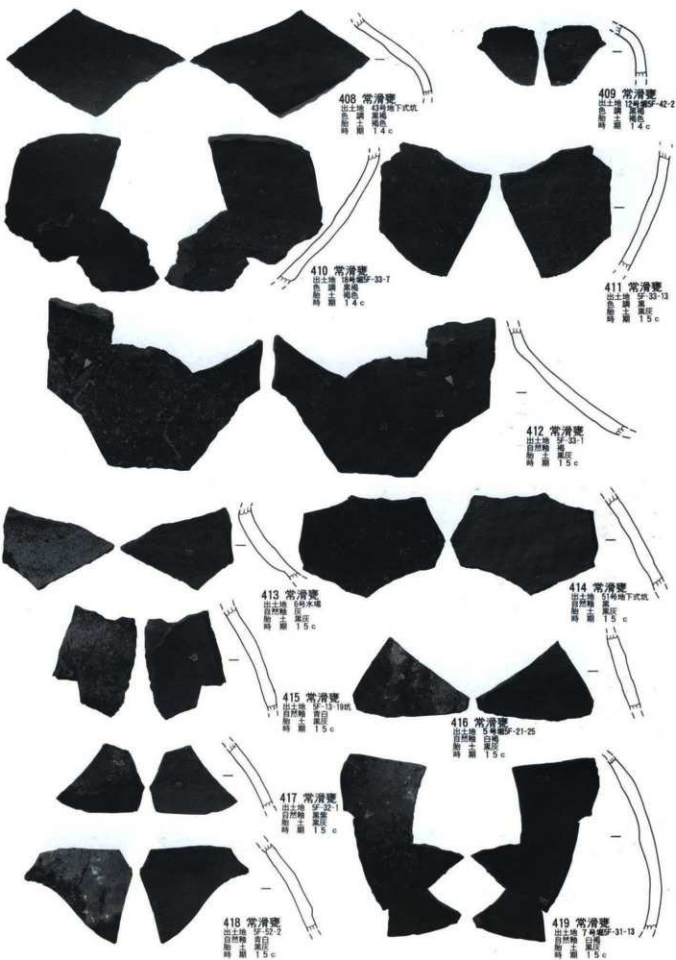
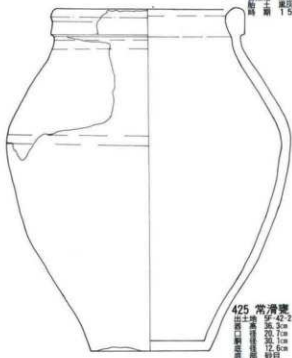
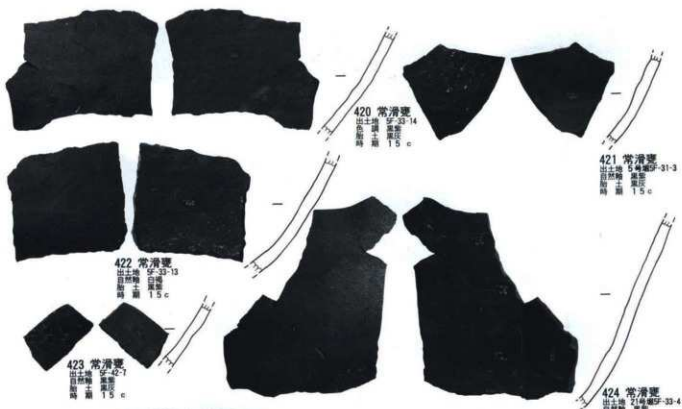
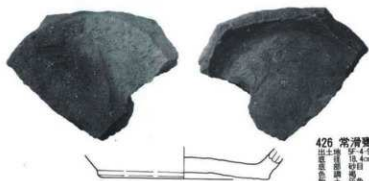


図315 中世の陶磁器④常滑甕

0 10cm



425 常滑甕
出土地 57-42-2
出層 常滑区
時期 15c (10號C)



426 常滑甕
出土地 57-42-3
出層 常滑区
時期 15c

427 常滑甕
出土地 57-33-24
出層 常滑区
時期 15c

0 10cm

図316 中世の陶磁器⑤ 常滑甕

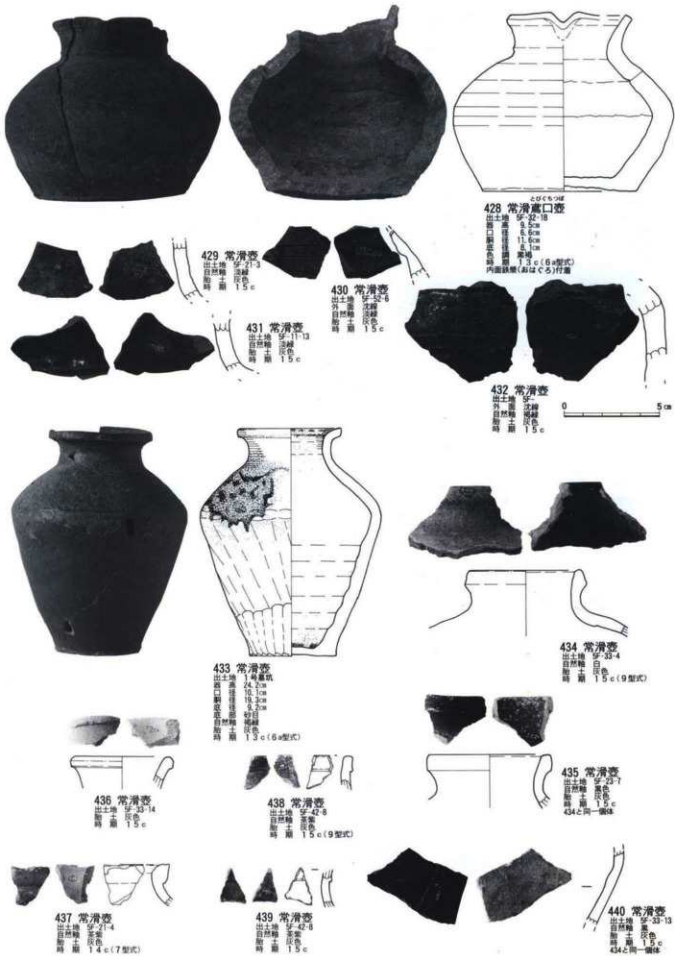
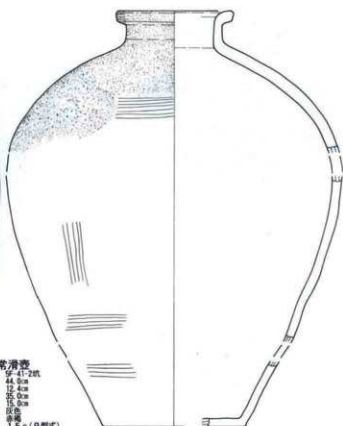


図317 中世の陶磁器 ⑤ 常滑壺



441 常滑壺
 出土地 宮崎SF-41-2坑
 口径 14.5cm
 口縁高 12.4cm
 胴高 15.0cm
 底径 13.0cm
 底厚 1.5c (9型式)



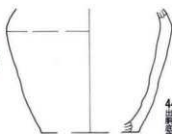
442 常滑壺
 出土地 宮崎SF-31-19
 口径 15.0cm
 底径 15.0cm



443 常滑壺
 出土地 宮崎SF-43-16
 口径 11.0cm
 底径 15.0cm



444 常滑壺
 出土地 宮崎SF-21-1地
 口径 8.9cm
 口縁高 14.4cm
 胴高 16.7cm
 底径 11.0cm
 底厚 1.5c (9型式)



445 常滑壺
 出土地 宮崎SF-32-10坑
 口径 17.5cm
 口縁高 16.5cm
 胴高 21.0cm
 底径 15.0cm
 底厚 1.5c
 注記 口縁に乳用

図318 中世の陶磁器⑧ 常滑壺

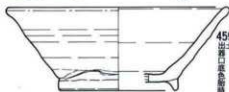




図319 中世の陶磁器⑤ 瀬戸・常滑片口鉢



460 常滑片口鉢
 出土地 12号地SF-32-10他
 色 灰青
 土質 灰青
 時期 13c(6a型式)



459 常滑片口鉢
 出土地 SF-13-15
 色 灰青
 土質 灰青
 時期 13c
 (6a型式)



461 常滑片口鉢
 出土地 SF-23-24
 色 灰青
 土質 灰青
 時期 13c(6a型式)



463 常滑片口鉢
 出土地 SF-24-1
 色 灰青
 土質 灰青
 時期 13c(6a型式)

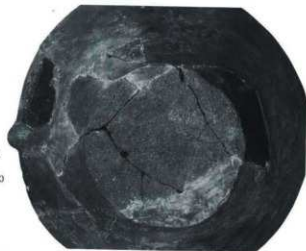


462 常滑片口鉢
 出土地 SF-13-15
 色 灰青
 土質 灰青
 時期 13c(6a型式)

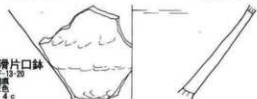


464 常滑片口鉢
 出土地 打身堀下式坑
 色 灰青
 土質 灰青
 時期 14c

465 常滑片口鉢
 出土地 SF-16-10
 色 灰青
 土質 灰青
 時期 14c(7型式)



466 常滑片口鉢
 出土地 SF-13-20
 色 灰青
 土質 灰青
 時期 14c
 裏の取用中



467 常滑片口鉢
 出土地 久美川
 色 灰青
 土質 灰青
 時期 13c
 (6a型式)

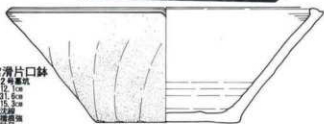


図320 中世の陶磁器 ⑤ 常滑片口鉢

0 10cm

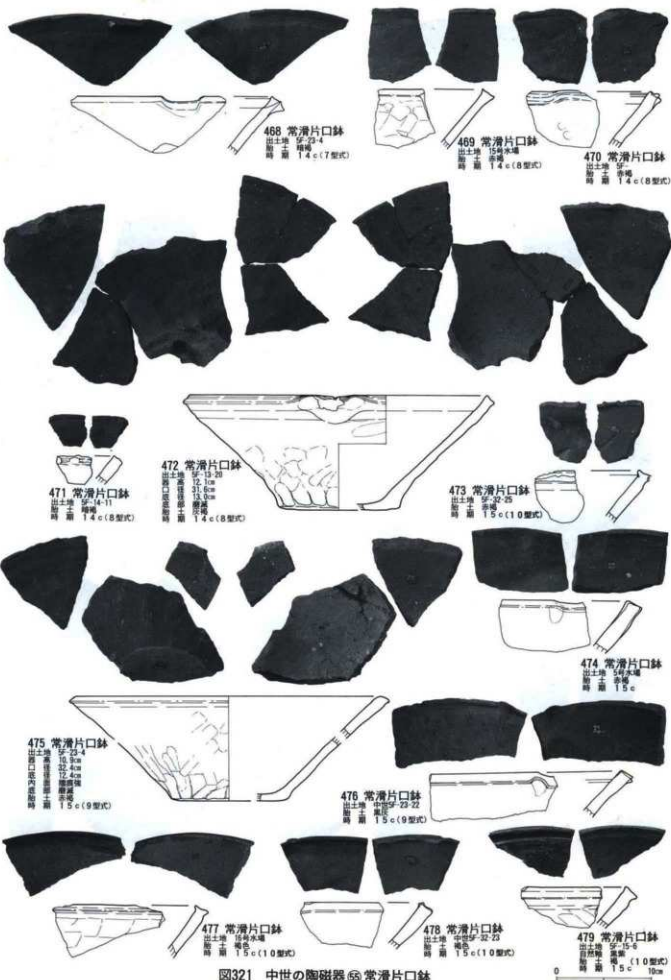


図321 中世の陶磁器 ⑤常滑片口鉢

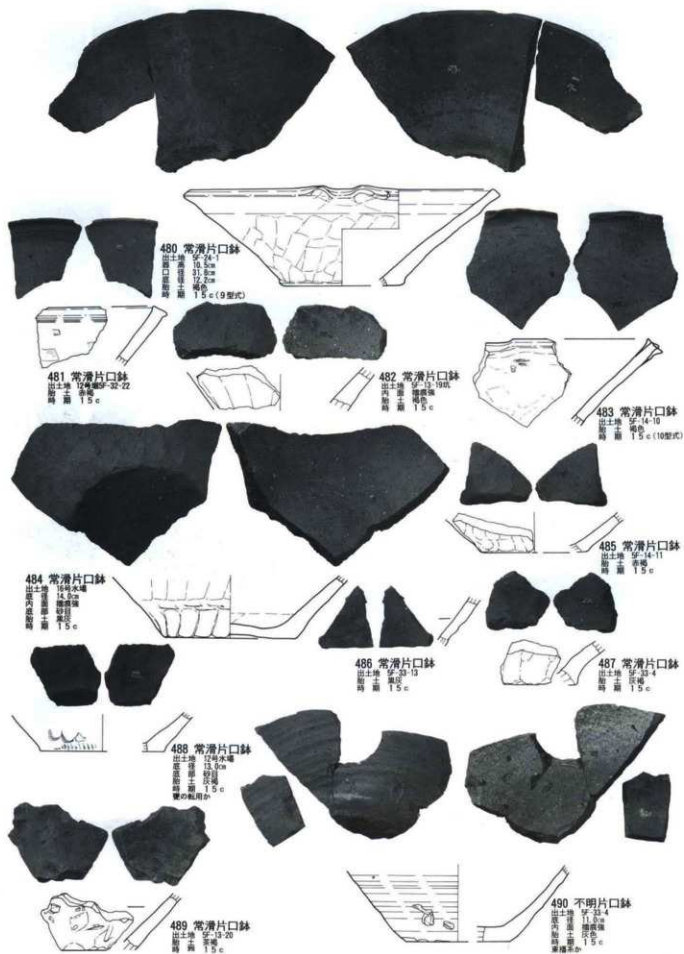


図322 中世の陶磁器 ⑤ 常滑片口鉢



491 常滑片口鉢
 出土地 少 14-11
 口径 12.0cm
 高さ 10.0cm
 底径 15.0cm



492 常滑片口鉢
 出土地 少 15-14
 口径 13.4cm
 高さ 10.0cm
 底径 15.0cm
 特徴 ハケ目状調整痕



493 常滑片口鉢
 出土地 少 13-12
 口径 13.1cm
 高さ 10.0cm
 底径 15.0cm



494 常滑片口鉢
 出土地 中 52-2
 口径 15.0cm
 高さ 15.0cm



495 常滑壺
 出土地 中 52-5
 口径 11.2cm
 高さ 10.0cm
 特徴 ハケ目状調整痕
 底径 15.0cm

図323 中世の陶磁器⑦常滑片口鉢・壺



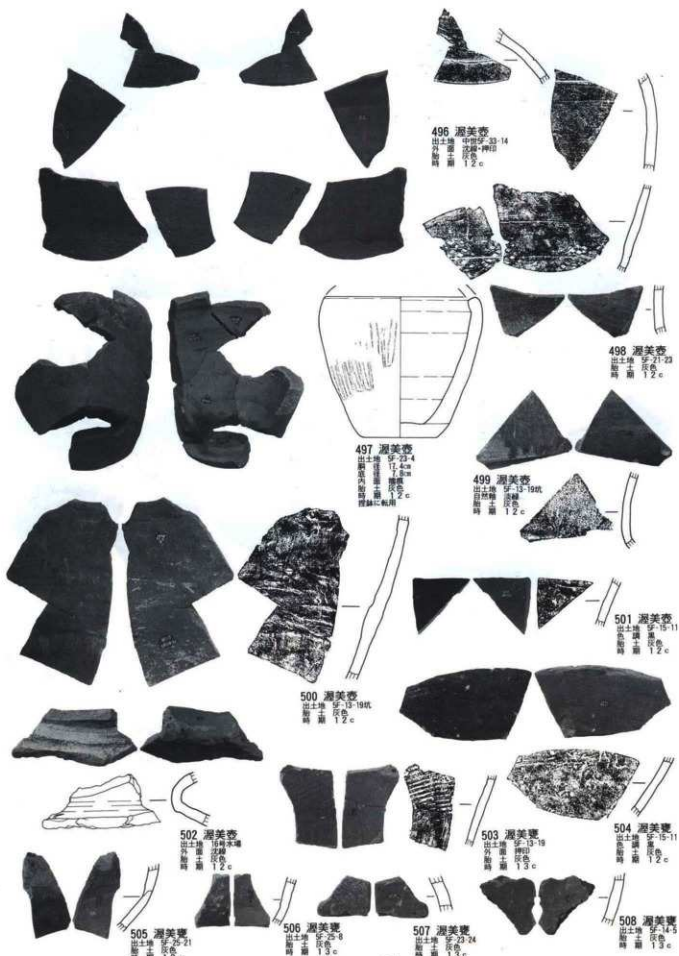


図324 中世の陶磁器⑧ 瀬美香・夏

0 10cm

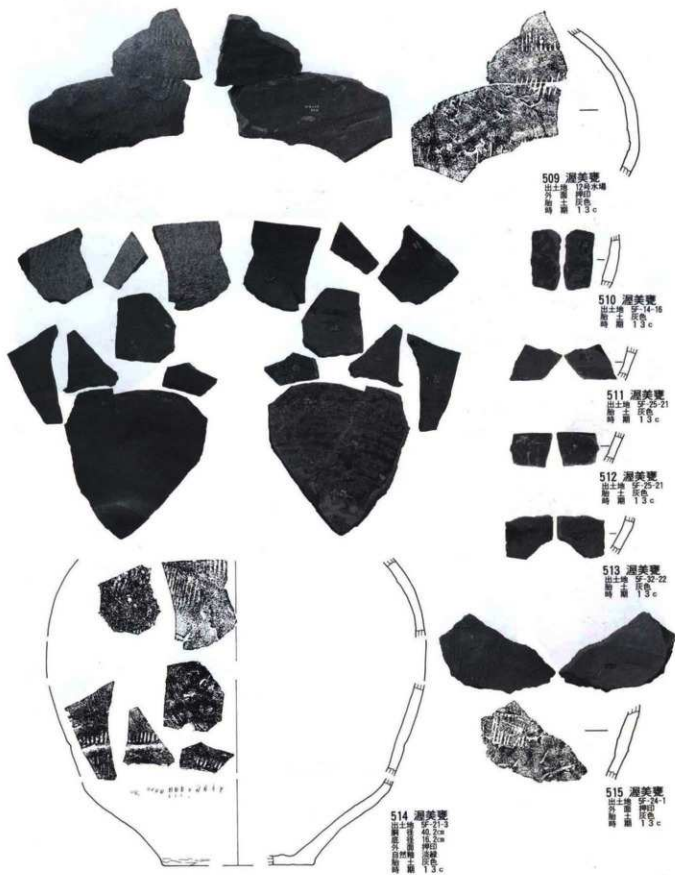


図325 中世の陶磁器 ㊟瀝美甕

0 10cm



図326 中世の陶磁器 ㊸カワラケ

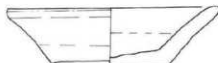
0 5cm



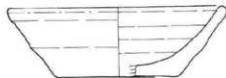
523 カワラケ
出土地 西宮市西宮区
中明寺 42-5
口径 11.5cm
底径 7.5cm
高さ 3.5cm
重 13g



524 カワラケ
出土地 西宮市西宮区
中明寺 42-11
口径 11.5cm
底径 7.5cm
高さ 3.5cm
重 15g



525 カワラケ
出土地 西宮市西宮区
中明寺 42-12
口径 11.5cm
底径 7.5cm
高さ 3.5cm
重 15g



526 カワラケ
出土地 西宮市西宮区
中明寺 42-31-2
口径 11.5cm
底径 7.5cm
高さ 3.5cm
重 15g



527 カワラケ
出土地 西宮市西宮区
中明寺 42-7
口径 11.5cm
底径 7.5cm
高さ 3.5cm
重 15g

図327 中世の陶磁器㊦カワラケ

0 5cm

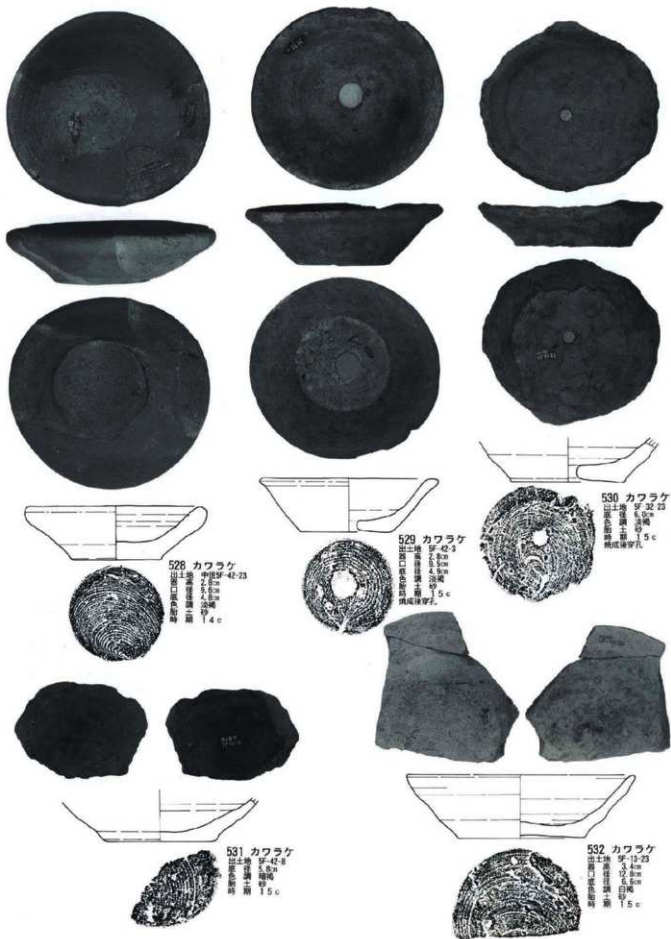


図328 中世の陶磁器②カワラケ

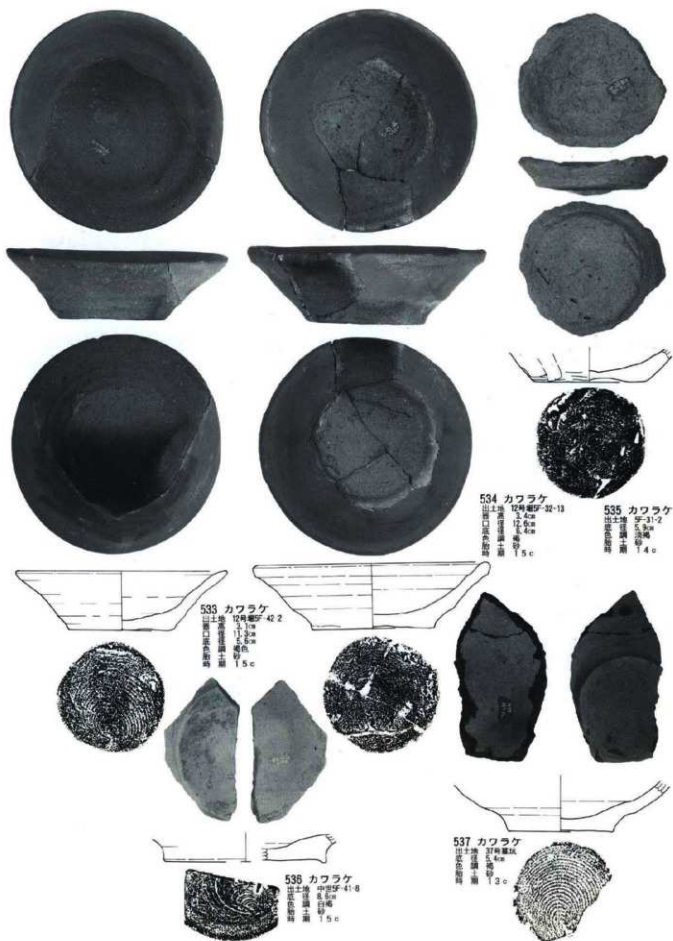


図329 中世の陶磁器 ③ カワラケ

0 5cm

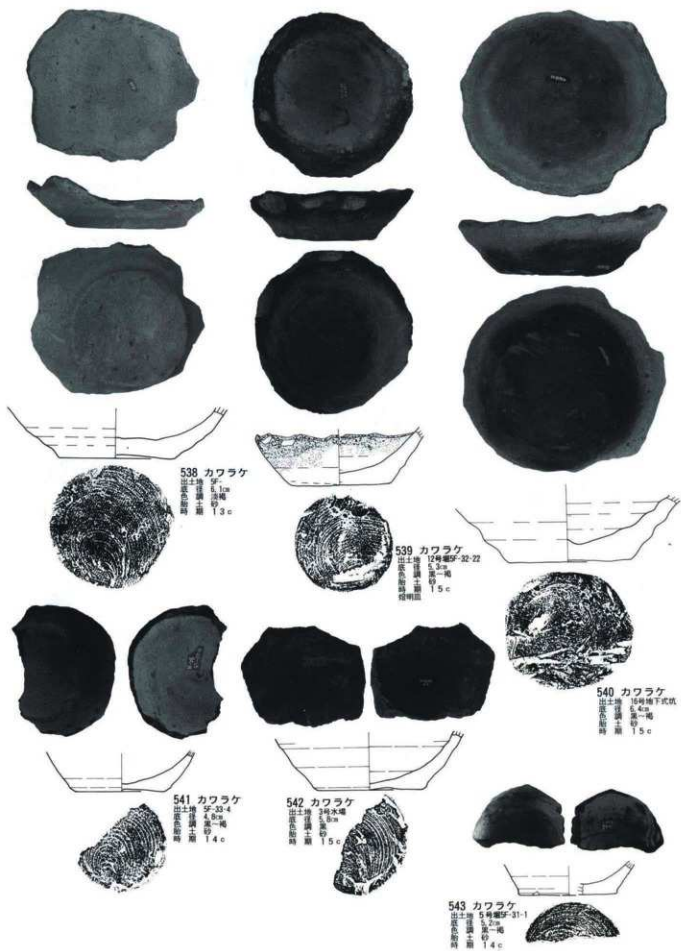


図330 中世の陶磁器 ㊸ カワラケ

0 5cm

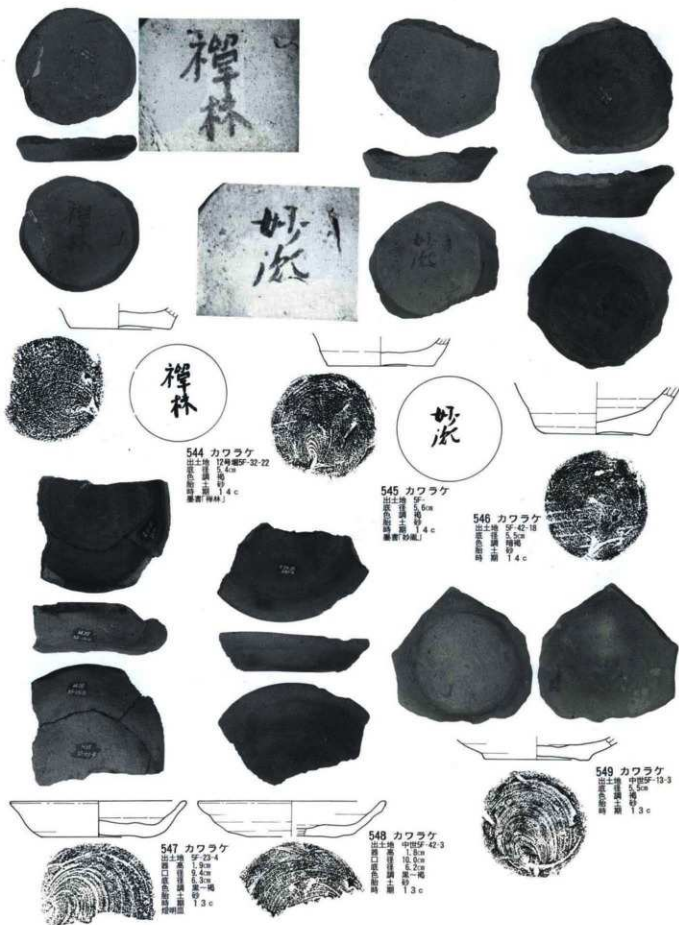


図331 中世の陶磁器 ㊸ カワラケ

0 5cm

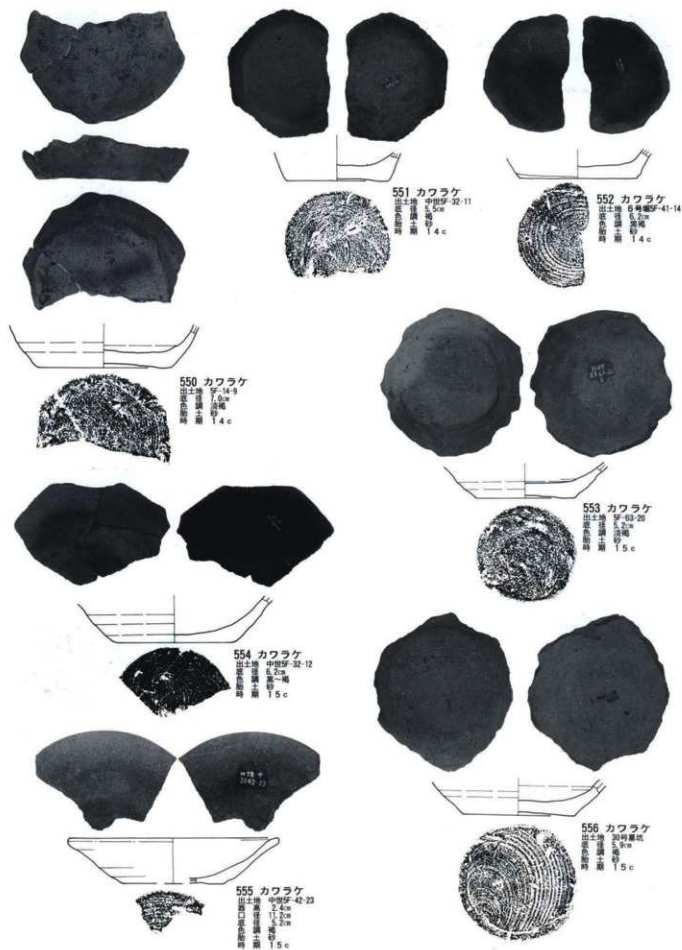


図332 中世の陶磁器 ㊦ カワラケ

0 5cm

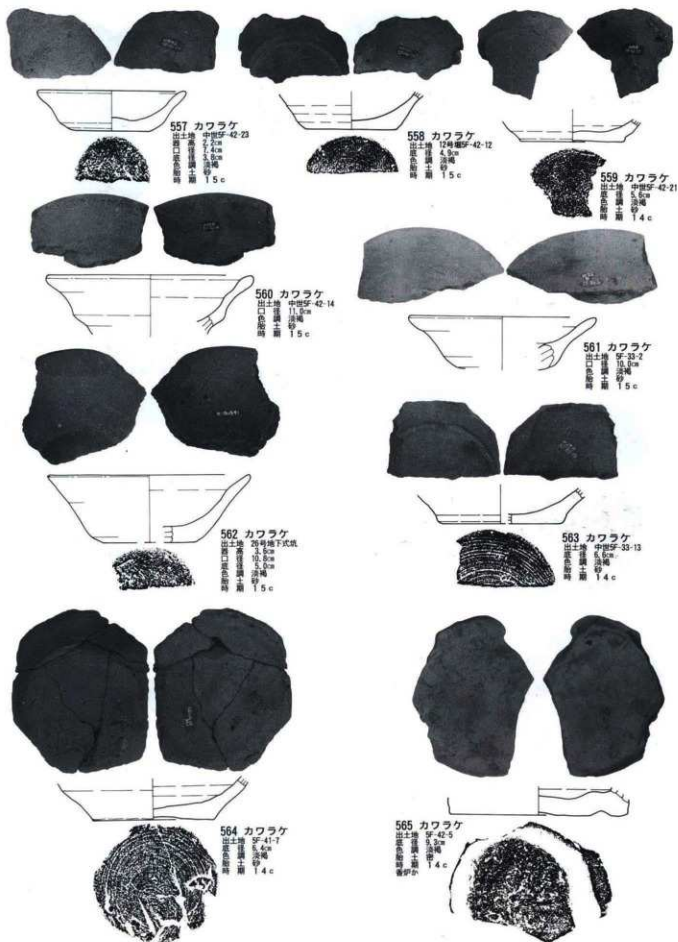


図333 中世の陶磁器 ㊦ カワラケ



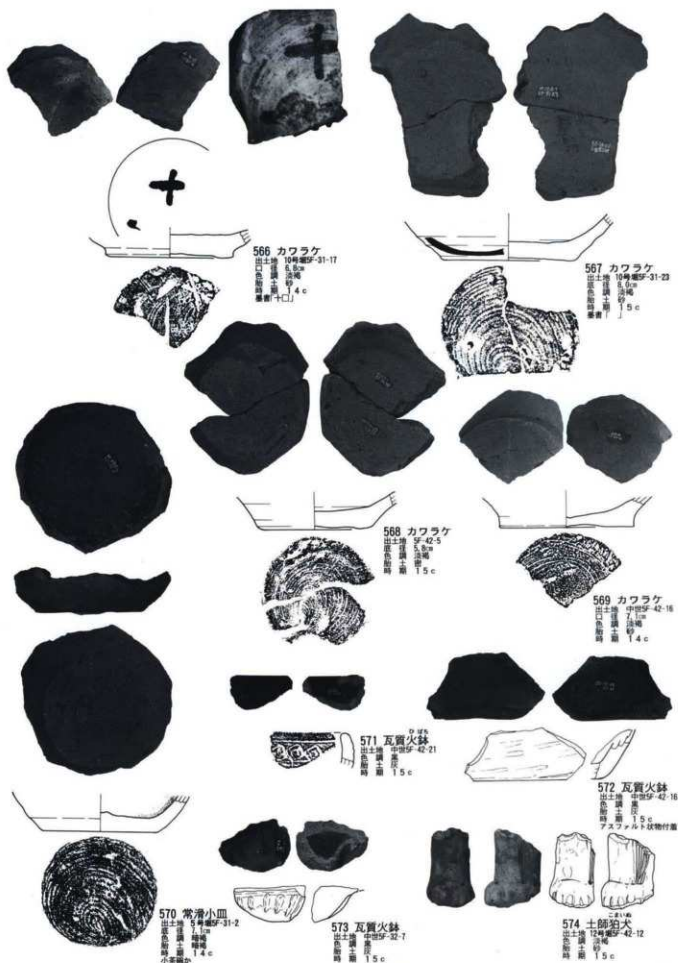
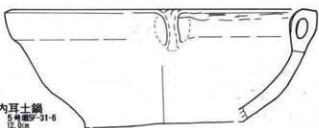
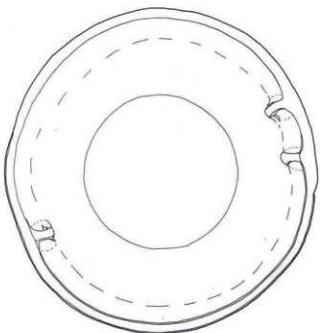
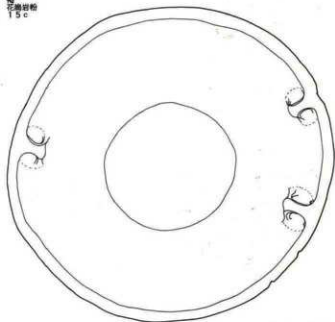


図334 中世の陶磁器 ⑥ カワラケ・瓦質土器・その他

0 5cm



575 内耳土鍋
 5号 口径 31.0cm
 高さ 12.0cm
 底径 17.0cm
 出土層 大付層
 口縁部 花巻形
 土質 粘土層
 15c



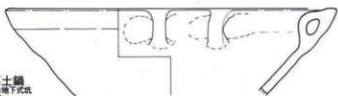
576 内耳土鍋
 5号 口径 31.0cm
 高さ 15.0cm
 底径 17.0cm
 出土層 大付層
 口縁部 花巻形
 土質 粘土層
 15c

図335 中世の陶磁器 ⑥ 内耳土鍋

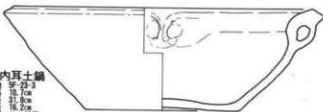




577 内耳土鍋
出土地 香川県高松市
口径 15.0cm
高さ 1.5cm



578 内耳土鍋
出土地 香川県高松市
口径 17.0cm
高さ 1.5cm



579 内耳土鍋
出土地 香川県高松市
口径 14.0cm
高さ 1.4cm

図336 中世の陶磁器 ⑨ 内耳土鍋



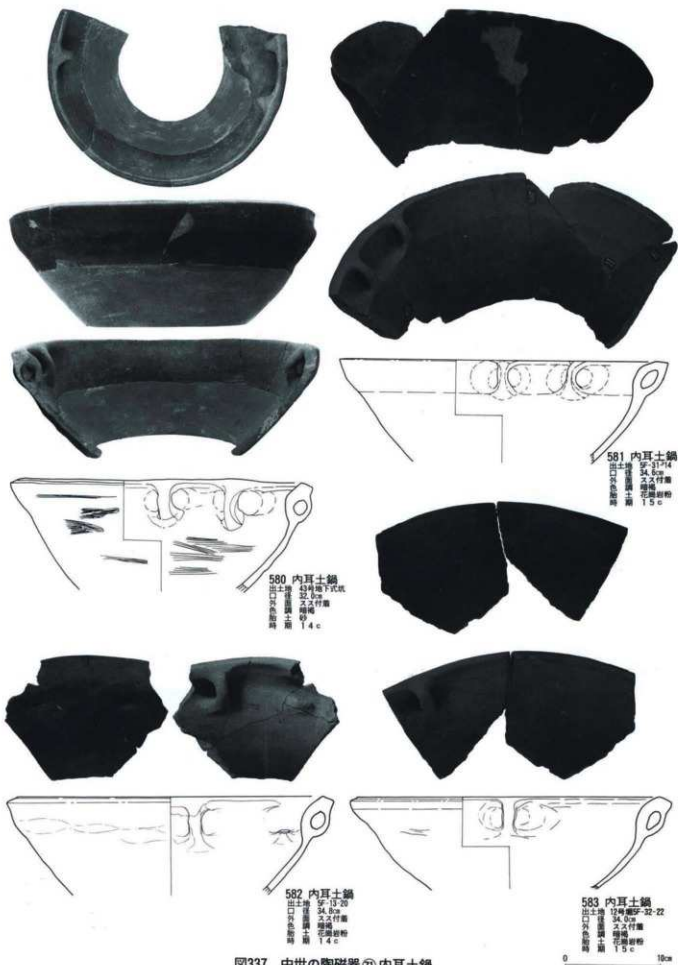


図337 中世の陶磁器⑦内耳土鍋

0 10cm

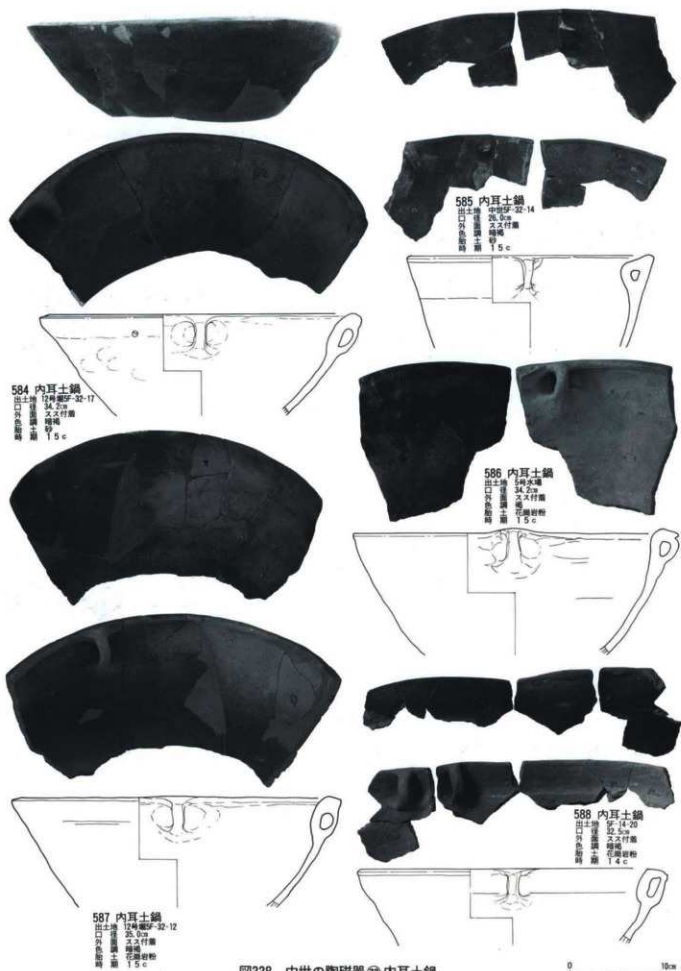


図338 中世の陶磁器㊦内耳土鍋

0 10cm



589 内耳土鍋
 12世紀下半葉
 出土地 佐賀県 唐津市
 出土品 内耳土鍋
 口径 31.4cm
 高さ 15cm

590 内耳土鍋
 12世紀
 出土地 佐賀県 唐津市
 出土品 内耳土鍋
 口径 31-14cm
 高さ 15cm

591 内耳土鍋
 12世紀
 出土地 佐賀県 唐津市
 出土品 内耳土鍋
 口径 41-7cm
 高さ 15cm

592 内耳土鍋
 12世紀
 出土地 佐賀県 唐津市
 出土品 内耳土鍋
 口径 37.4cm
 高さ 15cm

593 内耳土鍋
 12世紀
 出土地 佐賀県 唐津市
 出土品 内耳土鍋
 口径 42-12cm
 高さ 15cm

594 内耳土鍋
 12世紀
 出土地 佐賀県 唐津市
 出土品 内耳土鍋
 口径 40-10cm
 高さ 15cm

595 内耳土鍋
 12世紀
 出土地 佐賀県 唐津市
 出土品 内耳土鍋
 口径 42-14cm
 高さ 15cm

596 内耳土鍋
 12世紀
 出土地 佐賀県 唐津市
 出土品 内耳土鍋
 口径 32-13cm
 高さ 15cm

図339 中世の陶磁器 ③ 内耳土鍋

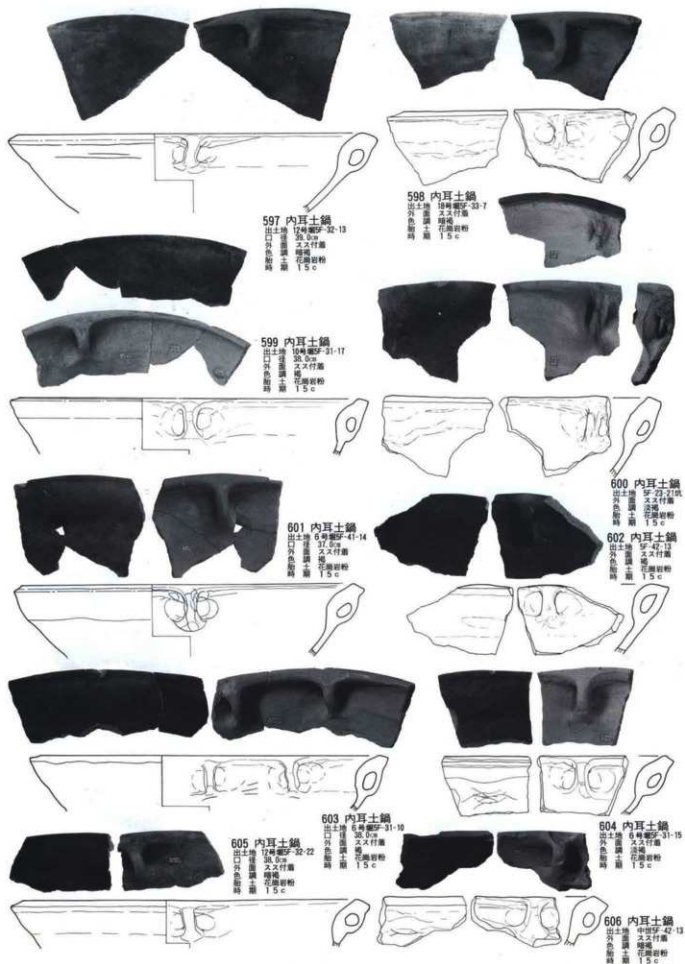
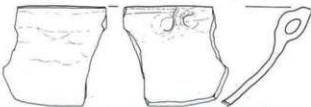
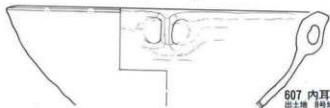


図340 中世の陶磁器(74)内耳土鍋

0 10cm



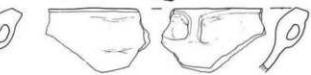
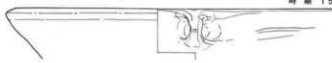
608 内耳土鍋
 出土地 5号縄文-1-9
 出土層 5次付層
 出土時期 花巻群粉 15c
 外色 黒土 黒



607 内耳土鍋
 出土地 5号縄文下式坑
 出土層 34.2cm
 出土層 5次付層
 出土時期 花巻群粉 15c
 外色 黒土 黒



610 内耳土鍋
 出土地 5号縄文-13
 出土層 5次付層
 出土層 5号縄文
 出土時期 花巻群粉 15c
 外色 黒土 黒



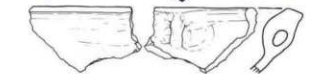
612 内耳土鍋
 出土地 5号縄文-10
 出土層 5次付層
 出土層 5号縄文
 出土時期 花巻群粉 15c
 外色 黒土 黒



611 内耳土鍋
 出土地 5号縄文-31-2
 出土層 34.0cm
 出土層 5次付層
 出土時期 花巻群粉 15c
 外色 黒土 黒



613 内耳土鍋
 出土地 5号縄文下式坑
 出土層 5次付層
 出土層 5号縄文
 出土時期 花巻群粉 15c
 外色 黒土 黒



615 内耳土鍋
 出土地 5号縄文-11-9
 出土層 5次付層
 出土層 5号縄文
 出土時期 花巻群粉 15c
 外色 黒土 黒



614 内耳土鍋
 出土地 5号縄文-32-17
 出土層 34.0cm
 出土層 5次付層
 出土層 5号縄文
 出土時期 花巻群粉 15c
 外色 黒土 黒

図341 中世の陶磁器 ㊦ 内耳土鍋

0 10cm



図342 中世の陶磁器(7)内耳土鍋

0 10cm

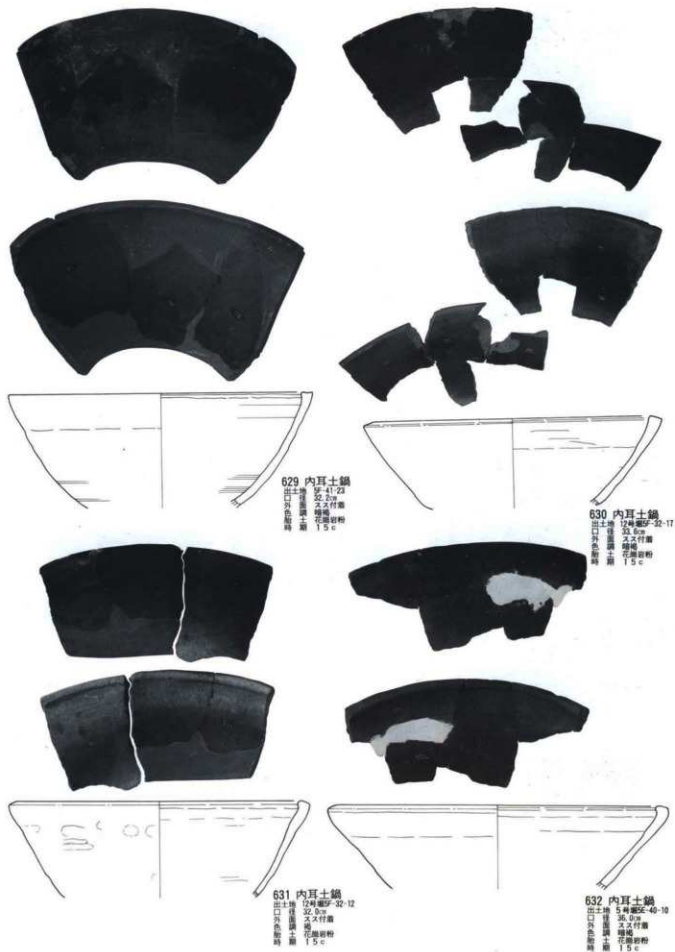


図343 中世の陶磁器 ⑦内耳土鍋

0 10cm



図344 中世の陶磁器 ⑦ 内耳土鍋

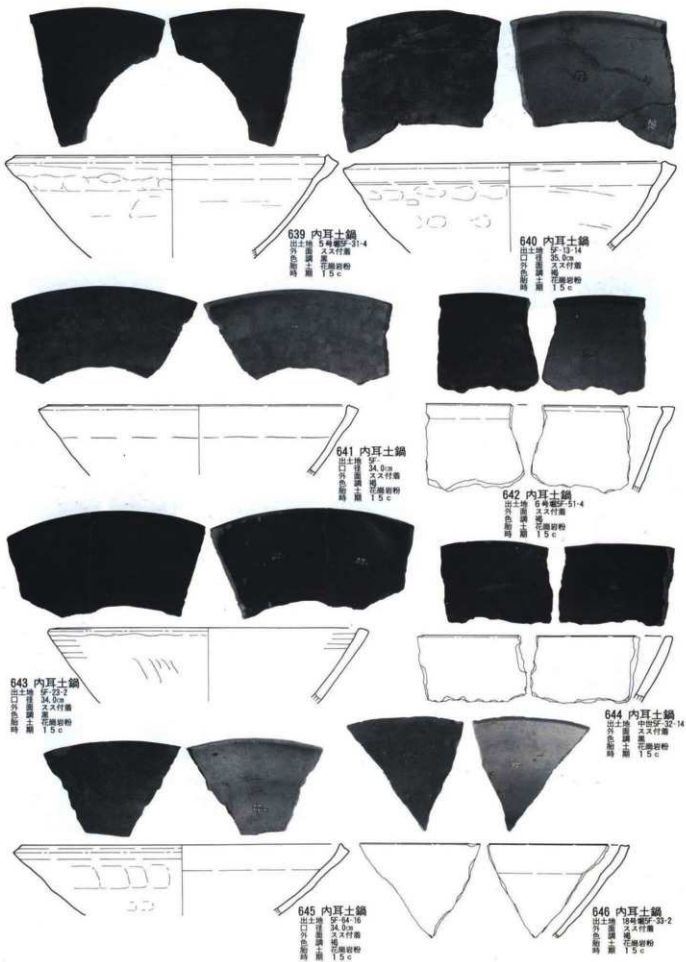


図345 中世の陶磁器⑦内耳土鍋

0 10cm

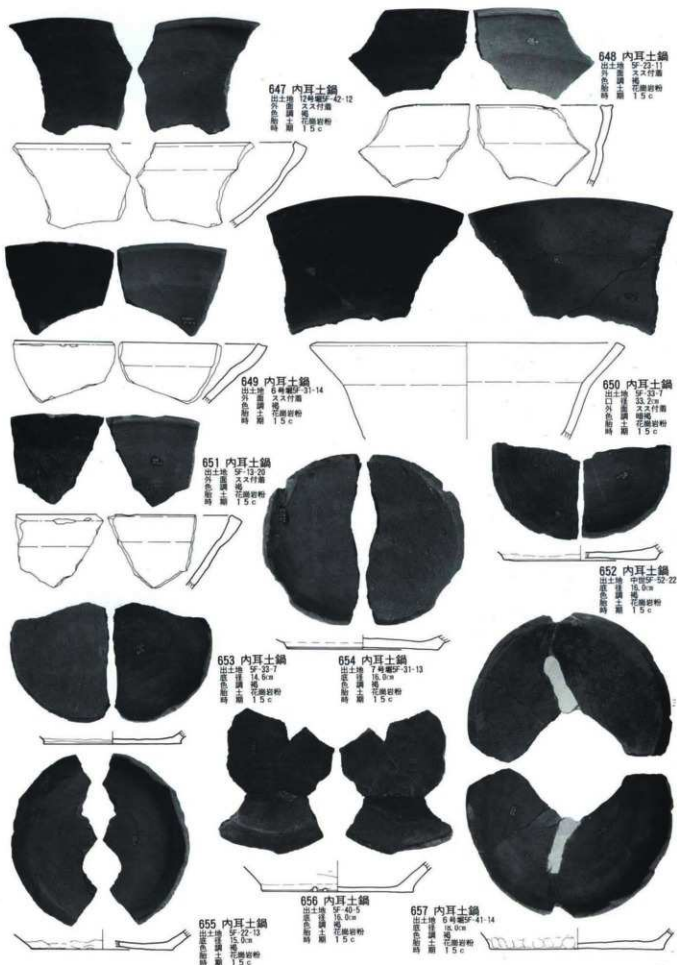
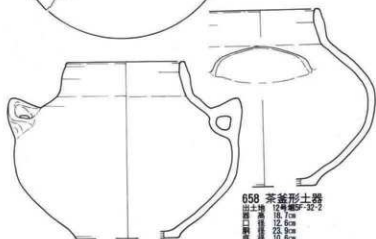
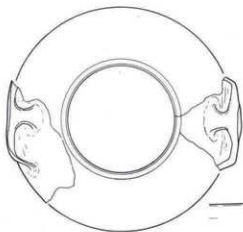
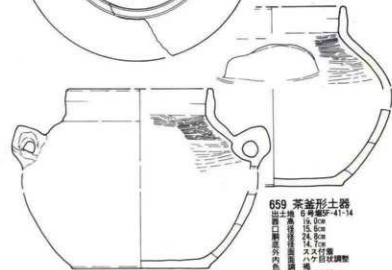
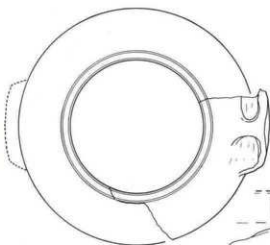


図346 中世の陶磁器⑧内耳土鍋

0 10cm



058 茶蓋形土器
 出土地 群馬県 57-32-2
 口径 7.0cm
 高さ 12.6cm
 底径 6.6cm
 土質 灰土付層
 胎土 花崗岩質土層
 焼成 15c



059 茶蓋形土器
 出土地 群馬県 57-41-14
 口径 7.0cm
 高さ 12.6cm
 底径 6.6cm
 土質 灰土付層
 胎土 ハケ目状調整
 焼成 15c
 土質 花崗岩質土層
 焼成 15c

図347 中世の陶磁器 ⑩ 茶蓋形土器

0 10cm

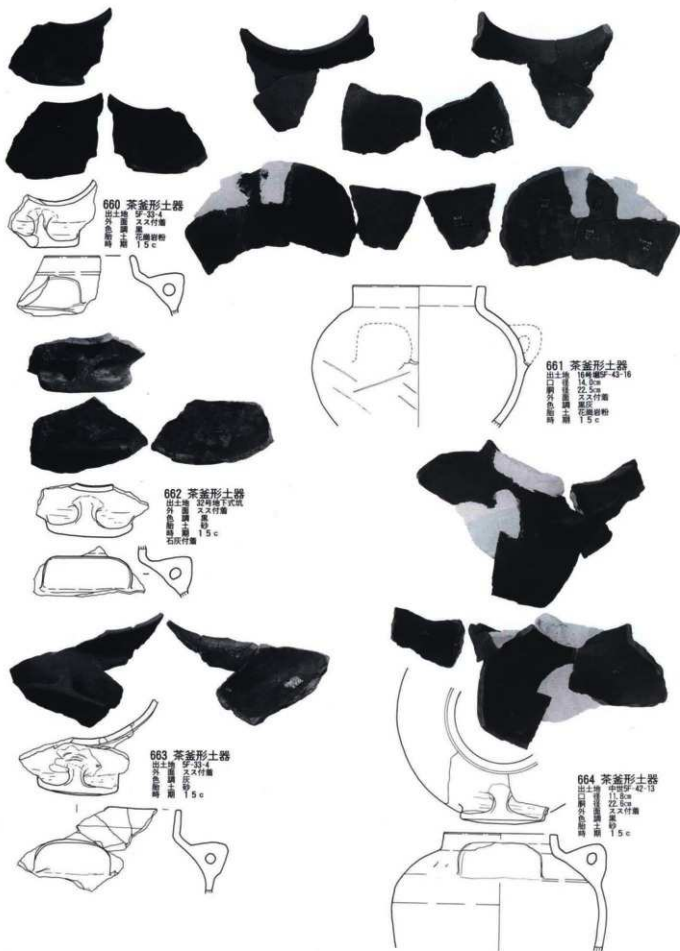
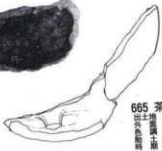
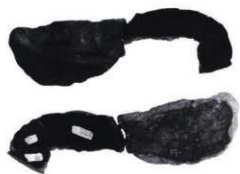


図348 中世の陶磁器 ⑧ 茶蓋形土器

0 10cm



665 茶蓋形土器
出土地 宇治-14
宇治式付蓋
外色黒釉
1.5c



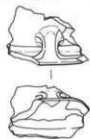
666 茶蓋形土器
出土地 宇治-23
宇治式付蓋
外色黒釉
1.5c



667 茶蓋形土器
出土地 宇治-14
宇治式付蓋
外色黒釉
1.5c



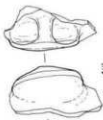
668 茶蓋形土器
出土地 宇治-14
宇治式付蓋
外色黒釉
1.5c



669 茶蓋形土器
出土地 宇治-23
宇治式付蓋
外色黒釉
1.5c



670 茶蓋形土器
出土地 宇治-14
宇治式付蓋
外色黒釉
1.5c



671 茶蓋形土器
出土地 宇治-1
宇治式付蓋
外色黒釉
1.5c



672 茶蓋形土器
出土地 宇治-2
宇治式付蓋
外色黒釉
1.5c

図349 中世の陶磁器 ⑧ 茶蓋形土器



表2 篠本城跡出土の陶磁器編年と点数

		I期 12世紀			II期 13世紀				III期 14世紀前半			IV期 14後～15前				V期 15世紀後半		VI期 16世紀前半		合計				
貿易陶磁	青磁碗	B類8																	23					
	血盤	1																	10					
	磁盤	2																	3					
	白磁碗	口禿皿1				1																	29	
	磁杯	B群23																	4					
	その他	天目茶碗1				褐釉壺1				角杯3丸杯1				粉青1天目1				C群4		4				
小計		10				5				46				12				73						
様式		前期				中期				後期				大窯1		大窯2								
		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	古	IV	新								
瀬戸	緑釉小皿																		2 3 10 145 27	挟皿2他12	201			
	他小皿類																		2	15	2	19		
	平碗																		5 4 13 30 33		85			
	天目茶碗																		1 2 5	2	10			
	卸皿																		3		3			
	折縁深皿																		1 26 34		65			
	直縁大皿																		1 1 1		3			
	卸目付大皿																		8 7		15			
	摺鉢																		30	1	31			
	片口鉢																		3		3			
美濃	袴腰形香炉																		1 3 1 1		6			
	筒形香炉																		1		1			
	水鏡																		1		1			
	小壺																		1		1			
	花瓶																		1 1 7		12			
	瓶子																		10		13			
	茶壺・有耳壺																		2 1 8		11			
	小計	2 3 1 4				7				10 49 98 207				65		32		2		480				
	志戸呂	緑釉小皿																		13		13		
		卸皿																		1		1		
茶壺																			3		3			
摺鉢																			1 9		10			
小計																			18 9		27			
常滑	型式	1	2	3	4	5	6	a	6	b	7	8	9	10	11									
	壺																		16 3 6	10	5 7	56	103	
	壺																		6	2	10		18	
滑石	片口鉢																		1	7 8 2	6	5 5	6	40
	小計																		1	23 17 8	18	10 22	62	161
瀬戸美	壺																		1	6			7	
	壺																		6				6	
小計																			7	6			13	
瓦貫	香炉																		1		1			
	火鉢																		2		2			
	小計																		3		3			
土器	カワラケ																		4	22	101	3	130	
	内耳土鍋																				200		200	
	茶釜																				15		15	
	摺鉢																				4		4	
	香炉																				2		2	
小計																					322		351	
合計		8			70				60			785				183		13		1119				

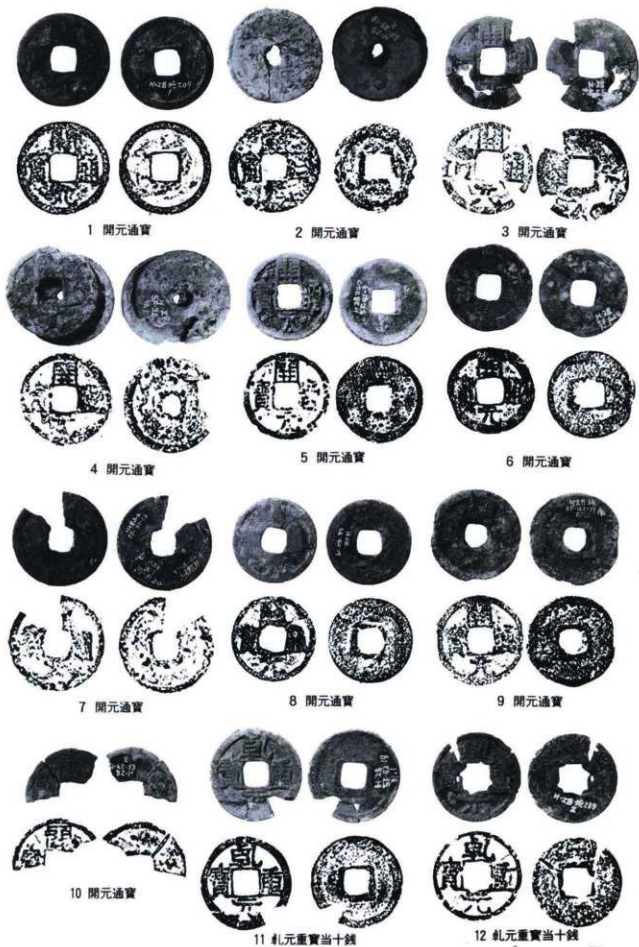


図350 中世の銭貨①



13 開元通寶紀地錢

14 太平通寶

15 淳化元寶



16 至道元寶

17 至道元寶

18 咸平元寶



19 景德元寶

20 祥符元寶

21 祥符通寶



22 天禧通寶

23 天禧通寶

24 天禧通寶

図351 中世の銭貨②





25 天禧通寶

26 天聖元寶

27 天聖元寶



28 天聖元寶

29 天聖元寶

30 天聖元寶



31 天聖元寶

32 天聖元寶

33 天聖元寶



34 景祐元寶

35 景祐元寶

36 皇宋通寶

図352 中世の銭貨③





図353 中世の銭貨④



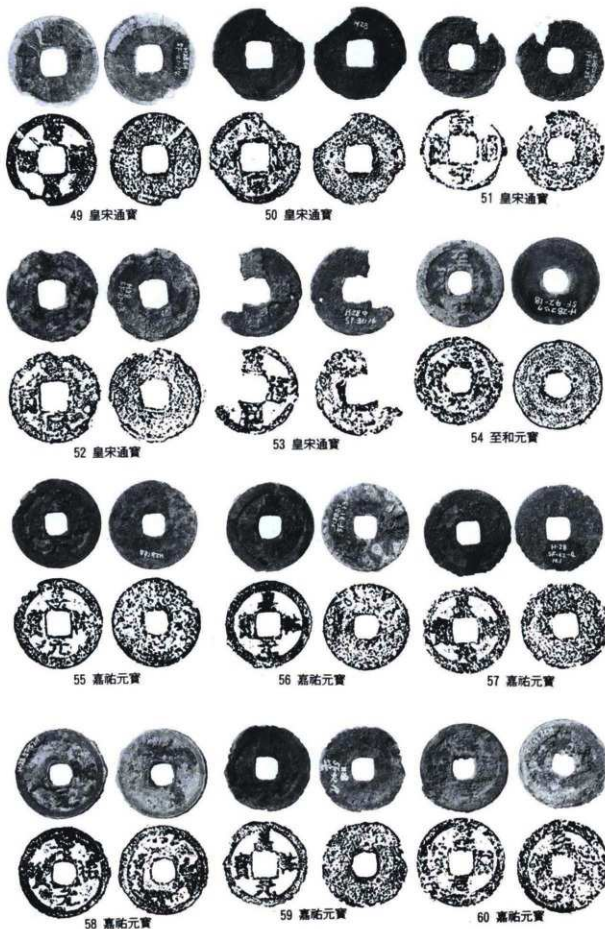


図354 中世の銭貨⑤





61 嘉祐通寶

62 嘉祐通寶

63 嘉祐通寶



64 嘉祐通寶

65 治平元寶

66 治平元寶



67 治平元寶

68 熙寧元寶

69 熙寧元寶



70 熙寧元寶

71 熙寧元寶

72 熙寧元寶

図355 中世の銭貨⑥





73 照寧元寶

74 照寧元寶

75 照寧元寶



76 照寧元寶

77 照寧元寶

78 照寧元寶



79 照寧元寶

80 照寧元寶

81 照寧元寶



82 照寧元寶

83 照寧元寶

84 照寧元寶

図356 中世の銭貨⑦



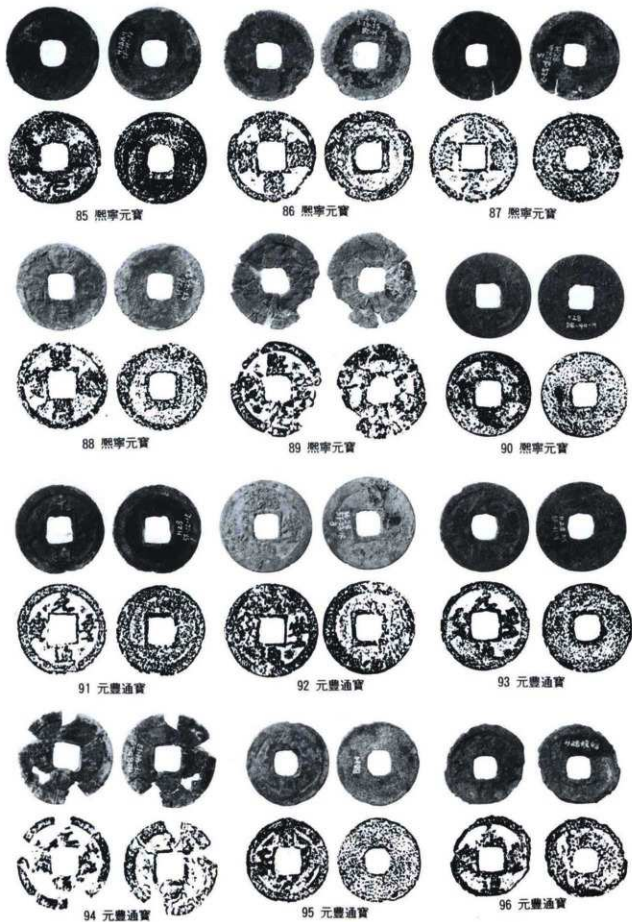
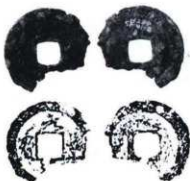


図357 中世の銭貨⑧





97 元豐通寶



98 元豐通寶



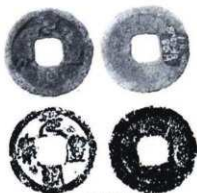
99 元豐通寶



100 元豐通寶



101 元豐通寶



102 元豐通寶



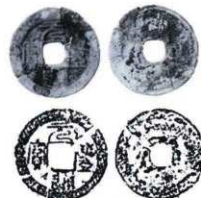
103 元豐通寶



104 元豐通寶



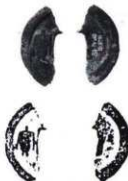
105 元豐通寶



106 元豐通寶



107 元豐通寶



108 元豐通寶

図358 中世の銭貨⑨





109 元豐通寶

110 元祐通寶

111 元祐通寶



112 元祐通寶

113 元祐通寶

114 元祐通寶



115 元祐通寶

116 元祐通寶

117 元祐通寶



118 元祐通寶

119 元祐通寶

120 元祐通寶

図359 中世の銭貨⑩





121 元祐通寶

122 元祐通寶

123 元祐通寶



124 元祐通寶

125 元祐通寶

126 元祐通寶



127 元祐通寶

128 元祐通寶

129 元祐通寶



130 元祐通寶

131 元祐通寶

132 元祐通寶

図360 中世の銭貨①



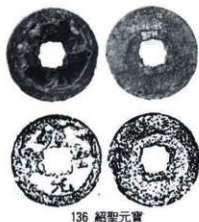
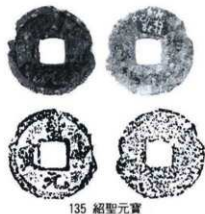
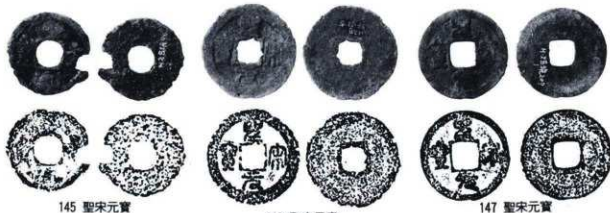


図361 中世の銭貨⑫





145 聖宋元寶

146 聖宋元寶

147 聖宋元寶



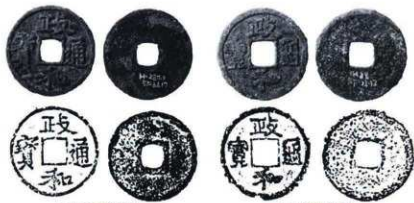
148 聖宋元寶

149 大觀通寶

150 大觀通寶



151 大觀通寶



152 政和通寶

153 政和通寶



154 政和通寶

155 政和通寶

156 政和通寶

図362 中世の銭貨⑬





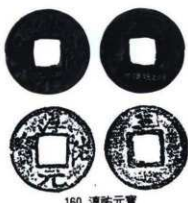
157 宣和通寶



158 宣和通寶



159 紹定通寶



160 淳祐元寶



161 洪武通寶



162 洪武通寶



163 洪武通寶



164 洪武通寶



165 洪武通寶



166 洪武通寶



167 洪武通寶



168 洪武通寶

図363 中世の銭貨⑬





169 永樂通寶

170 永樂通寶

171 永樂通寶



172 永樂通寶

173 永樂通寶

174 永樂通寶



175 永樂通寶

176 永樂通寶

177 永樂通寶



178 永樂通寶

179 永樂通寶

180 永樂通寶

図364 中世の銭貨⑬



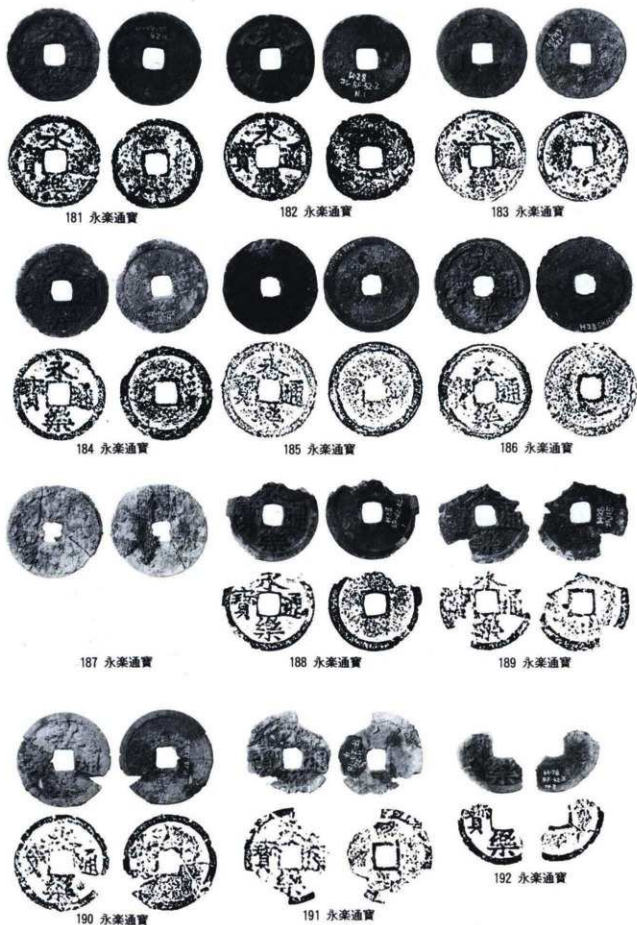


図365 中世の銭貨⑯





193 永楽通寶

194 宣德通寶

195 宣德通寶



196 宣德通寶

197 宣德通寶

198 判読不能

199 熙寧元寶か



200 熙寧元寶か

201 判読不能

202 判読不能



203 判読不能

204 判読不能

205 判読不能

図366 中世の銭貨①





206 紹聖元寶か



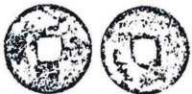
207 判読不能



208 判読不能



209 判読不能



210 判読不能



211 判読不能



212 判読不能



213 判読不能



214 判読不能



215 判読不能



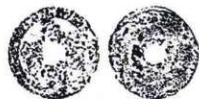
216 判読不能



217 判読不能

図367 中世の銭貨⑱





218 判読不能



221 判読不能



224 判読不能



227 天聖元寶か



230 淳化元寶か



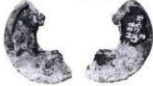
219 判読不能



222 判読不能



225 判読不能



228 元祐通寶か



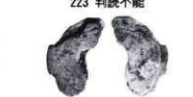
231 祥符元寶か



220 判読不能



223 判読不能



226 判読不能



229 判読不能



232 判読不能



図368 中世の銭貨⑯

表3 中世銭貨①

図番号	銭貨名	書体	初鑄年	出土遺構 (出土グリッド)	法量			表面	裏面	特記事項
					径 mm	厚さ mm	重量 g			
1	開元通寶		唐621年	5号方形土坑	25.1	1.6	4.1			
2	〃			5 F-23-18-2	25.0					6枚付着
3	〃			5 F-23-2						
4	〃			5 F-32-1-1	24.8					3枚付着
5	〃			5 F-41-3	23.5	1.6	3.5			
6	〃			5 F-42-4-2	23.5	1.2	1.9			
7	〃			5 F-31-13他	25.7	1.6	2.5			
8	〃			腰曲輪5 E-40-19	23.0	1.4	3.2			
9	〃			5 F-41-19-2	24.6	1.5	3.4			
10	〃			5 F-23-13-3						
11	貞元重寶当十銭		唐758年	5 F-42-14-1	25.0	1.4	2.5			
12	〃			4号地下式坑わき-2	23.8	1.1	1.8		下月	
13	開元通寶記地銭		唐845年	5号方形土坑	23.9	1.3	3.6		聚	
14	太平通寶		北宋976年	5 F-41-18	25.7	1.3	1.8			
15	淳化元寶	行書	北宋990年	5 F-42-9-2	24.1	1.2	2.1			
16	至道元寶	真書	北宋995年	25号方形土坑	23.2	1.1	2.0			
17	〃	草書		腰曲輪5 E-40-19	24.9	1.1	1.8			
18	咸平元寶		北宋998年	腰曲輪5 E-40-19	24.1	1.1	2.6			
19	景德元寶		北宋1004年	5 F-42-10-2	24.4	1.2	2.4			
20	祥符元寶		北宋1009年	5 F-32-1-2	24.9	1.4	2.3			
21	祥符通寶		北宋1009年	腰曲輪5 E-40-19	25.2	1.1	2.9			
22	天禧通寶		北宋1017年	5 F-41-4-2	23.8	1.3	2.1			
23	〃			5 F-42-10-1	24.0	1.4	2.6			
24	〃			腰曲輪5 E-40-19	24.4	1.2	2.5			
25	〃			31号方形土坑-2	25.5	1.3	2.5			
26	天聖元寶	真書	北宋1023年	5号細5 F-31-6	25.0	1.3	2.7			
27	〃	〃		5 F-32-1-3	25.4	1.5	3.0			
28	〃	〃		5 F-41-8-4						
29	〃	篆書		10号細5 F-31-17	25.1	1.3	3.4			
30	〃	〃		10号細5 F-31-17	24.3	1.2	2.8			
31	〃	〃		5 F-41-8	23.4	1.1	2.1			
32	〃	〃		表探	23.9	1.8	4.1			
33	〃	〃		5 F-32-1-3	24.7	1.2	3.1			
34	景祐元寶	真書	北宋1034年	表探	25.0	1.5	3.3			
35	〃	〃		5 F-23-18-3						
36	皇宋通寶	真書	北宋1038年	5 F-33-14-2	24.4	1.3	2.5			
37	〃	〃		18号建物跡柱穴	24.6	1.1	3.1			
38	〃	〃		表探	24.7	0.9	2.0			
39	〃	〃		5 F-32-11-2	24.7	1.4	2.4			
40	〃	〃		5 F-42-13-2	23.1	1.3	2.3			
41	〃	〃		12号細5 F-32-8	23.7	1.1	2.3			
42	〃	篆書		5 F-32-3-1	25.1	1.2	2.4			
43	〃	〃		22号方形土坑-5	24.8	1.2	2.6			
44	〃	〃		7号細5 F-31-13	25.1	1.3	3.3			
45	〃	〃		5 F-23-18-1	25.0	1.2	1.6			
46	〃	〃		5 F-32-6-2	24.7	1.4	3.2			
47	〃	〃		24号地下式坑わき	25.1	1.2	2.3			
48	〃	〃		6号水場上	24.9	1.0	1.9			
49	〃	〃		5 F-41-24	25.0	1.2	1.7			
50	〃	〃		表探	25.0	1.2	1.9			

表4 中世銭貨②

図番号	銭貨名	書体	初鋳年	出土遺構 (出土グリッド)	法量			表面	裏面	特記事項
					径 mm	厚さ mm	重量 g			
51	皇宋通寶	篆書		5 F-41-23	23.1	1.4	1.5			
52	〃	〃		5 F-32-1-3	24.4	1.1	2.0			
53	〃	〃		23号建物跡	24.1	1.5	1.8			
54	至和元寶	真書	北宋1054年	5 F-42-18	23.6	1.2	2.7			
55	嘉祐元寶	真書	北宋1056年	5 F-41-15	23.9	1.5	2.9			
56	〃	〃		7号堀 5 F-31-13	23.6	1.5	3.5			
57	〃	〃		5 F-42-14-1	23.3	1.3	2.5			
58	〃	〃		5 F-52-1	24.1	1.1	2.6			
59	〃	〃		15号堀 5 F-42-19	23.1	1.5	2.6			
60	〃	〃		6号水場上	23.9	1.3	2.6			
61	嘉祐通寶	真書	北宋1056年	18号建物跡柱穴	23.6	1.2	2.3			
62	〃	〃		5 F-32-17	24.9	1.2	2.4			
63	〃	篆書		5 F-32-1-2	23.7	1.4	2.8			
64	〃	〃		5 F-15-24-1	23.8	1.5	2.8			
65	治平元寶	真書	北宋1064年	5 F-41-8-1	23.6	1.5	3.0			
66	〃	〃		5号方形土坑	23.4	1.5	3.8			
67	〃	〃		5 F-32-18-5	24.3	1.4	2.9			
68	熙寧元寶	真書	北宋1068年	5 F-43-3	24.9	1.0	2.1			
69	〃	〃		5 F-52-2-7	23.9	1.4	2.2			
70	〃	〃		5 F-52-2-6	24.6	1.5	2.8			
71	〃	〃		10号堀 5 F-31-17	23.8	1.5	2.5			
72	〃	〃		37号建物跡	22.4	1.4	1.8			
73	〃	〃		18号建物跡柱穴	24.1	1.3	2.8			
74	〃	〃		16号堀 5 F-43-12	24.5	1.4	2.7			
75	〃	〃		5 F-42-19	23.9	1.2	2.4			
76	〃	〃		5 F-31-19	22.9	1.4	2.9			
77	〃	〃		37号建物跡	22.4	1.5	2.9			
78	〃	〃		5 F-42-9-3	23.4	1.0	1.9			
79	〃	篆書		11号堀わき坑	24.3	1.4	3.0			
80	〃	〃		5 F-32-2-1	23.9	1.5	3.1			
81	〃	〃		19号地下式坑	24.1	1.5	2.9			
82	〃	〃		19号地下式坑	24.1	1.1	2.7			
83	〃	〃		14号堀 5 F-43-1	23.3	1.0	1.8			
84	〃	〃		27号地下式坑	23.9	1.4	3.0			
85	〃	〃		7号堀 5 F-31-13	24.9	1.1	3.3			
86	〃	〃		5 F-42-4-7	24.4	1.3	2.3			
87	〃	〃		37号建物跡	23.9	1.5	2.5			
88	〃	〃		5 F-33-22-6	24.4	1.2	2.7			
89	〃	〃		5 F-52-2-7						
90	〃	〃		腰曲輪 5 E-40-19	22.8	1.2	2.7			
91	元豊通寶	行書	北宋1078年	5 F-22-12	24.1	1.2	2.1			
92	〃	〃		5 F-23-18-3	24.9	1.2	2.9			
93	〃	〃		6号堀 5 F-41-9	24.0	1.3	3.2			
94	〃	〃		5 F-41-13	25.4	1.6	1.9			
95	〃	〃		表探	22.6	1.2	2.5			
96	〃	〃		19号地下式坑						
97	〃	〃		25号建物跡						
98	〃	〃		27号建物跡						
99	〃	篆書		腰曲輪 5 E-40-19	23.9	1.5	3.8			
100	〃	〃		59号地下式坑	23.9	0.9	1.1			

表5 中世銭貨③

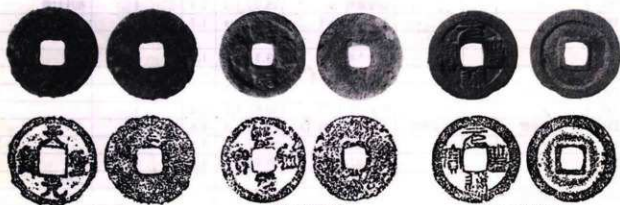
図番号	銭貨名	書体	初鋳年	出土遺構 (出土グリッド)	法量			表面	裏面	特記事項
					径 mm	厚さ mm	重量 g			
101	元豊通寶	篆書		18号建物跡柱穴	23.7	1.2	2.5			
102	〃	〃		5 F-42-13-1	23.6	1.2	2.2			
103	〃	〃		5 F-52-1	24.8	1.2	2.9			
104	〃	〃		5 F-41-15	24.0	1.2	2.6			
105	〃	〃		37号建物跡	25.0	1.2	1.7			
106	〃	〃		5 F-23-14-1	24.4	1.4	1.5			
107	〃	〃		6号水場上	24.4	1.2	3.1			
108	〃	〃		5 F-41-15						
109	〃	〃		5 F-22-12-2	24.2	1.1	1.8			
110	元祐通寶	行書	北宋1086年	5号方形土坑	25.2	1.2	3.6			
111	〃	〃		19号地下式坑	24.3	1.4	3.7			
112	〃	〃		5 F-42-9-1	24.3	1.5	2.6			
113	〃	〃		腰曲輪 5 E-40-19	24.4	1.5	4.3			
114	〃	〃		腰曲輪 5 E-40-19	24.5	1.2	3.0			
115	〃	〃		5 E-40-20-1	24.5	1.3	2.5			
116	〃	〃		腰曲輪 5 E-40-19	24.5	1.4	3.7			
117	〃	〃		10号堀 5 F-31-17	23.3	1.2	1.9			
118	〃	〃		59号地下式坑-2	24.0	1.2	2.2			
119	〃	〃		表探	23.2	1.3	2.6			
120	〃	〃		5 F-32-1-2	24.4	1.4	3.5			
121	〃	篆書		5 F-42-13-2	24.0	1.4	2.9			
122	〃	〃		5号方形土坑	24.5	1.2	3.6			
123	〃	〃		5 F-42-4	24.1	1.2	2.6			
124	〃	〃		5 F-41-20-2	24.3	1.4	2.8			
125	〃	〃		22号方形土坑-3	25.3	1.2	2.9			
126	〃	〃		16号地下式坑	24.6	1.2	2.3			
127	〃	〃		5号方形土坑	24.5	1.2	3.3			
128	〃	〃		5 F-42-9-2	23.5	1.3	2.3			
129	〃	〃		5 F-32-11-3	24.5	1.6	3.0			
130	〃	〃		5号堀 5 F-31-6	24.3	1.3	3.2			
131	〃	〃		5 F-32-19-1	24.2	1.1	1.9			
132	〃	〃		5 F-52-1	24.6	1.2	2.2			
133	〃	〃		5 F-52-1						
134	紹聖元寶	行書	北宋1094年	5 F-42-14-1	23.5	1.4	2.3			
135	〃	〃		5 F-42-9-4	23.8	1.3	2.0			
136	〃	〃		5 F-32-1-2	25.0	1.3	3.1			
137	〃	〃		18号建物跡柱穴	23.9	1.2	3.4			
138	〃	篆書		15号堀 5 F-42-18-1	23.8	1.0	2.3			
139	〃	〃		19号地下式坑わき	24.9	1.3	2.3		下月	
140	〃	〃		18号建物跡柱穴	23.7	1.2	2.7			
141	元符通寶	行書	北宋1098年	22号建物跡柱穴	24.2	1.4	1.9			
142	〃	〃		6号水場上	24.8	1.2	2.5			
143	〃	篆書		5 F-41-15	25.1	1.0	2.7			
144	聖宋元寶	行書	北宋1101年	5 F-13-15	24.0	1.3	2.6			
145	〃	〃		22号方形土坑	22.3	1.2	1.8			
146	〃	篆書		5 F-51-5	25.2	1.4	3.4			
147	〃	〃		5号方形土坑	24.8	1.2	2.5			
148	〃	〃		19号地下式坑わき	24.6	1.3	2.5			
149	大觀通寶		北宋1107年	5 F-41-10坑	24.5	1.5	3.2			
150	〃			5 F-41-1	25.1	1.5	2.0			

表6 中世銭貨④

図番号	銭貨名	書体	初鋳年	出土遺構 (出土グリッド)	法量			表面	裏面	特記事項
					径 mm	厚さ mm	重量 g			
151	大観通寶			12号堀 5 F-42-12						
152	政和通寶	分階	北宋1111年	10号堀 5 F-31-17	24.4	1.4	2.6			
153	〃	〃		5 F-23-12-2	24.8	1.4	3.5			
154	〃	〃		8号地下式坑-1	24.4	1.8	4.0			
155	〃	篆書		5 F-42-9-5	25.7	1.0	2.5			
156	〃	〃		5 F-31-21-1						
157	宣和通寶	分階	北宋1119年	5 F-33-16	23.8	1.0	1.9			
158	〃	篆書		表探	23.8	1.0	2.6			
159	紹定通寶		南宋1228年	5 F-52-2					三	
160	淳祐元寶		南宋1241年	5号方形土坑	22.8	1.0	2.6		三	
161	洪武通寶		明1368年	5号方形土坑	24.2	1.2	2.7	単点通		
162	〃			7号堀 5 F-31-13	25.6	1.5	3.5	〃		
163	〃			22号方形土坑-1	24.6	1.2	2.4	〃	桂	
164	〃			5 F-41-20-3	22.5	1.5	2.8	重点通		
165	〃			5 F-41-20-1	23.9	1.5	3.4	単点通	福	
166	〃			5 F-21-4-1				〃		4枚付着
167	〃			5 F-23-23	24.4					2枚付着
168	〃			5 F-42-4-4				単点通		
169	永楽通寶		明1408年	5号方形土坑	25.5	1.3	3.2			
170	〃			25号地下式坑	25.1	1.7	3.8			
171	〃			3号階段 5 F-43-11	25.4	1.6	3.5			
172	〃			24号地下式坑-2	25.4	1.6	2.7			
173	〃			3号見張台坑	25.1	1.4	2.8			
174	〃			5 F-42-17-1	25.2	1.5	2.6			
175	〃			5 F-32-11	25.6	1.3	2.8			
176	〃			5 F-23-18-3	25.2	1.4	1.9			
177	〃			腰曲輪 5 E-40-19	25.0	1.2	2.7			4点穿孔
178	〃			29号墓坑-4	24.6	1.5	2.4			
179	〃			表探	25.0	1.4	3.3			
180	〃			6号水場上	25.1	1.4	3.3			
181	〃			腰曲輪 5 E-40-19	25.1	1.5	3.0			
182	〃			5 F-52-2-1	23.8	1.6	3.8			
183	〃			29号墓坑-1	24.4	1.5	2.5			
184	〃			5 F-41-20-4	25.2	1.5	2.2			
185	〃			29号墓坑-2	25.7	1.4	3.6			
186	〃			29号墓坑-3	25.5	1.5	3.0			
187	〃			29号墓坑-2	25.3	1.3	2.1			布片付着
188	〃			5 F-42-22-1	24.9	1.4	1.7			
189	〃			31号地下式坑						
190	〃			6号水場上	25.3	1.5	1.2			
191	〃			5 F-23-18-4						
192	〃			5 F-42-3-3						
193	〃			5 F-32-1-3	25.0	1.2	3.0			
194	宣徳通寶		明1433年	7号堀 5 F-31-13	25.9	1.5	3.8			
195	〃			5 F-42-3-2	25.0	1.7	3.7			
196	〃			5 F-32-1-3	25.6	1.4	3.0			
197	〃			5 F-23-18-2	25.8					2枚付着
198	判読不能			5 F-23-18-2						3枚付着
199	熙寧元寶か	篆書		16号地下式坑	25.0	1.0	2.2			
200	〃	真書		5 F-41-15	24.1	1.3	3.0			

表7 中世銭貨⑤

図番号	銭貨名	書体	初鋳年	出土遺構 (出土グリッド)	法量			表面	裏面	特記事項
					径 mm	厚さ mm	重量 g			
201	判読不能			5 F-32-11	23.2	1.1	1.4			
202	〃			腰曲輪 5 E-40-19	25.5	1.4	4.2			
203	〃			5号地下式坑	23.8	1.2	2.5			
204	〃			22号建物跡	23.3	1.2	2.4			
205	〃			19号地下式坑	23.8	1.1	1.7			
206	紹聖元寶か	篆書		27号建物跡	23.4	1.1	1.9			
207	判読不能			22号方形土坑-2	23.7	1.2	2.3			
208	〃			5 F-42-13-3	23.5	1.0	2.1			
209	〃			34号建物跡	24.0	0.9	2.1			
210	〃			8号建物跡	23.3	0.9	1.6			
211	〃			5 F-32-1-3	24.3	0.8	2.1			
212	〃			表採	23.2	1.1	2.1			
213	〃			〃	23.7	1.0	2.0			
214	〃			5 F-23-18-1						
215	〃			5 F-42-4-3	22.1	1.2	1.7			
216	〃			5 F-52-2-8						
217	〃			5 F-31-25						
218	〃			6号水場上	24.6	1.3	2.2			
219	〃			5 F-23-18-2	21.4	1.6				
220	〃			5 F-33-7						
221	〃			19号建物跡						
222	〃			5 F-42-23						
223	〃			23号方形土坑-1						
224	〃			22号建物跡柱穴	21.4	1.0	1.8			
225	〃			6号水場上						
226	〃			5 F-21-5						
227	天聖元寶か	篆書		5 F-31-21-2						
228	元祐通寶か			5 F-23-18-3						
229	判読不能			10号堀 5 F-31-22						
230	淳化元寶か	真書		5 F-41-13						
231	祥符元寶か			6号水場上			2.2			周りを折り曲げる
232	判読不能			5 F-32-25						
233	天聖元寶	真書		5 F-32-7-3	24.8	1.4	3.3			
234	〃	篆書		5 F-31-17	23.3	1.5	2.9			
235	元豊通寶	篆書		5 F-31-17-2	23.9	1.5	3.1			



233 天聖元寶

234 天聖元寶

235 元豊通寶

図369 中世の銭貨⑤



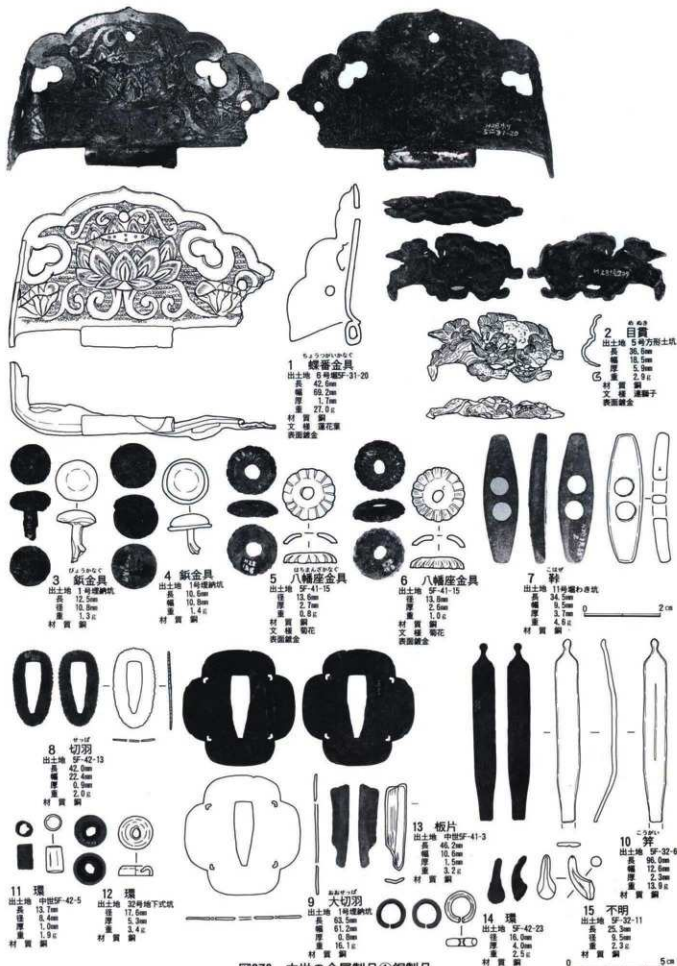


図370 中世の金属製品①銅製品

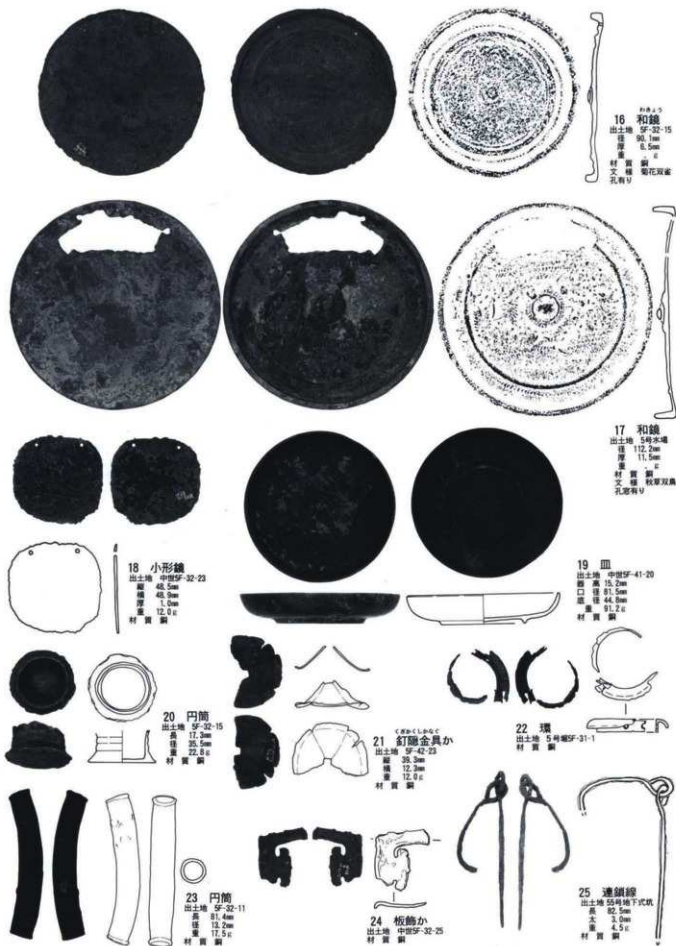
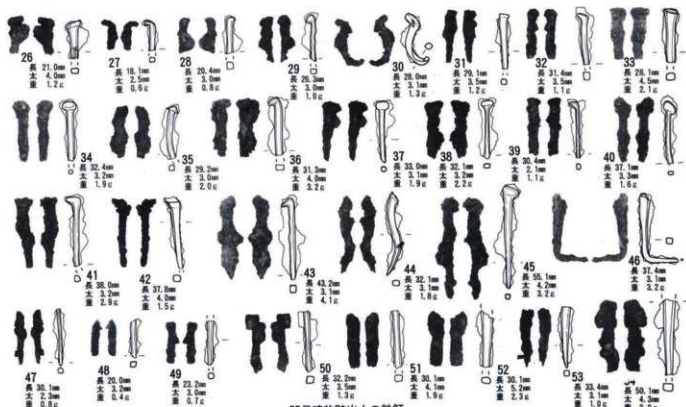


図371 中世の金属製品②銅製品

0 5cm



35号建物跡出土の鉄釘

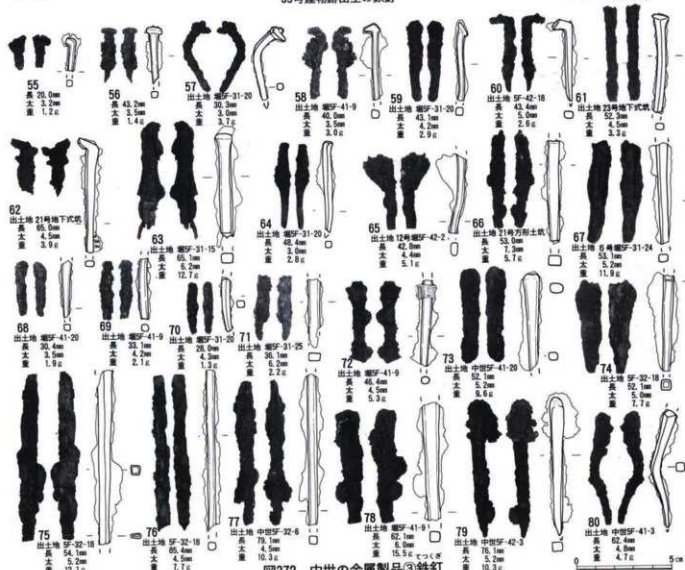


図372 中世の金属製品③鉄釘

0 5cm

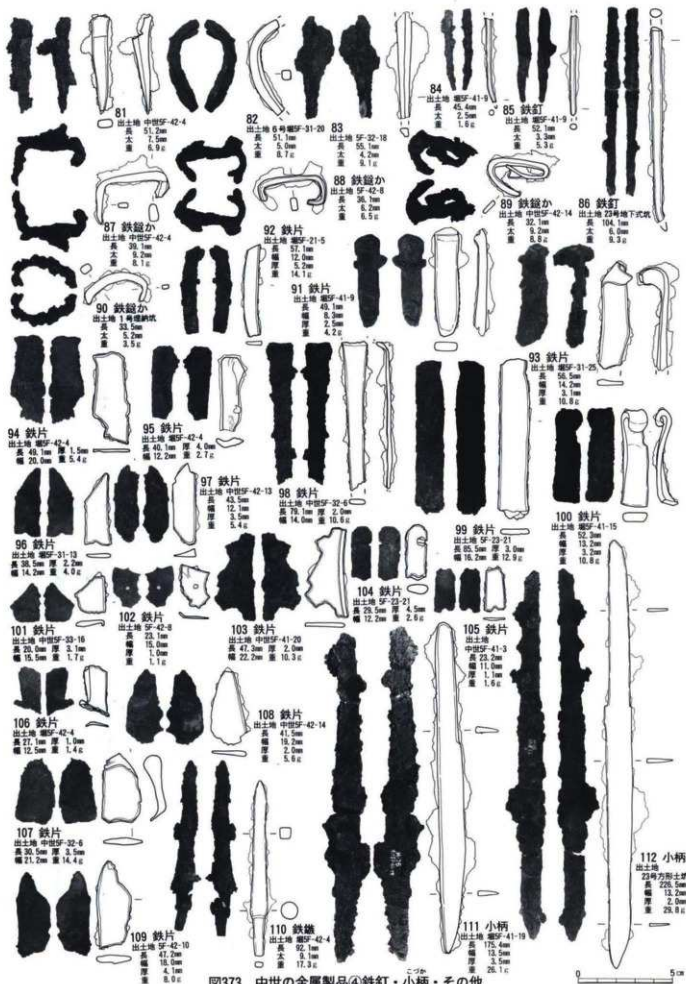


図373 中世の金属製品④鉄釘・小柄・その他

0 5cm



図374 中世の金属製品⑤燈金（火打ち金）

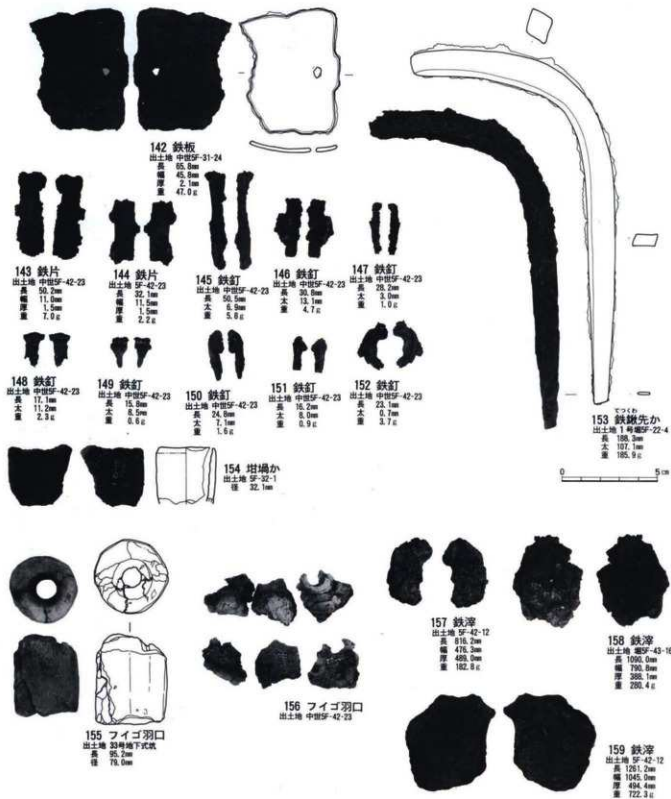


図375 中世の金属製品⑥その他の鉄製品・埴場・フィゴ羽口・鉄滓

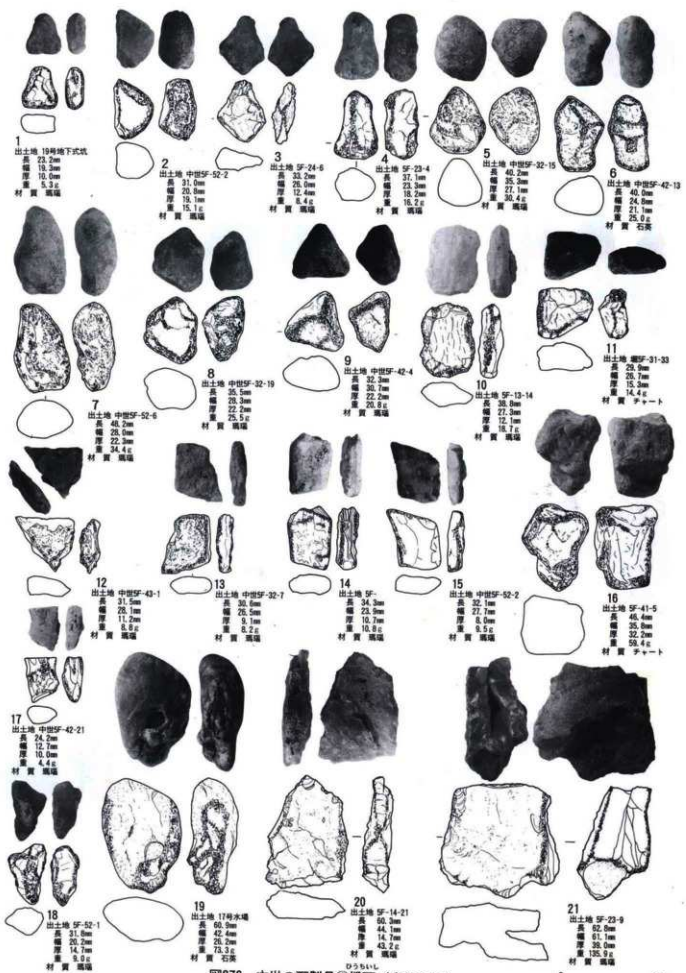
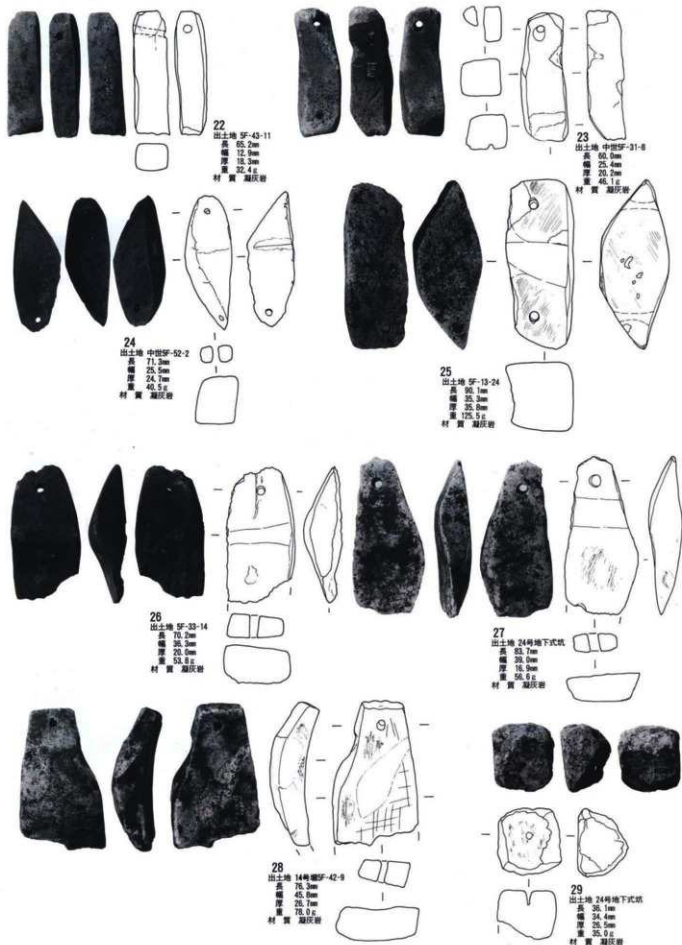


図376 中世の石製品①燧石(火打ち石)

0 5cm



とんぼ
 図377 中世の石製品②砥石

0 5cm

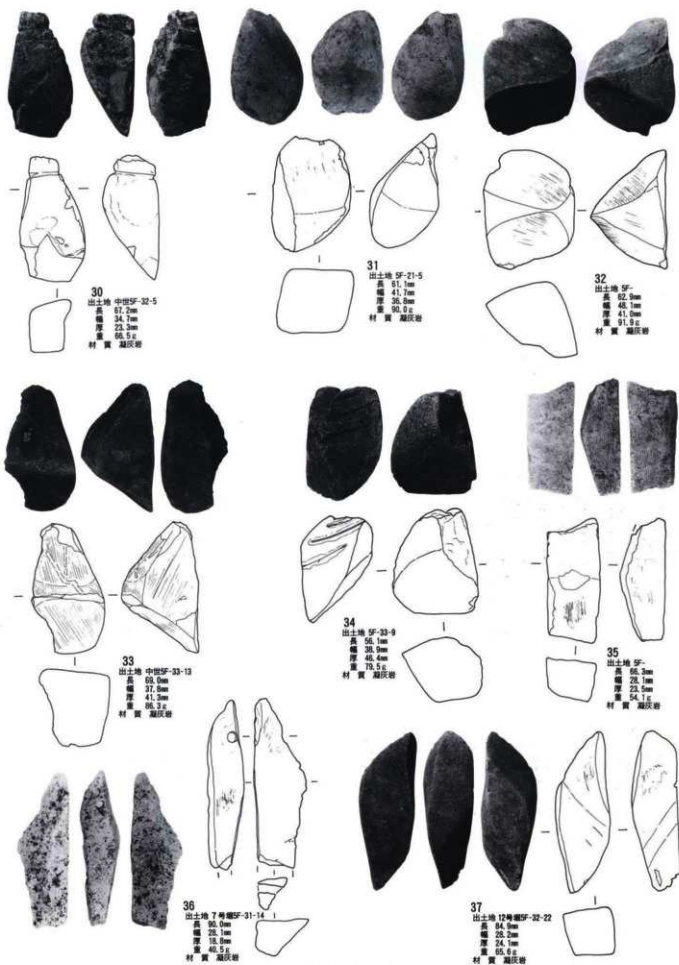


図378 中世の石製品③磁石

0 5cm



図379 中世の石製品④砥石



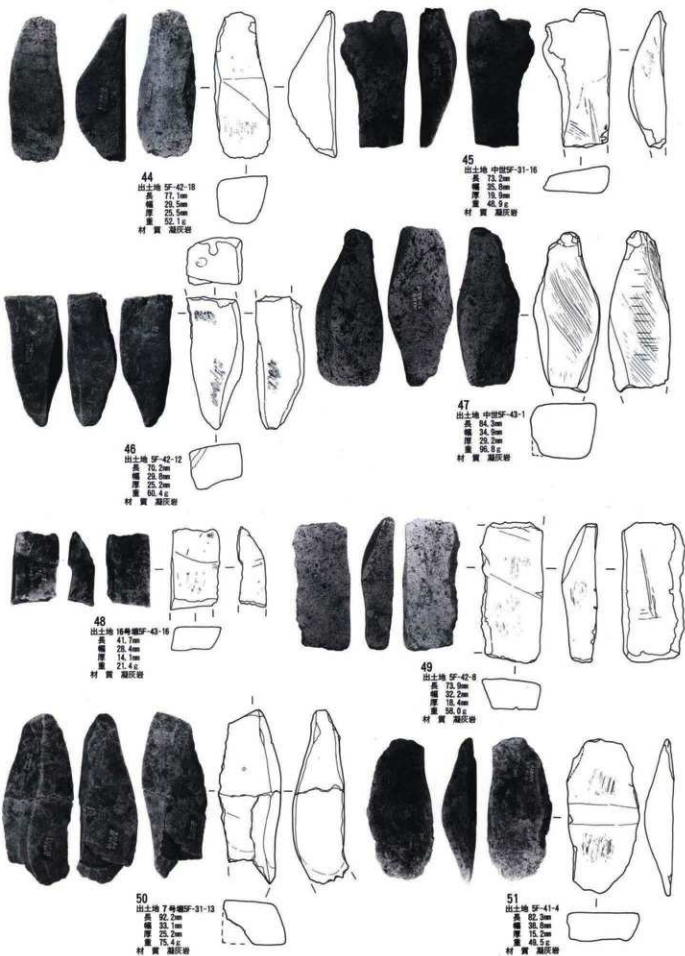


図380 中世の石製品⑤砥石

0 5cm

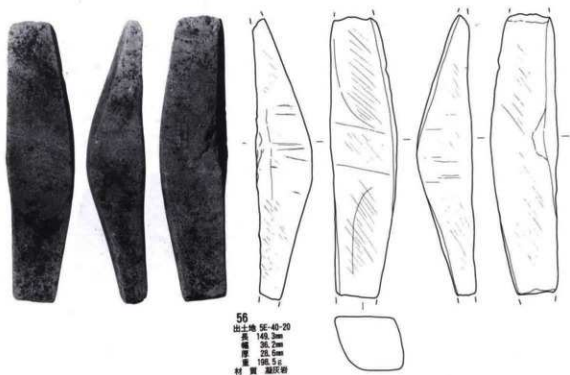
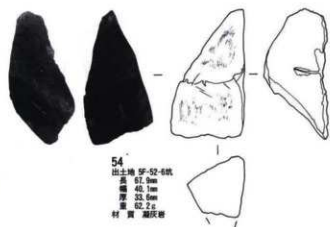
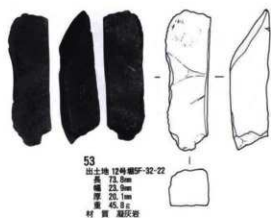


図381 中世の石製品⑥砥石

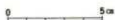
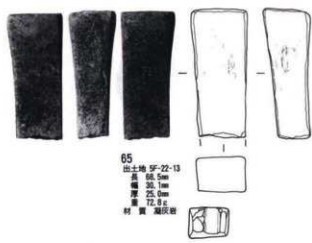




図382 中世の石製品の砥石

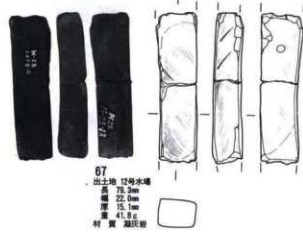




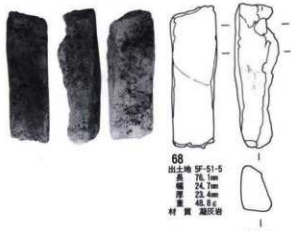
65
出土地 SF-22-13
高 65.5mm
幅 30.1mm
厚 25.0mm
重 72.9g
材質 凝灰岩



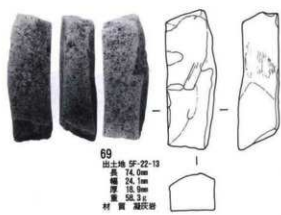
66
出土地 5号水堀
高 90.8mm
幅 35.1mm
厚 24.3mm
重 66.2g
材質 凝灰岩



67
出土地 12号水堀
高 78.3mm
幅 22.0mm
厚 15.1mm
重 41.8g
材質 凝灰岩



68
出土地 SF-51-5
高 76.1mm
幅 24.1mm
厚 23.4mm
重 48.8g
材質 凝灰岩



69
出土地 SF-22-13
高 74.0mm
幅 24.1mm
厚 19.0mm
重 58.3g
材質 凝灰岩



70
出土地 SF-24-1
高 75.0mm
幅 30.1mm
厚 19.3mm
重 87.8g
材質 凝灰岩



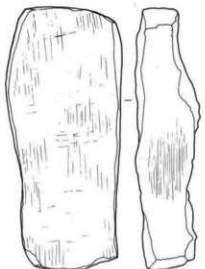
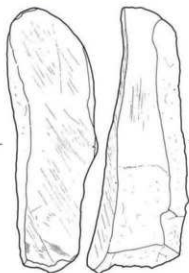
71
出土地 SF-42-6坑
高 94.3mm
幅 40.5mm
厚 28.1mm
重 120.6g
材質 凝灰岩

図383 中世の石製品⑧砥石





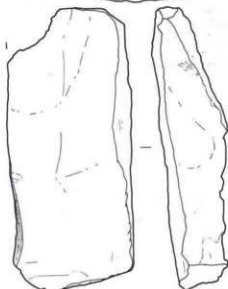
73
出土地 SF-23-12
高 77.5mm
幅 34.5mm
厚 21.5mm
重 120.8g
材質 凝灰岩



74
出土地 SF-23-23
高 139.1mm
幅 60.1mm
厚 24.5mm
重 414.5g
材質 凝灰岩



72
出土地 SF-
高 141.1mm
幅 48.0mm
厚 56.4mm
重 319.1g
材質 凝灰岩



75
出土地 中世SF-42-6
高 150.0mm
幅 67.3mm
厚 48.1mm
重 253.5g
材質 凝灰岩

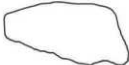
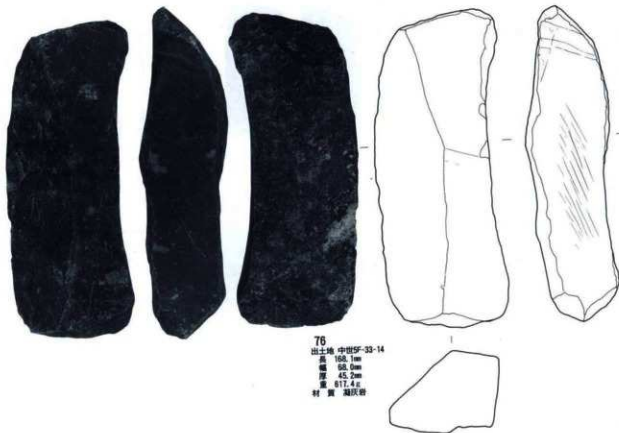
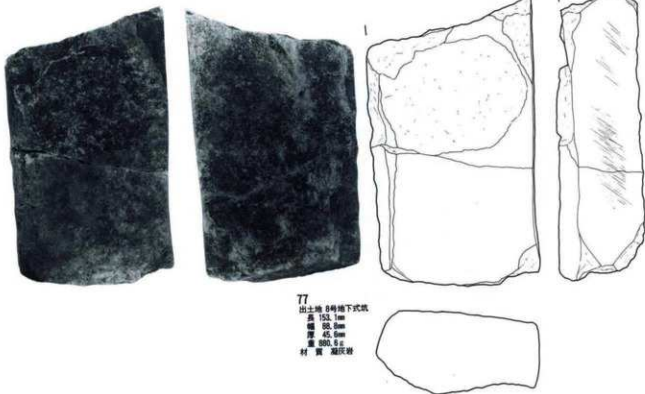


図384 中世の石製品⑨礧石





76
 出土地 中世SF-33-14
 高 160.1mm
 幅 82.0mm
 厚 45.2mm
 重 617.4g
 材質 凝灰岩



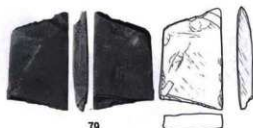
77
 出土地 8号地下式坑
 高 152.1mm
 幅 85.0mm
 厚 45.0mm
 重 300.0g
 材質 凝灰岩

図385 中世の石製品⑩砥石

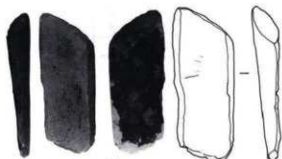




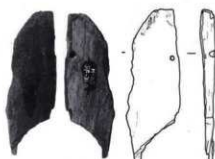
78
出土地 23号地下式坑
高 53.1mm
幅 29.1mm
厚 8.3mm
重 11.5g
材質 粘板岩



79
出土地 中世SF-2-2
高 54.0mm
幅 33.5mm
厚 6.1mm
重 23.3g
材質 粘板岩



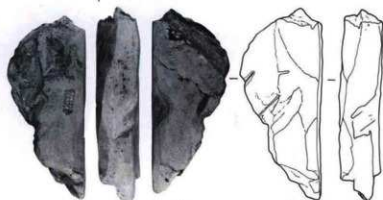
80
出土地 中世SF-31-21
高 82.1mm
幅 32.5mm
厚 14.2mm
重 38.9g
材質 粘板岩



81
出土地 SF-31-6
高 81.7mm
幅 29.1mm
厚 7.0mm
重 15.6g
材質 粘板岩



82
出土地 中世SF-32-11
高 65.2mm
幅 35.5mm
厚 8.8mm
重 21.4g
材質 粘板岩



83
出土地 SF-42-18
高 101.0mm
幅 45.3mm
厚 22.8mm
重 103.1g
材質 粘板岩



84
出土地 中世SF-33-12
高 58.1mm
幅 58.5mm
厚 46.2mm
重 210.6g
材質 安山岩

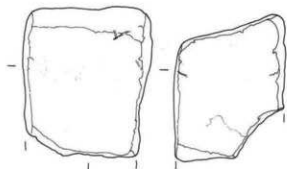
図386 中世の石製品①砥石



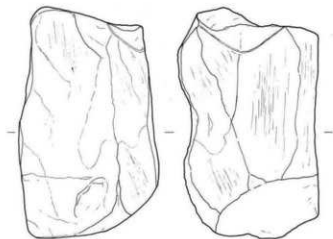
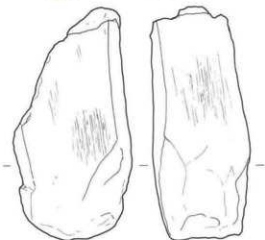
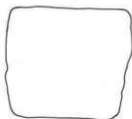


図387 中世の石製品②砥石





91
出土地 10号地下式坑
高 80.1mm
幅 69.3mm
厚 58.5mm
重 473.5g
材質 磁石



92
出土地 SF-41-5
高 124.4mm
幅 63.3mm
厚 51.5mm
重 437.7g
材質 流紋岩

93
出土地 32号地下式坑
高 122.2mm
幅 75.0mm
厚 75.6mm
重 870.6g
材質 磁石

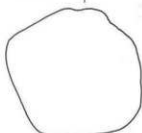


図388 中世の石製品⑬磁石



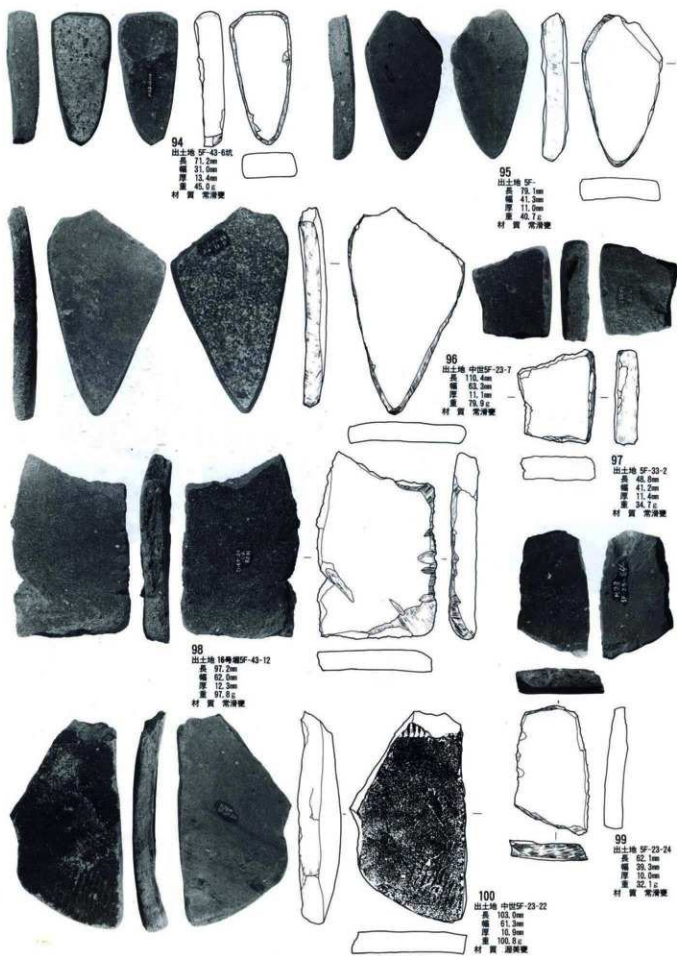


図389 中世の石製品④陶片砥石

0 5cm



図390 中世の石製品(5)陶片砥石

0 5cm

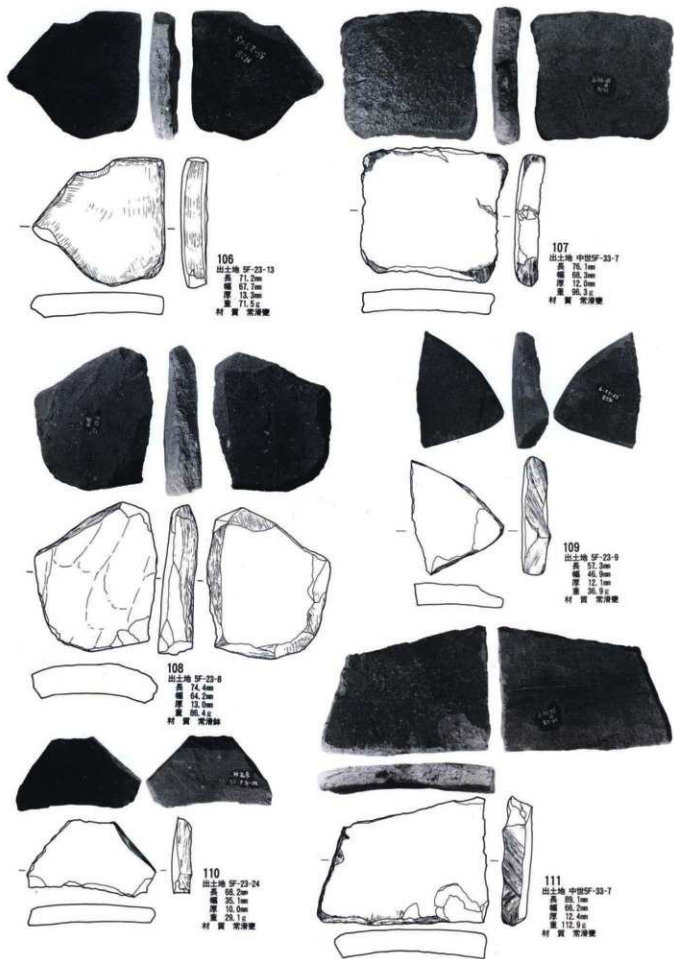


図391 中世の石製品⑩陶片磁石

0 5cm

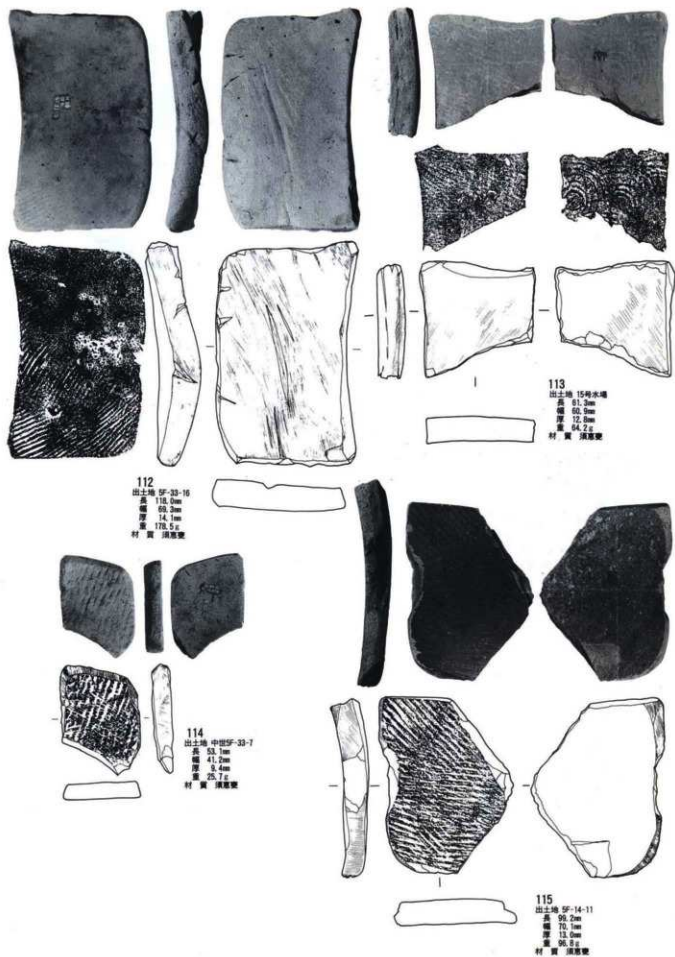
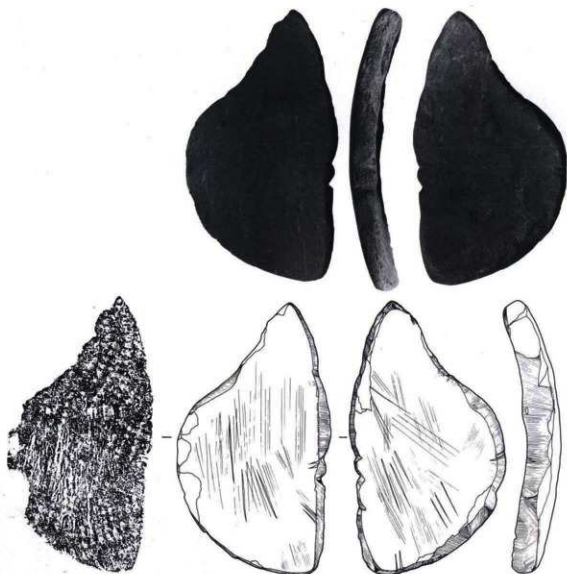


図392 中世の石製品①陶片磁石

0 5cm



116
 出土地 57号地 下式坑
 高 143.0mm
 幅 82.3mm
 厚 16.1mm
 重 163.1g
 材質 須賀焼

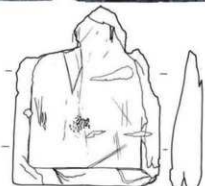
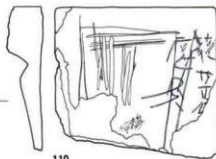
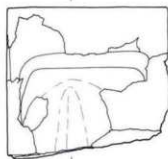


117 石鏝片再生砥石
 出土地 中世SF-52-2
 高 73.3mm
 幅 29.1mm
 厚 13.8mm
 重 40.7g
 材質 滑石

118 石鏝片
 出土地 1号地SF-22-11
 高 41.2mm
 幅 35.1mm
 厚 9.0mm
 重 19.4g
 材質 滑石

図393 中世の石製品⑧陶片砥石・滑石 (石鏝片)





119
出土地 中野SF-42-3
高 95.1mm
幅 75.2mm
厚 10.0mm
重 171.6g
材質 粘板岩

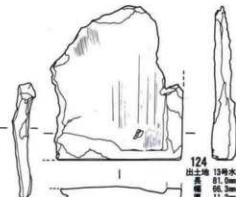
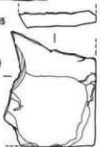
120
出土地 SF-23-7
高 95.0mm
幅 77.3mm
厚 16.1mm
重 152.1g
材質 粘板岩



121
出土地 中野SF-32-15
高 97.3mm
幅 56.1mm
厚 23.0mm
重 182.1g
材質 粘板岩



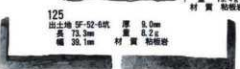
123
出土地 SF-13-15
高 81.1mm
幅 40.2mm
厚 8.4mm
重 25.9g
材質 粘板岩



124
出土地 13号水堀
高 81.0mm
幅 60.3mm
厚 11.2mm
重 73.4g
材質 粘板岩



122
出土地 12号水堀SF-32-12
高 74.2mm
幅 47.1mm
厚 5.0mm
重 32.2g
材質 粘板岩



125
出土地 SF-52-6坑
高 73.3mm
幅 36.1mm
厚 8.0mm
重 8.2g
材質 粘板岩

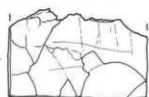


図394 中世の石製品⑩視



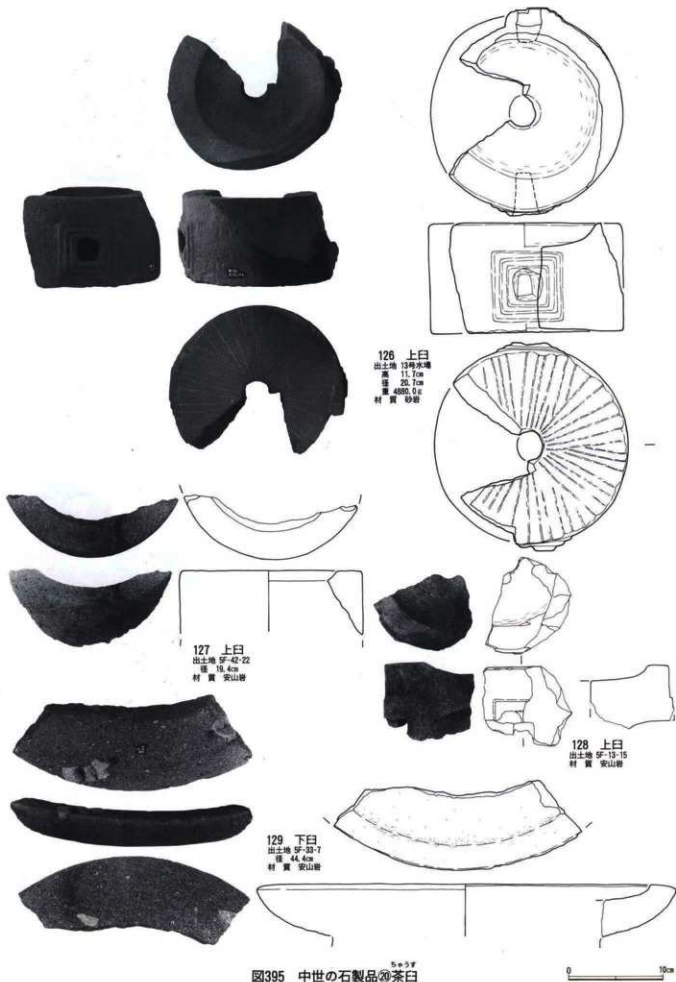
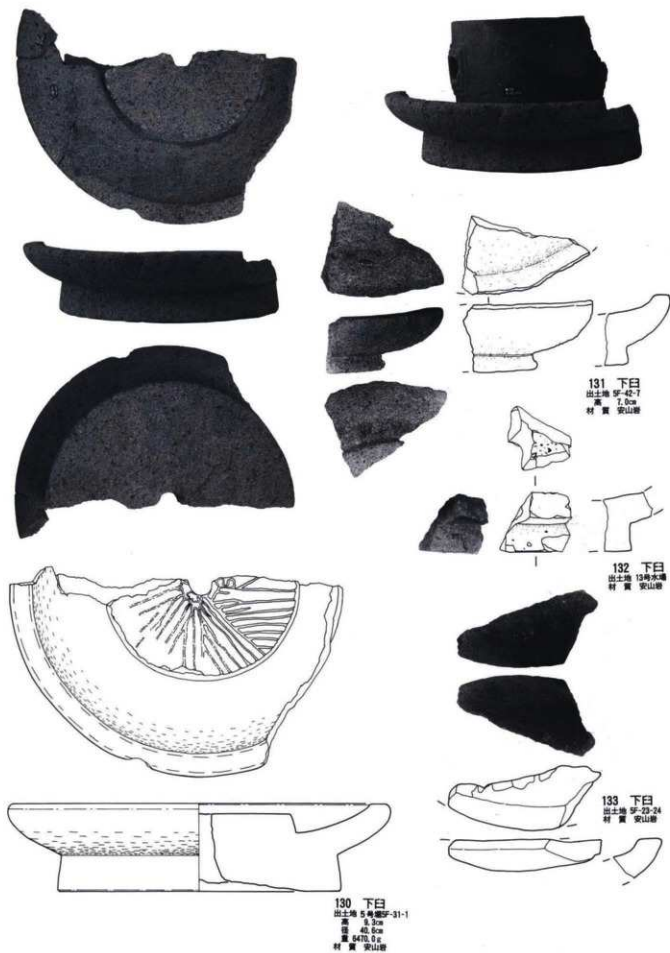


図395 中世の石製品②茶臼



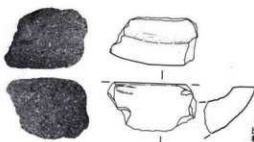
131 下白
出土地 SF-42-7
高 7.0cm
材質 安山岩

132 下白
出土地 13号塚
材質 安山岩

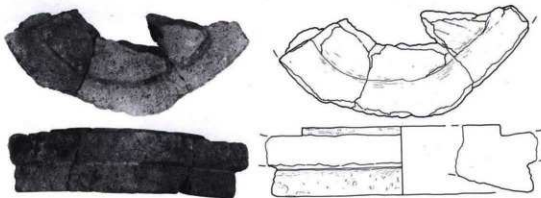
130 下白
出土地 5号塚SF-31-1
高 8.3cm
径 43.6cm
重 6470.0g
材質 安山岩

図396 中世の石製品①茶臼

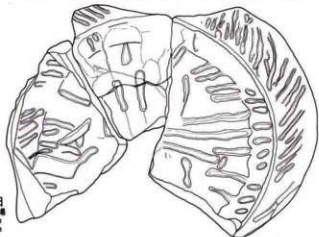
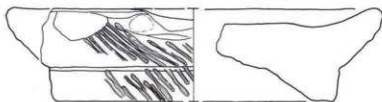
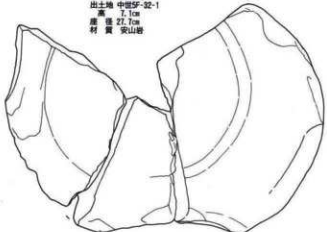
0 10cm



134 下臼
出土地 SF-13-14
材質 安山岩



135 下臼
出土地 中野SF-32-1
高さ 7.1cm
長さ 27.7cm
材質 安山岩



136 下臼
出土地 4梅次塚
高さ 9.8cm
長さ 46.2cm
重 620g 0.6
材質 砂岩

図397 中世の石製品②茶臼



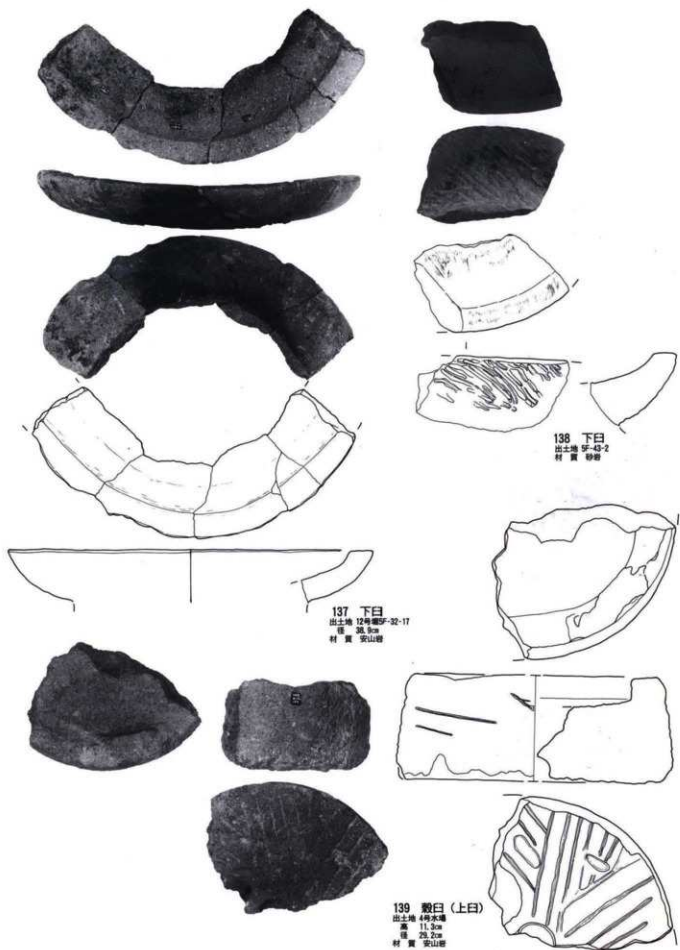


図398 中世の石製品④茶臼・穀臼

0 10cm

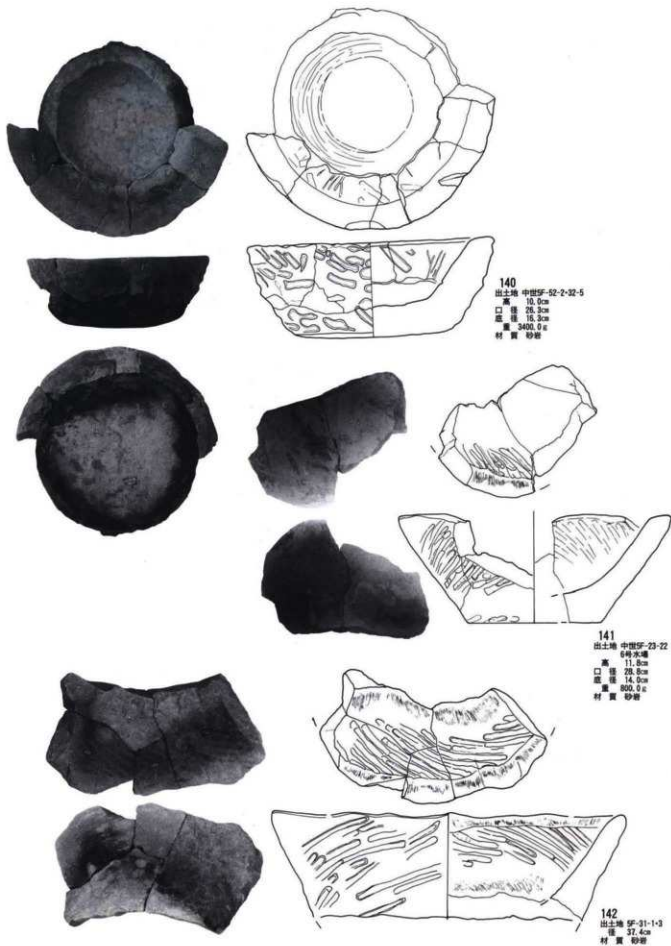


図399 中世の石製品④石鉢

0 10cm

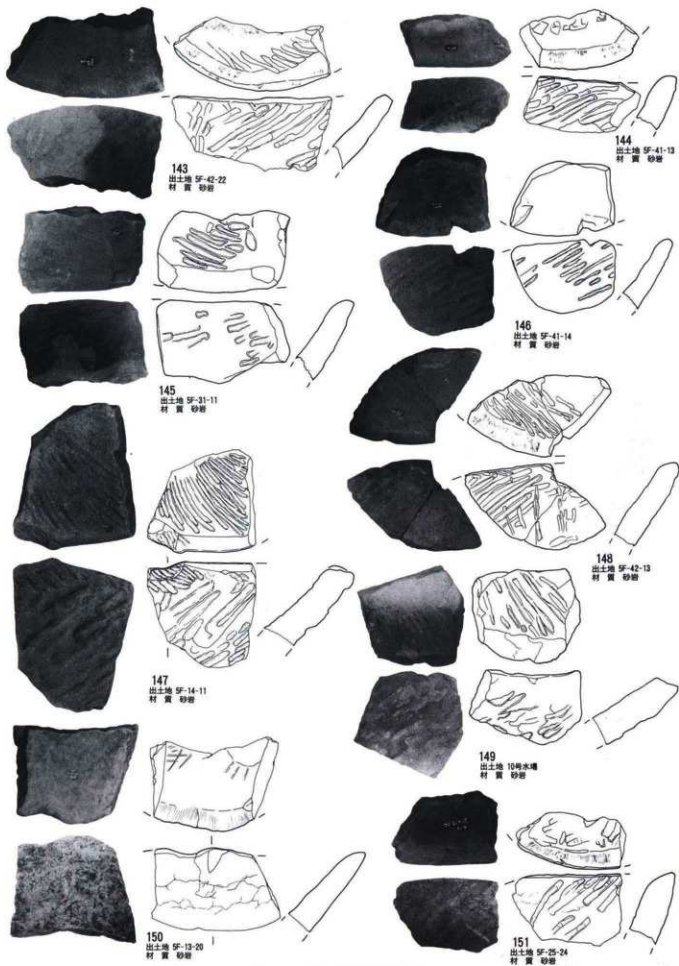


図400 中世の石製品⑥石鉢

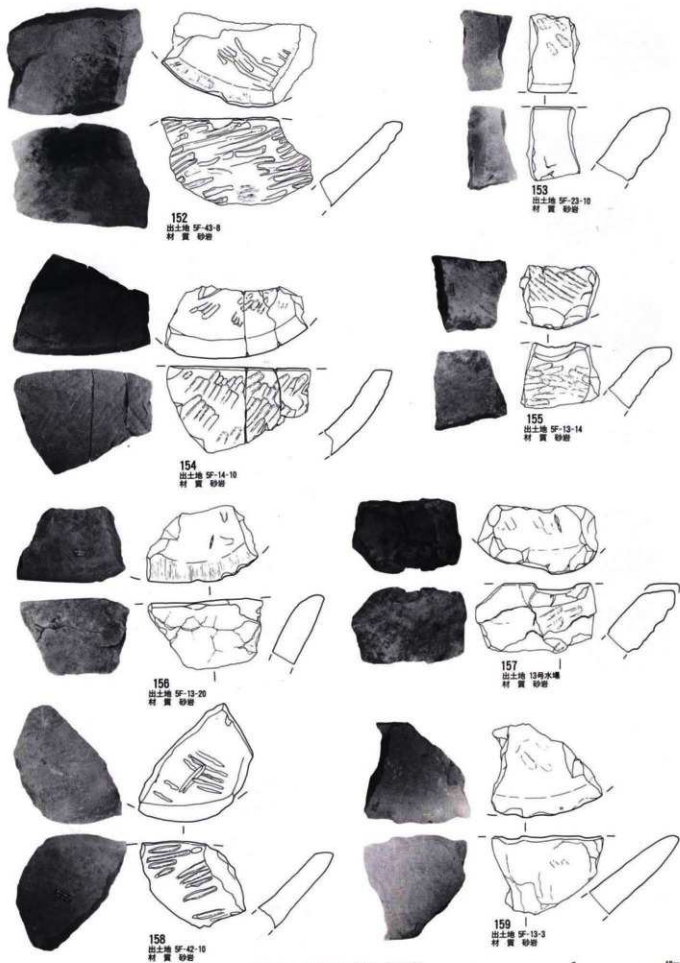


図401 中世の石製品⑨石鉢

0 10cm

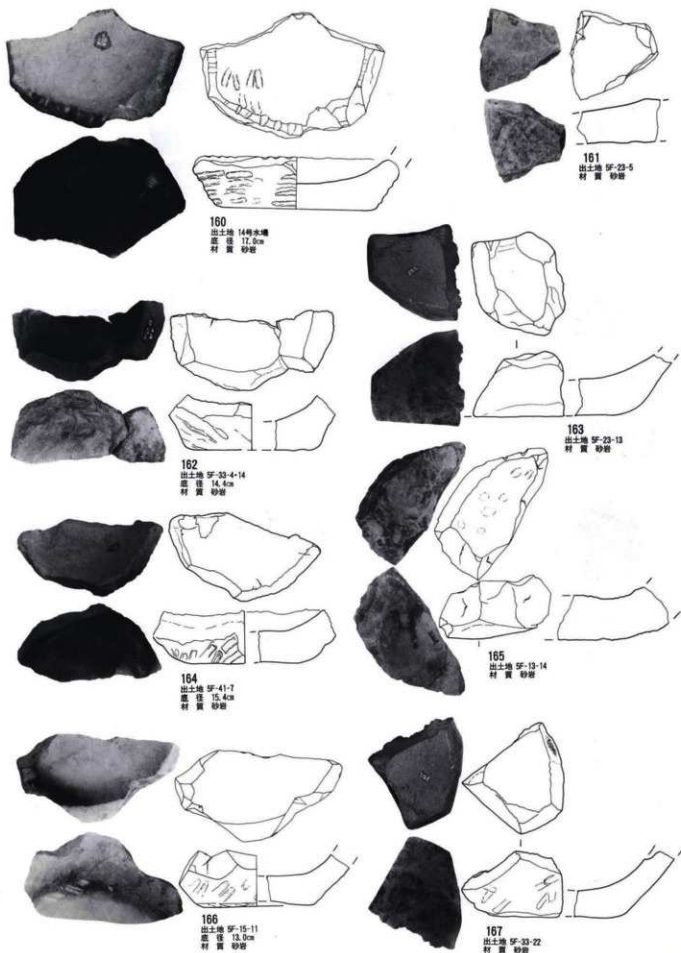


図402 中世の石製品②石鉢

0 10cm

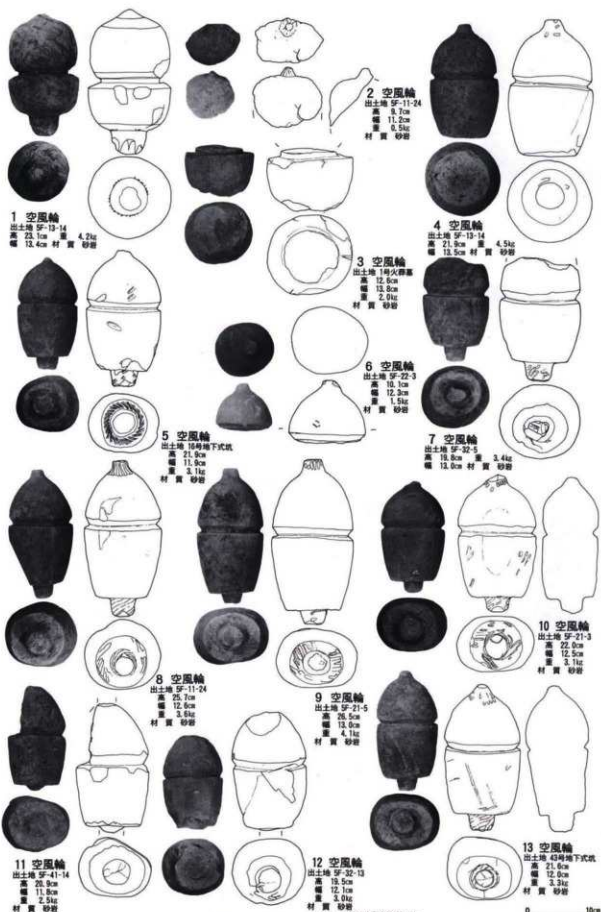


図403 中世の石塔①五輪塔空風輪

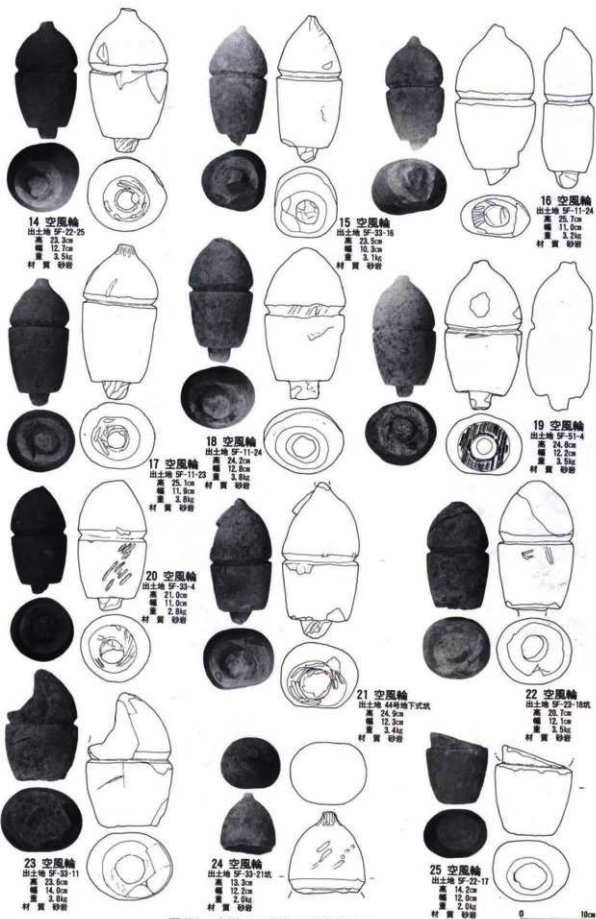
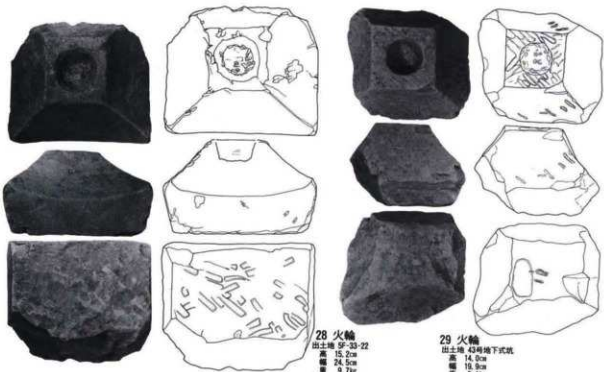


図404 中世の石塔②五輪塔空風輪



28 火輪
出土地 穿-33-22
高 15.2cm
幅 24.5cm
重 9.7kg
材質 砂岩

29 火輪
出土地 43号地下式机
高 14.0cm
幅 19.8cm
重 5.1kg
材質 砂岩



30 火輪
出土地 穿-32-24
高 11.0cm
幅 22.4cm
重 4.3kg
材質 砂岩

31 火輪
出土地 穿-11-24
高 16.2cm
幅 24.4cm
重 9.5kg
材質 砂岩

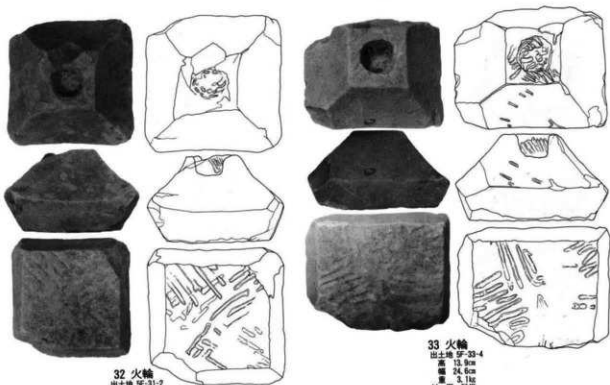


26 空風輪
出土地 4号水堀
高 13.4cm
幅 11.1cm
重 1.8kg
材質 砂岩

27 空風輪
出土地 穿-23-24
高 12.5cm
幅 11.4cm
重 2.8kg
材質 砂岩

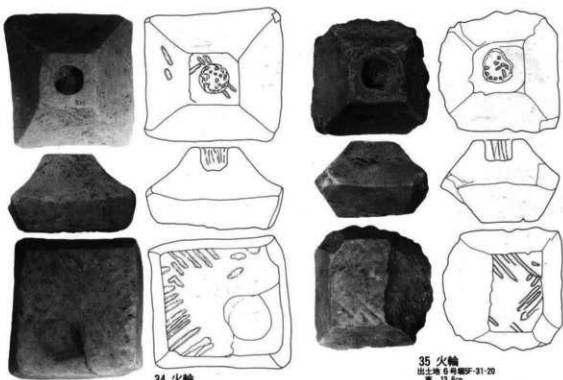
図405 中世の石塔③五輪塔空風輪・火輪

0 10cm



32 火輪
出土地 宇-31-2
高 14.0cm
幅 22.1cm
厚 3.7cm
材質 砂岩

33 火輪
出土地 宇-20-4
高 13.9cm
幅 24.6cm
厚 3.1cm
材質 砂岩

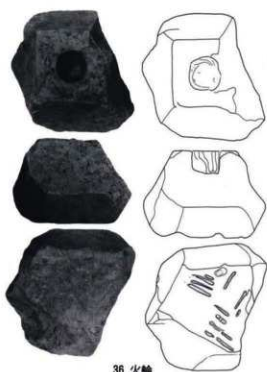


34 火輪
出土地 宇-33-23
高 13.3cm
幅 22.5cm
厚 7.0cm
材質 砂岩

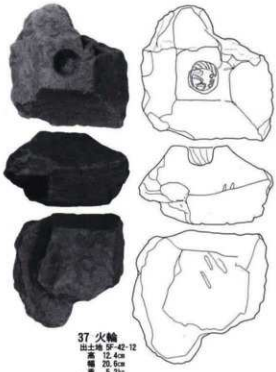
35 火輪
出土地 谷見原F-31-20
高 13.6cm
幅 18.5cm
厚 5.0cm
材質 砂岩

0 10cm

図406 中世の石塔④五輪塔火輪



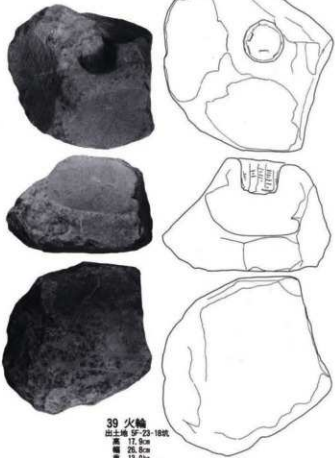
36 火輪
 出土地 SF-51-5
 高 14.0cm
 幅 19.8cm
 厚 5.2cm
 材質 砂岩



37 火輪
 出土地 SF-42-12
 高 12.4cm
 幅 20.6cm
 厚 5.2cm
 材質 砂岩



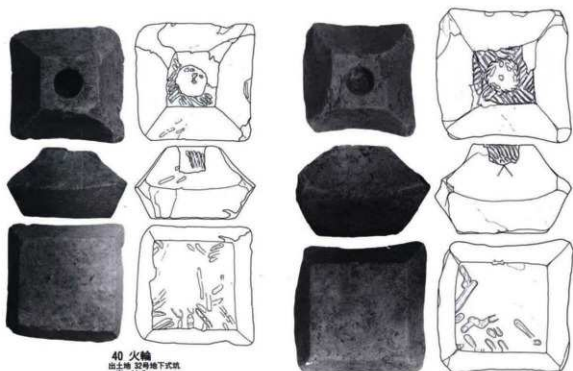
38 火輪
 出土地 SF-43-6
 高 12.8cm
 幅 19.8cm
 厚 4.7cm
 材質 砂岩



39 火輪
 出土地 SF-23-18次
 高 17.8cm
 幅 20.6cm
 厚 13.5cm
 材質 砂岩



図407 中世の石塔⑤五輪塔火輪

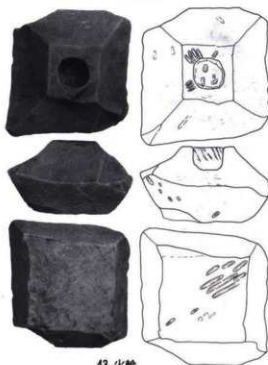


40 火輪
 出土地 32号地下式坑
 高 11.1cm
 幅 19.4cm
 重 5.9kg
 材質 砂岩

41 火輪
 出土地 SF-43-16
 高 14.4cm
 幅 21.8cm
 重 3.1kg
 線刻 「文」
 材質 砂岩



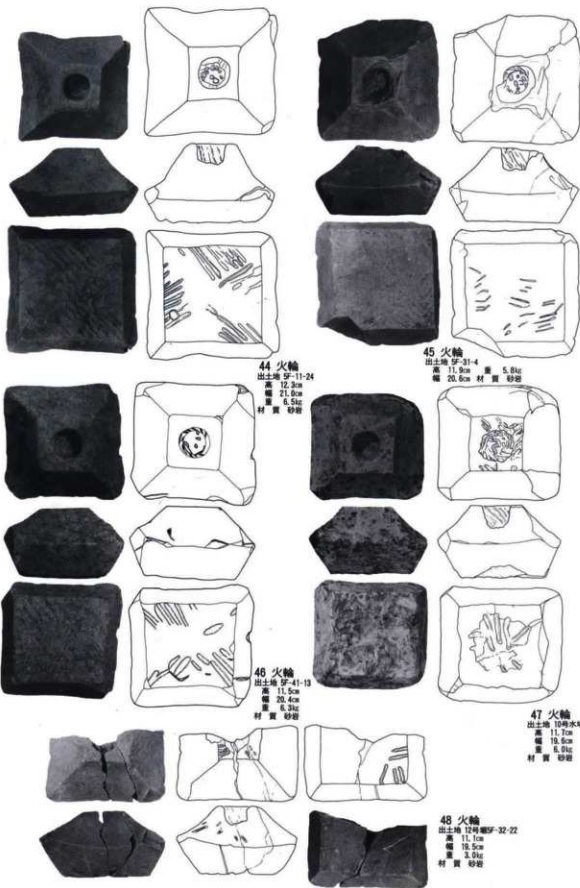
42 火輪
 出土地 中世SF-39-1
 高 13.0cm
 幅 21.0cm
 重 7.0kg
 材質 砂岩



43 火輪
 出土地 10号地下式坑
 高 12.5cm
 幅 20.5cm
 重 6.0kg
 材質 砂岩

0 10cm

図408 中世の石塔⑥五輪塔火輪



44 火輪
出土地 塚-11-24
高 12.3cm
底 21.8cm
幅 6.5cm
材質 砂岩

45 火輪
出土地 塚-31-4
高 11.8cm 底 5.8cm
幅 20.5cm 材質 砂岩

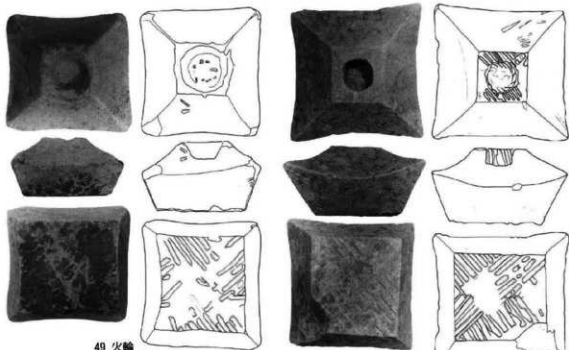
46 火輪
出土地 塚-41-13
高 11.5cm
底 20.4cm
幅 6.2cm
材質 砂岩

47 火輪
出土地 10号火壇
高 11.7cm
底 10.5cm
幅 6.0cm
材質 砂岩

48 火輪
出土地 12号火壇-32-22
高 11.1cm
底 19.5cm
幅 3.0cm
材質 砂岩

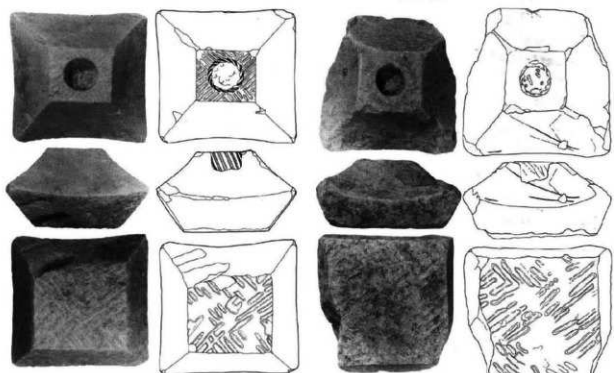
図409 中世の石塔の五輪塔火輪

0 10cm



49 火輪
出土地 穿-23-18机
高 11.2cm
幅 19.8cm
厚 5.5kg
材質 砂岩

50 火輪
出土地 穿-11-24
高 12.9cm
幅 21.1cm
厚 6.4kg
材質 砂岩

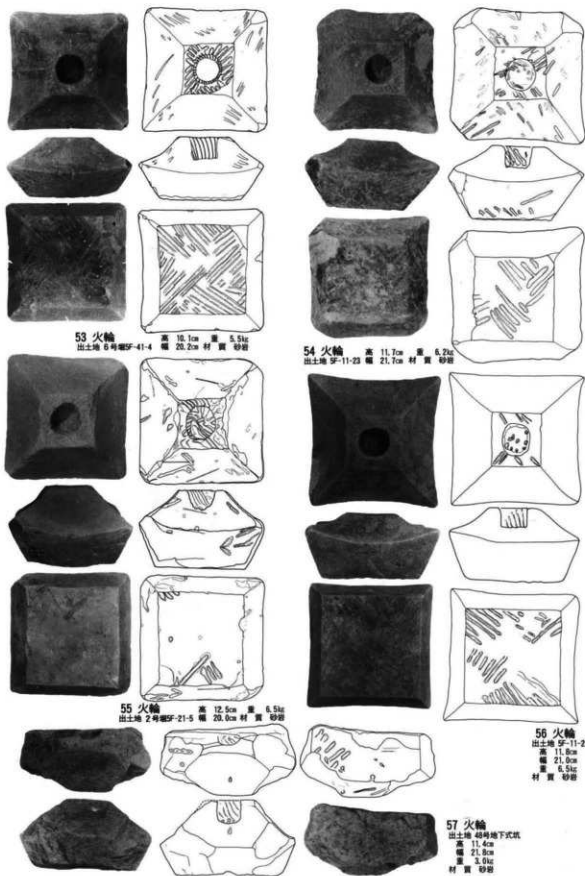


51 火輪
出土地 各号機穿-41-24
高 13.2cm
幅 22.4cm
厚 7.9kg
材質 砂岩

52 火輪
出土地 穿-23-17
高 12.1cm
幅 23.5cm
厚 8.5kg
材質 砂岩



図410 中世の石塔⑤五輪塔火輪



53 火輪
出土地 6号塚SF-41-4
高 10.1cm 厚 6.5kg
幅 20.2cm 材質 砂岩

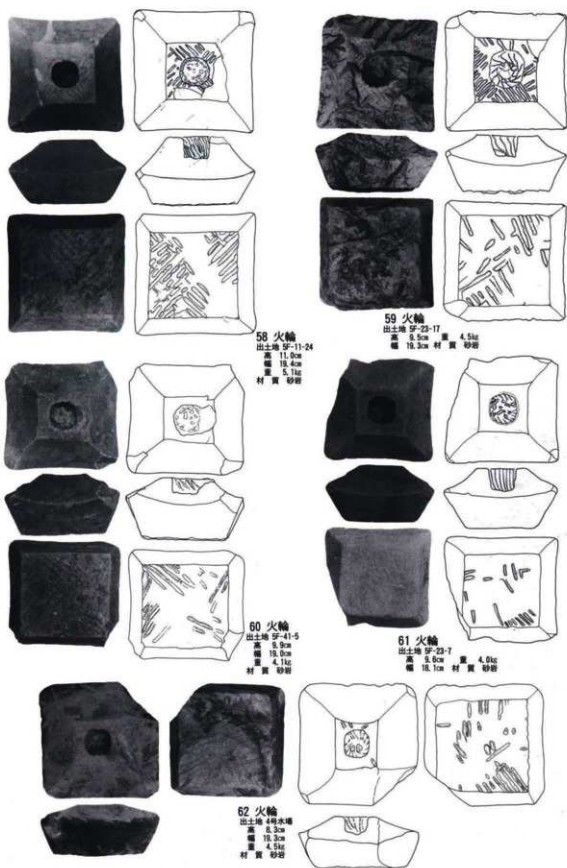
54 火輪
出土地 SF-11-23 幅 21.7cm 材質 砂岩

55 火輪
出土地 2号塚SF-21-5
高 12.5cm 厚 6.5kg
幅 20.0cm 材質 砂岩

56 火輪
出土地 SF-11-24
高 11.8cm
幅 21.0cm
厚 6.5kg
材質 砂岩

57 火輪
出土地 48号地下式冢
高 11.4cm
幅 21.8cm
厚 3.0kg
材質 砂岩

図411 中世の石塔⑤五輪塔火輪



0 10cm

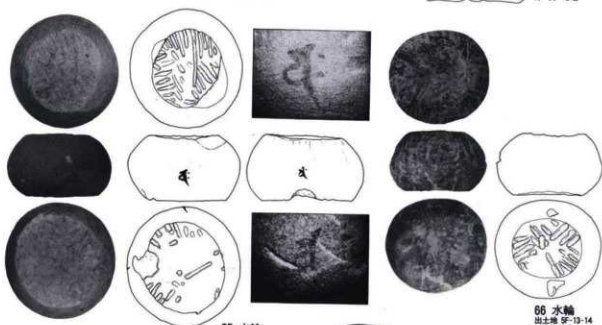
図412 中世の石塔⑤五輪塔火輪



63 火輪
出土地 SF-23-7
高 9.3cm
幅 15.5cm
重 3.5kg
材質 砂岩

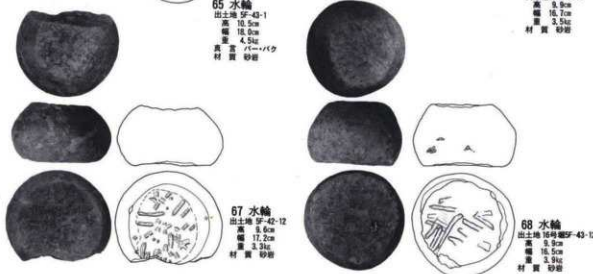


64 火輪
出土地 SF-23-17
高 16.6cm
幅 16.6cm
重 3.5kg
材質 砂岩



65 水輪
出土地 SF-43-1
高 10.5cm
幅 10.5cm
重 4.5kg
材質 パーパ
材質 砂岩

66 水輪
出土地 SF-13-14
高 9.8cm
幅 16.7cm
重 3.9kg
材質 砂岩

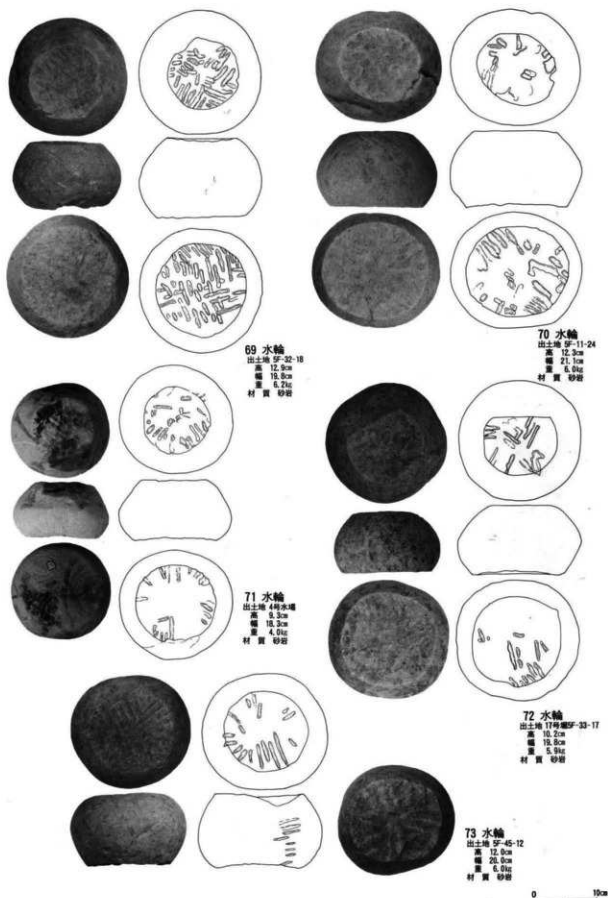


67 水輪
出土地 SF-42-12
高 9.6cm
幅 17.2cm
重 3.3kg
材質 砂岩

68 水輪
出土地 16号窟SF-43-12
高 9.9cm
幅 16.5cm
重 3.9kg
材質 砂岩

図413 中世の石塔①五輪塔火輪・水輪

0 10cm



69 水輪
 出土地 宇-32-18
 高 12.9cm
 径 12.5cm
 重 6.2kg
 材質 砂岩

70 水輪
 出土地 宇-11-24
 高 12.5cm
 径 21.5cm
 重 6.0kg
 材質 砂岩

71 水輪
 出土地 440水堀
 高 5.3cm
 径 10.3cm
 重 4.0kg
 材質 砂岩

72 水輪
 出土地 17号堀宇-33-17
 高 10.2cm
 径 19.6cm
 重 5.9kg
 材質 砂岩

73 水輪
 出土地 宇-45-12
 高 12.0cm
 径 26.0cm
 重 6.0kg
 材質 砂岩



図414 中世の石塔②五輪塔水輪

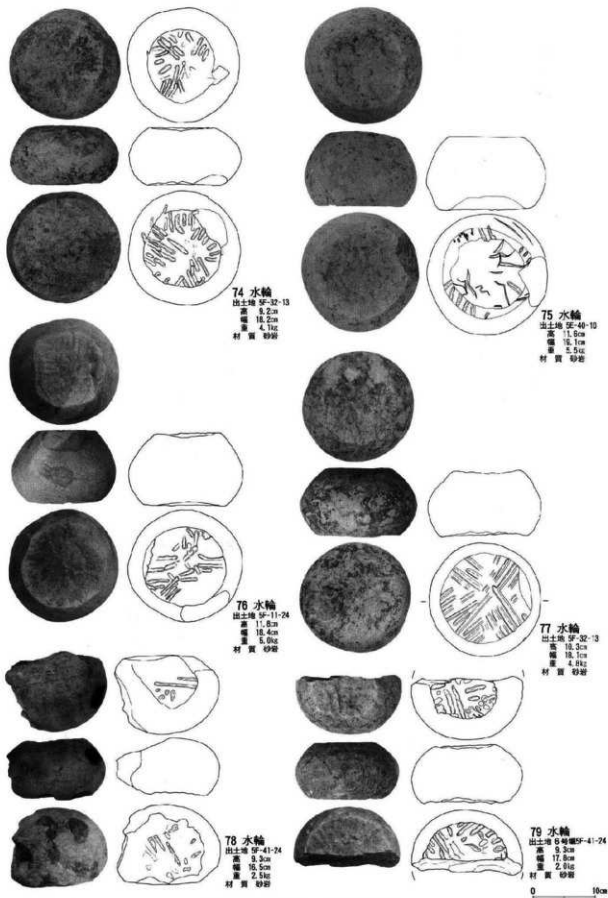


図415 中世の石塔⑬五輪塔水輪

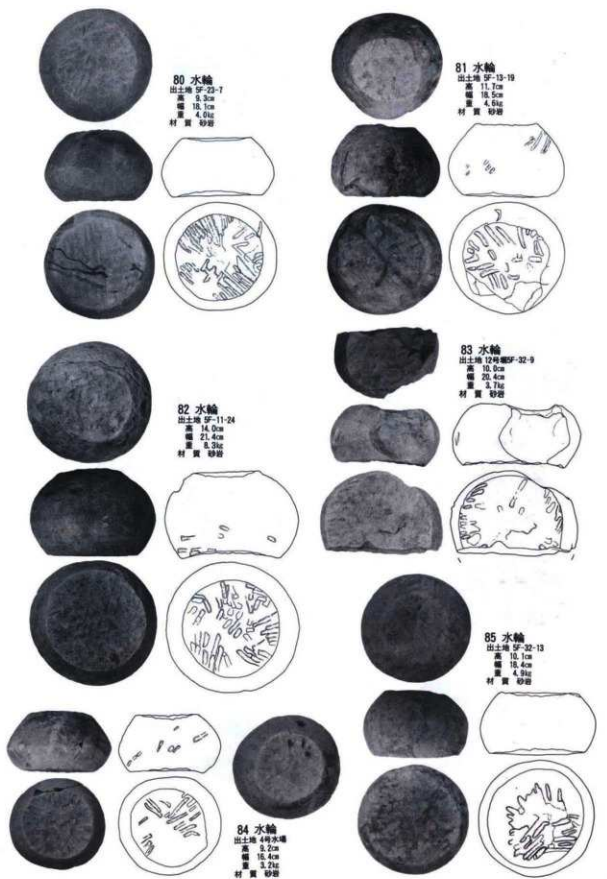
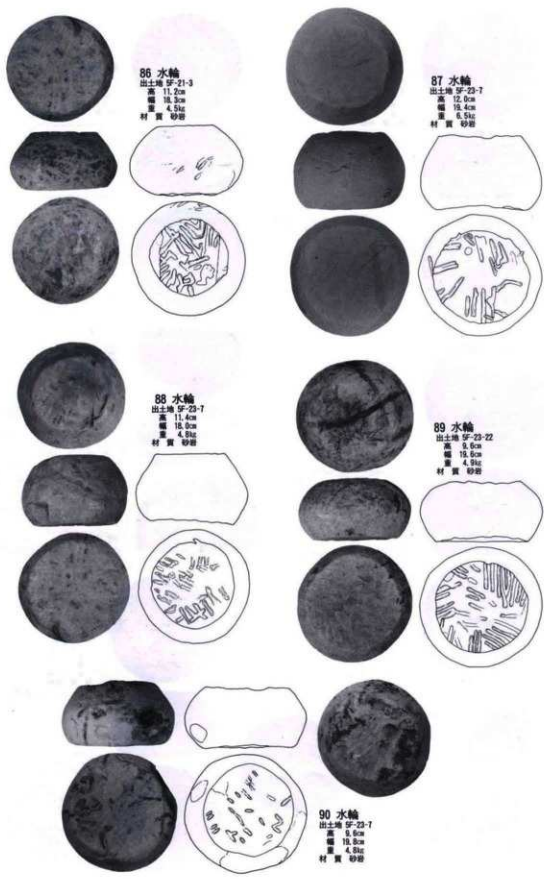


図416 中世の石塔⑩五輪塔水輪



86 水輪
 出土地 宇-21-3
 高 11.2cm
 径 18.5cm
 厚 4.5kg
 材質 砂岩

87 水輪
 出土地 宇-23-7
 高 12.0cm
 径 18.4cm
 厚 4.5kg
 材質 砂岩

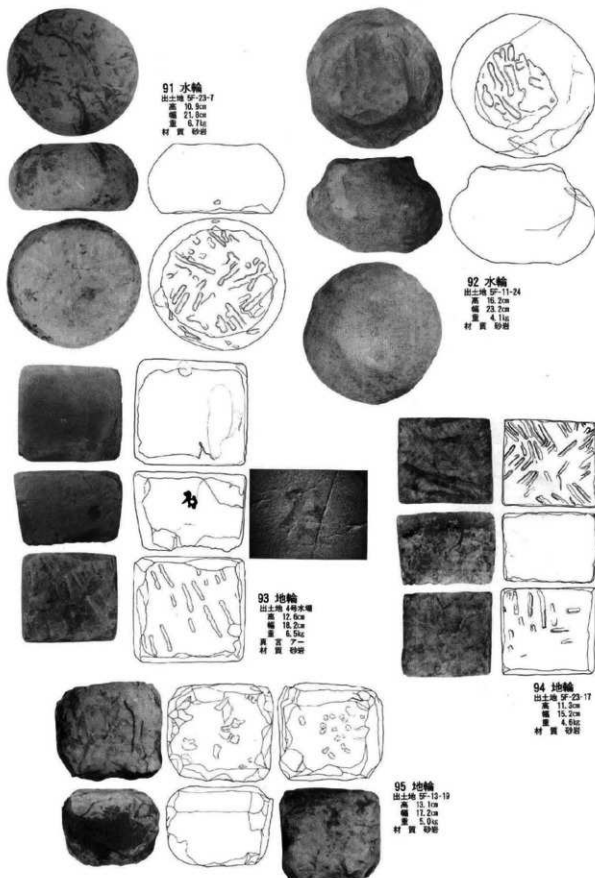
88 水輪
 出土地 宇-23-7
 高 11.4cm
 径 18.0cm
 厚 4.5kg
 材質 砂岩

89 水輪
 出土地 宇-23-22
 高 8.6cm
 径 12.6cm
 厚 4.9kg
 材質 砂岩

90 水輪
 出土地 宇-23-7
 高 8.6cm
 径 18.8cm
 厚 4.5kg
 材質 砂岩



図417 中世の石塔⑤五輪塔水輪



91 水輪
出土地 宇-23-7
高 10.5cm
幅 21.8cm
重 6.7kg
材質 砂岩

92 水輪
出土地 宇-11-24
高 16.2cm
幅 23.2cm
重 4.1kg
材質 砂岩

93 地輪
出土地 4町米塚
高 12.8cm
幅 18.2cm
重 6.5kg
材質 アー
材質 砂岩

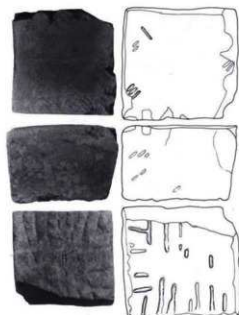
94 地輪
出土地 宇-23-17
高 11.3cm
幅 15.2cm
重 4.6kg
材質 砂岩

95 地輪
出土地 宇-13-19
高 13.1cm
幅 17.2cm
重 5.8kg
材質 砂岩

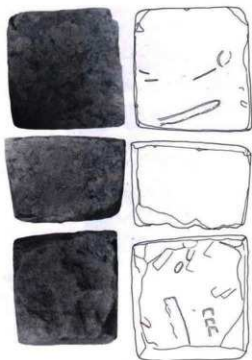
図418 中世の石塔⑩五輪塔水輪・地輪



96 地輪
 出土地 SF-29-18
 高 12.0cm
 幅 16.8cm
 重 6.9kg
 材質 砂岩



97 地輪
 出土地 25号墓
 高 12.4cm
 幅 18.4cm
 重 7.0kg
 材質 砂岩



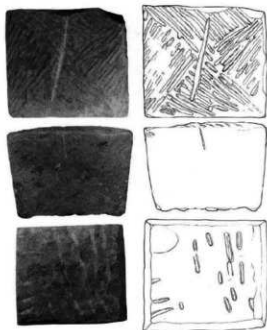
98 地輪
 出土地 SF-33-22
 高 13.8cm
 幅 18.3cm
 重 6.4kg
 材質 砂岩



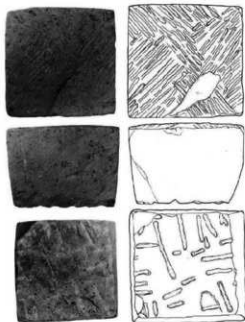
99 地輪
 出土地 SF-51-4
 高 11.8cm
 幅 16.8cm
 重 6.5kg
 材質 砂岩



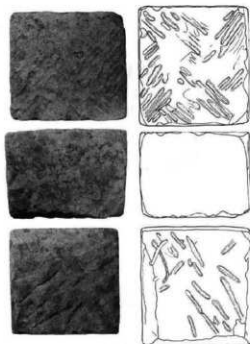
図419 中世の石塔の五輪塔地輪



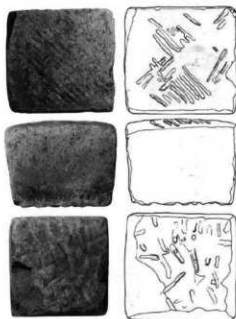
100 地輪
出土地 SF-22-6
高 14.2cm
幅 10.8cm
厚 0.54cm
材質 砂岩



101 地輪
出土地 SF-23-23
高 13.0cm
幅 13.5cm
厚 1.0cm
材質 砂岩



102 地輪
出土地 SF-23-23
高 13.0cm
幅 17.8cm
厚 0.84cm
材質 砂岩



103 地輪
出土地 SF-43-1
高 13.0cm
幅 17.9cm
厚 1.2cm
材質 砂岩

図420 中世の石塔傳五輪塔地輪



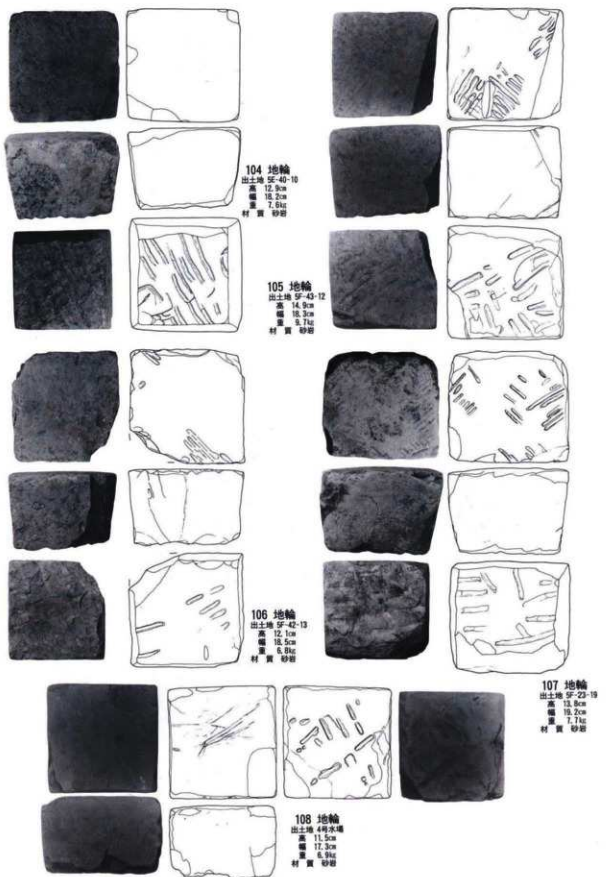
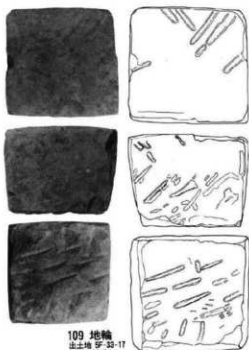
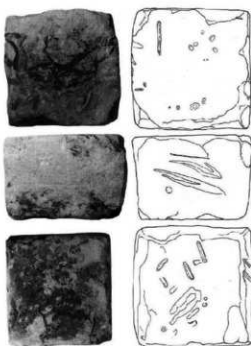


図421 中世の石塔⑨五輪塔地輪

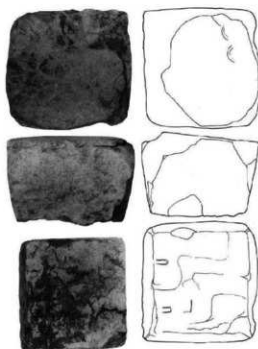
0 10cm



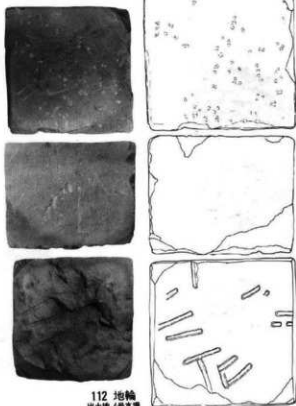
109 地輪
出土地 牙-23-17
高 14.5cm
幅 19.3cm
重 5.3kg
材質 砂岩



110 地輪
出土地 牙-23-7
高 13.5cm
幅 19.5cm
重 5.5kg
材質 砂岩



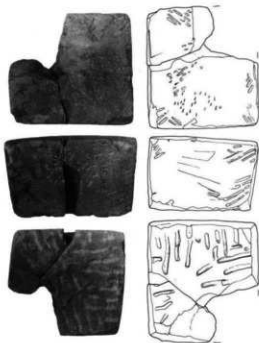
111 地輪
出土地 牙-23-7
高 13.5cm
幅 19.5cm
重 5.4kg
材質 砂岩



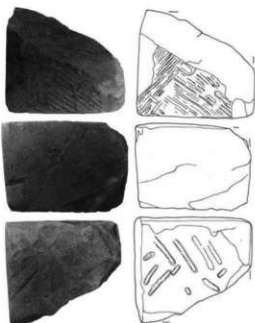
112 地輪
出土地 4号水堀
高 19.1cm
幅 23.6cm
重 25.4kg
材質 砂岩

0 10cm

図422 中世の石塔⑤五輪塔地輪



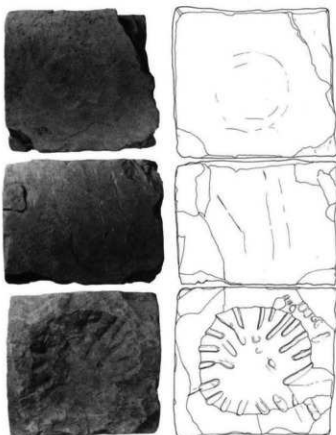
113 地輪
 出土地 芽-42-12
 高 11.9cm
 幅 17.8cm
 重 5.6kg
 材質 砂岩



114 地輪
 出土地 芽-33-1
 高 13.6cm
 幅 18.8cm
 重 5.6kg
 材質 砂岩



115 地輪
 出土地 芽-
 高 12.2cm
 幅 17.1cm
 重 5.2kg
 材質 砂岩



116 地輪
 出土地 芽-33-17
 高 20.1cm
 幅 26.1cm
 重 22.9kg
 材質 砂岩



図423 中世の石塔②五輪塔地輪

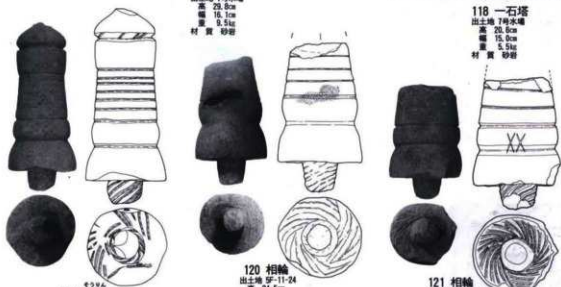


117 一石塔

出土地 7号水場
高 29.8cm
幅 16.1cm
重 9.5kg
材質 砂岩

118 一石塔

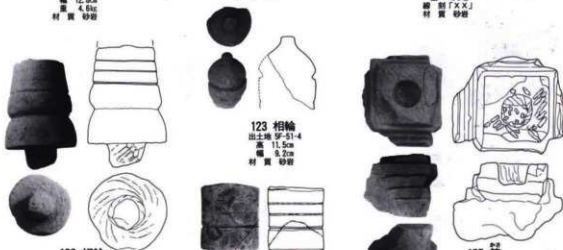
出土地 7号水場
高 26.8cm
幅 16.8cm
重 5.5kg
材質 砂岩



119 相輪
出土地 SF-51-4
高 31.3cm
幅 12.8cm
重 4.6kg
材質 砂岩

120 相輪
出土地 SF-11-24
高 24.5cm
幅 13.5cm
重 4.9kg
材質 砂岩

121 相輪
出土地 SF-41-24
高 21.3cm
幅 12.5cm
重 4.6kg
標記「XX」
材質 砂岩



122 相輪
出土地 SF-31-2
高 19.6cm
幅 12.7cm
重 3.6kg
材質 砂岩

123 相輪
出土地 SF-51-4
高 11.5cm
幅 6.2cm
材質 砂岩

124 相輪
出土地 SF-13-16
高 10.2cm
幅 9.1cm
重 1.2kg
材質 砂岩

125 笠
出土地 SF-31-2
高 12.5cm
幅 11.4cm
重 3.5kg
材質 砂岩

図424 中世の石塔②宝篋印塔

0 10cm

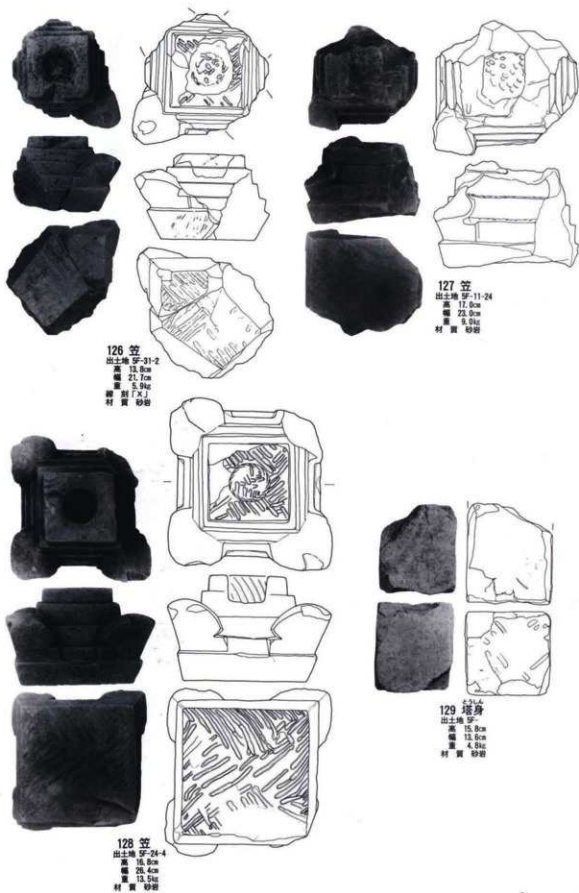
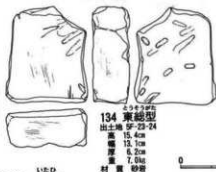
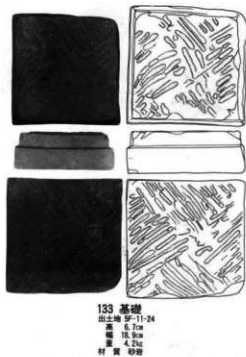
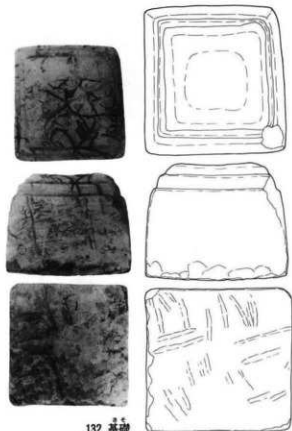
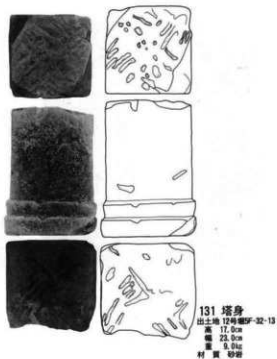


図425 中世の石塔②宝篋印塔



0 10cm

図426 中世の石塔④ 宝篋印塔・板碑

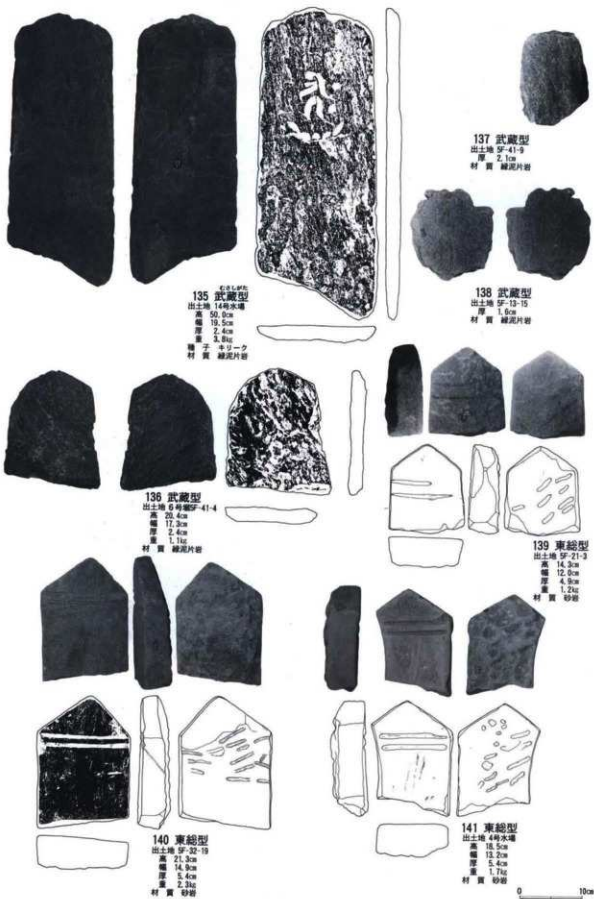


図427 中世の石塔の板碑



142 自然石
 出土地 4町5地蔵
 高 48.9cm
 幅 22.9cm
 厚 1.2cm
 重量 11.3kg
 種子 キリーク
 材質 シルト岩



143 自然石
 出土地 4町5地蔵
 高 43.5cm
 幅 25.6cm
 厚 1.5cm
 重量 11.2kg
 種子 キリーク
 材質 シルト岩

図428 中世の石塔②板碑





144 自然石
出土地 4町水場
高 27.0cm
幅 34.0cm
厚 7.0cm
重 13.8kg
種子 サク
材質 シルト岩



143 自然石
出土地 4町水場
高 25.0cm
幅 17.3cm
厚 5.0cm
重 3.8kg
材質 シルト岩



144 自然石
出土地 4町水場
高 25.0cm
幅 19.0cm
厚 5.1cm
重 3.8kg
材質 シルト岩



図429 中世の石塔の板碑

0 10cm

5. 近 世

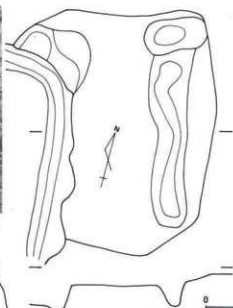
城山遺跡の近世の遺構は、出作り小屋と思われる建物跡と、墓坑・炭焼き窯など、わずかであった。

また、近世の遺物は、陶磁器・銭貨・煙管・懐中鏡・泥面子など、江戸時代に特徴的なものである。以下、近世の資料編図の凡例を記す。

1. 近世の遺構実測図の縮尺は、建物跡が50分の1と100分の1、墓坑が25分の1、炭焼き窯が50分の1である。
2. 炭焼き窯は、形態がほとんど同じであるところから、3基を選んで実測図を示した。
3. 遺構実測図の断面図に記した数値は、その線上の標高である。
4. 遺構の説明は、それぞれの実測図のわきに記した。
5. 遺構の写真はそれぞれの実測図のわきに添付した。
6. 遺構の深さは、ローム層直上の遺構確認面からの数値である。
7. 遺物実測図の陶磁器の縮尺は、塀産摺鉢と瓦貫火鉢などが4分の1であることを除き、ほかは2分の1である。銭貨は原寸、そのほかの金属製品、土製品などは3分の2である。
8. 遺物の説明は、実測図のわきに記した。
9. 遺物実測図のわきに、それぞれの写真を添付し、特に碗・皿類で底部があるものは側面・内面・底部を載せた。
10. 陶磁器の釉薬は、種類・色がさまざまであるところから、特にその種別を図示しなかった。しかし、釉薬の境目は線で示した。
11. 陶磁器の染付・色絵などの文様は、なるべく実測図に描いた。
12. 陶磁器の破片で、径が出ないものは写真と断面実測図を載せた。
13. 銭貨は写真、その下に拓影と銭名を記し、後ろに計測値等の表を載せた。



1号近世建物跡 (東側から)



1号近世建物跡

位置 S-42-11
 平面 11'×W
 軒高 2間
 柱材 1号
 柱径 3.12×2.83m
 柱穴数 4
 柱穴径 0.3m

—33.20m

0 1m



—31.20m

0 2m

2号近世建物跡

位置 S-31-5
 平面 5'×5'×W
 軒高 1間
 柱材 1号
 柱径 1.50×4.15m
 柱穴数 1
 柱穴径 0.3m
 土層 火輪を礎石にする

1号近世基坑 (北側から)



2号近世建物跡 (北側から)



—18.40m

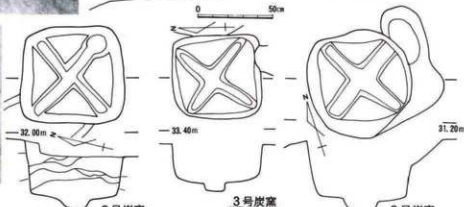
0 50m

1号近世基坑

位置 S-11-13
 平面 6.92×0.84m
 深 0.21m
 出土遺物 真水通宝(六通銭)
 人骨以下腹のみが残る



2号炭窯 (南側から)



2号炭窯

位置 S-42-14
 平面 1.25×1.25m
 深 0.80m

3号炭窯

位置 S-42-4
 平面 1.16×1.11m
 深 0.61m

8号炭窯

位置 S-63-2
 平面 1.25×1.43m
 深 0.92m

0 1m

- 層序
 1. 3・5 暗褐色土層群 (ロームが混じり、散骨)
 2. 暗褐色土 (ローム・黒色砂・宝永火山灰)が混じり、散骨)
 3. 木炭灰層
 4. 木炭灰層
 5. 暗褐色土 (ロームが多く混じり、締まる)

図430 近世遺構拡大図

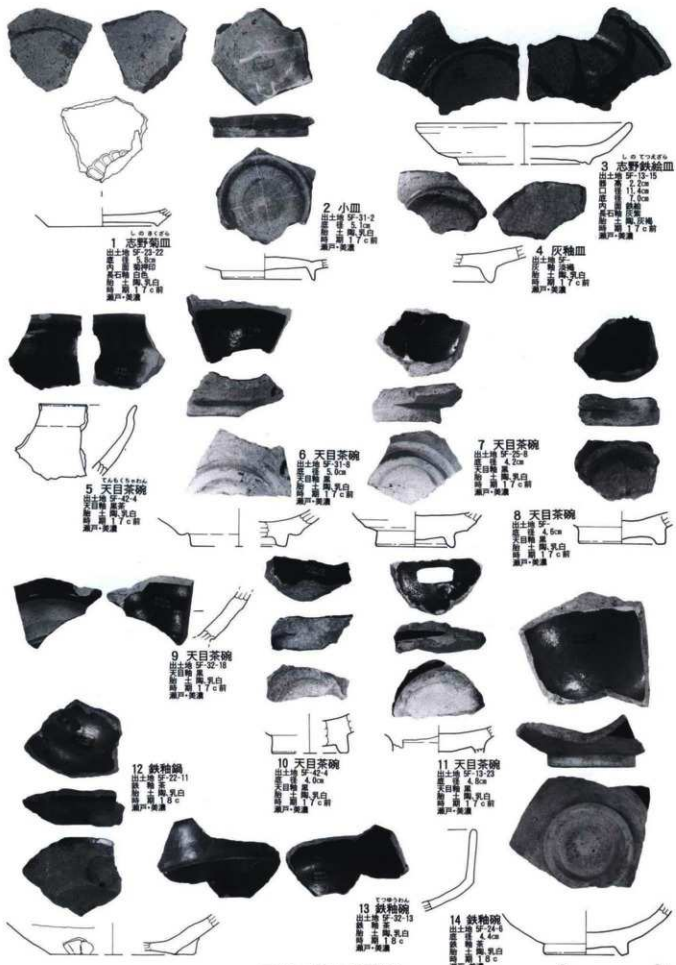


図431 近世の陶磁器①

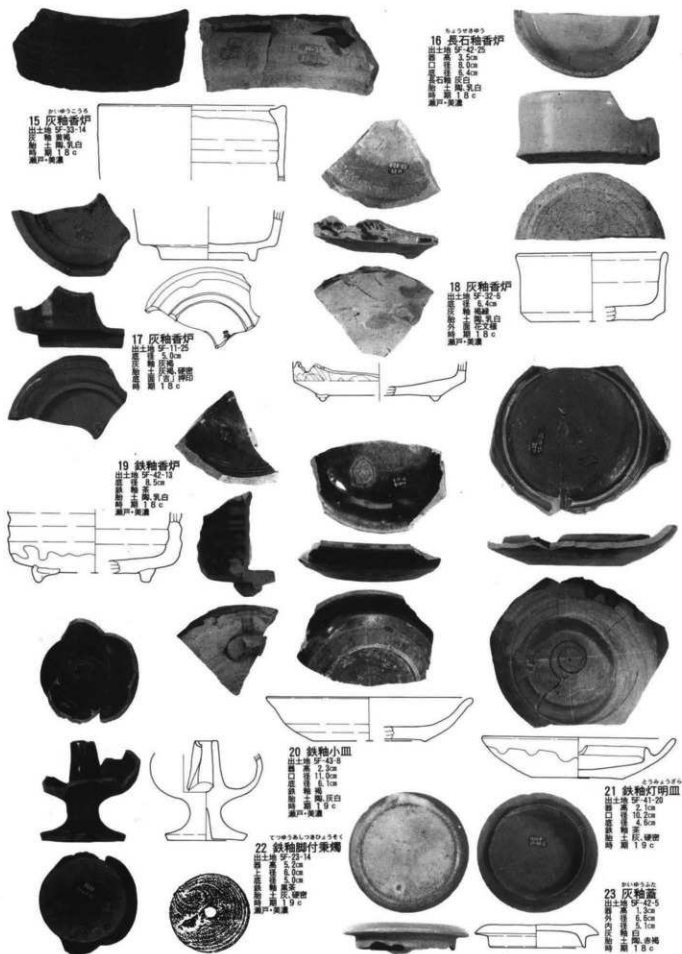


図432 近世の陶磁器②

0 5cm

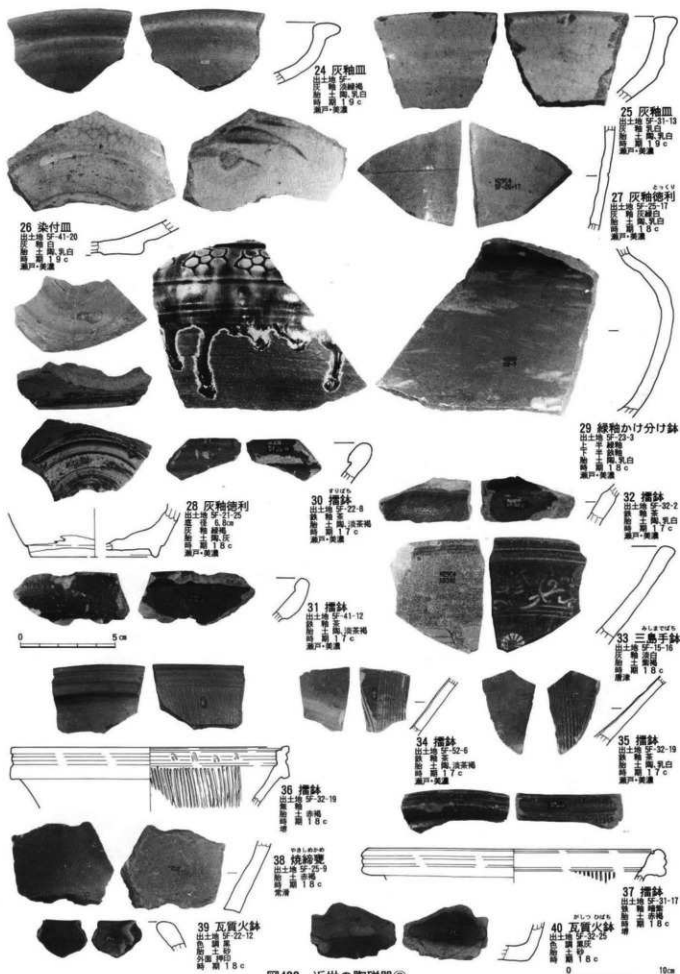


図433 近世の陶磁器③

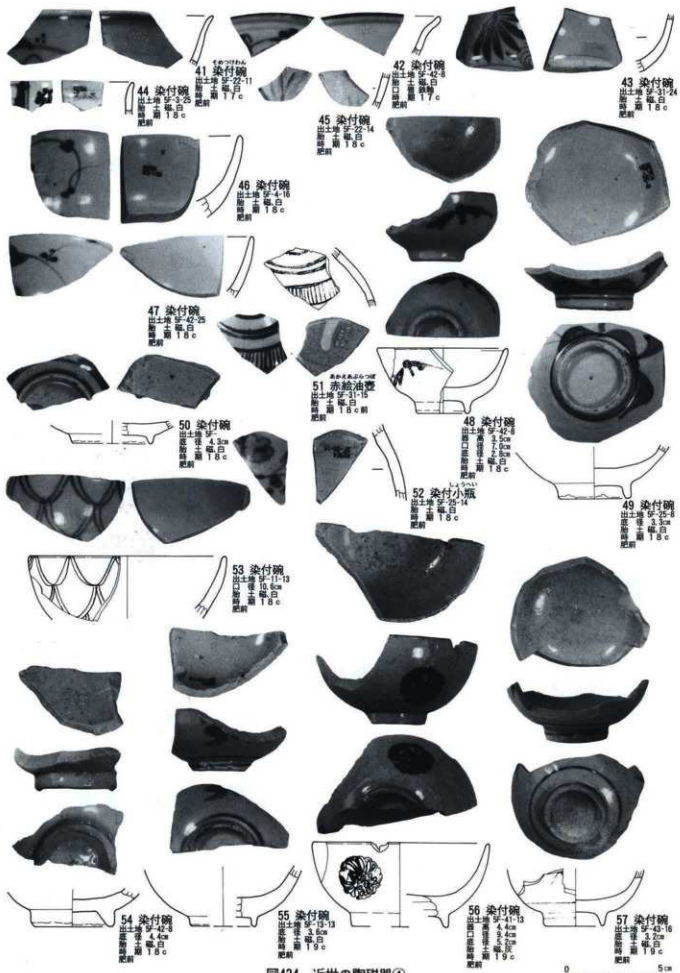


図434 近世の陶磁器④

0 5cm



図435 近世の陶磁器⑤



図436 近世その他の遺物

0 5cm

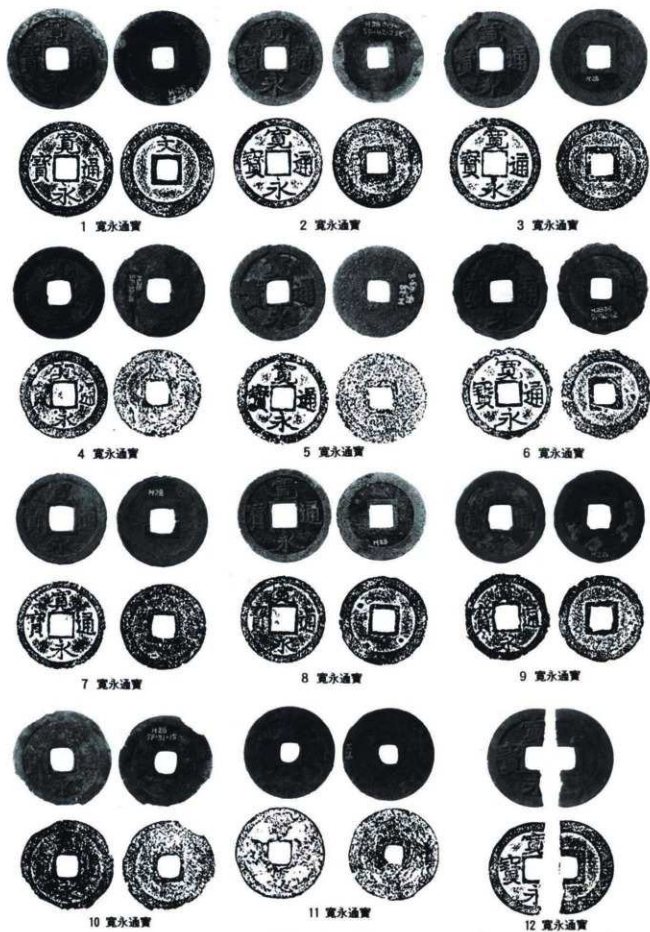


図437 近世の銭貨①

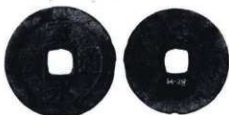
0 2cm



13 寛永通寶



15 寛永通寶



17 寛永通寶



19 文久永寶



14 寛永通寶



16 寛永通寶



18 寛永通寶



20 文久永寶

図438 近世の銭貨②





21 寛永通寶

22 寛永通寶

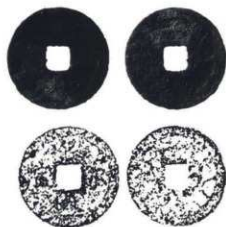
23 寛永通寶



24 寛永通寶

25 寛永通寶

26 寛永通寶



27 寛永通寶

図439 近世の銭貨③



表8 近世銭貨

図番号	銭貨名	書体	初鋳年	出土遺構 (出土グリッド)	法量			表面	裏面	特記事項
					径 mm	厚さ mm	重量 g			
1	寛永通寶		1668(寛文8)	5 F-43-8	25.3	1.3	2.9		文	
2	〃		1728(享保13)	5 F-42-2	24.0	1.3	3.1			
3	〃			5 F-	24.4	1.4	2.9			
4	〃			5 F-	23.4	1.3	2.4			
5	〃			5 F-32-18	24.4	1.1	2.5			
6	〃			5 F-42-12	24.4	1.1	1.9			
7	〃		1737(元文2)	5 F-43-8	23.1	1.1	2.1			
8	〃			5 F-	23.5	1.3	2.7			
9	〃			5 F-	23.3	1.0	2.1			
10	〃			5 F-31-15	25.0	1.1	1.9			
11	〃			5 F-	24.4	1.4	3.2			
12	〃			5 F-41-2	25.0	1.2	1.7			
13	〃			5 F-	23.1	1.2	2.3			
14	〃			5 F-21-5		1.2	0.9			
15	〃		1741(寛保1)	5 F-	21.9	1.0	1.8		元	
16	〃		1768(明和5)	5 F-42-11	27.7	1.4	4.8		波	
17	〃		1857(安政4)	5 F-	28.3	1.3	4.7		〃	
18	〃			5 F-41-15	27.9	1.2	4.4		〃	
19	文久永寶		1863(文久3)	5 F-33-22	26.8	1.1	3.0		〃	小笠原長行書
20	〃			5 F-33-22	26.6	1.2	3.1		〃	松平慶永書
21	寛永通寶		1737(元文2)	1号近世墓坑	24.0	1.4	3.2			
22	〃			〃	24.3	1.3	3.3			
23	〃			〃	24.3	1.5	4.0			
24	〃			〃	23.4	1.1	2.5			
25	〃			〃	24.4	1.4	3.6			
26	〃			〃	24.5	1.3	3.6			
27	〃		1857(安政4)	5 F-22-18	27.1	1.3	3.4		波	

6. 自然科学分析

これは、(財)東総文化財センターが、バリノ・サーベイ株式会社、城山遺跡とその周辺の古環境を復原するために、遺跡内の5号水場遺構(210号土坑)と遺跡直下の低地から採取した、土壌及び泥炭層をもとに花粉分析を中心とした自然科学的分析を委託した報告である。

以下、文・図などをそのまま提示する。

<目次>

はじめに	468
1. 試料	468
2. 方法	468
(1) 珪藻分析	
(2) 花粉分析	
(3) 植物珪酸体分析	
3. 結果	471
(1) 珪藻化石	
(2) 花粉化石	
(3) 植物珪酸体	
4. 生層序からみた低地堆積物の時代	479
5. 低地の堆積環境変遷と古環境	485
6. 森林植生変遷と台地上の古環境	486
7. まとめ	487
引用文献	487

<図表一覧>

- 図1 低地の試料採取地点柱状図
図2 低地の珪藻化石組成
図3 210号土坑(5号水場)の珪藻化石組成
図4 低地の花粉化石組成
図5 低地の植物珪酸体組成
図6 210号土坑(5号水場)の植物珪酸体組成

- 表1 珪藻の生態性
表2 低地の珪藻分析結果
表3 210号土坑(5号水場)の珪藻分析結果
表4 低地の花粉分析結果
表5 低地・210号土坑(5号水場)の植物珪酸体分析結果

- 図版1 珪藻化石(1)
図版2 珪藻化石(2)
図版3 珪藻化石(3)
図版4 花粉化石(1)
図版5 花粉化石(2)
図版6 植物珪酸体

はじめに

城山遺跡は、栗山川の支流の小支谷に面する中世の城郭である。支谷は遺跡の両側から回り込むように開析しているため、城郭は半島状に残された台地上に立地する。城郭の遺物は15世紀のものが中心であり、古墳時代～平安時代は墓域として利用されていたと考えられている。今回は、遺跡を取り巻く環境変遷を主な課題とした調査を実施する。局地的な植生変遷について調査する場合には、谷奥など閉鎖系の場所で調査すると有効である（徳永，1990）。そこで、遺跡付近の台地を開析する小谷にて掘削を行った結果、約3.5mの低地堆積物が得られた。上位から1.5m位までは、砂混じりのシルト～粘土層であるが、それより下位では泥炭層が発達する。本遺跡周辺には、多くの低湿地遺跡が知られているが、特に縄文時代の丸木舟などの木質遺物が泥炭層中で保存よく残されていることで有名である。遺跡周囲の沖積低地は、海退の際に形成された砂堤によって谷が閉塞され、湿地したものであるといわれている（森脇，1979）。これらのことから、下部の泥炭層は縄文時代後期頃のものと思われ、今回得られた堆積物はそれ以降の環境を反映していると考えられる。そこで、今回は、支谷内に堆積する堆積物を対象にして、珪藻分析・花粉分析・植物珪酸体分析をそれぞれ行い、古環境変遷について検討する。また、鏡が出土した中世の土坑中の覆土についても微化石分析を試み、当時の環境に関する情報を得ることとする。

1. 試料

分析試料は、低地の堆積物と台地上の土坑内覆土が対象とされた。低地は、約3.5mの土層断面が得られたが、このうち、表土の直下から15点の柱状試料を採取した。その中から、室内にて目的等を考慮して14点の分析用試料を再度採取し、珪藻分析、花粉分析、植物珪酸体分析にそれぞれ用いる。試料採取位置の柱状図ならびに分析用試料の採取層位については、図1に示す。また、鏡が出土した210号土坑の覆土1点についても、低地と同様な分析を併せて実施する。

2. 方法

(1) 珪藻分析

試料を湿重で約5g秤量し、過酸化水素水、塩酸の順に化学処理し、試料の泥化と有機物の分解・漂白を行う。自然沈降法で粘土分、傾斜法で砂分を除去した後、適量計り取りカバーガラス上に滴下し乾燥させる。乾燥後、ブリュラックスで封入する。検鏡は、光学顕微鏡で油浸600倍あるいは1000倍で行い、メカニカルステージで任意の測線に沿って走査し、珪藻殻が半分以上残存するものを対象に200個体以上同定・計数する（珪藻化石の少ない試料はこの限りではない）。種の同定は、K. Kramer and Lange-Bertalot (1986・1988・1991a・1991b)、K. Kramer (1992)

深度(m)

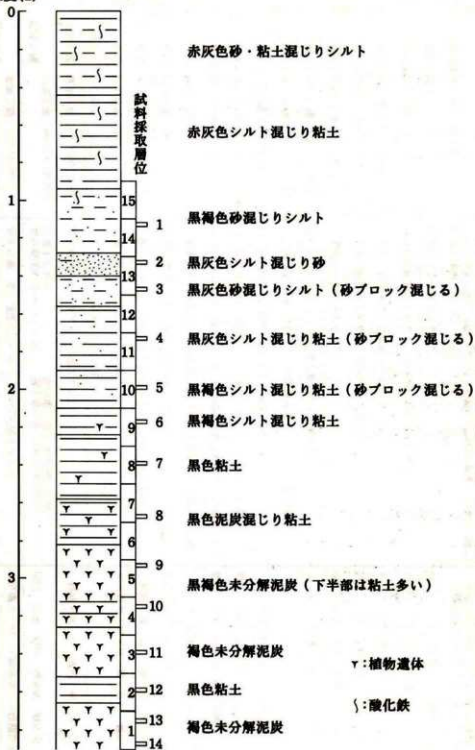


図1 低地の試料採取地点柱状図

表1 珪藻の生態性

塩分濃度に対する区分		塩分濃度に対する適応性	生育環境(例)
海水生種:	強塩生種 (Polyhalobous)	塩分濃度40.0‰以上に出現するもの	低緯度熱帯海域、塩水湖など
	真塩生種 (Euhalobous)	海産性種、塩分濃度40.0~30.0‰に出現するもの	一般海域 (ex 大陸棚及び大陸棚以深の海域)
汽水生種:	中塩生種 (Mesohalobous)	塩分濃度30.0~0.5‰に出現するもの	河口・内湾・沿岸・塩水湖・潟など
		弱中塩生種 (-Mesohalobous) 弱中塩生種 (-Mesohalobous)	
淡水生種:	貧塩生種 (Oligohalobous)	塩分濃度0.5‰以下に出現するもの	一般淡水域 (ex 湖沼・池・沼・河川・沼沢地・泉)
塩分・pH・流水に対する区分		塩分・pH・流水に対する適応性	
塩分に対する適応性	貧塩-好塩性種 (Halophilous)	少量の塩分がある方がよく生育するもの	高塩類域 (塩水灘上域・温泉・耕作土壌)
	貧塩-不定性種 (Indifferent)	少量の塩分があってもこれによく耐えることができるもの	一般淡水域 (湖沼・池・沼・河川・沼沢地など)
	貧塩-嫌塩性種 (Halophobic)	少量の塩分にも耐えることができないもの	塩原・湿地・沼沢地
	広域塩性種 (Euryhalinous)	低濃度から高濃度まで広い範囲の塩分濃度に適応して出現するもの	一般淡水~汽水域
pHに対する適応性	真酸性種 (Acidobiontic)	pH7.0以下に出現、特にpH5.5以下の酸性水域で最もよく生育するもの	塩原・湿地・火口湖 (酸性水域)
	好酸性種 (Acidophilous)	pH7.0付近に出現、pH7.0以下の水域で最もよく生育するもの	塩原・湿地・沼沢地
	pH-不定性種 (Indifferent)	pH7.0付近の中性水域で最もよく生育するもの	一般淡水域 (ex 湖沼・池沼・河川)
	好アルカリ性種 (Alkaliphilous)	pH7.0付近に出現、pH7.0以上の水域で最もよく生育するもの	
	真アルカリ性種 (Alkalibiontic)	pH8.5以上のアルカリ性水域で最もよく生育するもの	
流水に対する適応性	真正水性種 (Limnobiontic)	止水域にのみ出現するもの	流水の少ない湖沼・池沼
	好止水性種 (Limnophilous)	止水域に特徴的であるが、流水にも出現するもの	湖沼・池沼・流れの遅やかな川
	流水不定性種 (Indifferent)	止水域にも流水域にも普通に出現するもの	河川・川・池沼・湖沼
	好流水性種 (Rheophilous)	流水域に特徴的であるが、止水域にも出現するもの	河川・川・小川・上流域
	真流水性種 (Rheobiontic)	流水域にのみ出現するもの	河川・川・流れの速い川・渓流・上流域
陸生珪藻	好気性種 (Aerophilous)	好気的環境 (Aerial habitats) 水域以外の常に大気に曝された特殊な環境に生育する珪藻の一群で多少の強り気と光さえあれば、土壌表面中のコケの表面に生育可能特に、土壌中に生育する陸生珪藻を土壌珪藻という	・土壌表面中や土壌に生えたコケに付着 ・木の根元や幹に生えたコケに付着 ・濡れた岩の表面やそれに生えたコケに付着 ・滝の飛沫で濡ったコケや石垣・岩上のコケに付着 ・洞窟入口や内部の照明の当たった所に生えたコケに付着

注 塩分に対する区分はLow (1974)、pHと流水に対する区分はHustedt (1937-38) による。

などを用いる。同定結果は、産出種をアルファベット順に並べた一覧表で示す。堆積環境の解析にあたり、塩分濃度に対する適応性から産出種を海水生種、海水～汽水生種、汽水生種、淡水生種に分類し、淡水生種については更に塩分・水素イオン濃度（pH）・流水に対する適応性に基づいて生態区分する。そして、主要な分類群について、主要珪藻化石の層位分布図を作成する。図中の海水～淡水生種の比率と各種産出率は全体基数、淡水生種の生態性の比率は淡水生種の合計を基数とした相対頻度で算出する。堆積環境の解析に当たっては、安藤（1990）、伊藤・堀内（1991）の環境指標種などを参考とする。

（2）花粉分析

試料約5gについて、水酸化カリウムによる泥化、篩別、重液（臭化亜鉛：比重2.2）による有機物の分離、フッ化水素酸による鉱物質の除去、アセトリシス処理の順に物理・化学的処理を施し、花粉化石を濃集する。残渣をグリセリンで封入してプレパラートを作製し、光学顕微鏡下でプレパラート全面を操作し、出現する全ての種類について同定・計数する。

結果は、木本花粉は木本花粉総数、草本花粉・シダ類胞子は総花粉・胞子数から不明花粉を除いたものを基数とした百分率で出現率を算出し図示する。図表中で複数の種類をハイフンで結んだものは、種類間の区別が困難なものである。

（3）植物珪酸体分析

試料約5gについて、過酸化水素水と塩酸による有機物と鉄分の除去、超音波処理による試料の分散、沈降法による粘土分の除去、重液分離（臭化亜鉛：比重2.3）を順に行い、植物珪酸体を分離・濃集する。検鏡し易い濃度に希釈した後、カバーガラスに滴下し、乾燥させる。これを、プリウラックスで封入してプレパラートを作製する。

検鏡は光学顕微鏡下でプレパラートを全面走査し、出現するイネ科の植物珪酸体を、近藤・佐瀬（1986）の分類を参考に示す。そのなかで、イネ科植物の葉部（葉身と葉鞘）の短細胞に由来する植物珪酸体（以下、短細胞珪酸体と呼ぶ）および葉身の機動細胞に由来する植物珪酸体（以下、機動細胞珪酸体と呼ぶ）を、同定・計数する。

結果は、検出された植物珪酸体の種類と個数を一覧表で示す。また、各種類の出現傾向から、生育していたイネ科植物を検討するために、植物珪酸体組成図を作成する。出現率は、短細胞珪酸体と機動細胞珪酸体の各珪酸体毎に、それぞれの総数を基数として百分率で算出する。

3. 結果

（1）珪藻化石

・低地

結果を表2、図2に示す。珪藻化石の産状は試料番号4・10・11の3試料では少なかったが、これ以外の11試料からは豊富に産出する。完形殻の出現率は、70～20%まで変化するが40～50%

表2 低地の植物分析結果(1)

種 類	生 態 性			環境	種 類													
	水分	pH	塩分		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
<i>Nitzschia marginata</i> var. <i>subconstricta</i> Grunow	Euh				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Pleurosigma</i> sp.	Euh				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
<i>Nitzschia constricta</i> var. <i>subconstricta</i> Grunow	Euh-Meh				1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Nitzschia scalaris</i> (Ehr. ex P. Smith)	Euh-Meh				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1
<i>Nitzschia sigma</i> (Kuetz.) V. Smith	Euh-Meh				-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Navicula cf. crucicula</i> (V. Smith) Donkin	Meh			E1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Navicula peregrina</i> (Ehr.) Kuetzing	Meh				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	50
<i>Nitzschia constricta</i> (Kuetz.) Ralfs	Meh				-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Nitzschia levidensis</i> var. <i>victoriae</i> (Grun.) Cholnoky	Meh				1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Achnanthes exigua</i> Grunow	Ogh-ind	al-11	ind	S	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-
<i>Achnanthes lanceolata</i> (Breb.) Grunow	Ogh-ind	ind	r-ph	K,T	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-
<i>Achnanthes minutissima</i> Kuetzing	Ogh-ind	al-11	ind	U	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Aphora fontinalis</i> Husted	Ogh-ind	al-11	ind		-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Aphora montana</i> Krauss	Ogh-ind	ind	ind	RA	4	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Aphora ovalis</i> var. <i>affinis</i> (Kuetz.) V. Saurck	Ogh-ind	al-11	ind	U	11	21	5	17	2	5	7	9	2	10	9	2	14	
<i>Ancooneis brachystra</i> (Breb.) Grunow	Ogh-ind	ac-11	1-ph	O,T	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Ancooneis gromphosacea</i> (Grun.) M. Kobayasi	Ogh-ind	ac-11	ind		2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Ancooneis sphaerophora</i> (Kuetz.) Pfister	Ogh-hil	al-hi	ind		1	11	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Ancooneis vitrea</i> (Grun.) Moss	Ogh-hob	ac-11	1-ph	T	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Aulacoseira granulata</i> (Ehr.) Sjoestedt	Ogh-ind	al-11	1-bi	M,U	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Aulacoseira italica</i> (Ehr.) Sjoestedt	Ogh-ind	al-11	1-ph	U	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Aulacoseira laevissima</i> (Grun.) Kraemer	Ogh-hob	ac-11	1-ph		-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Caloneis bacillum</i> (Grun.) Cleve	Ogh-ind	al-11	r-ph	U	-	1	-	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Caloneis leptocoma</i> Kraemer & Lange-Bertalot	Ogh-ind	ind	1-ph	群	-	1	-	1	-	2	1	-	-	2	-	-	-	-
<i>Caloneis solaris</i> (Grun.) Kraemer	Ogh-ind	ind	ind		-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Caloneis schumanniana</i> (Grun.) Cleve	Ogh-ind	al-11	1-bi		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Caloneis schumanniana</i> var. <i>biconstricta</i> Grunow	Ogh-ind	ind	ind		2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Caloneis silicula</i> (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	al-11	ind		2	3	2	-	1	3	-	1	-	-	-	1	1	
<i>Caloneis tenuis</i> (Grun.) Kraemer	Ogh-ind	al-11	ind		-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Caloneis</i> sp.-1	Ogh-unk	unk	unk	RI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Craticula ambigua</i> (Ehr.) J. G. Mann	Ogh-ind	al-11	ind	S	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
<i>Craticula cuspidata</i> (Kuetz.) J. G. Mann	Ogh-ind	al-11	ind	S	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Cymbella amphioxys</i> (Kuetz.) Grunow	Ogh-ind	ind	1-ph		-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Cymbella aspera</i> (Ehr.) Cleve	Ogh-ind	al-11	ind	O,T	-	1	-	-	3	-	2	1	-	12	6	15	15	
<i>Cymbella cuspidata</i> Kuetzing	Ogh-ind	ind	ind		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
<i>Cymbella gracilis</i> (Ehr.) Kuetzing	Ogh-ind	ind	1-ph	T	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Cymbella minuta</i> Hille ex Rabh.	Ogh-ind	ind	r-ph	K,T	-	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Cymbella naviculiformis</i> Auerwald	Ogh-ind	ind	ind	O	-	-	-	1	9	2	17	2	-	-	-	-	-	-
<i>Cymbella silesiaca</i> Bleisch	Ogh-ind	ind	ind	T	5	7	9	-	2	10	-	-	-	-	-	-	-	1
<i>Cymbella subaequalis</i> Grunow	Ogh-ind	al-11	1-ph	O,T	-	-	-	-	7	12	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Cymbella tumida</i> (Breb. ex Kuetz.) V. Saurck	Ogh-ind	al-11	ind	T	-	2	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Cymbella turgidula</i> Grunow	Ogh-ind	al-11	r-ph	K,T	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Cymbella</i> spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	-	2	-	-
<i>Diplooneis ovalis</i> (Hille) Cleve	Ogh-ind	al-11	ind		2	2	1	-	2	5	33	26	3	2	-	5	-	1
<i>Diplooneis parva</i> Cleve	Ogh-ind	ind	ind		-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Diplooneis yatakaensis</i> Horikawa et Okuno	Ogh-ind	ind	1-ph	RI	-	-	-	4	3	1	20	24	7	2	22	77	-	-
<i>Diplooneis</i> spp.	Ogh-unk	unk	unk		-	1	-	-	-	-	-	-	-	5	4	-	-	-
<i>Epithemia turgida</i> (Ehr.) Kuetzing	Ogh-ind	al-11	1-ph	T	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
<i>Eumotis arcus</i> Ehrenberg	Ogh-hob	ac-11	1-ph		-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Eumotis bilunaris</i> (Ehr.) Mills	Ogh-hob	ac-11	1-ph		1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Eumotis flexuosa</i> (Breb.) Kuetzing	Ogh-hob	ac-11	1-ph	O	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Eumotis gracialis</i> Reister	Ogh-hob	ind	1-bi		-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	10	1	
<i>Eumotis incisa</i> V. Smith ex Gregory	Ogh-hob	ac-11	ind	O	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Eumotis pectinialis</i> var. <i>sinor</i> (Kuetz.) Rabenhorst	Ogh-hob	ac-11	ind	O	-	1	-	-	2	1	9	1	-	-	-	-	-	-
<i>Eumotis pectinialis</i> var. <i>undulata</i> (Ralfs.) Rabenhorst	Ogh-hob	ac-11	ind	O	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
<i>Fragilaria brevistriata</i> Grunow	Ogh-ind	al-11	1-ph	U	15	2	1	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-	-
<i>Fragilaria construens</i> (Ehr.) Grunow	Ogh-ind	al-11	1-ph	T	36	-	-	-	22	-	3	-	-	-	1	-	-	-
<i>Fragilaria construens</i> fo. <i>binodis</i> (Ehr.) Grunow	Ogh-ind	al-11	1-ph	U	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Fragilaria construens</i> fo. <i>venter</i> (Ehr.) Grunow	Ogh-ind	al-11	1-ph	S	22	3	1	-	5	-	4	-	-	-	1	-	-	-
<i>Fragilaria exigua</i> Grunow	Ogh-ind	ind	1-ph		1	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Fragilaria lapponica</i> Grunow	Ogh-ind	al-11	ind		-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-
<i>Fragilaria parvatica</i> (V. Smith) Grunow	Ogh-ind	al-11	ind	U	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
<i>Fragilaria pinnetta</i> Ehrenberg	Ogh-ind	al-11	ind	S	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Fragilaria virescens</i> Ralfs	Ogh-ind	ac-11	1-ph	U	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Frustulia vulgaris</i> (Thwait.) De Toni	Ogh-ind	al-11	ind	U	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Composnema acuminatum</i> Ehrenberg	Ogh-ind	ind	1-ph	O	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	1
<i>Composnema angustatum</i> (Kuetz.) Rabenhorst	Ogh-ind	al-11	ind	U	-	-	3	-	-	1	1	1	-	-	1	-	-	-
<i>Composnema angustatum</i> var. <i>linearis</i> Husted	Ogh-ind	ac-11	unk		-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Composnema gracile</i> Ehrenberg	Ogh-ind	al-11	1-ph	O,U	4	-	-	-	3	-	4	-	-	-	-	-	-	2
<i>Composnema olivaceum</i> var. <i>sinuissimum</i> Husted	Ogh-ind	al-11	ind		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<i>Composnema parvum</i> Kuetzing	Ogh-ind	ind	ind	U	3	4	-	-	2	2	1	6	-	-	-	-	-	1
<i>Composnema subtile</i> Ehrenberg	Ogh-ind	al-11	ind		-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

表2 低地の植群分析結果(2)

種 類	先 物 件		環境	採 集 地														
	種分	種		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
<i>Gomphosia truncatus</i> Ehrenberg	Gph-ind	ind	1-ph	T	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Gomphosia</i> spp.	Gph-unk	unk	unk	T	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Gyrosgia acuminata</i> (Kuetz.) Habenhorst	Gph-ind	al-11	ind		-	2	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Gyrosgia scalproides</i> (Rahlb.) Cleve	Gph-ind	al-11	r-ph		3	10	9	3	1	1	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Gyrosgia spencerii</i> (V. Smith) Cleve	Gph-ind	al-11	1-ph	U	4	-	2	1	6	-	3	-	-	-	-	-	-	
<i>Gyrosgia</i> spp.	Gph-unk	unk	unk		-	1	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Hantzschia amphioxys</i> (Dhr.) Grunow	Gph-ind	al-11	ind	RA, U	2	2	1	1	1	6	1	10	7	2	-	3	9	8
<i>Hastogloia smithii</i> Thwaites	Gph-ind	ind	1-bi		-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Melosira varians</i> Agardh	Gph-hil	al-bi	r-ph	K, U	-	1	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	
<i>Meridion circulae</i> var. <i>constrictus</i> (Ralfs) V. Heurck	Gph-ind	al-11	r-bi	K, T	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	
<i>Navicula angusta</i> Grunow	Gph-ind	ac-11	ind	T	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
<i>Navicula bacillus</i> Ehrenberg	Gph-ind	al-11	ind	U	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Navicula capitata</i> var. <i>elliptica</i> (Schulz) Cl. - Eu.	Gph-hil	al-11	ind		-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Navicula capitata</i> var. <i>hungarica</i> (Grun.) Moss	Gph-hil	al-11	r-ph	U	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
<i>Navicula cohnii</i> (Hilse) Lange-Bertalot	Gph-ind	al-bi	ind	RI	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Navicula concentrica</i> Carter	Gph-unk	unk	unk	T	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
<i>Navicula costata</i> Grunow	Gph-ind	al-11	ind	RA, T	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	
<i>Navicula cryptocephala</i> Kuetzing	Gph-ind	al-11	ind	U	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Navicula cryptotenella</i> Lange-Bertalot	Gph-ind	ind	ind	T	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Navicula decussata</i> Oestrup	Gph-ind	al-11	r-ph	K, U	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Navicula digitatata</i> (Geg.) A. Schmidt	Gph-ind	al-11	ind		-	5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Navicula elginensis</i> (Geg.) Ralfs	Gph-ind	al-11	ind	Q, U	2	-	1	-	2	-	11	-	1	-	2	3	-	
<i>Navicula elginensis</i> var. <i>conesta</i> H. Kobayasi	Gph-ind	al-11	ind		-	-	-	-	1	2	4	-	1	-	-	-	-	
<i>Navicula elginensis</i> var. <i>neglecta</i> (Kraus.) Patrick	Gph-ind	al-11	r-ph	U	4	2	-	-	3	-	9	3	1	-	-	-	-	
<i>Navicula haemargii</i> Hustedt	Gph-ind	ind	ind	RI	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Navicula kotachii</i> Grunow	Gph-ind	al-11	ind		54	8	16	-	10	-	10	-	-	-	-	-	-	
<i>Navicula laevissima</i> Kuetzing	Gph-ind	ind	ind		-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	
<i>Navicula laevissima</i> fo. <i>fusticulus</i> (Oestrup) H. Kobayasi	Gph-ind	ind	ind		-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Navicula laterostrata</i> Hustedt	Gph-ind	al-11	1-bi		-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Navicula semiculus</i> Schramm	Gph-ind	al-11	r-ph		1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
<i>Navicula semiculus</i> var. <i>spalliensis</i> Grunow in Cleve & Grunow	Gph-ind	al-11	unk		-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Navicula sutica</i> Kuetzing	Gph-ind	al-11	ind	RA, S	7	1	1	2	-	3	3	5	-	3	4	1	4	
<i>Navicula rotunda</i> Pantocsek	Gph-ind	al-11	ind		-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Navicula placenta</i> Ehrenberg	Gph-ind	al-11	ind	RI	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Navicula pseudobryophila</i> Hustedt	Gph-ind	ind	ind		-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Navicula pseudocirculae</i> H. Kobayasi	Gph-unk	unk	unk	S	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Navicula pupula</i> Kuetzing	Gph-ind	ind	ind	S	-	-	-	1	-	4	2	-	-	-	-	-	-	
<i>Navicula radicata</i> Kuetzing	Gph-ind	ind	ind	U	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	2	
<i>Navicula rhyzoccephala</i> Kuetzing	Gph-ind	al-11	ind	U	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Navicula tokoyensis</i> H. Kobayasi	Gph-ind	ind	1-ph	RI	-	-	-	-	2	1	14	-	1	-	7	3	1	
<i>Navicula veneta</i> Kuetzing	Gph-hil	al-11	ind	U	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Navicula viridula</i> (Kuetz.) Kuetzing	Gph-ind	al-11	r-ph	K, U	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Navicula viridula</i> var. <i>rostellata</i> (Kuetz.) Cleve	Gph-ind	al-11	r-ph	K, U	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Navicula</i> sp. -1	Gph-unk	unk	unk		-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Navicula</i> spp.	Gph-unk	unk	unk		2	-	2	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	
<i>Neidus amplatus</i> (Dhr.) Kramer	Gph-ind	ind	1-ph	RI	-	-	-	1	3	3	2	-	-	-	-	2	-	
<i>Neidus bisulcatus</i> Lagerst. Cleve	Gph-ind	ac-11	ind	RI	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
<i>Neidus iris</i> (Dhr.) Cleve	Gph-hob	ac-11	1-bi	O	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Neidus iris</i> var. <i>saphignophus</i> (Dhr.) V. Heurck	Gph-hob	ac-11	1-bi		-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Neidus productus</i> (V. Smith) Cleve	Gph-ind	ind	ind		-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Neidus</i> spp.	Gph-unk	unk	unk		-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	
<i>Nitzschia saphibia</i> Grunow	Gph-ind	al-bi	ind	S	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Nitzschia brevissima</i> Grunow	Gph-hil	al-11	ind	RB, U	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
<i>Nitzschia filiformis</i> (V. Smith) Hustedt	Gph-hil	al-11	ind	U	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Nitzschia frustulum</i> (Kuetz.) Grunow	Gph-hil	al-bi	ind		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Nitzschia linearis</i> V. Smith	Gph-ind	al-11	r-ph	U	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Nitzschia palustris</i> Hustedt	Gph-ind	ind	unk		-	1	-	-	1	-	2	1	-	-	4	16	1	
<i>Nitzschia perminuta</i> (Grun.) Peragallo	Gph-ind	ind	ind	RI	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Nitzschia sinuata</i> var. <i>delongei</i> (Grun.) Lange-Bertalot	Gph-ind	al-11	1-ph	U	-	1	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Nitzschia terrestris</i> (Pet.) Hustedt	Gph-ind	ind	ind	RI	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	1	-	
<i>Pinularia acropachia</i> V. Smith	Gph-ind	al-11	1-ph	O	-	-	-	-	-	1	1	1	-	1	1	3	1	
<i>Pinularia acropachia</i> var. <i>undulata</i> Skvortsov	Gph-ind	al-11	1-ph	O	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
<i>Pinularia appendiculata</i> (Ag.) Cleve	Gph-hob	ind	ind	RB	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Pinularia borealis</i> Ehrenberg	Gph-ind	ind	ind	RA	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Pinularia braunii</i> (Grun.) Cleve	Gph-hob	ac-bi	1-ph		-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Pinularia brevissonii</i> (Kuetz.) Habenhorst	Gph-ind	ind	ind	U	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Pinularia brevicostata</i> Cleve	Gph-ind	ac-11	ind		-	-	-	-	-	-	2	1	-	1	1	-	-	
<i>Pinularia divergens</i> V. Smith	Gph-hob	ac-11	1-ph		-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Pinularia divergens</i> var. <i>elliptica</i> (Grun.) Cleve	Gph-hob	ind	ind		-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	
<i>Pinularia esociformis</i> Fusee	Gph-unk	unk	unk		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	9	-	
<i>Pinularia gentilis</i> (Donkin) Cleve	Gph-ind	ac-11	1-bi		-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	1	-	
<i>Pinularia gibba</i> Ehrenberg	Gph-ind	ac-11	ind	O	-	-	-	-	2	1	3	2	1	-	1	3	-	

表2 塩地の陸域分析結果(3)

種 類	生 息 地			種 類	種 類													
	鹽分	土	水深		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
<i>Pinnularia gibba</i> var. <i>linearis</i> Husted	qgh-hob	ac-11	ind	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	
<i>Pinnularia laevis</i> Kille	qgh-hob	ac-11	1-ph	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	
<i>Pinnularia interrupta</i> V. Smith	qgh-ind	ac-11	ind	S	-	-	-	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Pinnularia scutellata</i> (Dhr.) Kieve	qgh-hob	ac-11	1-ph	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	2	4	3	
<i>Pinnularia major</i> Kuetzing	qgh-ind	ac-11	1-bi	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	1	2	-	
<i>Pinnularia sensolepta</i> (Dhr.) V. Smith	qgh-ind	ind	ind	S	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	
<i>Pinnularia microstauron</i> (Dhr.) Kieve	qgh-ind	ind	ind	S	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
<i>Pinnularia nobilis</i> Ehrenberg	qgh-hob	ac-11	1-ph	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
<i>Pinnularia nodosa</i> Ehrenberg	qgh-hob	ac-11	1-ph	0	-	-	-	-	1	3	5	7	1	-	1	3	-	
<i>Pinnularia rupestris</i> Hustach	qgh-ind	ind	ind	-	-	-	-	-	4	-	7	4	-	1	5	1	-	
<i>Pinnularia schoenfelderi</i> Kramer	qgh-ind	ind	ind	RI	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Pinnularia schroederii</i> (Hust.) Kramer	qgh-ind	ind	ind	RI	-	-	-	-	1	-	-	4	1	-	2	-	-	
<i>Pinnularia similis</i> Husted	qgh-ind	ind	ind	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	2	-	-	
<i>Pinnularia stomatophora</i> (Grun.) Kieve	qgh-ind	ac-11	1-ph	-	-	-	-	-	3	1	-	-	-	-	1	1	5	
<i>Pinnularia streptorhaphis</i> Kieve	qgh-hob	ac-11	1-ph	1	-	-	-	-	1	1	1	2	-	-	-	-	1	
<i>Pinnularia subcapitata</i> Gregory	qgh-ind	ac-11	ind	RB, S	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Pinnularia subrepens</i> Kramer	qgh-ind	ind	ind	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	2	1	-	
<i>Pinnularia viridis</i> (Nitz.) Ehrenberg	qgh-ind	ind	ind	0	1	-	-	-	2	-	2	2	2	1	4	2	5	
<i>Pinnularia</i> sp.	qgh-unk	unk	unk	-	1	1	-	-	4	9	1	5	16	12	11	3	2	2
<i>Rhopodia gibba</i> (Dhr.) J. Müller	qgh-ind	al-11	ind	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	
<i>Rhopodia gibberula</i> (Dhr.) J. Müller	qgh-hil	al-11	ind	-	7	1	4	-	11	7	8	26	5	3	-	6	6	2
<i>Stauroneis acuta</i> V. Smith	qgh-ind	al-11	1-ph	-	-	1	-	-	1	-	2	-	-	-	4	3	1	
<i>Stauroneis anopa</i> Ehrenberg	qgh-ind	ind	ind	T	-	-	-	-	3	1	-	-	-	-	-	1	-	
<i>Stauroneis laenbursiana</i> Husted	qgh-ind	al-11	ind	-	4	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	
<i>Stauroneis laenbursiana</i> fo. <i>angulata</i> Husted	qgh-ind	al-11	ind	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Stauroneis legumae</i> var. <i>nipponica</i> (Stev.) K. Kobayasi	qgh-hob	ac-11	1-ph	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Stauroneis obtusa</i> Lagerst	qgh-ind	ind	ind	RB	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Stauroneis phoenicenteron</i> (Nitz.) Ehrenberg	qgh-ind	ind	1-ph	0	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	2	1	1	6
<i>Stauroneis phoenicenteron</i> var. <i>hattorii</i> Tsunaura	qgh-ind	ind	ind	0	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Stauroneis phoenicenteron</i> var. <i>signata</i> Meister	qgh-ind	ind	ind	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	2	4	
<i>Stauroneis</i> sp.	qgh-unk	unk	unk	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	
<i>Surirella ovata</i> var. <i>pinata</i> (V. Smith) Husted	qgh-ind	al-11	1-ph	U	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Surirella tenera</i> Gregory	qgh-hob	ind	1-bi	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
<i>Surirella</i> sp.	qgh-unk	unk	unk	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	
<i>Synedra ulna</i> (Kuetz.) Ehrenberg	qgh-ind	al-11	ind	U	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
海水生種合計					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
海水-汽水生種合計					1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	1
汽水生種合計					1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	60
淡水生種合計					233	110	108	17	143	104	295	207	108	44	62	108	197	88
陸域石緑藻					235	113	108	17	143	105	295	207	108	44	62	115	200	161

凡例

R. R. :塩分濃度に対する適応性	pH:水素イオン濃度に対する適応性	C. R. :流水に対する適応性
Euh :海水生種	al-bi:真塩性種	1-bi:真止水性種
Euh-Beh:海水生種-汽水生種	al-11:好700性種	1-ph:好止水性種
Meh :汽水生種	ind :pH不定性種	ind :流水不定性種
qgh-hil:質塩好塩性種	ac-11:好酸性種	r-ph:好流水性種
qgh-ind:質塩不定性種	ac-bi:真酸性種	r-bi:真流水性種
qgh-hob:質塩好塩性種	unk :pH不明種	unk :流水不明種
qgh-unk:質塩不明種		

種名略称

E1:海水乾干海指標種(小杉, 1988)

K:中-下流性河川海指標種 K:瀬沼浮遊性種 O:沼沢地付着生種(以上は安藤, 1990)

S:好汚濁性種 U:広適応性種 T:好清水性種(以上はAsai, K. & Watanabe, T. 1995)

R:陸域石緑藻(RA:RA群, RB:RB群, I:伊藤・堀内, 1991)

の値を示すものが多い。産出種の大部分は淡水生種で構成されるが、最下部の試料番号14では、汽水附着性種も多産する。産出分類群数は合計で31属167種類である。淡水生種の生態性（塩分、水素イオン濃度、流水のそれぞれに対する適応度合い）の特徴は、全般的に貧塩-不定性種が優占する。pHに対しては、試料番号5で浅で真・好アルカリ性種が優占するが、それ以外ではpH不定性種も多産する。流水に対しては、試料番号2・3を除いて流水不定性種と真・好止水性種とで特徴づけられる。以下に、珪藻化石群集の特徴を下位の試料から述べる。

試料番号14は、汽水附着性の *Navicula peregrina* が約40%産出し、流水不定性の *Amphora ovalis* var. *affinis*、*Cymbella aspera*、好止水性の *Epithemia turgida*、*Pinnularia stomatophora*、*Stauro-neis phoenicenteron* を伴う。試料番号13~12・9では、陸生珪藻の *Diploneis yatukaensis* が20~40%産出する。これに付随して、同じく陸生珪藻の *Hantzschia amphioxys*、*Navicula mutica*、*Pinnularia schroederii*、流水不定性の *Amphora ovalis* var. *affinis*、*Diploneis ovalis*、*Pinnularia rupestris*、*Rhopalodia gibberula* が産出する。なお、これに挟まれた試料番号10・11は化石の産出が少なかったが、前試料とほぼ同様の種類が産出する。試料番号8~5になると陸生珪藻は減少し、流水不定性の *Amphora ovalis* var. *affinis*、*Diploneis ovalis*、*Navicula kotschyi*、*Rhopalodia gibberula*、好止水性の *Fragilaria construens*、*F. construens* fo. *venter*、沼沢湿地附着生種の *Cymbella naviculiformis*、*C. subaequalis* などが多産する。試料番号2・3になるとこれまで産出の高かった止水性種は減少し、流水性種が増加する。その主な種は、*Gyrosigma scalproides*、中~下流性河川指標種の *Cymbella minuta* である。また、流水不定性の *Amphora ovalis* var. *affinis*、*Cymbella silesiaca*、*Gomphonema parvulum*、*Navicula digitoradiata*、沼沢湿地附着生種の *Anomoeoneisphaerophora* が多産する。試料番号1では、流水不定性の *Navicula kotschyi*、好止水性の *Fragilaria construens* が20%前後産出し、流水不定性の *Amphora ovalis* var. *affinis*、好止水性の *Fragilaria brevistriata*、*F. construens* fo. *venter* が10%前後産出する。これらの種のうち *Fragilaria brevistriata* は塩分を含む汽水域からも産出する。また、*Fragilaria construens* fo. *venter* は、有機汚濁の進んだ富栄養水域から普通に産出する好汚濁性種でもある。

・210号土坑

結果を表3・図3に示す。珪藻化石は豊富に産出する。完形殻の出現率は、約70%と高い。土坑からは、陸生珪藻が約70%と高い割合で産出することを特徴とする。個々の産出種の特徴は、未区分陸生珪藻の *Pinnularia schoenfelderi* が25%と優占し、陸生珪藻の中でも耐乾性の強いA群の *Amphora montana*、*Hantzschia amphioxys*、*Navicula mutica* が約10%と多産する。水生珪藻では、沼沢湿地附着生種の *Gomphonema gracile* が約20%と多産するほか、流水不定性の *Gomphonema parvulum*、*Achnanthes hungarica* が5~10%産出する。

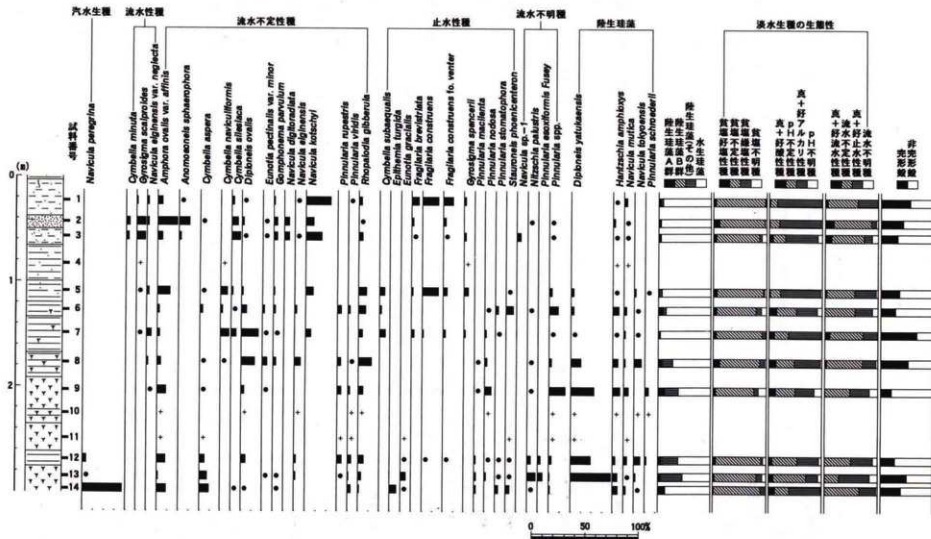


図2 低地の陸域化石層

海水・汽水・淡水生類産出率・各種産出率・完形産出率は全体基数、淡水生類の生態性の比率は淡水生類の合計を基数として相対程度で表した。いずれも化石基数が100個体以上検出された試料について示す。なお、●は産出率1%未満、+は産出率100個体未満の試料について検出された種類を示す。

表3 210号土坑の珪藻分析結果

種 類	生態性			環境 指標種	H-28 210号坑
	塩分	pH	流水		
<i>Achnanthes hungarica</i> Grunow	Ogh-hil	al-il	ind	U	8
<i>Achnanthes minutissima</i> Kuetzing	Ogh-ind	al-il	ind	U	1
<i>Amphora montana</i> Krasske	Ogh-ind	ind	ind	RA	17
<i>Frustulia vulgaris</i> (Thwait.)De Toni	Ogh-ind	al-il	ind	U	1
<i>Gomphonema gracile</i> Ehrenberg	Ogh-ind	al-il	l-ph	O, U	34
<i>Gomphonema parvulum</i> Kuetzing	Ogh-ind	ind	ind	U	16
<i>Gomphonema pseudoaugur</i> Lange-Bertalot	Ogh-ind	al-il	ind	S	1
<i>Hantzschia amphioxys</i> (Ehr.)Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	RA, U	23
<i>Navicula contenta</i> Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	RA, T	3
<i>Navicula elginensis</i> (Greg.)Ralfs	Ogh-ind	al-il	ind	O, U	2
<i>Navicula elginensis</i> var. <i>cuneata</i> H. Kobayasi	Ogh-ind	al-il	ind		1
<i>Navicula mutica</i> Kuetzing	Ogh-ind	al-il	ind	RA, S	17
<i>Navicula tantula</i> Hustedt	Ogh-ind	al-il	ind	RI, U	1
<i>Navicula</i> spp.	Ogh-unk	unk	unk		1
<i>Neidium alpinum</i> Hustedt	Ogh-unk	unk	ind	RA	3
<i>Neidium ampliatum</i> (Ehr.)Krammer	Ogh-ind	ind	l-ph		1
<i>Neidium bisulcatum</i> (Lagerst.)Cleve	Ogh-ind	ac-il	ind	RI	1
<i>Nitzschia amphibia</i> Grunow	Ogh-ind	al-bi	ind	S	1
<i>Nitzschia debilis</i> (Arnott)Grunow	Ogh-ind	al-il	ind	RB, U	2
<i>Nitzschia sinuata</i> var. <i>delognei</i> (Grun.)Lange-Bertalot	Ogh-ind	al-il	l-ph	U	1
<i>Pinnularia appendiculata</i> (Ag.)Cleve	Ogh-hob	ind	ind	RB	1
<i>Pinnularia borealis</i> Ehrenberg	Ogh-ind	ind	ind	RA	2
<i>Pinnularia borealis</i> var. <i>rectangularis</i> Carlson	Ogh-ind	ind	ind	RA	1
<i>Pinnularia obscura</i> Krasske	Ogh-ind	ind	ind	RA	2
<i>Pinnularia schoenfelderi</i> Krammer	Ogh-ind	ind	ind	RI	54
<i>Pinnularia subcapitata</i> Gregory	Ogh-ind	ac-il	ind	RB, S	4
<i>Stauroneis anceps</i> Ehrenberg	Ogh-ind	ind	ind	T	1
<i>Stauroneis obtusa</i> Lagerst	Ogh-ind	ind	ind	RB	2
<i>Surirella angusta</i> Kuetzing	Ogh-ind	al-il	r-bi	U	1
海水生種合計					0
海水-汽水生種合計					0
汽水生種合計					0
淡水生種合計					203
珪藻化石総数					203

凡例

H. R. : 塩分濃度に対する適応性	pH: 水素イオン濃度に対する適応性	C. R. : 流水に対する適応性
Ogh-hil: 貧塩好塩性種	al-bi: 真7#好性種	l-ph: 好止水性種
Ogh-ind: 貧塩不定性種	al-il: 好7#好性種	ind: 流水不定性種
Ogh-hob: 貧塩嫌塩性種	ind: pH不定性種	r-ph: 好流水性種
Ogh-unk: 貧塩不明種	ac-il: 好酸性種	unk: 流水不明種
	unk: pH不明種	

環境指標種

- O: 沼沢湿地付着生種 (安藤, 1990)
 S: 好汚濁性種 U: 広適応性種 T: 好清水性種 (以上はAsai, K. & Watanabe, T. 1995)
 RI: 陸生珪藻 (RA:A群, RB:B群、伊藤・堀内, 1991)

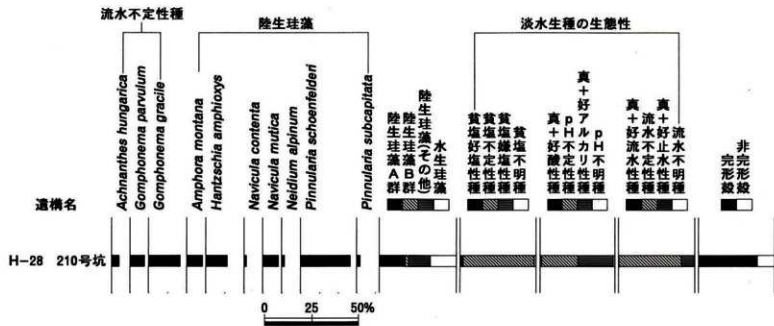


図3 210号土坑の珪藻化石組成

各種産出率・完形殻産出率は全体基数、淡水生種の生態性の比率は淡水生種の合計を基数として相対頻度で表した。いずれも化石総数が100個体以上検出された試料について示す。

(2) 花粉化石

・低地

結果を図4、表4に示す。花粉化石群集は、試料番号14~9、試料番号8、試料番号7・6、試料番号5~1の4つに分けられる。

試料番号14~9は、草本類に比べて木本花粉の割合が高い。木本類ではクリ属の割合が最も高く、アカガシ亜属、コナラ亜属、スギ属なども検出される。試料番号8も、引き続き木本花粉の割合が高い。木本類ではクリ属は減少し、アカガシ亜属、コナラ亜属、スギ属などが多産する。試料番号7・6では、木本花粉と比較して草本花粉の割合が高くなる。木本花粉は、マツ属、スギ属、コナラ属アカガシ亜属などが多い。草本花粉・シダ類孢子は、イネ科の割合が高く、ガマ属、サンショウモ属など水生植物の化石も見られるようになる。試料番号5~1では、木本花粉はマツ属が高率で検出される。草本花粉・シダ類孢子ではイネ科の割合が高く、ソバ属、ワタ属などの栽培植物やミズワラビ属・サンショウモなどの水生植物が多く検出されるようになる。

・210号土坑

花粉・胞子化石は全く検出されなかった。

(3) 植物珪酸体

・低地

結果を図5・表5に示す。植物珪酸体組成は、試料番号5と6を境として大きく変化する。試料番号6より下位では、単細胞珪酸体、機動細胞珪酸体ともにヨシ属が優占する。試料番号5より上位では、ヨシ属は急減し、イネ属、タケ亜科、ウシクサ族が多く検出される。

・210号土坑

結果を図6・表5に示す。タケ亜科が多く検出され、特に短細胞珪酸体で多い。その他、イネ属、ウシクサ族なども比較的多く検出される。

4. 生層序からみた低地堆積物の時代

低地の断面からは、テフラ層が確認されなかったことから、堆積物の時代についてははっきりしない。しかし、広域的に同様な組成を示す木本花粉化石の組成や既存の地形発達史などから、ある程度の時代観を推定することが可能である。試料番号9より下位の泥炭層は、その深度等から考えると、前報の矢摺泥炭遺跡をはじめ、借当川沿いの各低湿地遺跡に分布する泥炭層に対比される。この泥炭層は、縄文海進以降の海退に伴う砂堤の形成によって、谷の出口で閉塞されてきたといわれており、形成時期は縄文時代後晩期~弥生時代頃であると考えられている(森脇, 1979)。試料番号8の層準は、木本花粉化石において、スギヤカシ類が多い。千葉県内の花粉分析結果(辻ほか, 1983, 辻, 1986など)との比較や、前後の層位関係からすると、この層準は、古墳時代~奈良・平安時代頃に相当するとみられる。これは、城山遺跡が墓域であった頃にあつた

表4 低地の花粉分析結果

種 類	試料番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
草本花粉																
マキ属	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
モミ属	10	3	5	2	17	11	12	-	1	6	2	2	2	2	2	
ツグ属	20	27	6	13	38	9	12	-	3	2	1	-	-	-	2	
トウヒ属	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マツ属	121	199	198	186	114	15	24	4	3	3	4	5	4	-	-	
コウヤマキ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	
スギ属	3	2	-	-	7	26	49	18	28	14	14	15	4	14	-	
イチイ科-イヌガヤ科-ヒノキ科	1	-	-	-	1	5	-	-	-	-	1	-	3	-	-	
ヤナギ属	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	
ヤマモモ属	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クマシラギ属-アザギ属	-	-	2	1	2	3	2	2	1	-	1	2	3	1	17	
ハシバミ属	-	2	1	-	1	2	7	-	1	-	4	2	3	1	17	
カバノキ属	-	-	-	-	3	2	2	-	-	-	-	-	-	2	1	
ハンノキ属	-	-	-	-	1	1	1	4	3	2	3	2	-	3	-	
ブナ属	4	-	-	-	8	2	5	6	-	-	-	-	-	-	2	
コナラ属	3	8	-	3	3	8	24	22	6	21	29	14	20	51	-	
コナラ属アカガシ属	-	2	-	-	2	40	69	80	49	46	68	38	22	23	-	
クリ属	1	-	1	-	-	1	5	9	107	142	150	112	60	71	-	
シイノキ属	-	-	-	-	-	-	1	2	1	-	-	-	1	-	-	
ニレ属-ケヤキ属	2	-	1	-	6	-	13	10	11	24	25	15	-	8	-	
エノキ属-ムクノキ属	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	
カラスザンショウ属	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	
セシラン属	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
シラカシ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
ウルシ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	
モモチノキ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
カエデ属	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	2	
トチノキ属	-	1	-	-	-	-	-	-	2	3	1	2	-	-	-	
ブドウ属	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	
ノブドウ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
グミ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
ウコギ科	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	
エゴノキ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
イボタノキ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	
トネリコ属	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	11	-	-	-	2	
タニウツギ属	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
草本花粉																
ガマ属	1	-	-	-	5	5	6	-	-	-	-	-	2	-	-	
ミクリ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
オモダカ属	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	
イネ科	823	308	57	85	774	62	232	10	19	28	9	16	3	21	-	
カヤツリダケ科	28	10	2	-	21	13	25	4	2	2	10	5	1	13	-	
サナエダケ科-ウナギツカミ科	6	2	2	1	4	5	2	-	1	3	3	4	-	8	-	
ソバ属	1	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
アカザ科	3	4	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
スベリヒユ属	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ナデシコ科	16	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
カラマツソウ属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
アブラナ科	3	4	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
バラ科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	
マメ科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
ワタ属	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ネカシグサ属	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
アカバナ属	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
アリノトウグサ属	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
セリ科	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	1	1	-	-	10	
シソ科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
オオバコ属	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
オミナエシ属	-	-	-	-	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
マフムシソウ属	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヨモギ属	3	4	-	3	8	7	9	9	3	6	5	5	5	10	-	
他のキク属科	8	3	5	1	4	4	-	2	4	1	-	-	-	-	5	
タンポポ属科	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	-	-	-	-	
不明花粉																
	3	2	1	2	7	-	3	6	1	2	-	3	18	30	-	
シダ類孢子																
ミズウチビ属	37	26	20	3	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
サンショウモ属	72	62	23	11	6	1	3	-	-	-	-	-	3	-	-	
アカウキタケ属	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ミズニラ属	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
シダ類孢子	185	100	52	44	270	152	153	69	120	159	48	390	612	186	-	
合 計																
草本花粉	171	245	212	208	264	122	232	161	223	268	324	213	123	205	-	
シダ類孢子	898	338	67	93	826	99	279	25	30	41	32	34	13	71	-	
不明花粉	3	2	1	2	7	0	3	6	1	2	0	3	18	30	-	
シダ類孢子	295	188	104	60	285	153	156	60	120	159	48	393	612	186	-	
總計(不明を除く)	1984	771	383	359	1315	374	687	246	373	468	404	640	748	482	-	

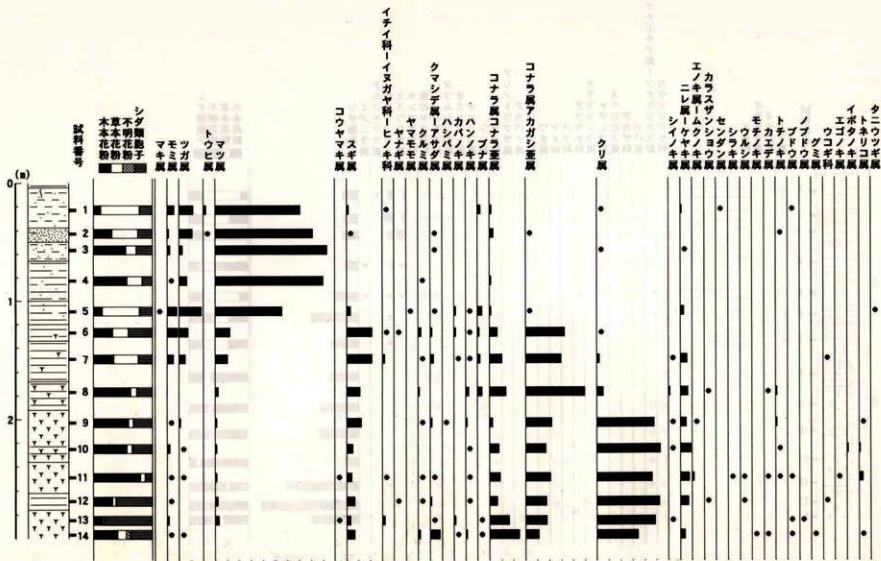


図4(1) 低地の花粉化石組成(1)

出現率は、木本花粉は木本花粉総数、草本花粉・シダ類孢子は総数より不明花粉を除く数を基数として百分率で算出した。なお、●は1%未満の試料について検出した種類を示す。

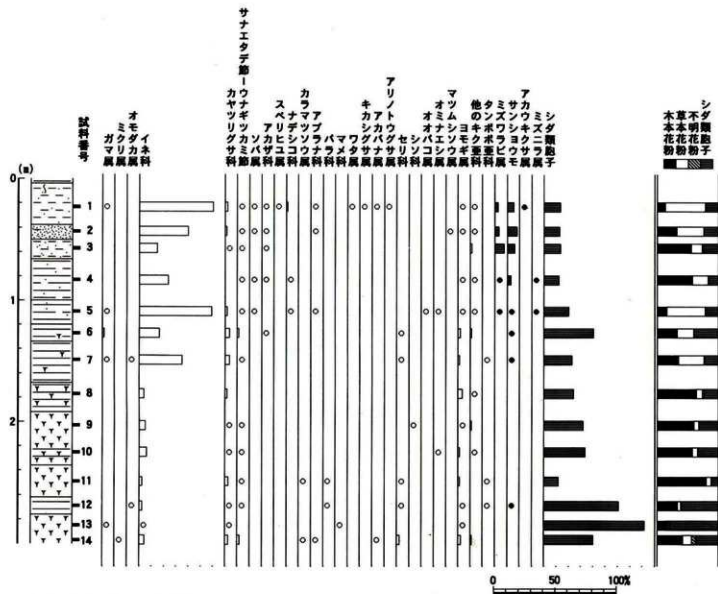


図4(2) 低地の花粉化石組成(2)

出現率は、木本花粉は木本花粉総数、草本花粉・シダ類孢子は総数より不明花粉を除く数を基数として百分率で算出した。なお、●○は1%未満の試料について検出した種類を示す。

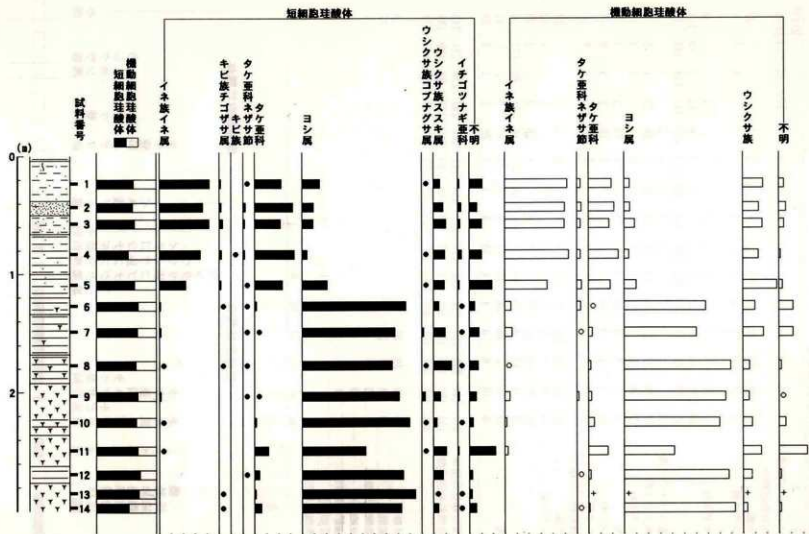


図5 低地の植物珪胞体組成

出現率は、イネ科基部短細胞珪胞体、イネ科基身長細胞珪胞体の総数を基数として百分率で算出した。
 なお、●○は1%未満の種類、+はイネ科基身長細胞で100個未満の試料で検出された種類を示す。

0 50 100%

表5 低地・210号土坑の植物珪酸体分析結果

種 類	試料番号														210号 土坑
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
イネ科葉部短細胞珪酸体															
イネ族イネ属	91	89	96	78	49	3	4	1	4	2	1	-	-	-	33
キビ族チゴザサ属	3	4	7	5	4	1	-	1	-	-	-	-	1	1	-
キビ族	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
タケ亜科ネザサ節	1	5	3	3	2	2	1	2	1	-	-	1	-	-	6
タケ亜科	49	79	50	76	51	4	2	-	2	4	28	12	3	13	141
ヨシ属	32	23	21	10	46	231	209	205	209	217	127	241	218	184	12
ウシクサ族コブナグサ属	2	-	-	1	1	-	5	1	8	1	2	-	-	-	-
ウシクサ族ススキ属	12	20	24	21	20	12	26	41	15	7	26	23	1	9	9
イチゴツナギ亜科	3	8	5	8	3	1	1	1	4	2	3	-	2	1	12
不明キビ型	6	5	8	9	13	7	10	7	6	1	23	5	-	1	6
不明ヒゲシバ型	15	5	11	9	19	4	11	12	8	5	16	2	5	8	17
不明ダンチク型	3	6	5	6	10	1	1	1	1	2	14	-	-	4	7
イネ科葉身機動細胞珪酸体															
イネ族イネ属	70	81	66	106	45	6	8	1	5	2	3	-	-	-	58
タケ亜科ネザサ節	4	6	4	6	5	4	1	-	2	-	-	1	-	1	19
タケ亜科	26	35	23	50	23	1	4	3	3	6	18	2	1	2	38
ヨシ属	6	8	12	8	13	80	77	128	99	100	46	94	90	177	4
ウシクサ族	23	22	22	26	36	12	22	8	6	10	17	8	2	7	41
不明	6	10	6	3	4	14	15	3	1	7	26	2	2	3	29
合 計															
イネ科葉部短細胞珪酸体	217	244	230	227	218	266	270	272	258	241	240	284	230	221	243
イネ科葉身機動細胞珪酸体	135	162	133	199	126	117	127	143	116	125	110	107	95	190	189
総 計	352	406	363	426	344	383	397	415	374	366	350	391	325	411	432
組 織 片															
イネ属顆粒酸体	45	36	20	35	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
イネ属短細胞	60	74	69	27	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
イネ属機動細胞珪酸体	4	5	6	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
タケ亜科短細胞	-	3	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
タケ亜科機動細胞	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ススキ属短細胞	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ウシクサ族機動細胞	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
不明	68	40	92	48	48	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-

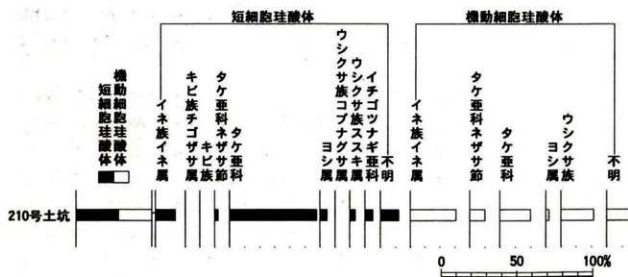


図6 210号土坑の植物珪酸体組成

出現率は、イネ科葉部短細胞珪酸体、イネ科葉身機動細胞珪酸体の各総数を基数として百分率で算出した。

る。試料番号7・6はマツ属の花粉が漸増し、試料番号5よりも上位では急増する。これは、南関東で普遍的にみられる傾向であるが、辻ほか(1986)などのマツの増加時期に関する時代観を参考にすれば、試料番号7・6が中世頃、試料番号5より上位が近世以降にあたる。したがって、城郭があったころの堆積物は、試料番号7・6であるといえる。

5. 低地の堆積環境変遷と古環境

栗山川沿いの谷底平野の地形発達については、ボーリングの成果などから、森脇(1979)によってまとめられている。これによれば、縄文時代後期には海退に伴って谷内が潟湖的な環境となり、縄文時代晩期～弥生時代に入って海退がさらに進むと、沼沢地化して泥炭層が堆積するようになることされている。

泥炭層が堆積する試料番号9より下位での珪藻化石群集は、陸生珪藻が多産し、沼沢湿地附着生種群を含む流水不定性種や好止水性種も比較的多い。花粉化石群集では、クリをはじめとする木本類が多く、花粉・胞子化石以外の残渣中にも、草本質より木材の細片の方が圧倒的に多い。また、植物珪酸体分析ではヨシ属が高率を占める。このような組成から考えると、当時はヨシ属が生育するような湿地であったが、しばしば乾燥する時期もあったと推定される。また、泥炭の由来は谷斜面に生育していた木本類に由来すると考えられ、当時の谷斜面の植生はクリやカシ類、ナラ類などであったと推定される。一方、この時期、栗山川や借当川の本流付近では、ヒシなどが生育する池沼や、ハンノキ、ニレ属などの湿地林が存在していたことが、前報の矢摺泥炭遺跡や宮田下泥炭遺跡(借当川遺跡調査会, 1985)で推定されており、谷の先端部と下流域での環境の違いが示唆される。

なお、栗山川流域の谷底平野では、多くの独木舟が検出されている。これらの独木舟の材質はカヤが多いが、矢摺泥炭遺跡や宮田下泥炭遺跡ではクリ製のものが見つかっており、全国的にみても珍しい傾向であることが指摘されている(借当川遺跡調査会, 1985)。クリは本来耐水性が良い木であるから舟としては良材であるが、今回の分析結果から、谷斜面などに豊富に生育しており、材料として得やすかったことも理由の一つであると考えられる。

試料番号8～4になると陸生珪藻が減少し、流水不定性種や止水性種が多産するように群集が変化する。また、これらの種の中には、水深が1m前後で一面に水生植物が繁茂する沼沢地や、水深の浅い湿地で優勢な *Cymbella naviculiformis*、*C. subaequalis* などの沼沢湿地附着生種(安藤, 1990)が比較的多く産出する。また、サンショウモやガマ属などの水生植物の花粉化石も検出されるほか、ヨシ属の植物珪酸体も引き続き多く検出される。よって、古墳時代以降、この付近は様々な水生植物が生育する沼沢～湿地のような比較的安定していた場所であったと考えられる。ところが、試料番号2・3になると好流水性種や中～下流性河川指標種が増加し、流水不定性種や沼沢湿地附着生種が多産することから、流水の流れ込みのある環境へと変化したことが推

定される。さらに、試料番号1になると、流水性種は減少し、好止水性の *Fragilaria brevistriata*、*F. construens*、*F. construens* fo. *venter* が多産する。これらの種群は、淡水でも塩類を含む水域や水の滞った富栄養止水域で多産する種群である (Asai, K. & Watanabe, T. 1995, Hustedt, 1937-1938)。したがって、本帯になると水の流れ込みも少なくなり、比較的安定した富栄養沼沢地が形成されたと考えられる。このように、近世以降になると、堆積環境が頻繁に変化するようになる。この時期は、イネ、ソバ、ワタなどの栽培植物が検出されることから、周辺でのこれらの栽培が示唆されるが、特にイネ属の植物珪酸体が高いことから、低地での稲作が考えられる。近世以降の低地の環境変化は、稲作などの生業活動が原因の一つである可能性もあるが、詳細は不明である。

6. 森林植生変遷と台地上の古環境

遺跡およびその周辺の森林を中心とした植生変遷について、弥生時代以前、遺跡が墓域であった古墳時代～奈良・平安時代、城郭があった中世、近世以降の4つの時代に区切って考察する。

・弥生時代以前

弥生時代以前は、前項でも述べたように、谷斜面を中心にクリやカシ類、ナラ類が生育していたものと推測される。一方、台地上全体でみた場合は、多古町の泥炭層 (辻ほか, 1977) や、宮田下泥炭遺跡 (借当川遺跡調査会, 1985) の花粉分析結果において、シイ類・カシ類の花粉化石が多いことから、これらが台地上の森林植生の中で主要な種類であったことが示唆される。

・古墳時代～奈良・平安時代

低地の花粉分析の結果をみると、カシ類やナラ類の割合が高いことから、台地上全体としてみると、引き続きカシ類を主要な樹種とする森林が多かったと考えられる。

・中世

古墳時代の土坑内覆土の珪藻分析結果をみると、陸生珪藻が多産し、水生珪藻がこれに伴うことから、当時土坑付近は乾燥していたことが示唆される。この土坑はいわゆる「水溜め」の可能性が指摘されているが、そうであれば半乾半湿の状態であったか、周辺の土壌が流入して埋積したと考えられる。また、植物珪酸体の結果をみると、タケ亜科やウシクサ族などが高い。このような状況からすると、当時の遺跡周辺は、タケ亜科やウシクサ族などが生育する草地であったと推測される。

中世の森林植生については、組成に大きな変化はみられなかったものと思われる。ただし、草本花粉の割合が増加することから、遺跡周辺での草地拡大が示唆される。また、マツ属が漸増するが、これは人間が植生へ干渉することによって、マツの二次林・植林が増加したためとみられる。これらが、篠本城築城の影響である可能性もありそうである。

・近世

近世の森林植生では、マツ属の割合が急増する。これは人間が植生へ干渉することがさらに進み、マツの二次林・植林がさらに増加したためとみられ、関東地方において普遍的にみられる傾向である（辻ほか、1986など）。

7. まとめ

今回城山遺跡に面した低地部では、縄文時代後晩期以降の堆積物が得られた。これによって、主に低地の先頭部～谷斜面かけての古環境が明らかになった。

縄文時代後晩期～弥生時代の低地は、縄文海進後の海退によって、谷の出口に砂堤が作られたため、閉塞して湿地化した時期である。栗山川や借当川の本流沿いでは、池沼化して草本質泥炭が堆積し、また湿地林なども存在した。しかし、調査地付近では、ヨシ属などが生育するしばしば乾燥するような湿地で、泥炭の供給源は谷斜面に生育していたクリなどの樹木であった。また、台地上はカシやシイなどの暖温帯林であった。なお、栗山川や借当川沿いの低湿地遺跡から検出された丸木舟などにはクリが使われているが、クリは当時谷斜面などに多く生育して用材として手に入れやすかったのが原因の一つとして考えられる。

古墳時代～奈良・平安時代になると、城山遺跡は墓域として利用されたとされるが、森林が切り開かれて、タケ類やススキ類などからなる草地になったと思われる。一方低地は湿地化し、水生植物などが多くみられるようになった。また、台地上にはカシ類などからなる暖温帯林に覆われていたと考えられる。

中世は、城郭が構築された時期であるが、植生については以前と大きな変化はみられなかったものと思われる。ただし、人間の植生への干渉が多くなり、草地の拡大やマツの二次林・植林が徐々に増加したと考えられる。

近世になると、イネが多産することから低地部での稲作が本格化し、また、ワタヤソバなどの栽培も行われていたと推測される。台地上についても、草地化が進む一方で、マツの二次林・植林がさらに増加したと考えられる。

<引用文献>

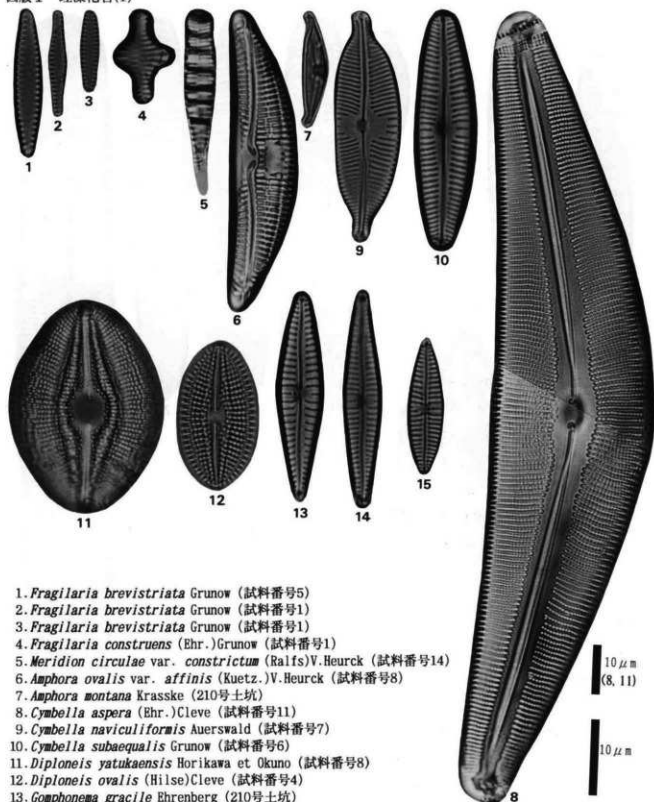
Asai, K. & Watanabe, T. (1995) Statistic Classification of Epilithic Diatom Species into Three Ecological Groups relating to Organic Water Pollution (2) Saprophilous and saproxenous taxa. *Diatom*, 10, 35-47.

安藤一男 (1990) 淡水産珪藻による環境指標種群の設定と古環境復元への応用. *東北地理*, 42, p. 73-88.

Hustedt, F. (1937-1938) Systematische und ökologische Untersuchungen über die Diatomeen-

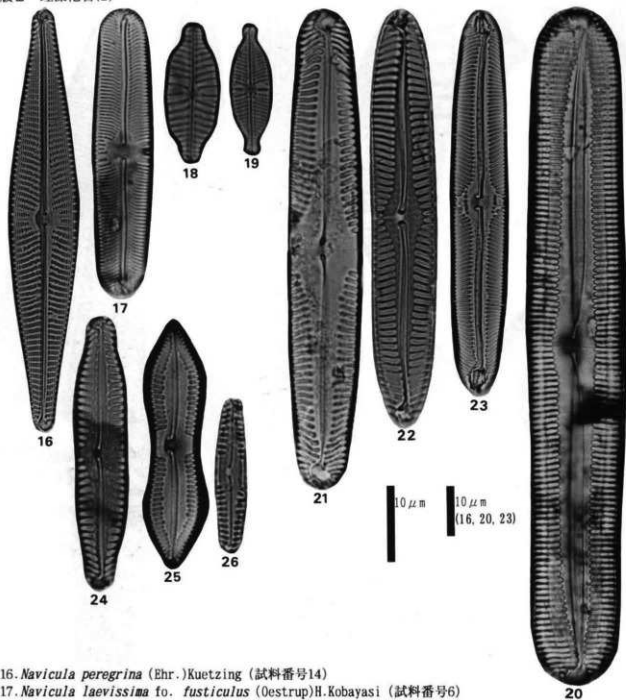
- Flora von Java, Bali und Sumatra Nach dem Material der Deutschen limnologischen Sunda-Expedition. Teil I ~ III, Band. 15, p. 131-506. Band. 16, p. 1-155, 274-394.
- 伊藤良永・堀内誠示 (1991) 陸生珪藻の現在に於ける分布と古環境解析への応用. 珪藻学会誌, 6, p. 23-45.
- 近藤誠三・佐瀬 隆 (1986) 植物珪酸体分析, その特性と応用. 第四紀研究, 25, p. 31-64.
- Krammer, K. and Lange-Bertalot, H. (1986) Bacillariophyceae, Teil 1, Naviculaceae. Band 2/1 von: Die Süsswasserflora von Mitteleuropa, 876p., Gustav Fischer Verlag.
- Krammer, K. and Lange-Bertalot, H. (1988) Bacillariophyceae, Teil 2, Epithemiaceae, Bacillariaceae, Surirellaceae. Band 2/2 von: Die Süsswasserflora von Mitteleuropa, 536p., Gustav Fischer Verlag.
- Krammer, K. and Lange-Bertalot, H. (1991a) Bacillariophyceae, Teil 3, Centrales, Fragilariaceae, Eunotiaceae. Band 2/3 von: Die Süsswasserflora von Mitteleuropa, 230p., Gustav Fischer Verlag.
- Krammer, K. and Lange-Bertalot, H. (1991b) Bacillariophyceae, Teil 4, Achnantheaceae, Kritische Ergänzungen zu Navicula (Lineolatae) und Gomphonema. Band 2/4 von: Die Süsswasserflora von Mitteleuropa, 248p., Gustav Fischer Verlag.
- Krammer, K. (1992) PINNULARIA, eine Monographie der europäischen Taxa. BIBLIOTHECA DIATOMOLOGICA BAND 26, p. 1-353. BERLIN-STUTTGART.
- Lowe, R.L. (1974) Environmental Requirements and pollution Tolerance of Fresh-water Diatoms. 334p. In Environmental Monitoring Ser. EPA Report 670/4-74-005. Nat. Environmental Res. Center Office of Res. Develop., U.S. Environ. Protect. Agency, Cincinnati.
- 森脇 広 (1979) 九十九里浜平野の地形発達史. 第四紀研究, 18, p. 1-16.
- 借当川遺跡調査会 (1985) 千葉県八日市場市宮田下泥炭遺跡—独木舟の調査—. 43p.
- 徳永重元 (1990) 古環境解析のための植物化石の手法と応用. 日本文化財科学会第7回大会研究発表要旨集, p. 88-89.
- 辻 誠一郎・柿沼 修平・田川 良 (1977) 千葉県多古町における丸木舟の出土とその年代. 第四紀研究, 16, p. 77-81.
- 辻 誠一郎・南木睦彦・小池裕子 (1983) 縄文時代以降の植生変化と農耕—村田川流域を例として—, 第四紀研究, 22, p. 251-266.
- 辻 誠一郎 (1986) 日本の第四紀植生史研究の諸問題. 植生史研究, 1, p. 3-18.
- 辻 誠一郎・南木睦彦・小杉正人 (1986) 「茂林寺沼及び低地湿原調査報告書 第2集 館林の池沼群と環境の変遷史」, p. 1-110, 館林市教育委員会.

図版1 珪藻化石(1)



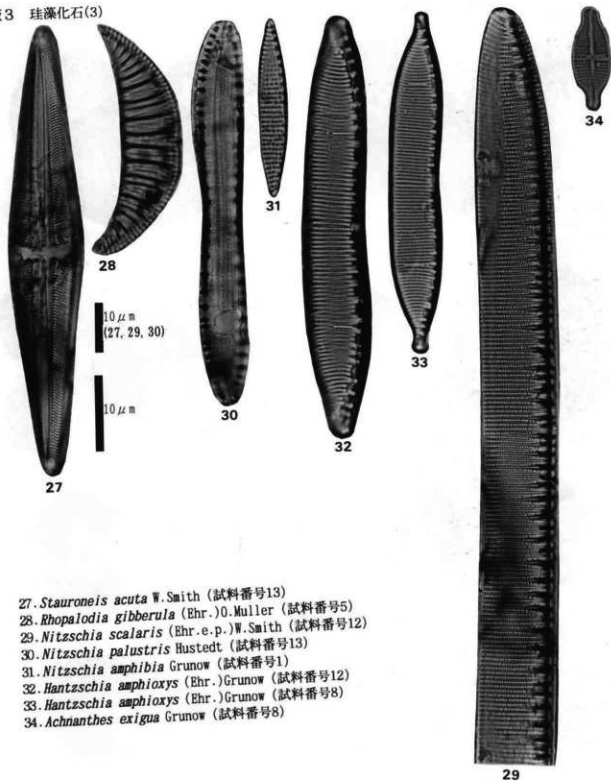
1. *Fragilaria brevistriata* Grunow (試料番号5)
2. *Fragilaria brevistriata* Grunow (試料番号1)
3. *Fragilaria brevistriata* Grunow (試料番号1)
4. *Fragilaria construens* (Ehr.)Grunow (試料番号1)
5. *Meridion circularae* var. *constrictum* (Ralfs)V.Heurck (試料番号14)
6. *Amphora ovalis* var. *affinis* (Kuetz.)V.Heurck (試料番号8)
7. *Amphora montana* Krasske (210号土坑)
8. *Cymbella aspera* (Ehr.)Cleve (試料番号11)
9. *Cymbella naviculiformis* Auerswald (試料番号7)
10. *Cymbella subaequalis* Grunow (試料番号6)
11. *Diploneis yatukaensis* Horikawa et Okuno (試料番号8)
12. *Diploneis ovalis* (Hilse)Cleve (試料番号4)
13. *Gomphonema gracile* Ehrenberg (210号土坑)
14. *Gomphonema gracile* Ehrenberg (試料番号1)
15. *Gomphonema parvulum* Kuetzing (試料番号14)

図版2 珪藻化石(2)



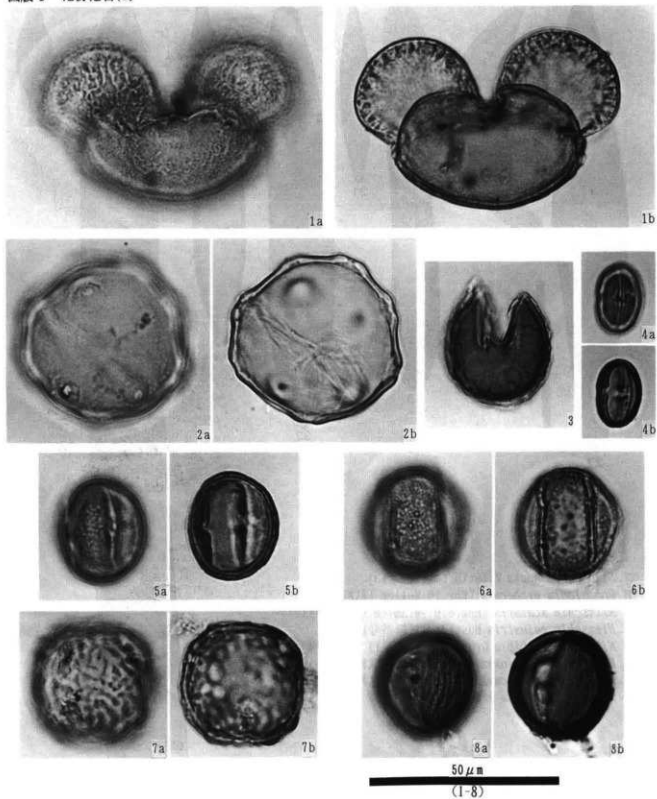
16. *Navicula peregrina* (Ehr.) Kuetzing (試料番号14)
 17. *Navicula laevis* fo. *fusticulus* (Oestrup) H. Kobayasi (試料番号6)
 18. *Navicula elginensis* var. *neglecta* (Krass.) Patrick (試料番号7)
 19. *Navicula kotschy* Grunow (試料番号5)
 20. *Pinnularia macilenta* (Ehr.) Cleve (試料番号8)
 21. *Pinnularia gibba* Ehrenberg (試料番号8)
 22. *Pinnularia esoxiformis* Fusey (試料番号12)
 23. *Pinnularia stomatophora* (Grun.) Cleve (試料番号14)
 24. *Pinnularia nodosa* Ehrenberg (試料番号6)
 25. *Pinnularia schroederii* (Hust.) Krammer (試料番号12)
 26. *Pinnularia subcapitata* Gregory (210号土坑)

図版3 珪藻化石(3)



27. *Stauroneis acuta* W. Smith (試料番号13)
 28. *Rhopalodia gibberula* (Ehr.) O. Muller (試料番号5)
 29. *Nitzschia scalaris* (Ehr. e. p.) W. Smith (試料番号12)
 30. *Nitzschia palustris* Hustedt (試料番号13)
 31. *Nitzschia amphibia* Grunow (試料番号1)
 32. *Hantzschia amphioxys* (Ehr.) Grunow (試料番号12)
 33. *Hantzschia amphioxys* (Ehr.) Grunow (試料番号8)
 34. *Achnanthes exigua* Grunow (試料番号8)

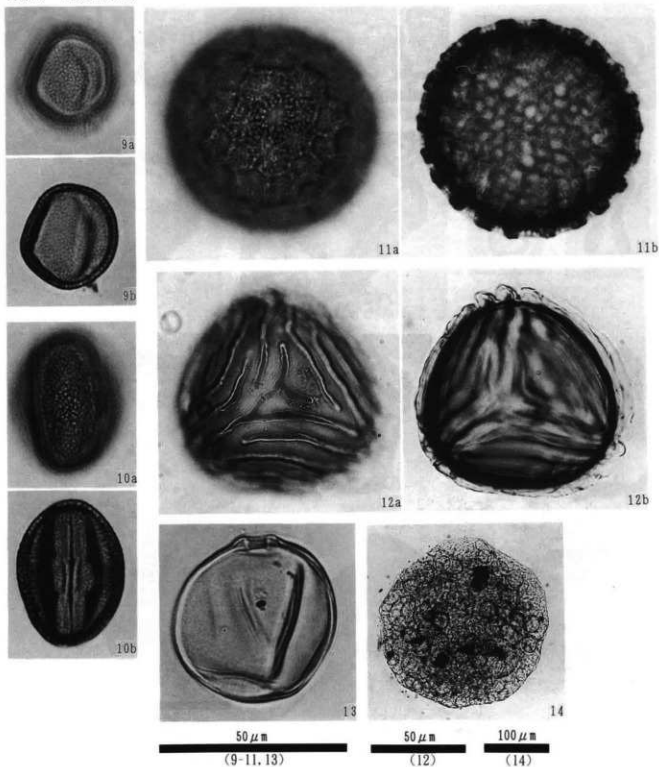
図版4 花粉化石(1)



1. マツ属(試料番号1)
3. スギ属(試料番号11)
5. コナラ属アカガシ亜属(試料番号14)
7. ニレ属-ケヤキ属(試料番号11)

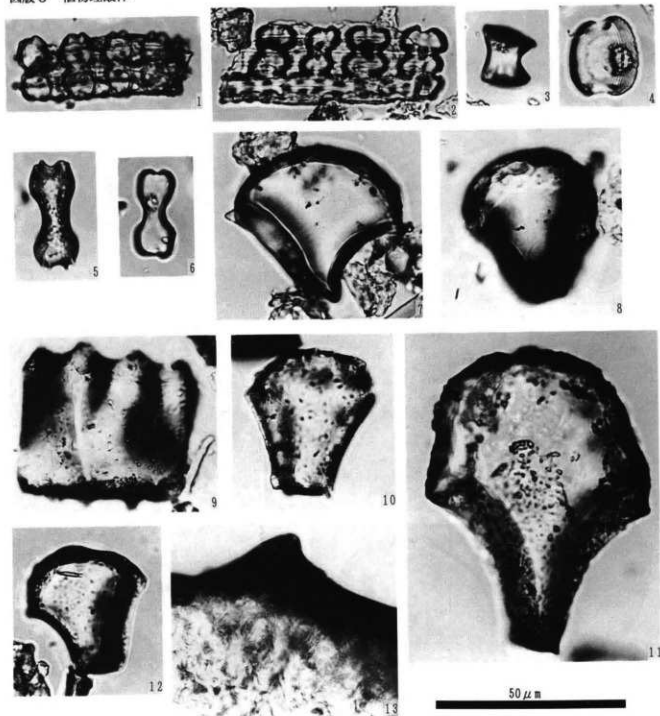
2. クルミ属(試料番号11)
4. クリ属(試料番号11)
6. コナラ属コナラ亜属(試料番号11)
8. カエデ属(試料番号11)

図版5 花粉化石(2)



9. トネリコ属(試料番号11) 10. ソバ属(試料番号1)
 11. サナエタデ節-ウナギツカミ節(試料番号11) 12. ミズワラビ属(試料番号1)
 13. イネ科(試料番号1) 14. サンショウモ(試料番号1)

図版6 植物珪酸体



- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. イネ属短細胞列(210号土坑) | 2. イネ属短細胞列(試料番号2) |
| 3. タケ亜科短細胞珪酸体(試料番号4) | 4. ヨシ属短細胞珪酸体(試料番号9) |
| 5. コブナグサ属短細胞珪酸体(試料番号9) | 6. ススキ属短細胞珪酸体(試料番号5) |
| 7. イネ属機動細胞珪酸体(試料番号2) | 8. イネ属機動細胞珪酸体(210号土坑) |
| 9. ネザサ節機動細胞珪酸体(210号土坑) | 10. タケ亜科機動細胞珪酸体(試料番号4) |
| 11. ヨシ属機動細胞珪酸体(試料番号9) | 12. ウシクサ族機動細胞珪酸体(試料番号7) |
| 13. イネ属顆珪酸体(試料番号2) | |

財団法人 東総文化財センター発掘調査報告書 第21集

千葉県匝瑳郡光町

篠本城跡・城山遺跡

資料編

ひかり工業団地内埋蔵文化財調査報告2

平成12年3月31日 発行

編 集 財団法人 東総文化財センター
千葉県匝瑳郡光町宮川字宮内前2334

発 行 千葉県企業庁

印 刷 株式会社 エリート印刷

